

令和6年度
三島市
地域福祉計画策定のためのアンケート調査
【報告書】

令和6年10月
三島市

目次

I	調査の概要	1
1.	調査目的	1
2.	調査対象	1
3.	調査方法	1
4.	抽出方法	1
5.	調査期間	1
6.	回収状況	1
7.	報告書を見る際の注意点	1
II	調査結果	2
1.	あなた自身について	2
①	性別	2
②	年齢	2
③	居住年数	3
④	居住地区	3
⑤	職業	4
⑥	家族構成	4
⑦	同居家族	5
2.	福祉について	6
①	福祉との関わり	6
②	福祉への関心	9
③	福祉についての情報や知識の主な入手先	10
④	福祉について得たいと思う情報・知識	14
⑤	福祉についての理解を深めるために必要だと思う機会	20
3.	地域生活に関することについて	24
①	地域だと考える範囲	24
②	地域の人々とのつながりの満足度	27
③	求めている地域とのつながりの程度	28
④	ご近所の方との付き合いの程度	29
⑤	近所付き合いの考え方	32
⑥	地域内の行事や自治会活動への参加・協力	33
⑦	地域内の行事や自治会活動への参加・協力をしていない理由	34
⑧	地域社会の役割について期待すること	37
⑨	住んでいる地域の中での問題点	43
⑩	日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていること	49
⑪	地域生活の中での悩みや困りごとの相談先	55
⑫	相談したいと思わない理由	61

4. 地域での助け合いや支え合いについて	67
①近所に困っている人がいるときにしてあげられること	67
②助けが必要になったときに地域にしてほしい支援	73
③隣近所の人に支援を頼むことへの抵抗感	79
④支援を頼むことに抵抗がある理由	80
⑤支援を必要とする人の暮らしの不便さ	81
⑥住民のちょっとした支え合いでの不便さの解消	82
⑦災害時や緊急時の連絡のとり方や避難の方法などについての誰かとの話し合い	83
⑧地域における災害時の備えとして重要だと思うこと	86
⑨地域の支え合いを進める上で必要となる個人情報の取り扱いに関する考え	89
⑩必要な支援を受けることができず、地域からも孤立している人たちの認知	90
⑪問題を抱えている人たちから助けを求められたときの対応	91
⑫地域での支え合いへの参加	92
5. ボランティア活動などに関することについて	93
①ボランティア活動への参加	93
②ボランティア活動をはじめた主なきっかけ	94
③ボランティア活動に参加したことがない主な理由	100
④ボランティア活動に参加しようとする条件	103
⑤今後のボランティア活動への参加	109
⑥活動に参加できる頻度	110
⑦参加したいと思う活動	113
⑧参加したいと思う社会福祉活動	117
⑨三島市でボランティア活動を活発にするために必要だと思うこと	120
6. 福祉施策に関することについて	124
①地域がより住みやすくなるために必要な活動	124
②三島市地域福祉計画の認知	130
7. 日常や交友関係について	131
①あてはまると思う項目	131
②親友の有無	133
8. 居場所について	134
①居場所になっている場所	134
9. 再犯防止について	137
①犯罪をした人の立ち直りへの協力をしたいと思うか	137
②再犯防止のために具体的に必要だと思うこと	138
10. 成年後見制度について	141
①成年後見制度の認知	141
②成年後見制度をより広く知ってもらうために必要だと思うこと	142
③将来的な成年後見制度の利用	145
④市民後見人の認知	146

11. 三島市社会福祉協議会について	147
①三島市社会福祉協議会の認知	147
②三島市社協が実施している事業で知っているもの	148
③三島市社協が地域福祉を推進していくために積極的に取り組むべき活動	154
④課題について考える場への参加を呼びかけられた場合の対応	160
⑤そのように考える主な理由	161
⑥三島市社協の会員区分で市民が一般会員であることの認知	165
Ⅲ 調査票	167

I 調査の概要

1. 調査目的

「第5次三島市地域福祉計画」及び「第5次三島市地域福祉活動計画」の策定にあたり、市民の地域活動への参加状況や日常生活で感じていることなどの意見を把握し、基礎資料とすることを目的に実施しました。

2. 調査対象

三島市内に在住する満15歳以上の方

3. 調査方法

郵送配布、郵送またはWEB回収

4. 抽出方法

無作為抽出

5. 調査期間

調査期間：令和6年8月20日（火）から令和6年9月6日（金）まで

6. 回収状況

発送数	回収方法	回収数	有効回収数	有効回収率
2,000票	郵送	717票	714票	48.7%
	WEB	260票	260票	
	合計	977票	974票	

7. 報告書を見る際の注意点

①基数となるべき実数はnとして記載しています。

②比率はすべて百分率で表し、小数点以下第2位を四捨五入しています。

そのため、百分率の合計が100%にならないことがあります。

③複数回答可能な設問の場合、回答比率の合計が100%を超えることがあります。

④一部のグラフにおいて回答者がいない項目は数値の掲載を省略しています。

⑤回答者数（n）が少ない設問においては、コメントを掲載していない場合があります。

⑥紙面の都合上、一部のグラフにおいて、選択肢を省略して掲載している場合があります。

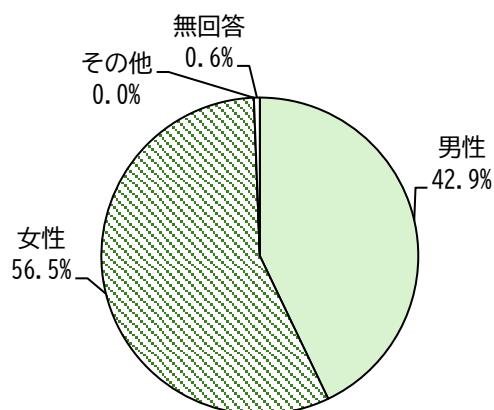
Ⅱ 調査結果

1. あなた自身について

①性別

問1 あなたの性別を教えてください。

(○は1つだけ)



(n=974)

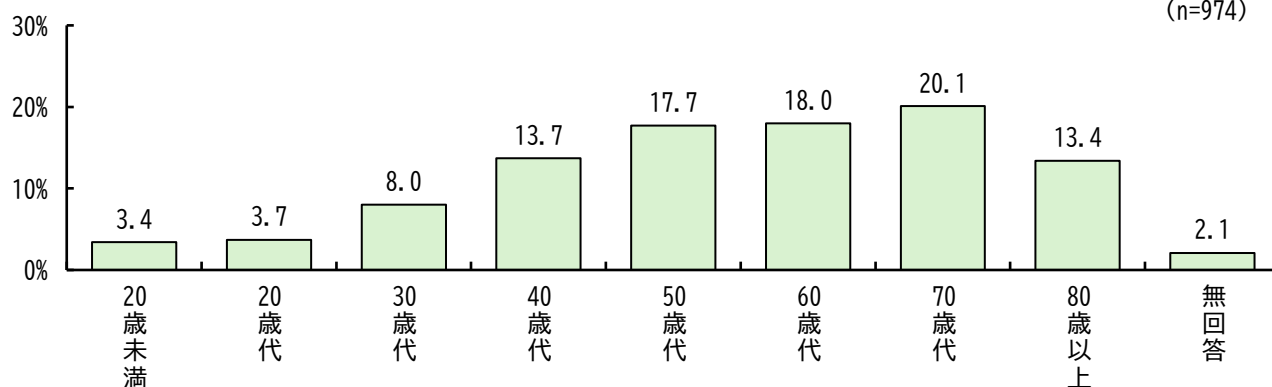
性別では、「男性」が42.9%、「女性」が56.5%、「その他」が0.0%となっています。

②年齢

問2 あなたの年齢を教えてください。

(数字で記入)

(n=974)

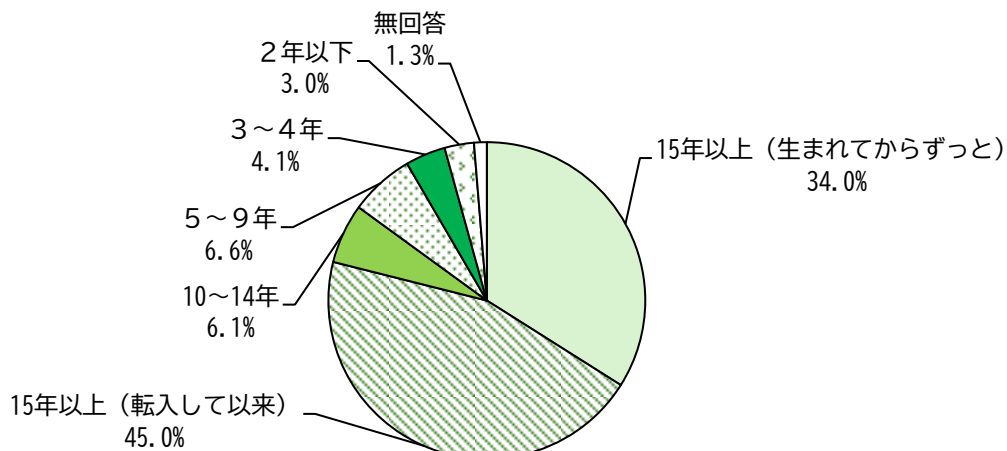


年齢では、「70歳代」が20.1%と最も多く、次いで「60歳代」が18.0%、「50歳代」が17.7%などとなっています。

③居住年数

問3 三島市に何年ぐらいお住まいですか。

(○は1つだけ)



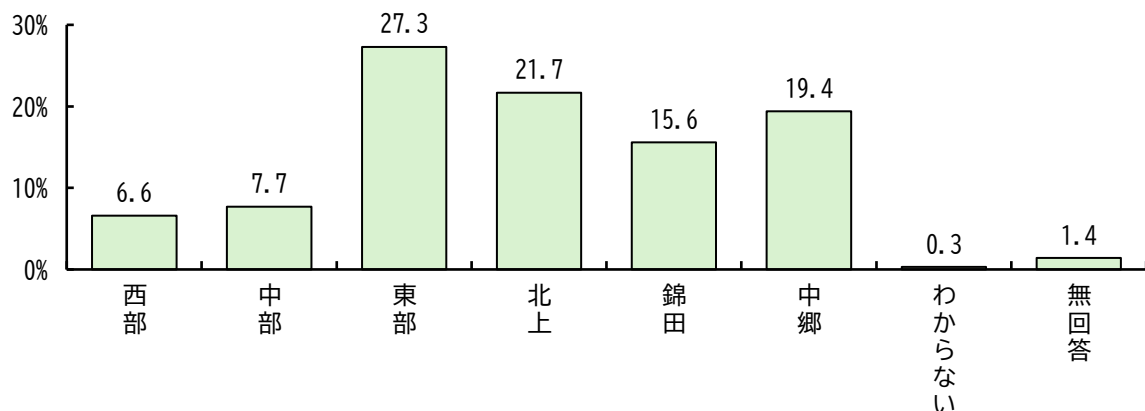
(n=974)

居住年数では、「15年以上（転入して以来）」が45.0%と最も多く、次いで「15年以上（生まれてからずっと）」が34.0%、「5～9年」が6.6%などとなっています。

④居住地区

問4 お住まいの地区はどちらですか。

(○は1つだけ)



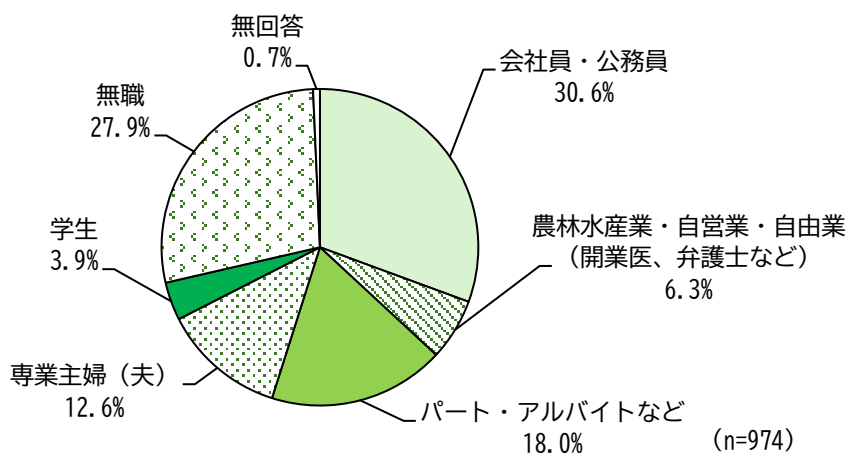
(n=974)

居住地区では、「東部」が27.3%と最も多く、次いで「北上」が21.7%、「中郷」が19.4%などとなっています。

⑤職業

問5 あなたの現在の仕事についてうかがいます。

(○は1つだけ)

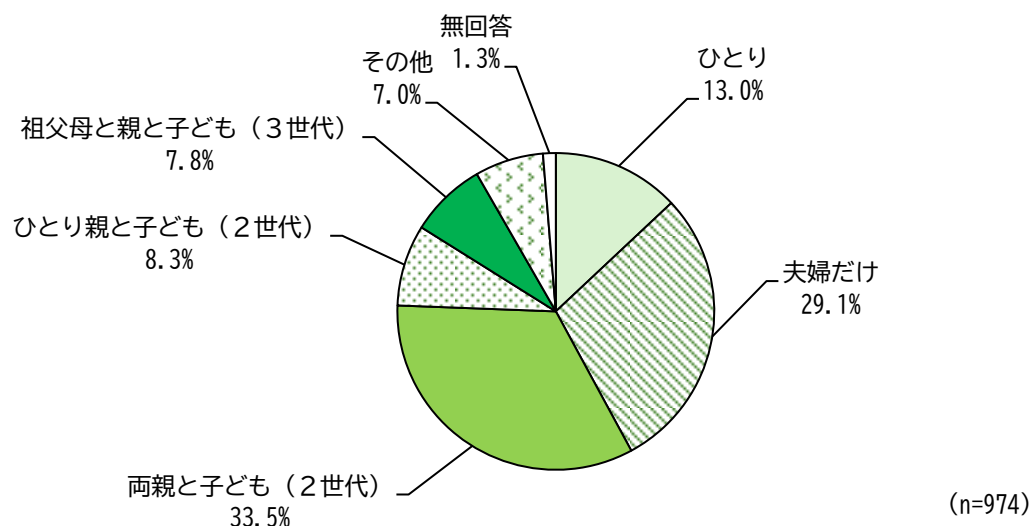


職業では、「会社員・公務員」が30.6%と最も多く、次いで「無職」が27.9%、「パート・アルバイトなど」が18.0%などとなっています。

⑥家族構成

問6 あなたの家族（世帯）構成についてうかがいます。

(○は1つだけ)



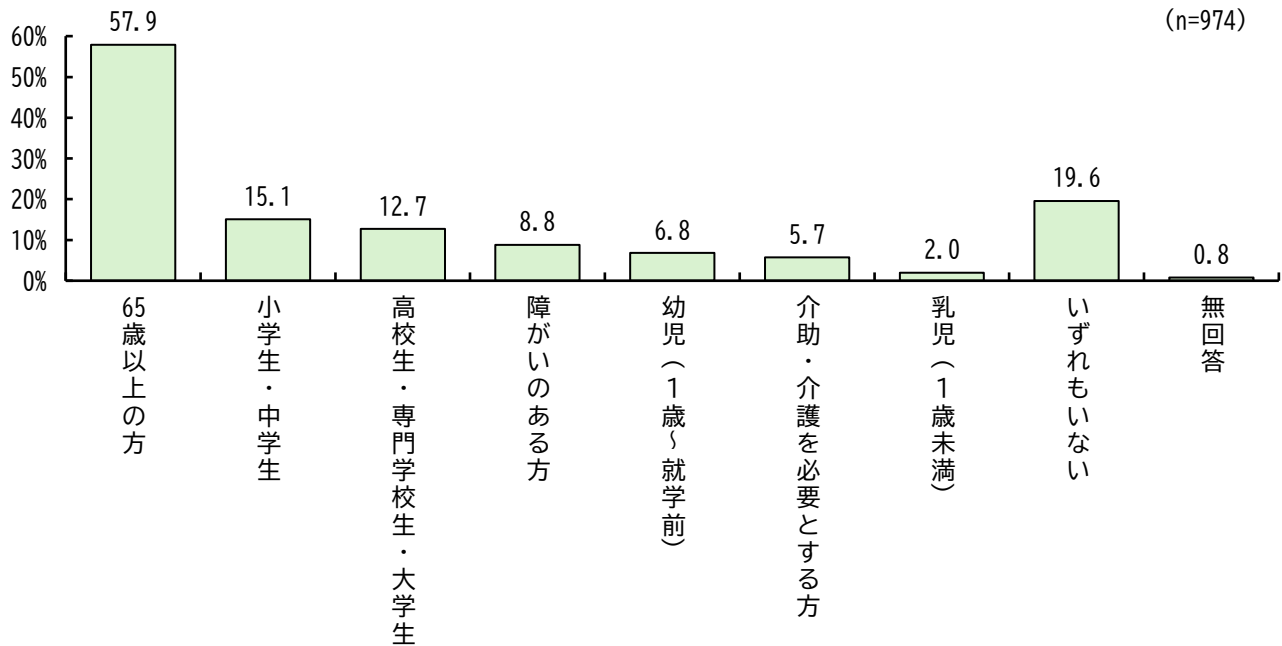
家族構成では、「両親と子ども（2世代）」が33.5%と最も多く、次いで「夫婦だけ」が29.1%、「ひとり」が13.0%などとなっています。

⑦同居家族

問7 あなた自身を含め同居家族の中に次のような方はいますか。

(○はあてはまるものすべて)

(n=974)



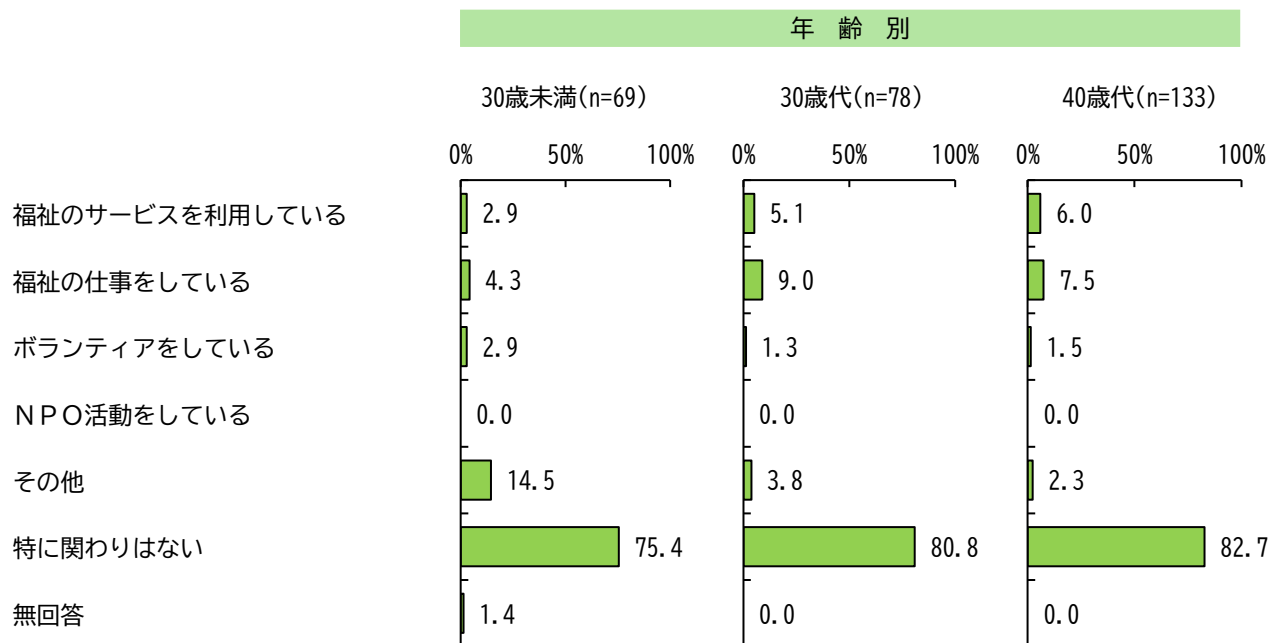
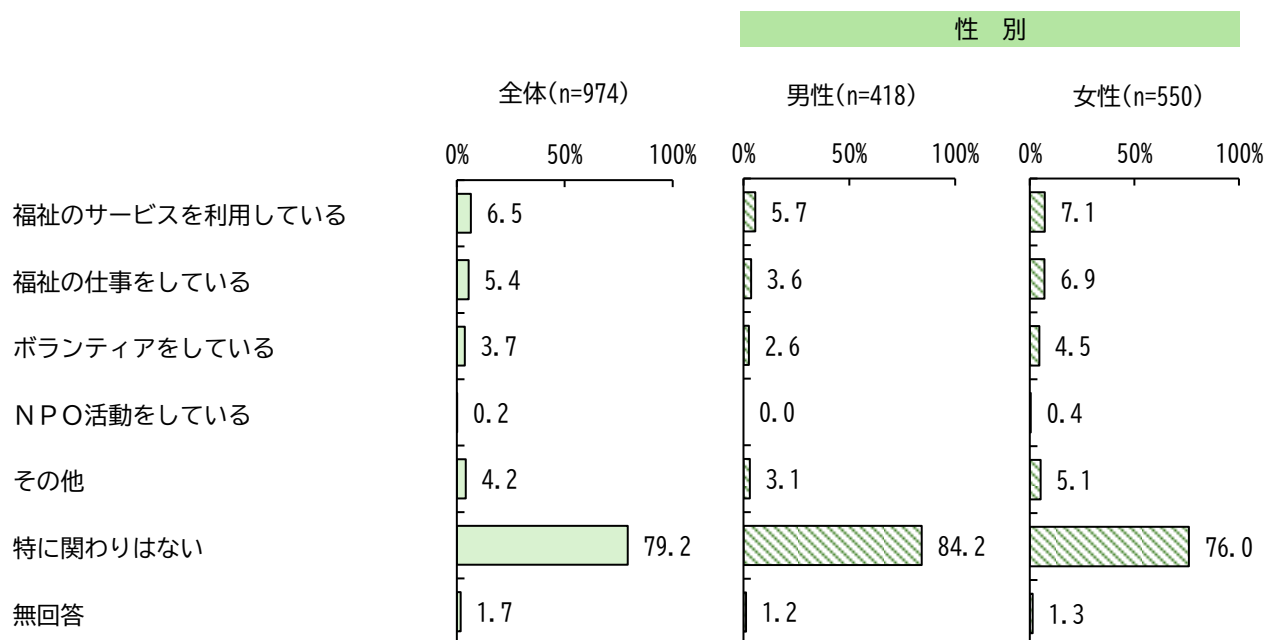
同居家族では、「65歳以上の方」が57.9%と最も多く、次いで「小学生・中学生」が15.1%、「高校生・専門学校生・大学生」が12.7%などとなっています。また、「いずれもない」が19.6%となっています。

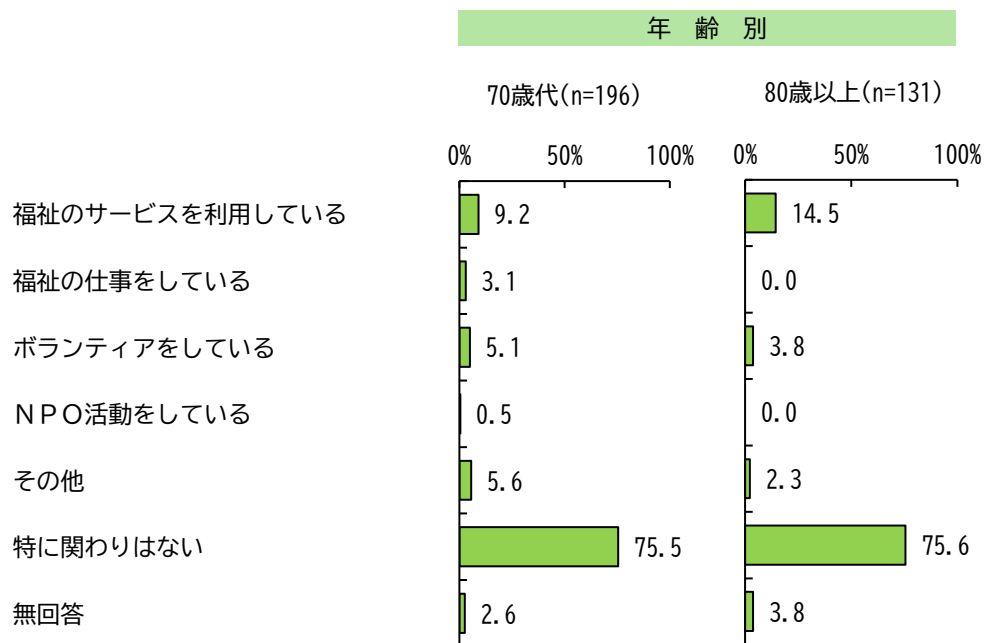
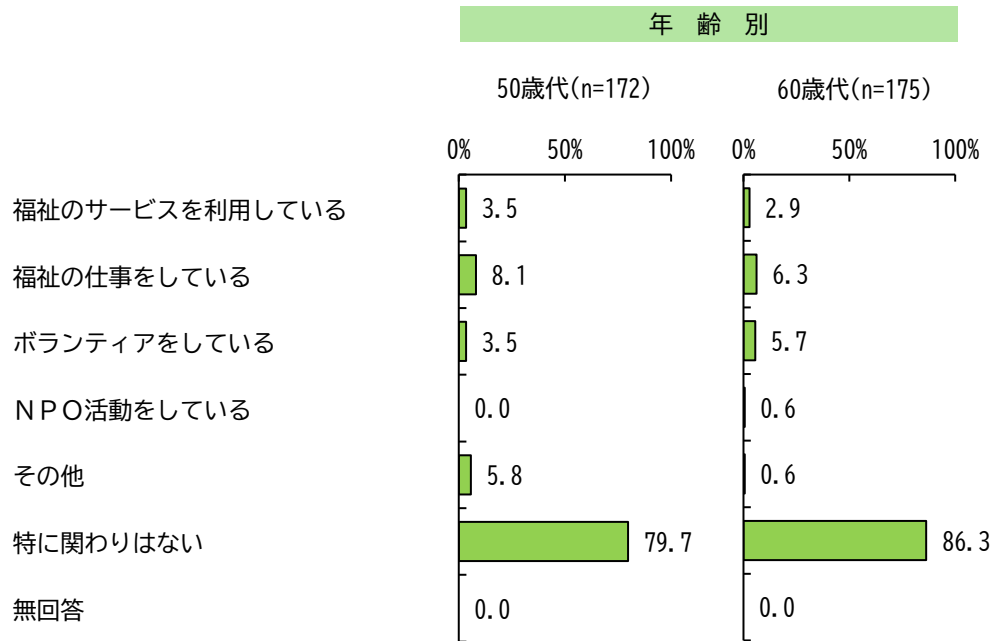
2. 福祉について

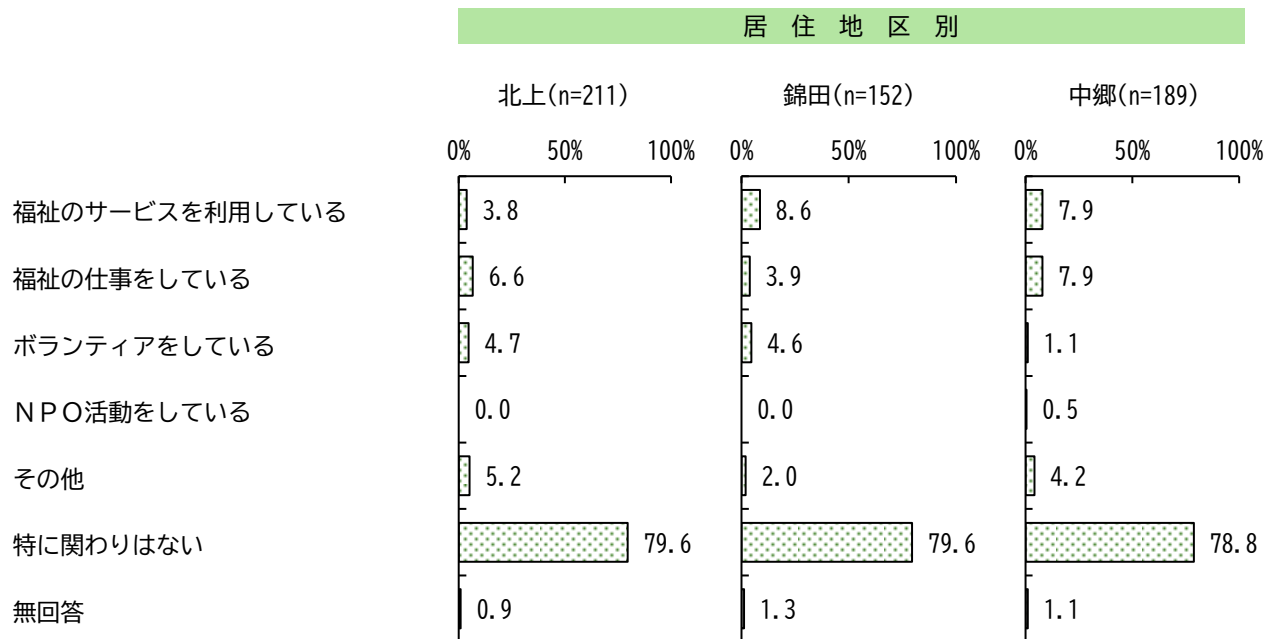
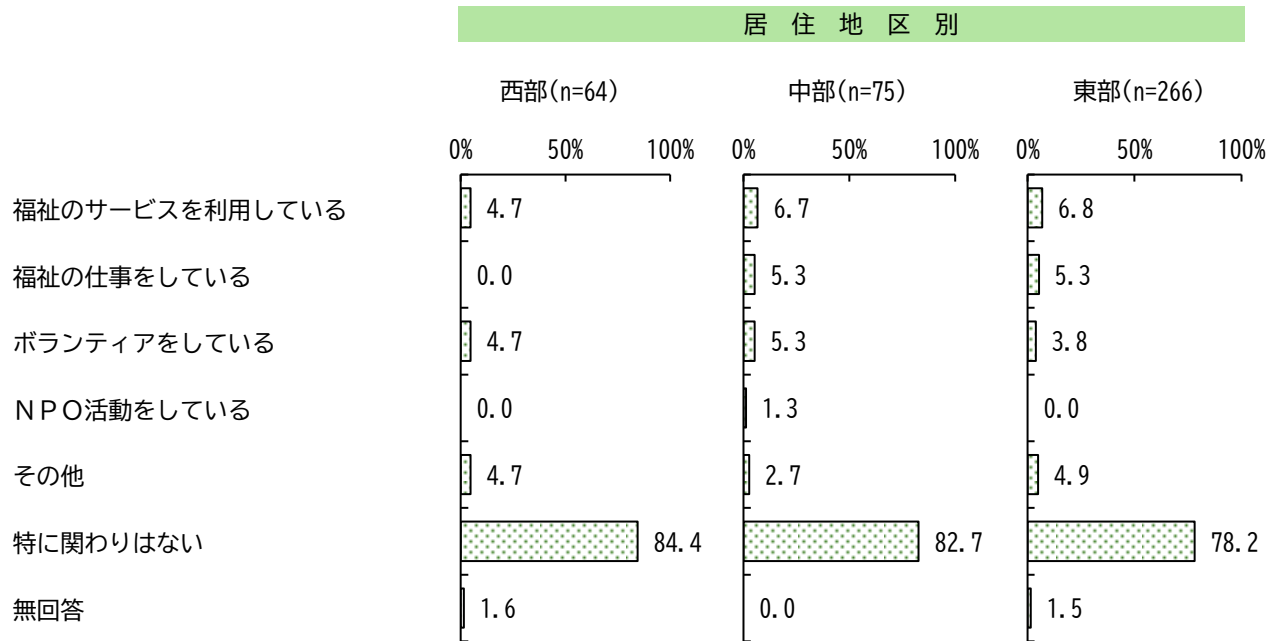
①福祉との関わり

問8 あなたは福祉と関わりがありますか。

(○はあてはまるものすべて)





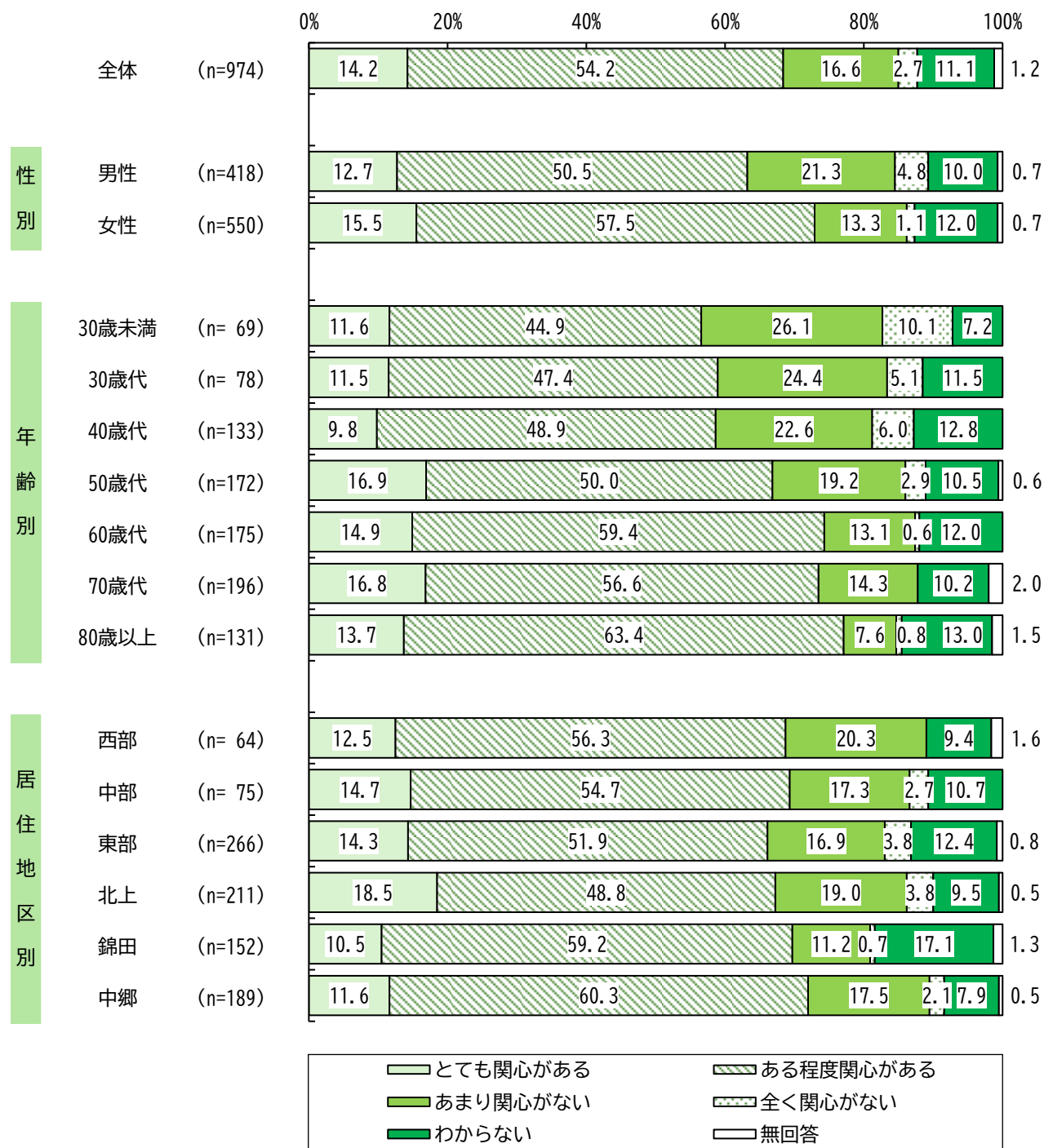


福祉との関わりでは、「福祉のサービスを利用している」が6.5%と最も多く、次いで「福祉の仕事をしている」が5.4%、「ボランティアをしている」が3.7%などとなっています。また、「特に関わりはない」が79.2%となっています。

②福祉への関心

問9 あなたは「福祉」に関心がありますか。

(○は1つだけ)

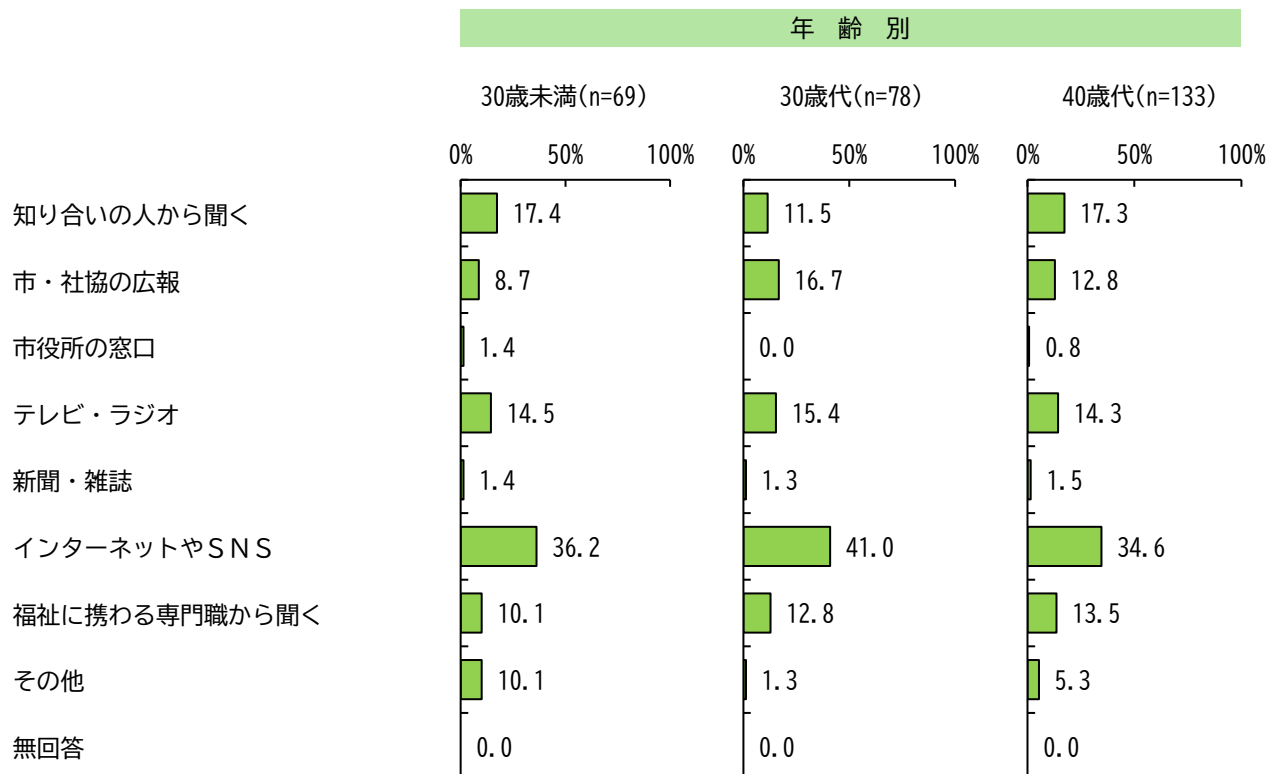
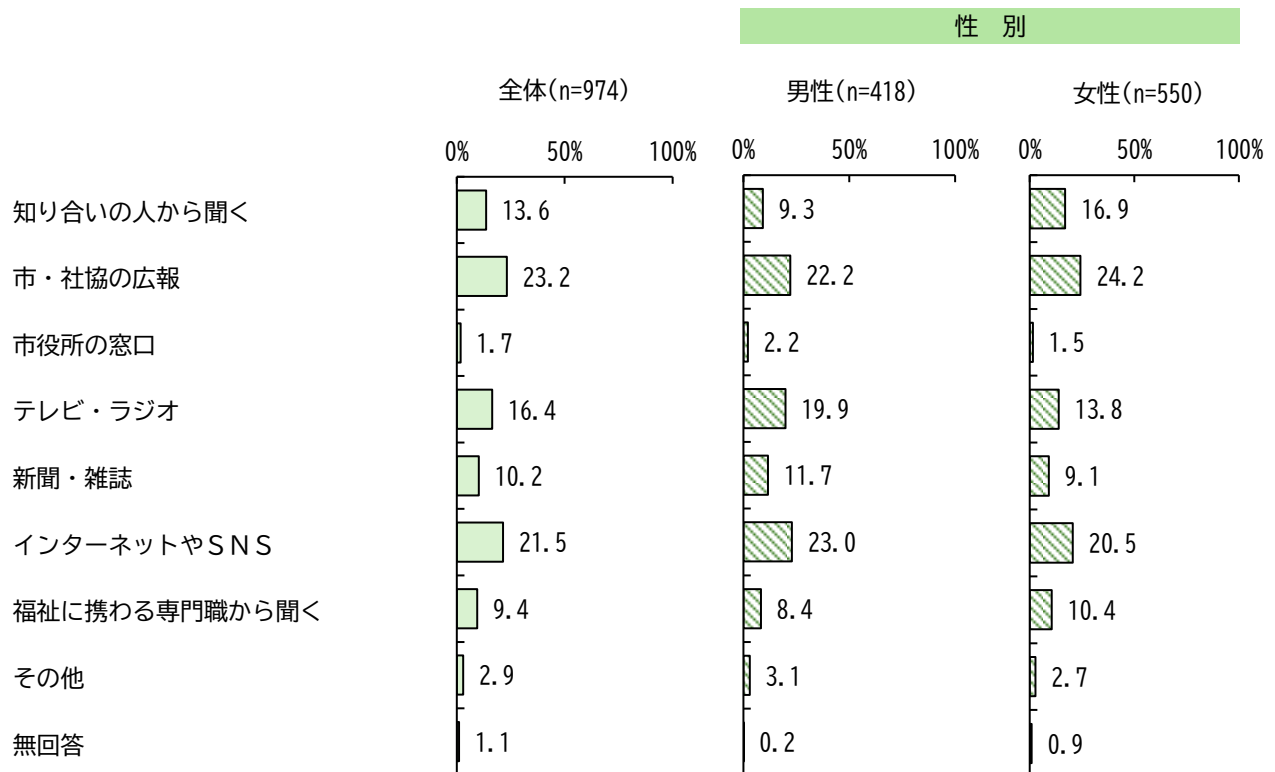


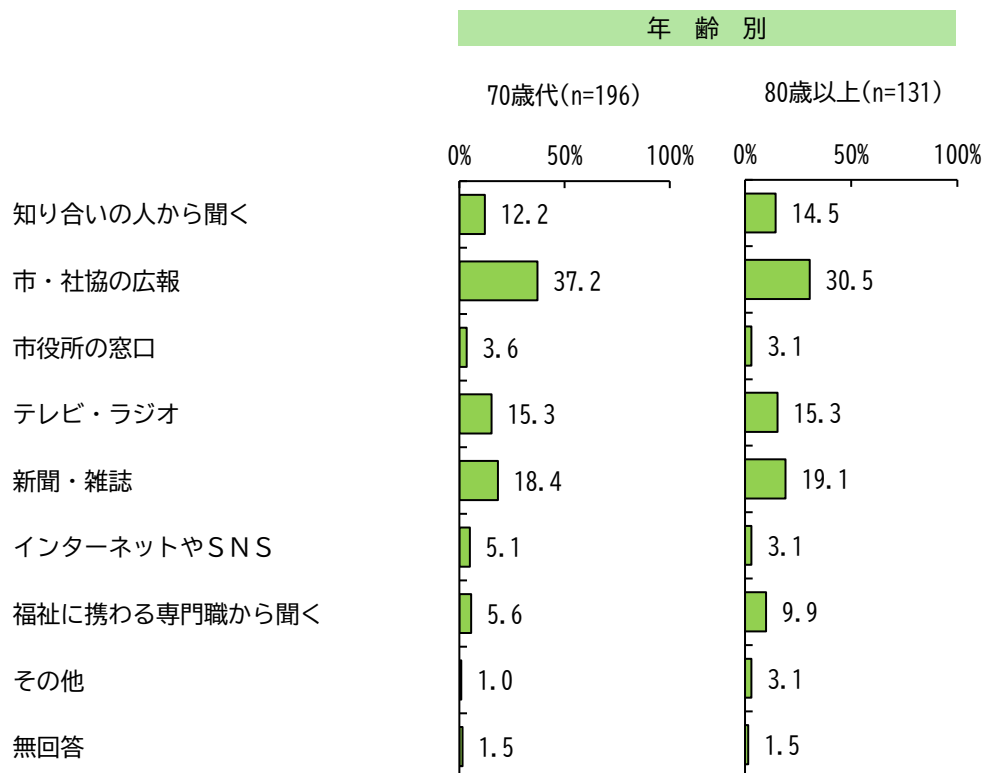
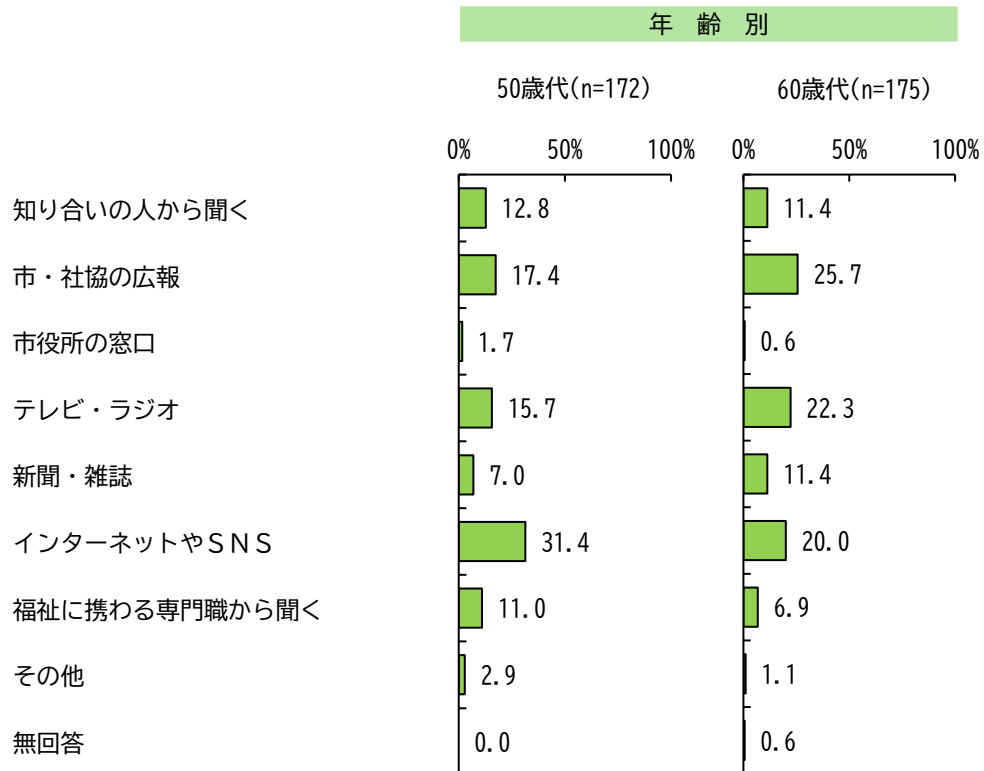
福祉への関心では、「ある程度関心がある」が54.2%と最も多く、次いで「あまり関心がない」が16.6%、「とても関心がある」が14.2%などとなっています。

③福祉についての情報や知識の主な入手先

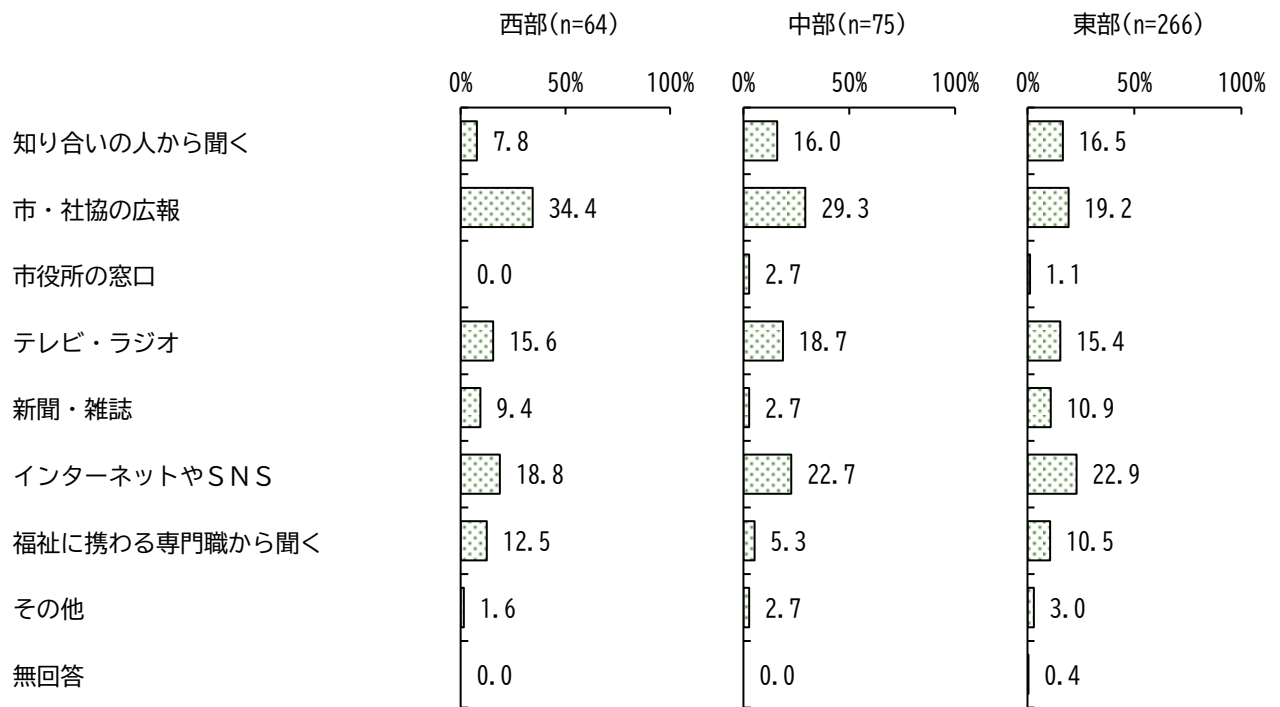
問10 あなたは、福祉についての情報や知識を主にどのように得ていますか。

(○は1つだけ)

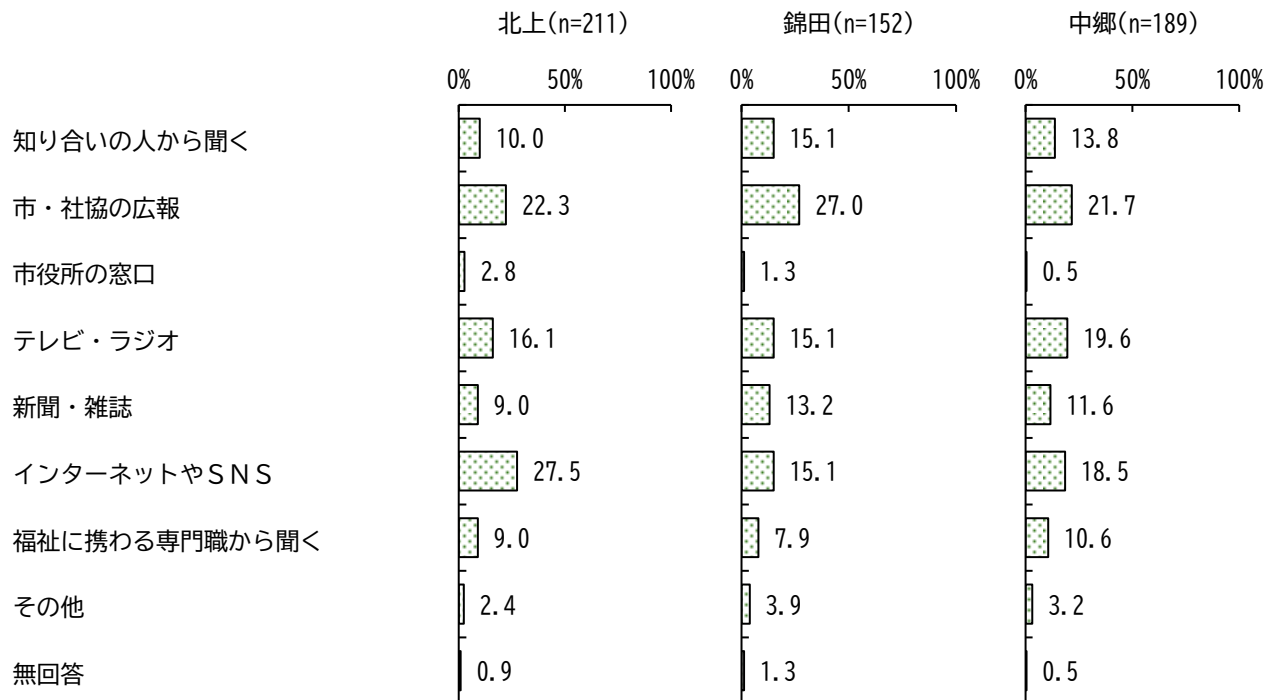




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



福祉についての情報や知識の主な入手先では、「市・社協の広報」が23.2%と最も多く、次いで「インターネットやSNS」が21.5%、「テレビ・ラジオ」が16.4%などとなっています。

性別でみると、「男性」は「インターネットやSNS」が23.0%と最も多くなっています。

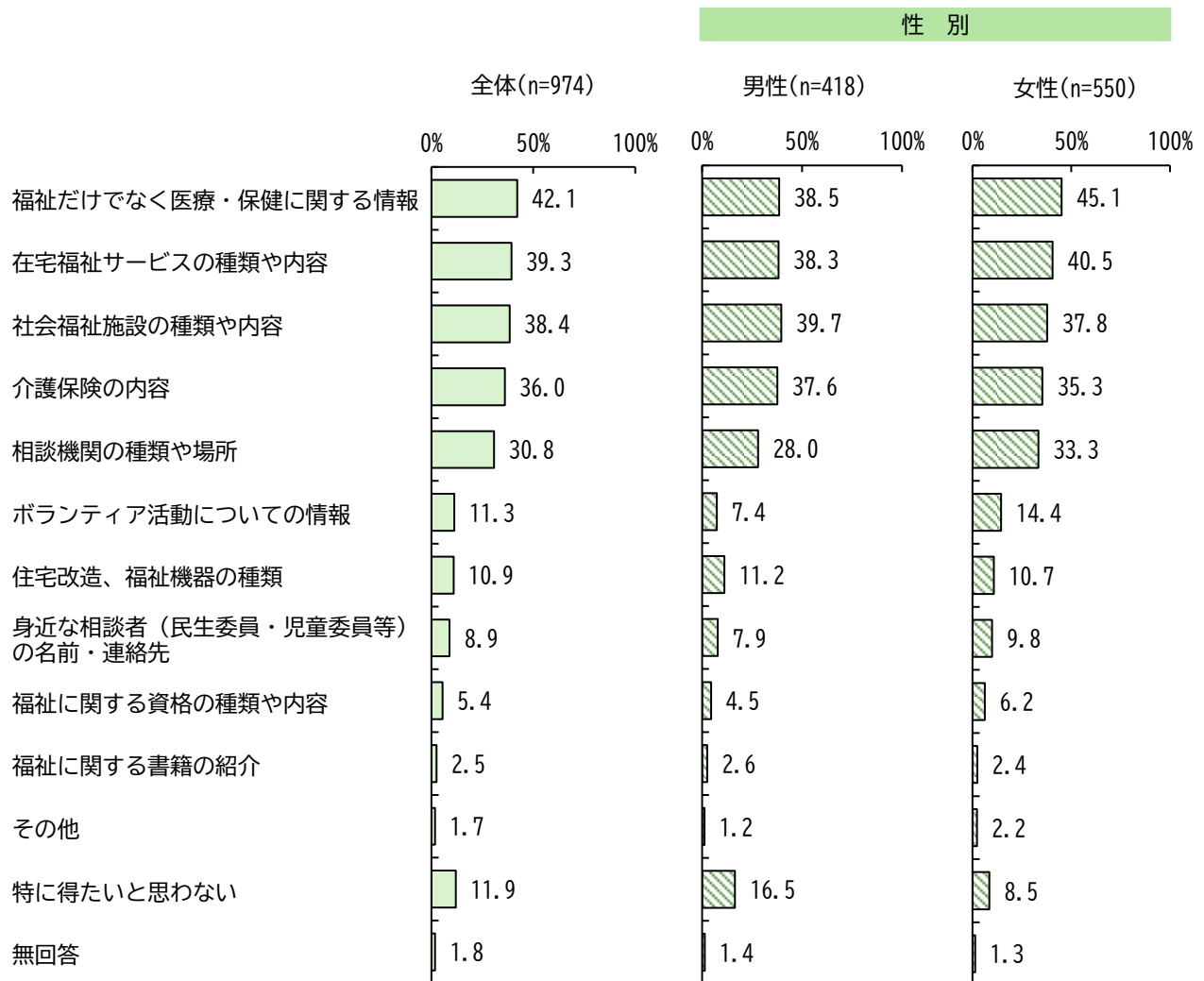
年齢別でみると、「30歳未満」、「30歳代」、「40歳代」、「50歳代」は「インターネットやSNS」が最も多くなっています。

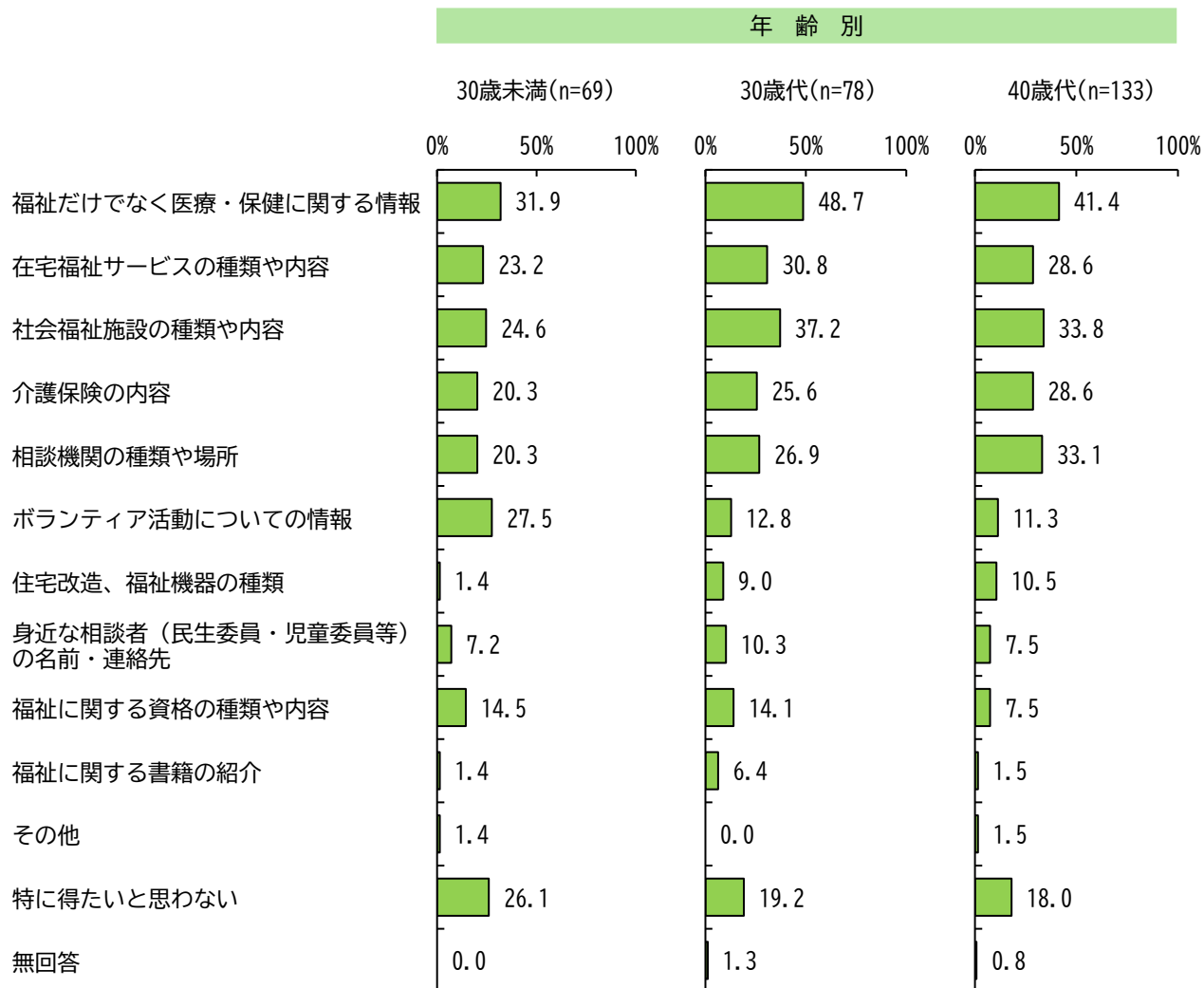
居住地区別でみると、「東部」と「北上」は「インターネットやSNS」が最も多くなっています。

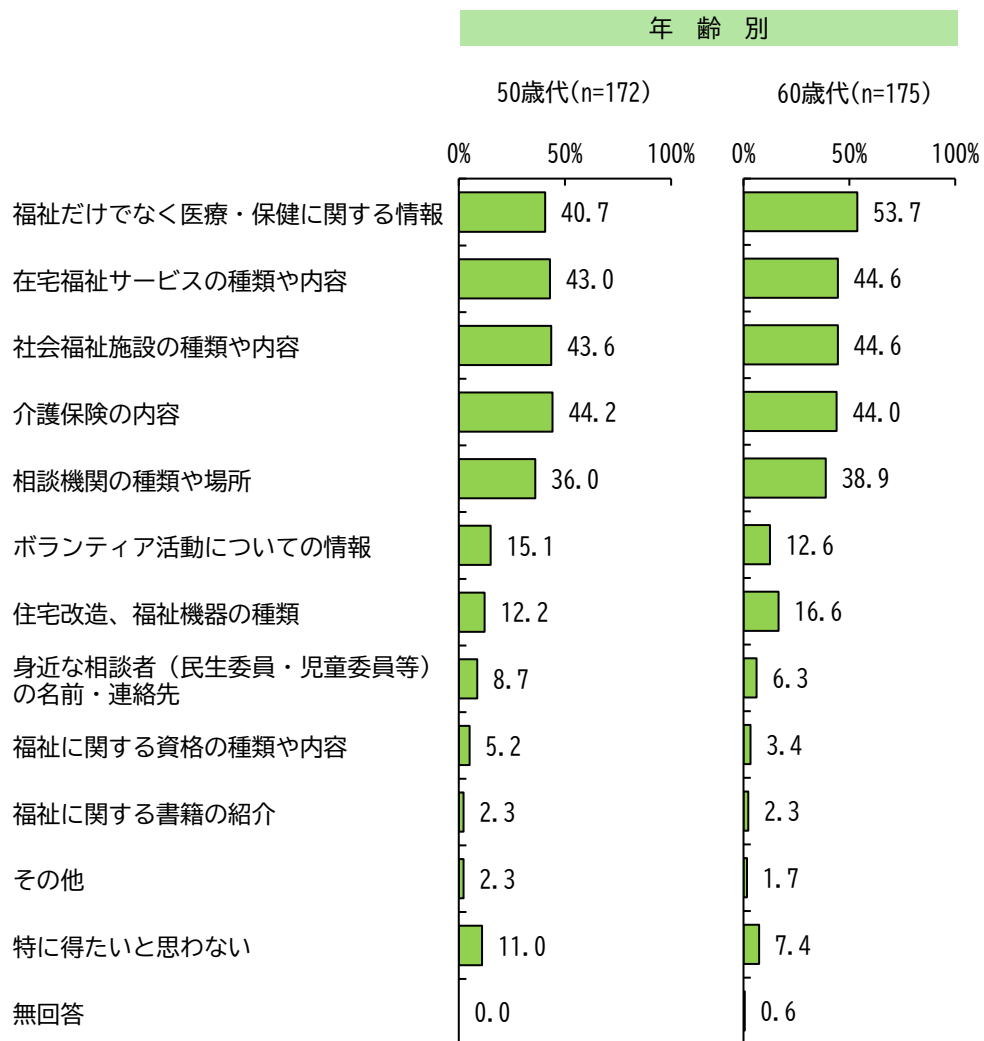
④福祉について得たいと思う情報・知識

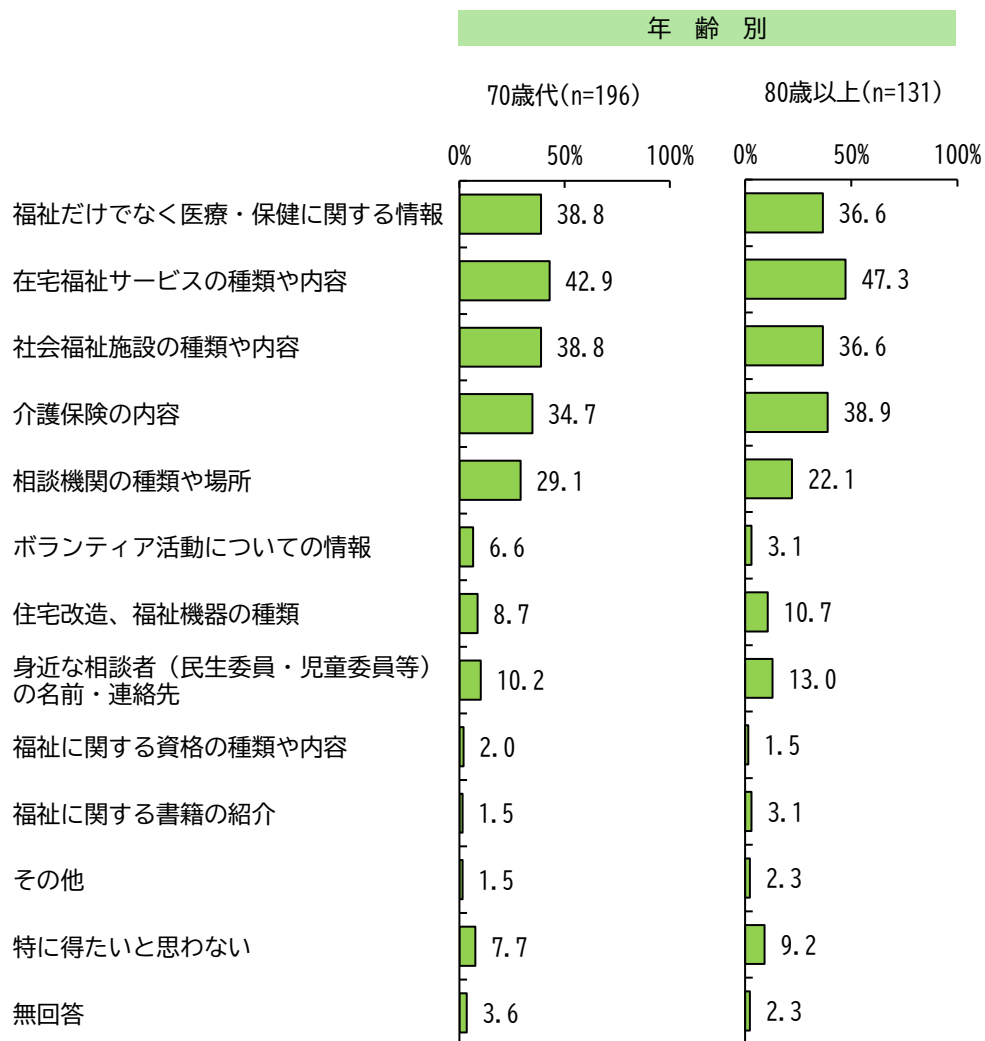
問11 あなたは、福祉に対してどのような情報・知識を得たいと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

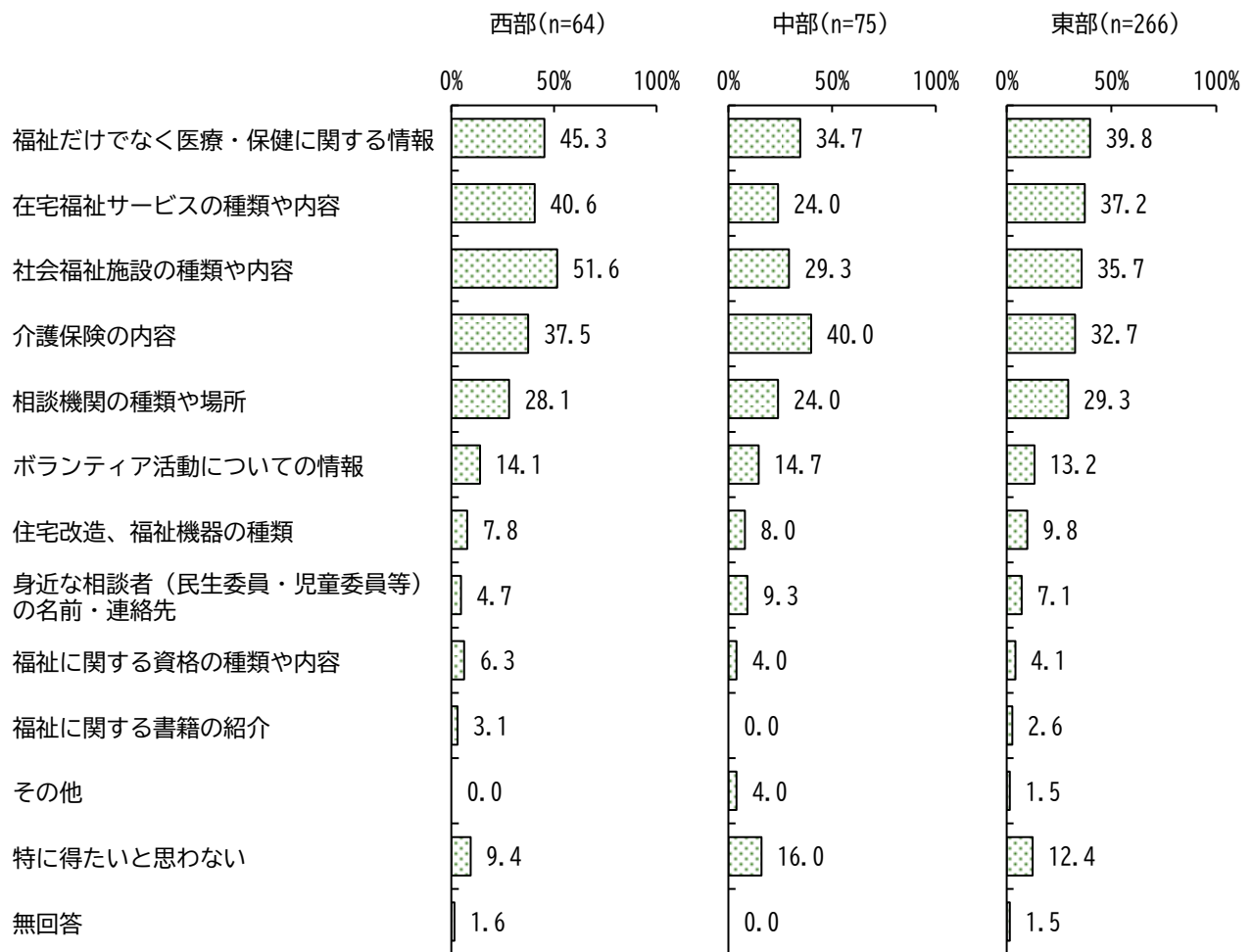




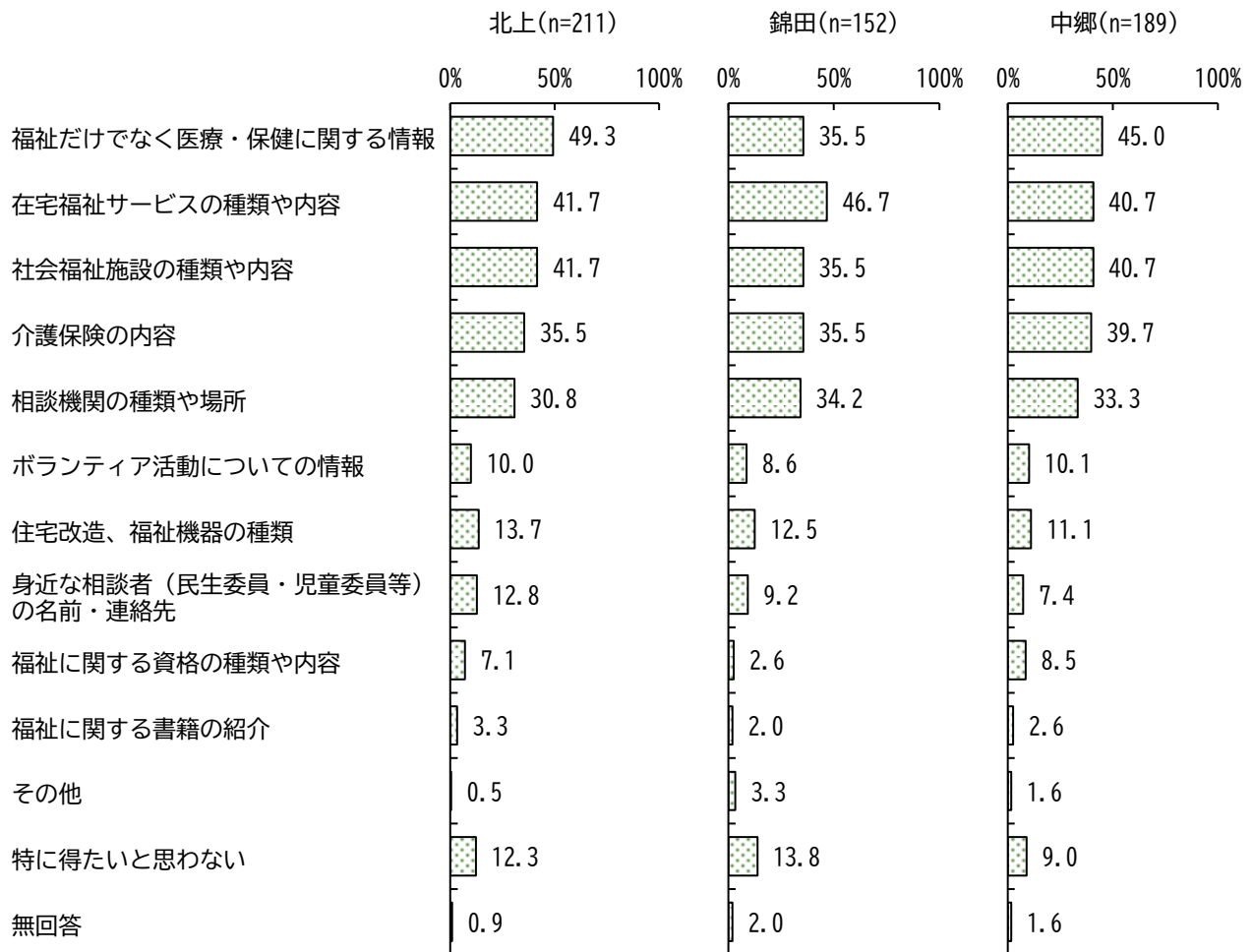




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



福祉について得たいと思う情報・知識では、「福祉だけでなく医療・保健に関する情報」が42.1%と最も多く、次いで「在宅福祉サービスの種類や内容」が39.3%、「社会福祉施設の種類や内容」が38.4%などとなっています。

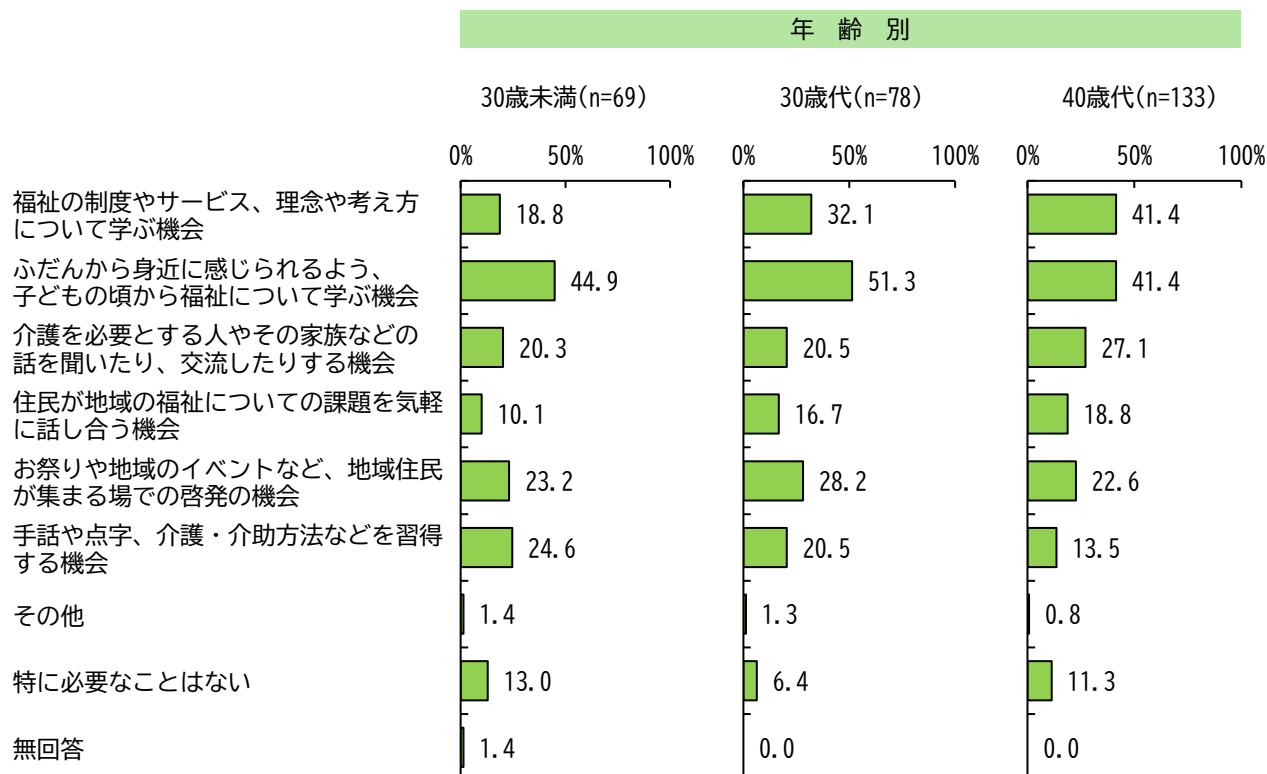
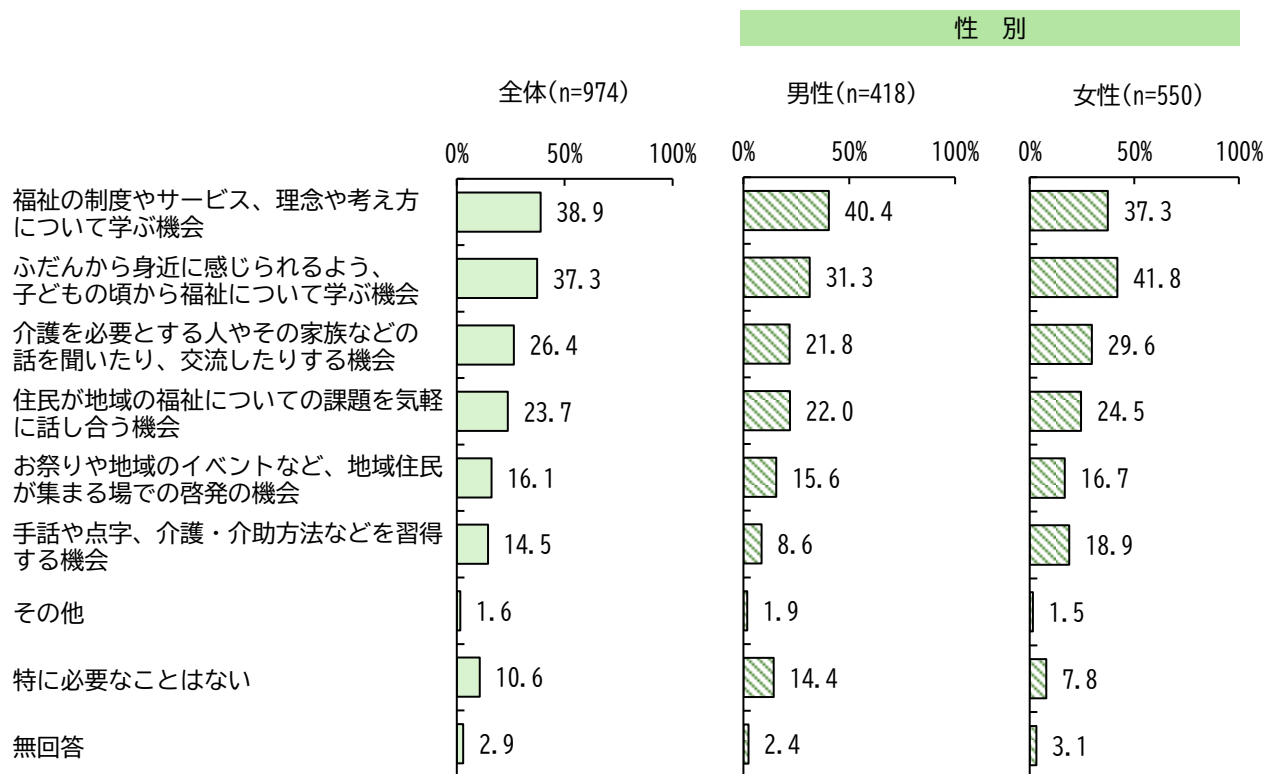
性別でみると、“男性”は「社会福祉施設の種類や内容」が39.7%と最も多くなっています。

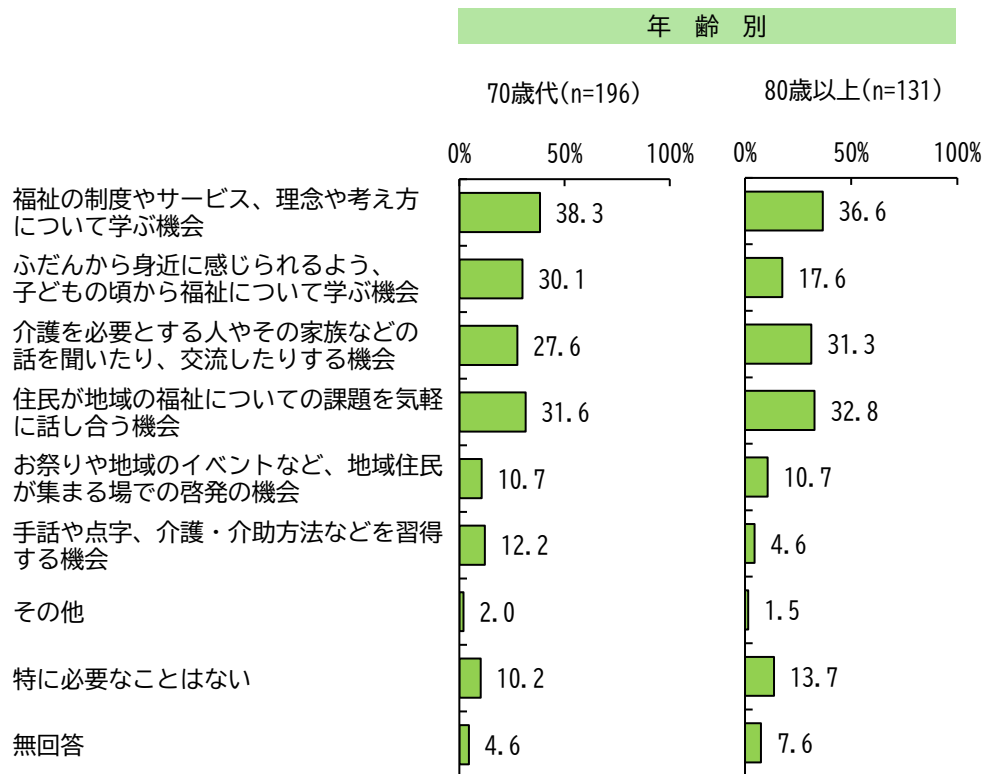
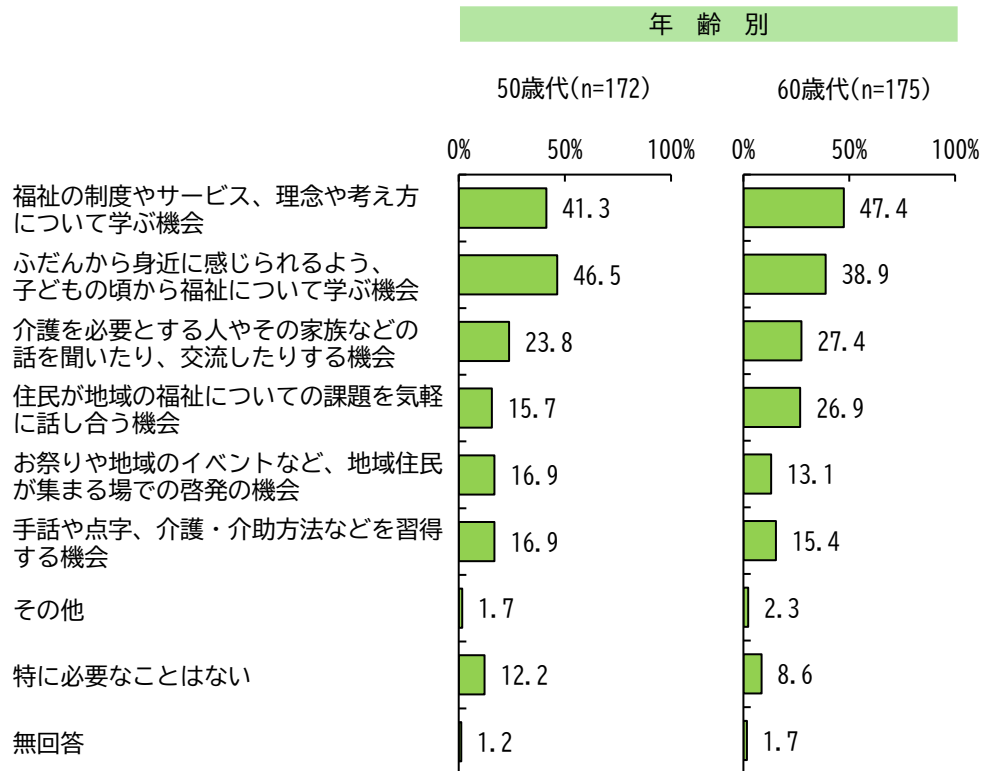
年齢別でみると、“50歳代”は「介護保険の内容」が44.2%と最も多くなっています。“70歳代”と“80歳以上”は「在宅福祉サービスの種類や内容」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、“西部”は「社会福祉施設の種類や内容」が51.6%と最も多くなっています。“中部”は「介護保険の内容」が40.0%と最も多くなっています。“錦田”は「在宅福祉サービスの種類や内容」が46.7%と最も多くなっています。

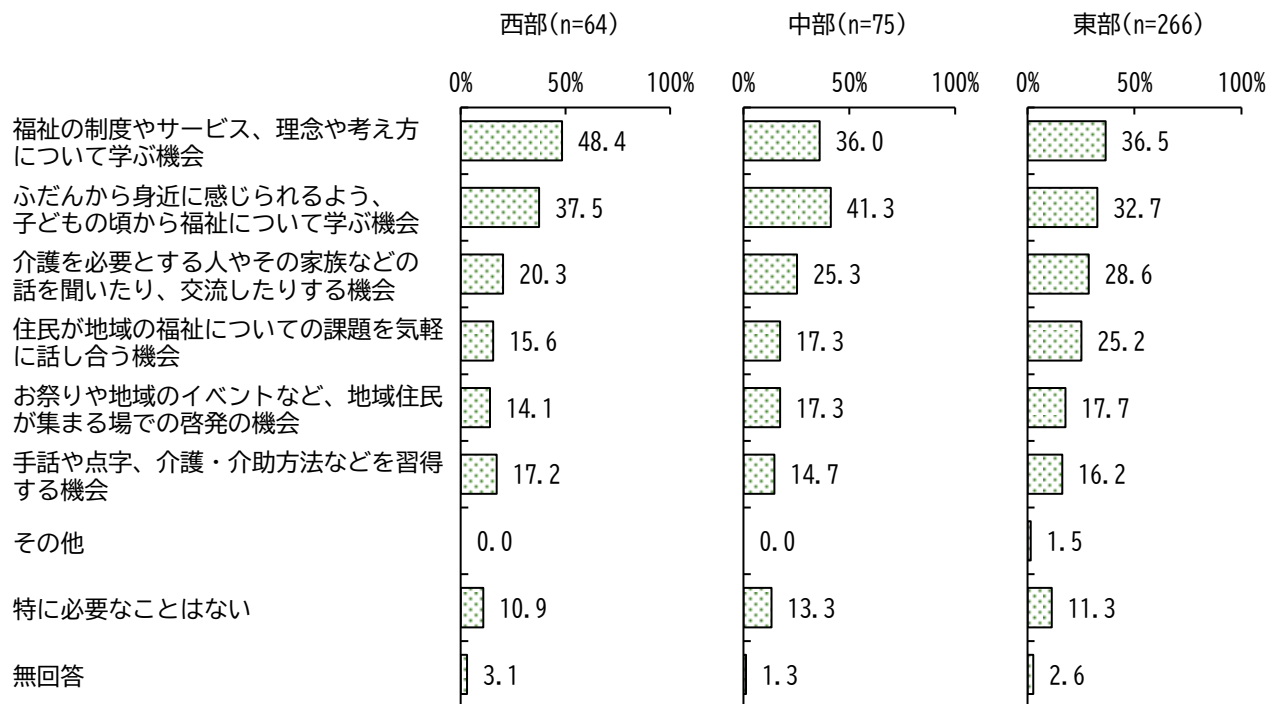
⑤福祉についての理解を深めるために必要だと思う機会

問12 あなたは「福祉」について理解を深めるために、どのような機会が必要だと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

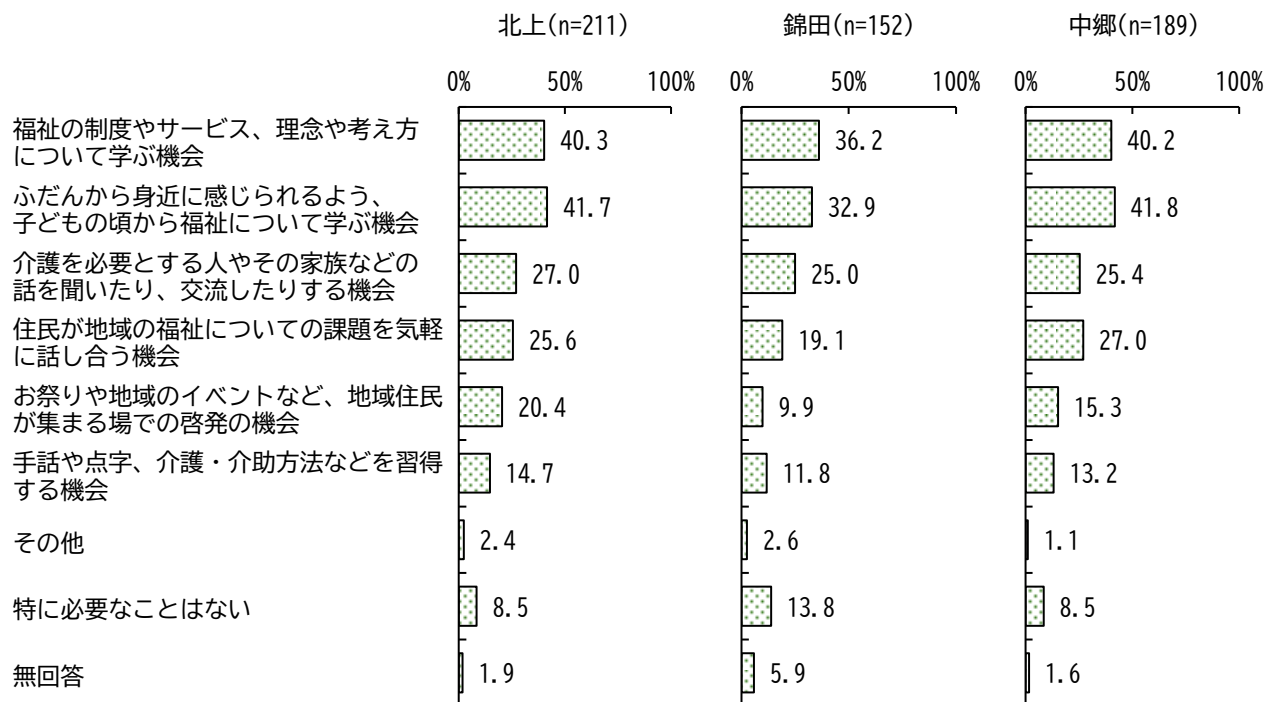




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



福祉についての理解を深めるために必要だと思う機会では、「福祉の制度やサービス、理念や考え方について学ぶ機会」が38.9%と最も多く、次いで「ふだんから身近に感じられるよう、子どもの頃から福祉について学ぶ機会」が37.3%、「介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりする機会」が26.4%などとなっています。

性別でみると、“女性”は「ふだんから身近に感じられるよう、子どもの頃から福祉について学ぶ機会」が41.8%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“30歳未満”、“30歳代”、“50歳代”は「ふだんから身近に感じられるよう、子どもの頃から福祉について学ぶ機会」が最も多くなっています。

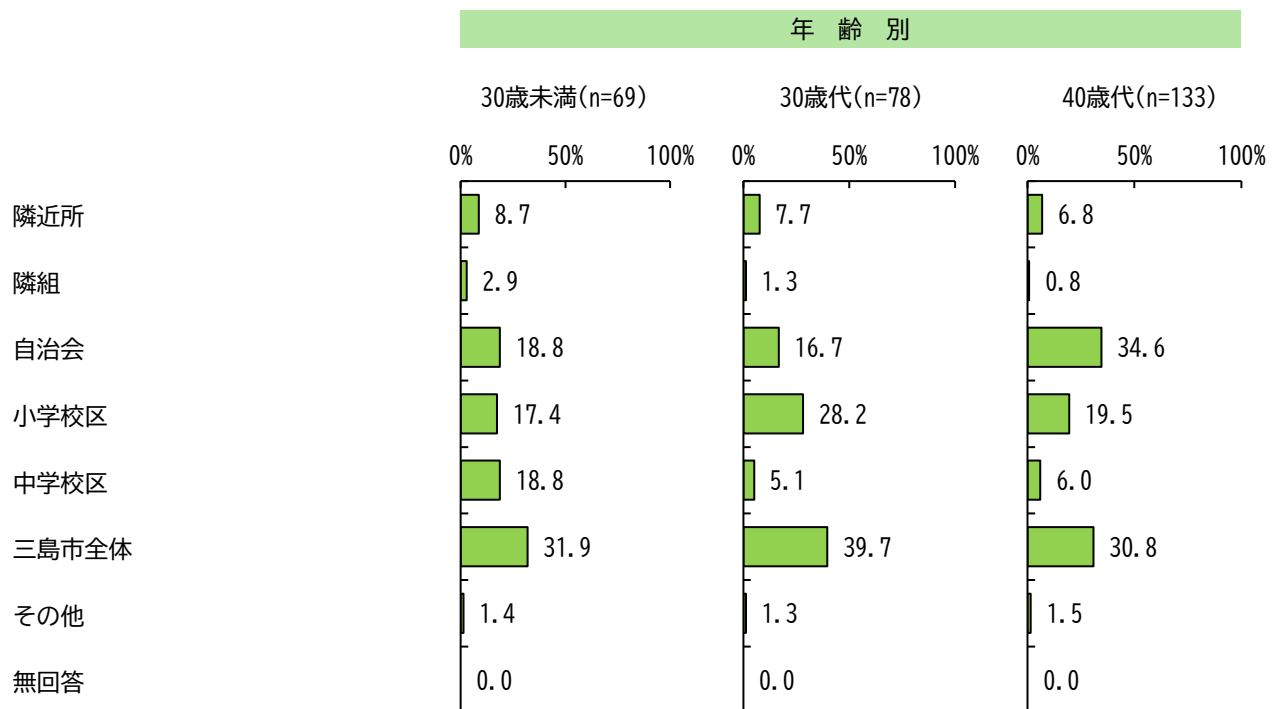
居住地区別でみると、“中部”、“北上”、“中郷”は「ふだんから身近に感じられるよう、子どもの頃から福祉について学ぶ機会」が最も多くなっています。

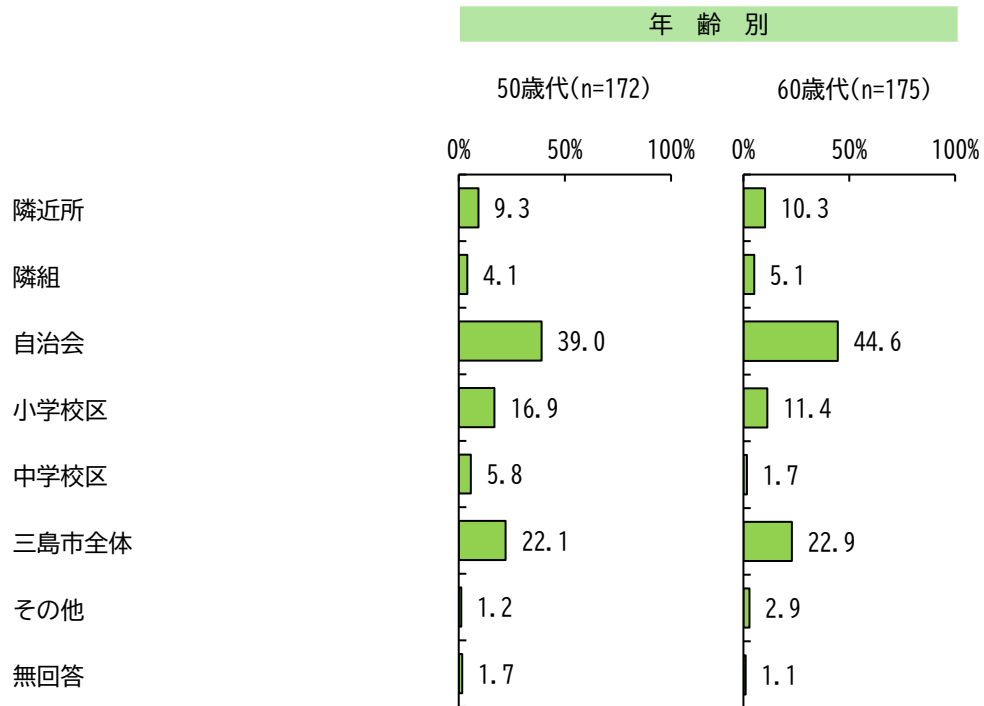
3. 地域生活に関することについて

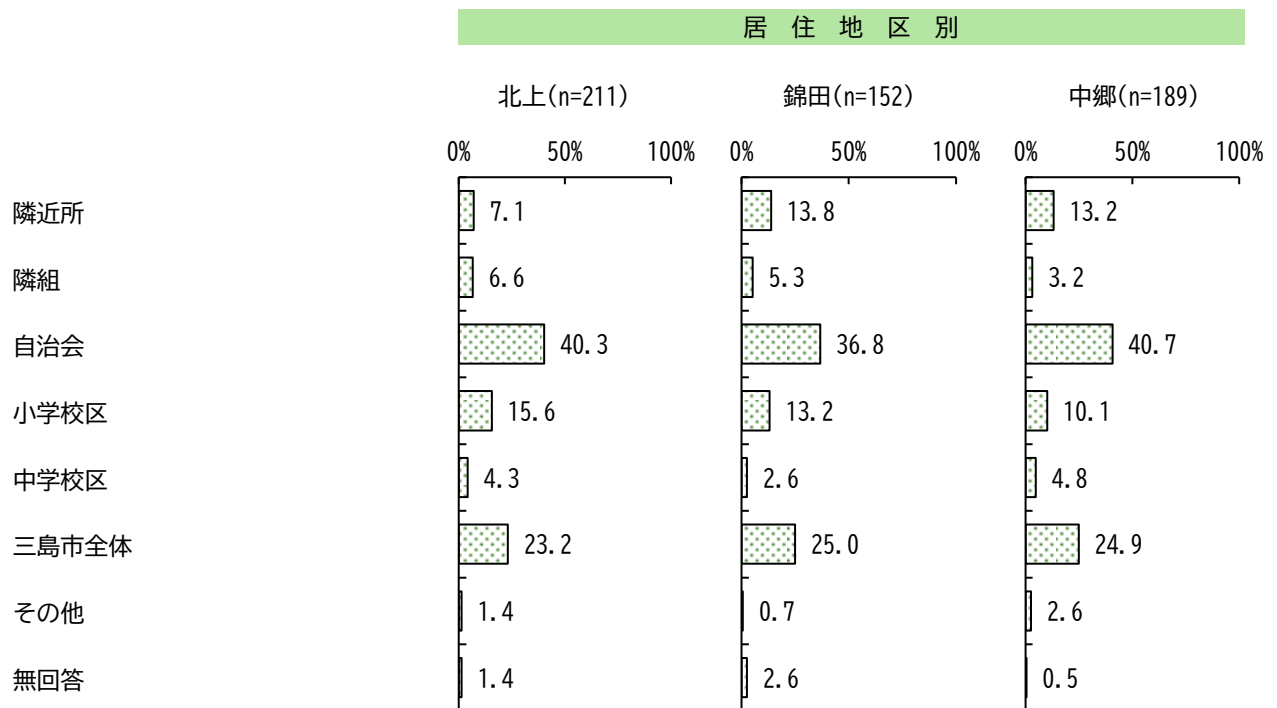
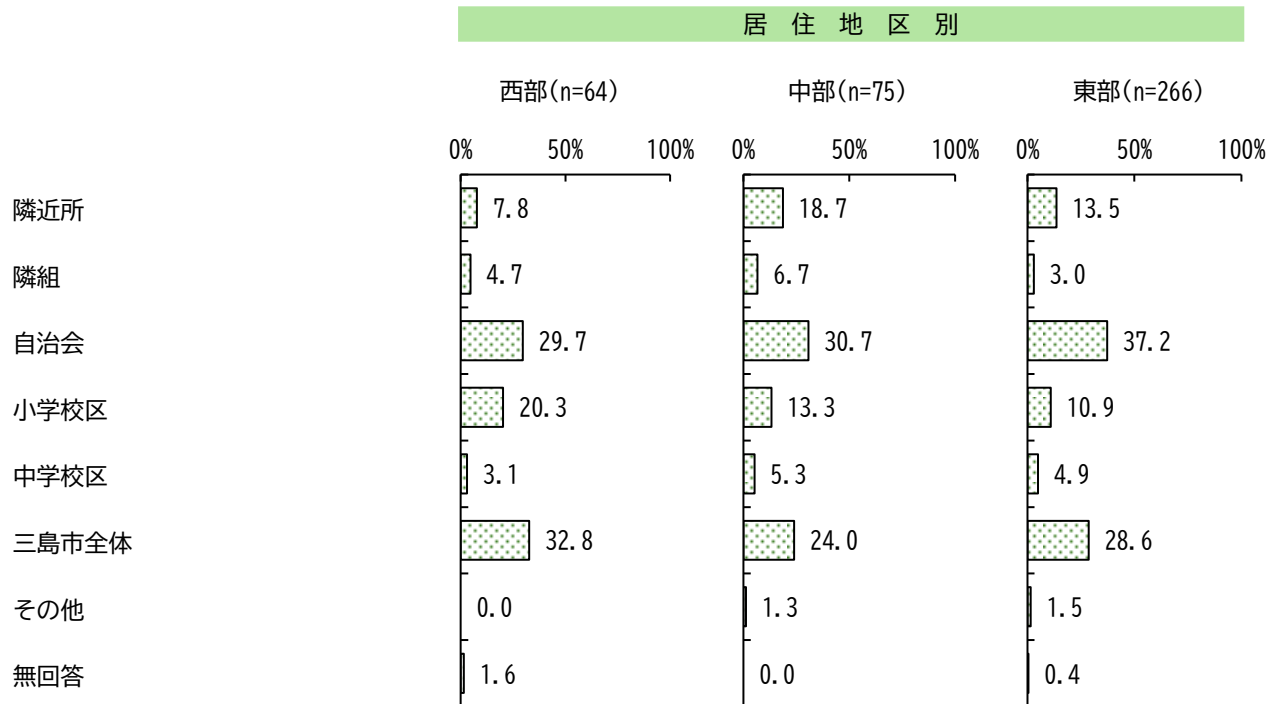
①地域だと考える範囲

問13 あなたが「地域」と考える範囲はどれですか。

(○は1つだけ)







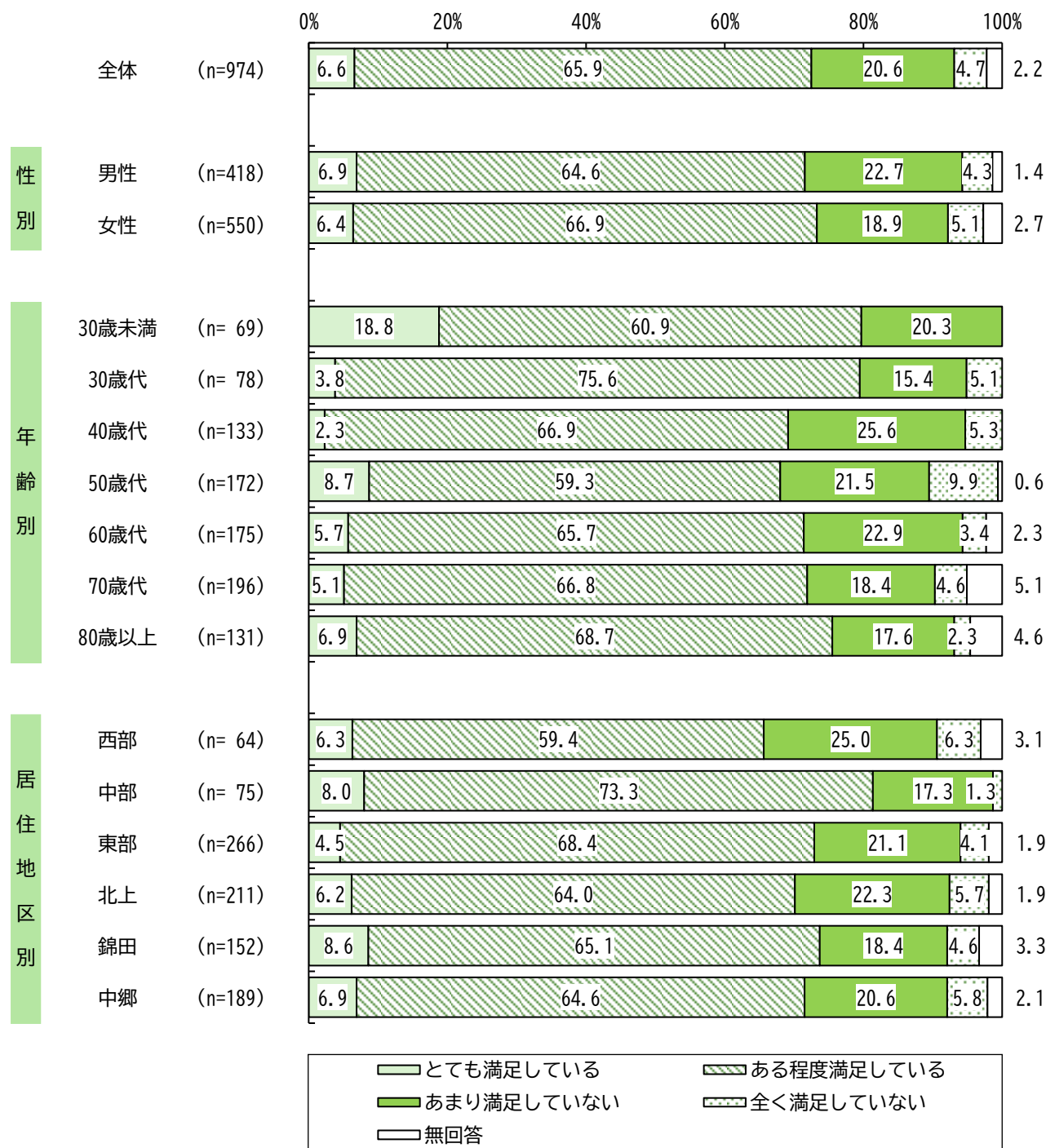
地域だと考える範囲では、「自治会」が37.5%と最も多く、次いで「三島市全体」が26.2%、「小学校区」が12.8%などとなっています。

年齢別でみると、“30歳未満”と“30歳代”は「三島市全体」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、“西部”は「三島市全体」が32.8%と最も多くなっています。

②地域の人々とのつながりの満足度

問14 あなたは、地域の人々のつながりに満足していますか。(○は1つだけ)



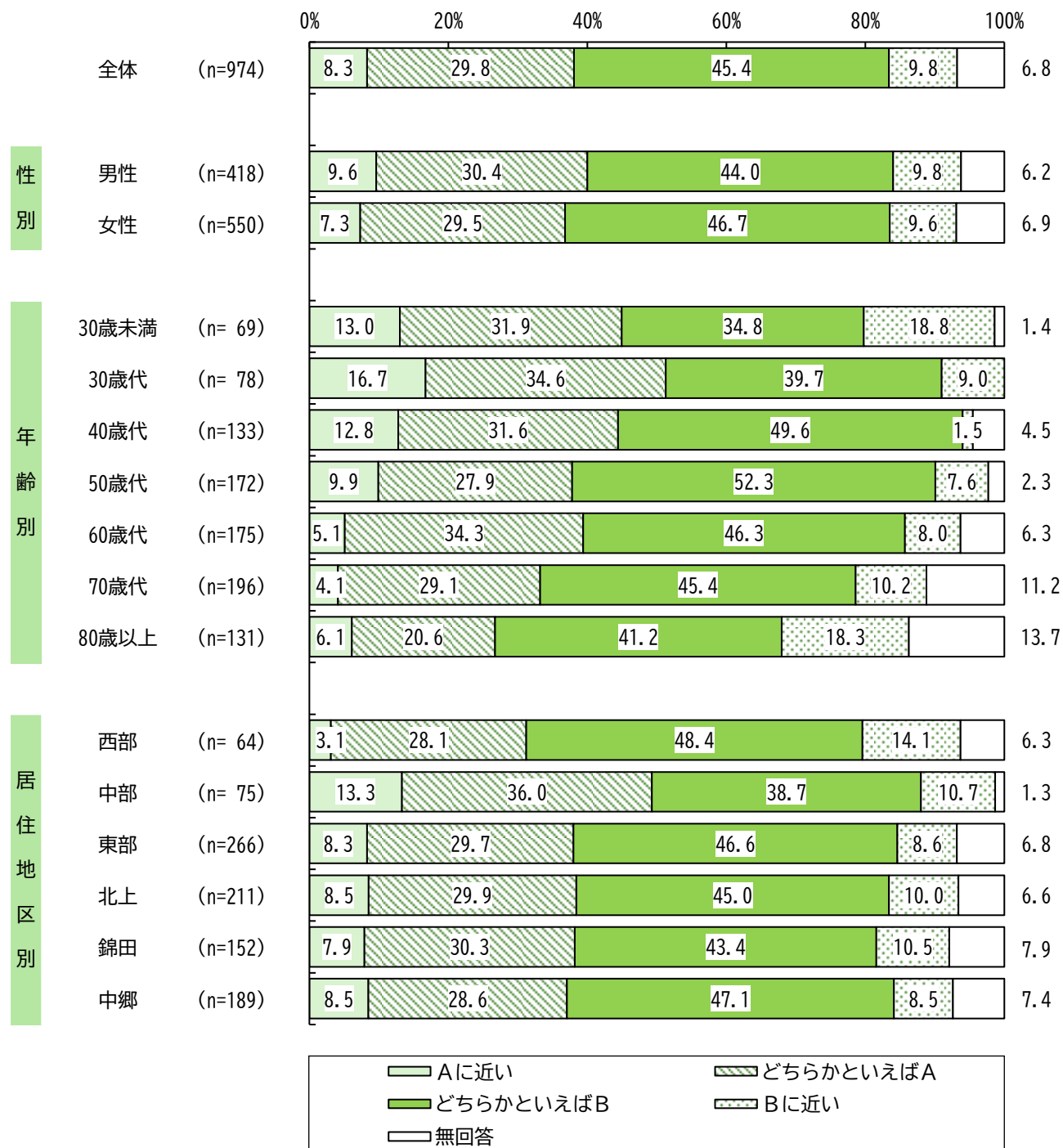
地域の人々とのつながりの満足度では、「とても満足している」が6.6%、「ある程度満足している」が65.9%、「あまり満足していない」が20.6%、「全く満足していない」が4.7%となっています。

③求めている地域とのつながりの程度

問15 あなたが求める地域とのつながりはどの程度のものですか。 (○は1つだけ)

A：つながりはなくても構わない

B：生活を助けあうほどのつながり

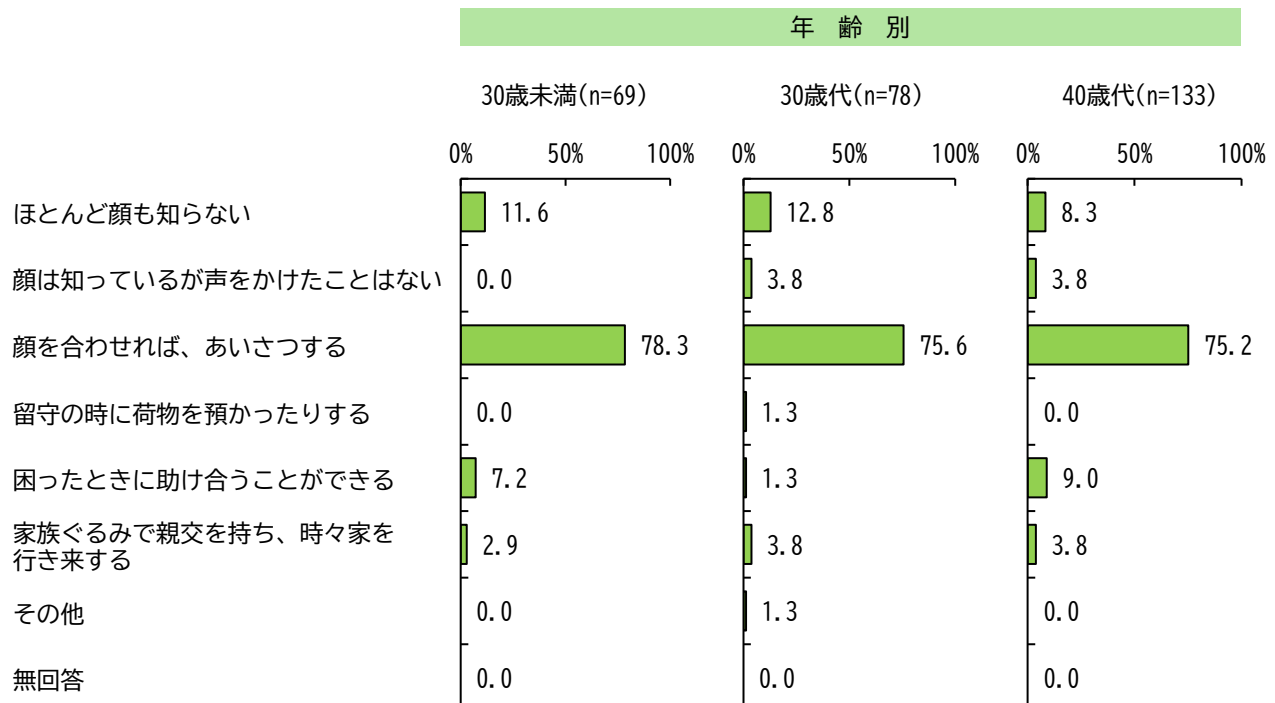
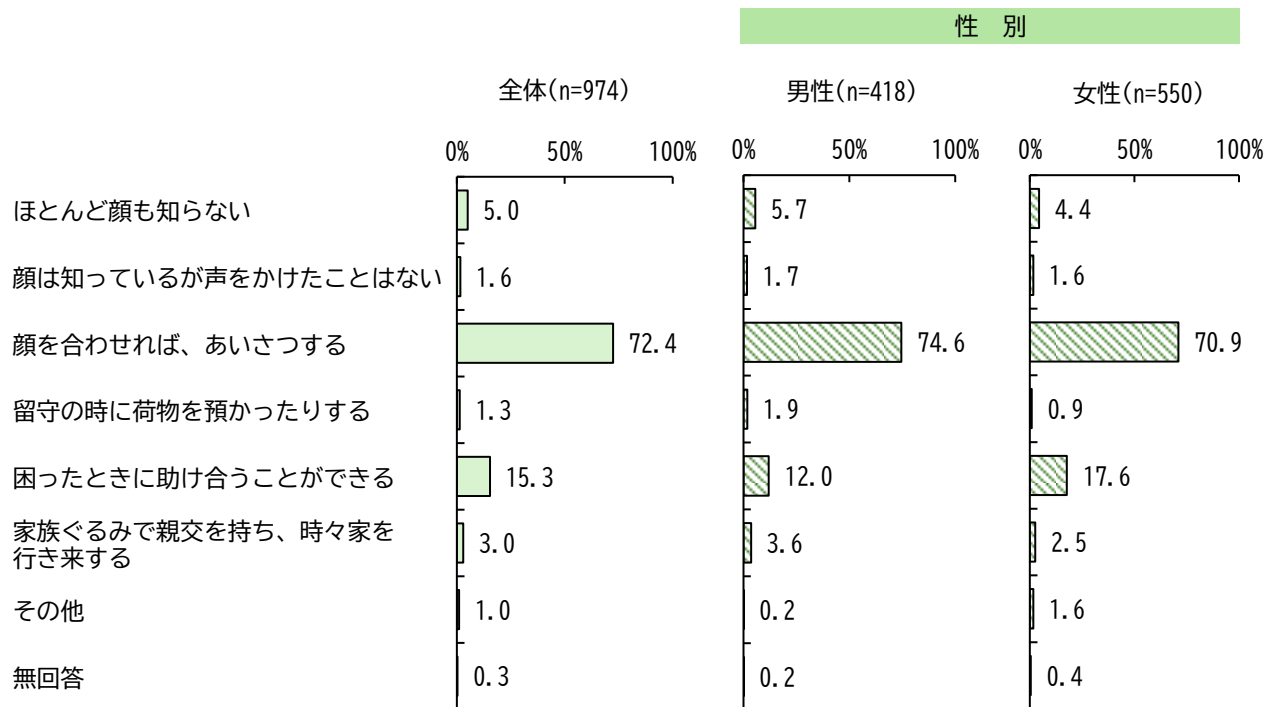


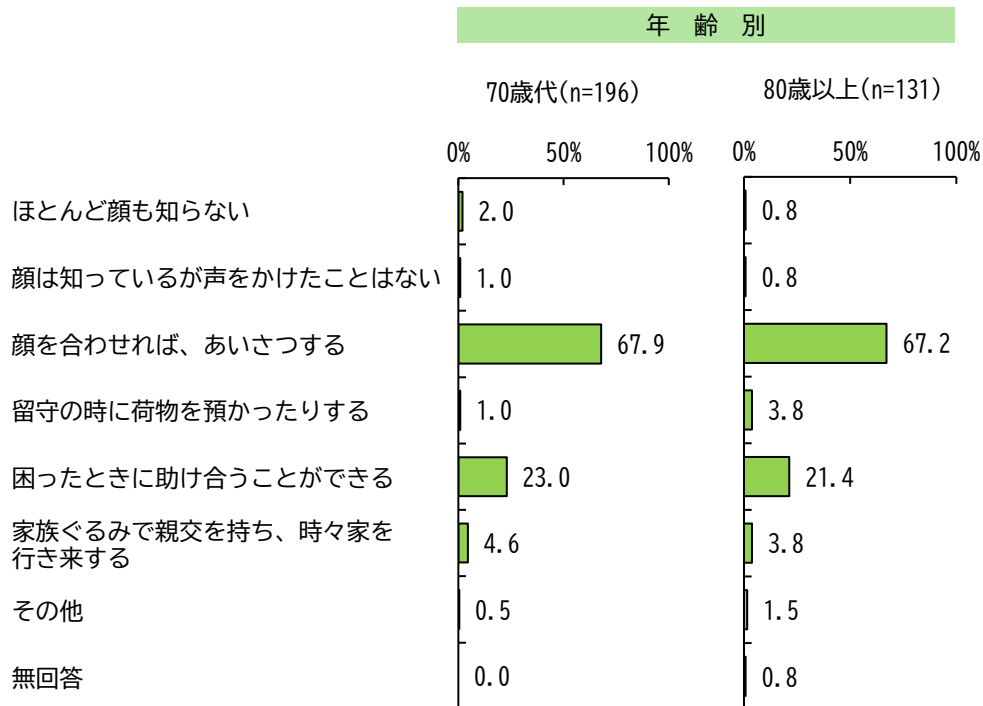
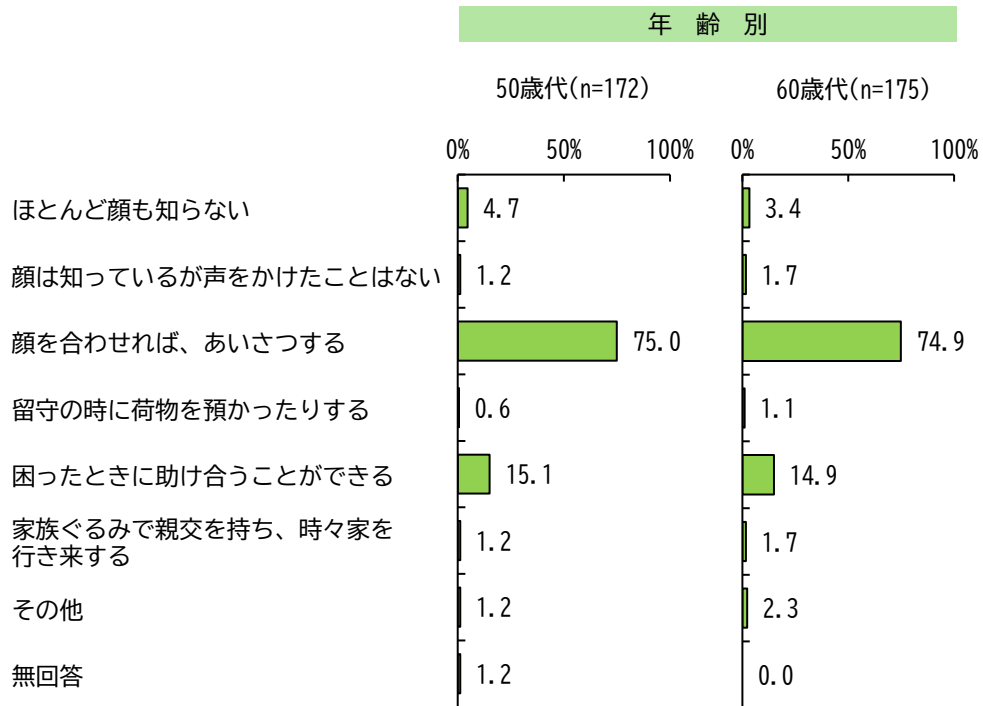
求めている地域とのつながりの程度では、「Aに近い」が8.3%、「どちらかといえばA」が29.8%、「どちらかといえばB」が45.4%、「Bに近い」が9.8%となっています。

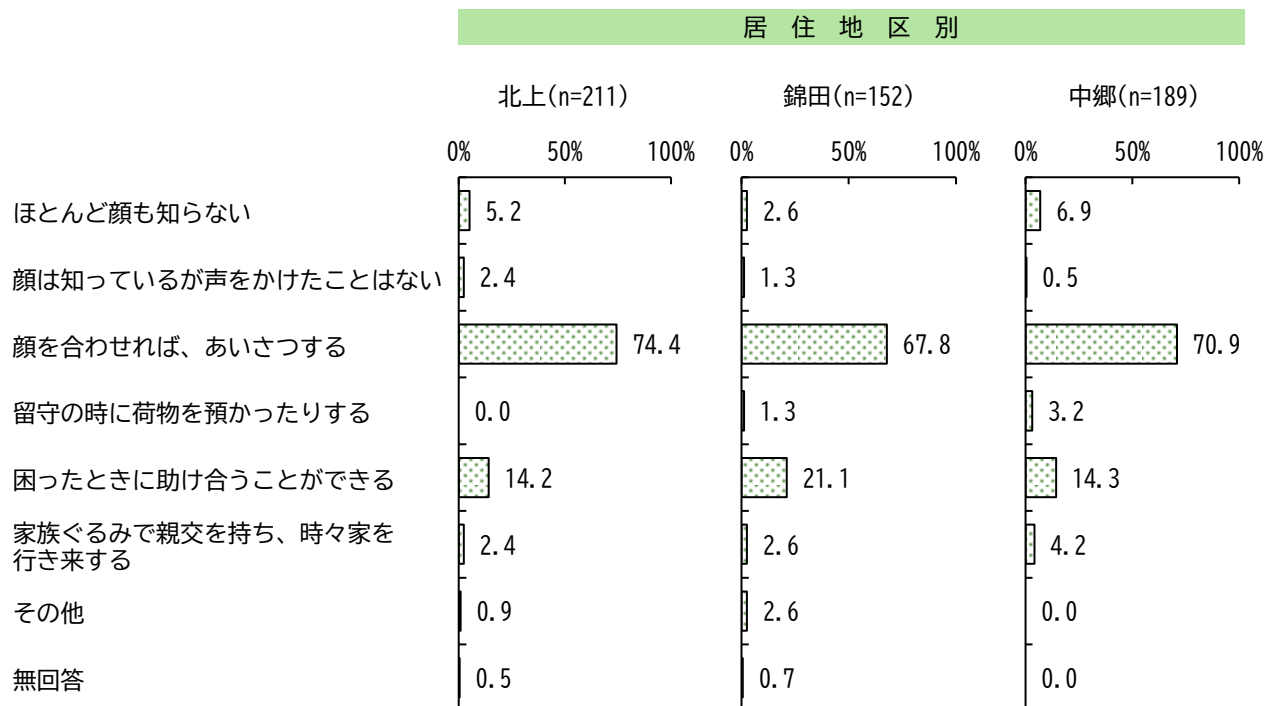
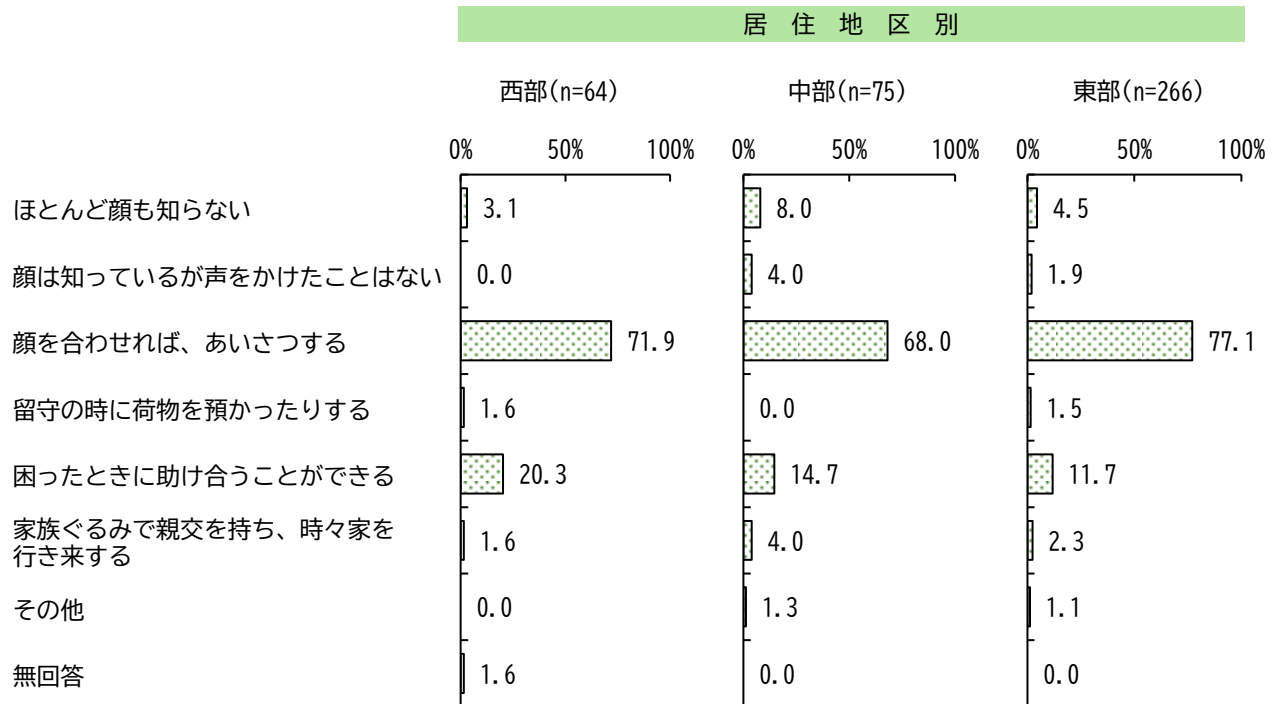
④ご近所の方との付き合いの程度

問16 あなたは、普段ご近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか。

(○は1つだけ)



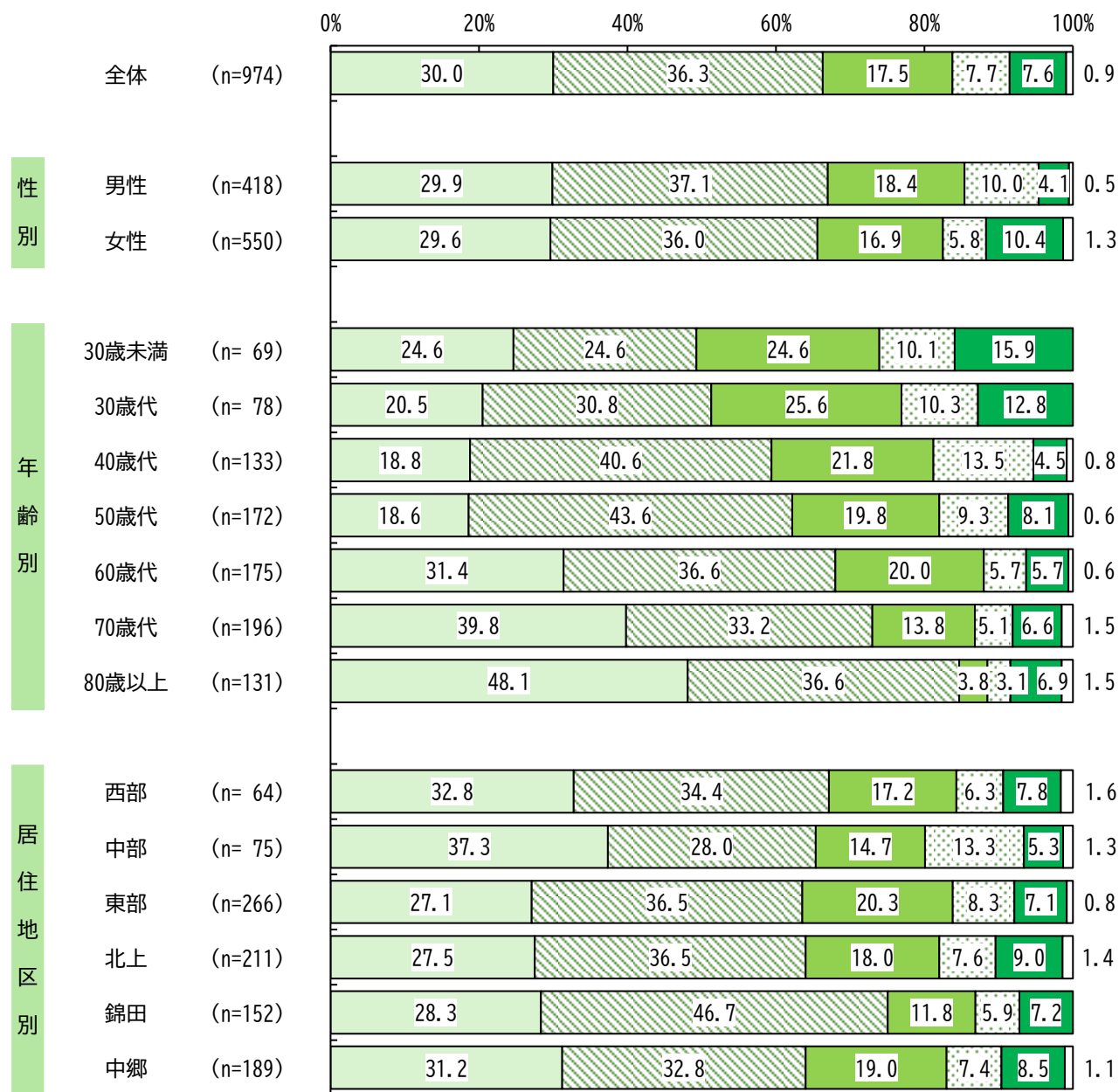




ご近所の方との付き合いの程度では、「顔を合わせれば、あいさつする」が72.4%と最も多く、次いで「困ったときに助け合うことができる」が15.3%、「ほとんど顔も知らない」が5.0%などとなっています。

⑤近所付き合いの考え方

問17 あなたの近所付き合いの考え方は、次のどれに近いですか。（○は1つだけ）



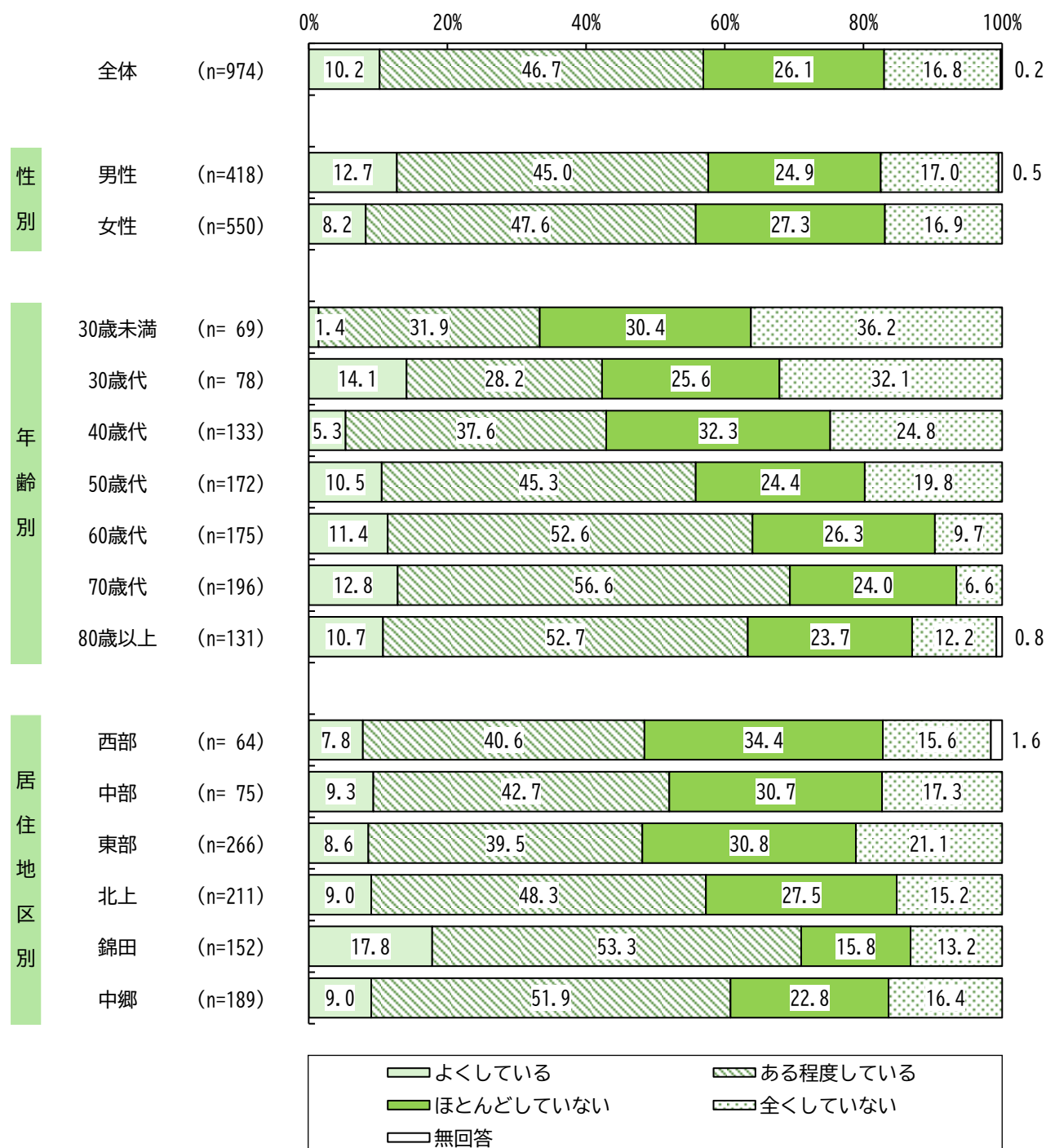
- 近所に住むもの同士が、親しく相談したり、助け合ったりするのは当然である
- 近所付き合いはわずらわしいが、日常生活に便利なので必要である
- 近所付き合いはわずらわしいことが多いのであまりしたくない
- 近所付き合いはなくても困らないので、必要がない
- わからない
- 無回答

近所付き合いの考え方では、「近所付き合いはわずらわしいが、日常生活に便利なので必要である」が36.3%と最も多く、次いで「近所に住むもの同士が、親しく相談したり、助け合ったりするのは当然である」が30.0%、「近所付き合いはわずらわしいことが多いのであまりしたくない」が17.5%などとなっています。

⑥地域内の行事や自治会活動への参加・協力

問18 あなたは現在、地域内の行事や自治会活動に参加・協力していますか。

(○は1つだけ)



地域内の行事や自治会活動への参加・協力では、「よくしている」が10.2%、「ある程度している」が46.7%、「ほとんどしていない」が26.1%、「全くしていない」が16.8%となっています。

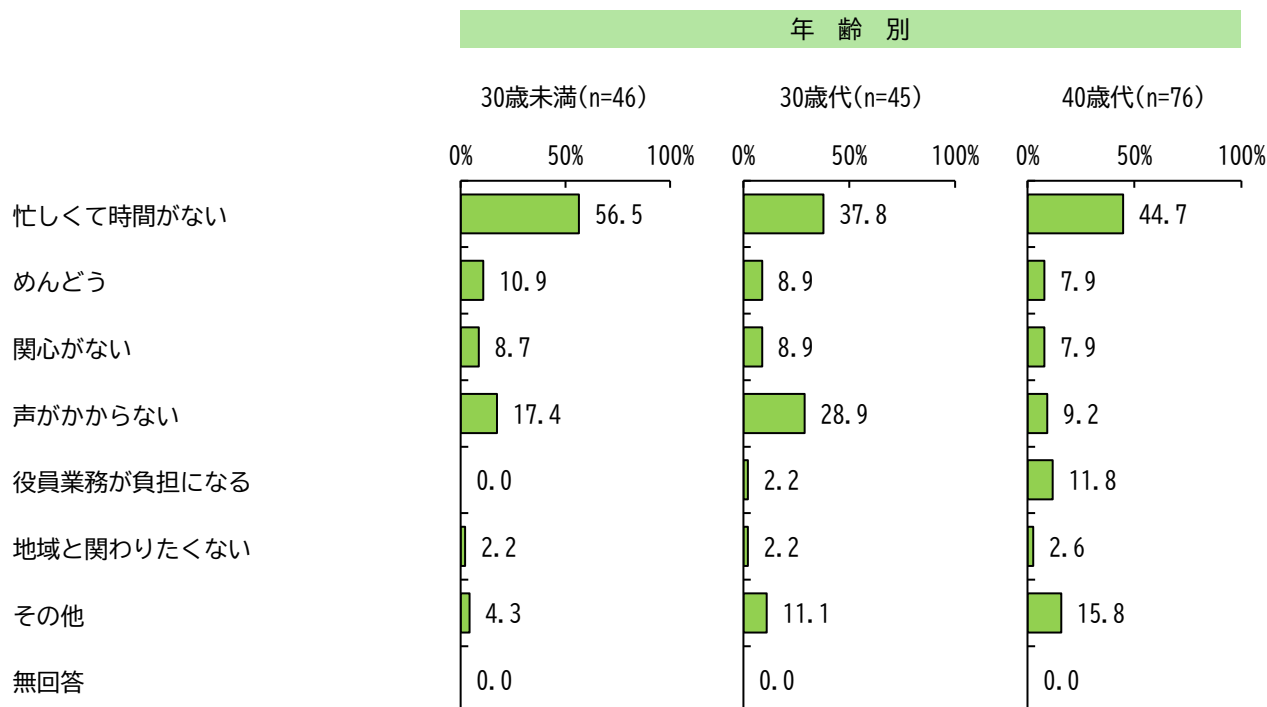
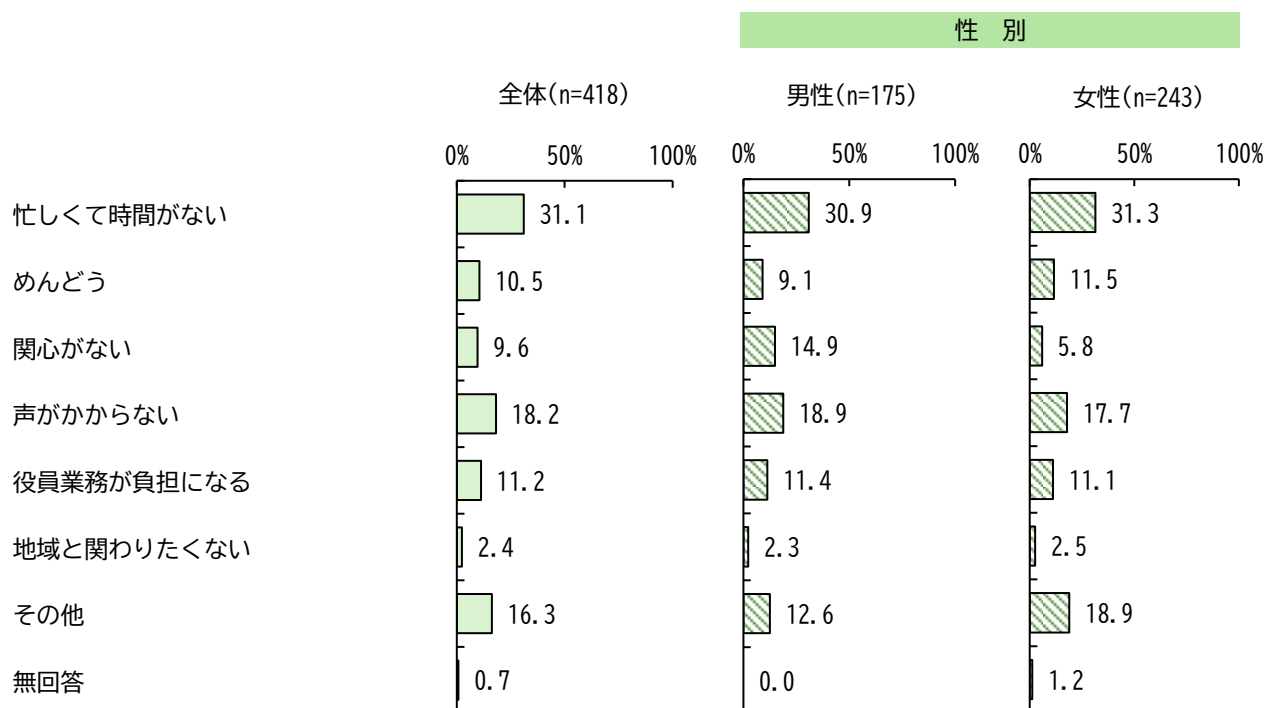
年齢別でみると、“30歳未満”と“30歳代”は「全くしていない」が最も多くなっています。

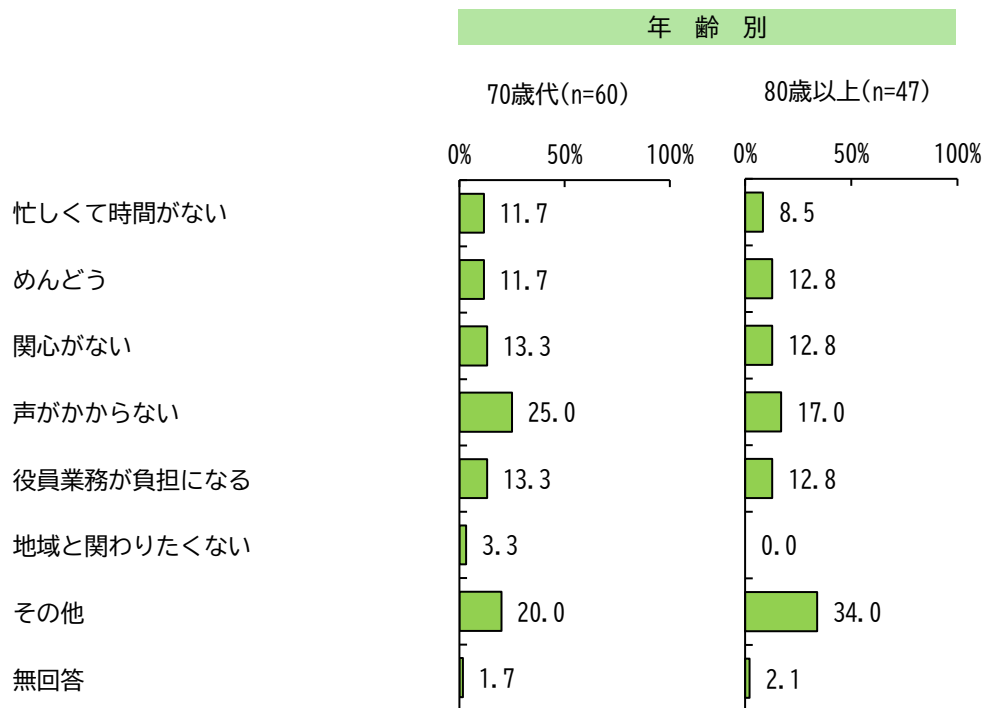
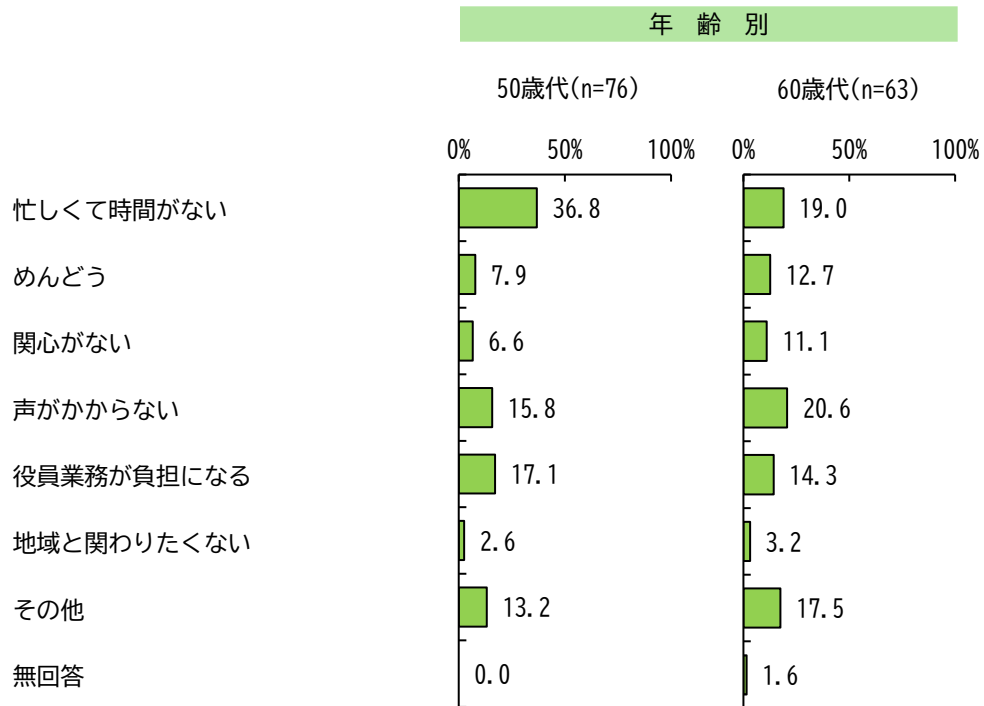
⑦地域内の行事や自治会活動への参加・協力をしていない理由

問18で「3 ほとんどしていない」「4 全くしていない」と回答した方にお聞きします。

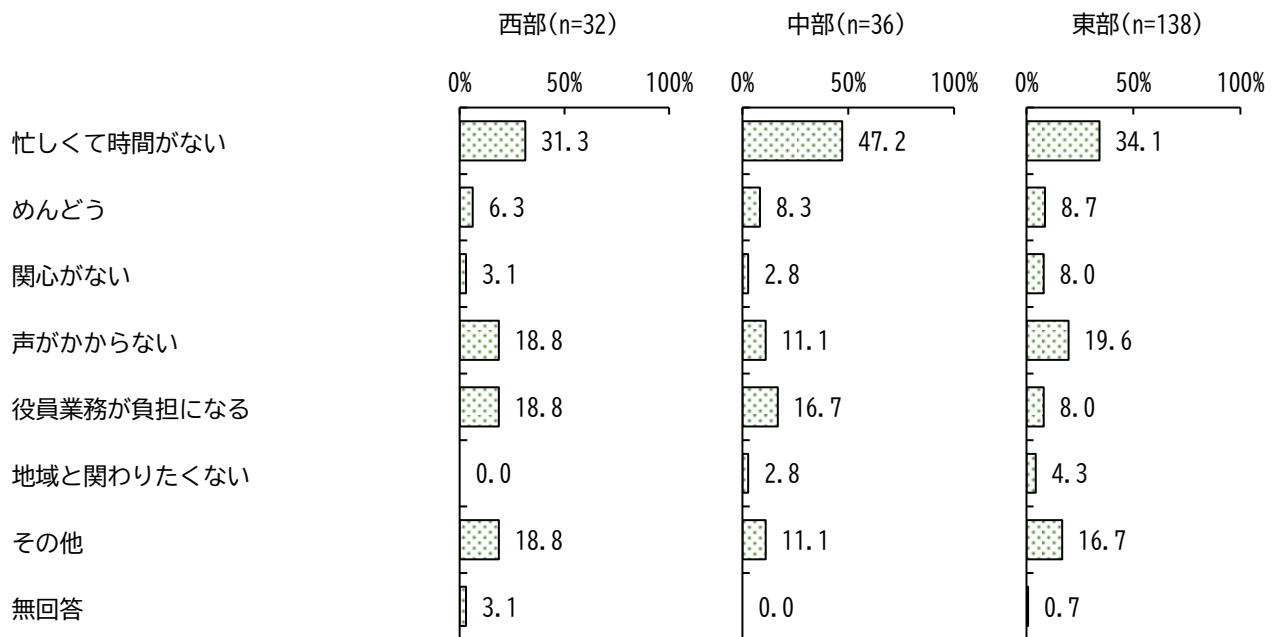
問18-1 その理由をお聞かせください。

(○は1つだけ)

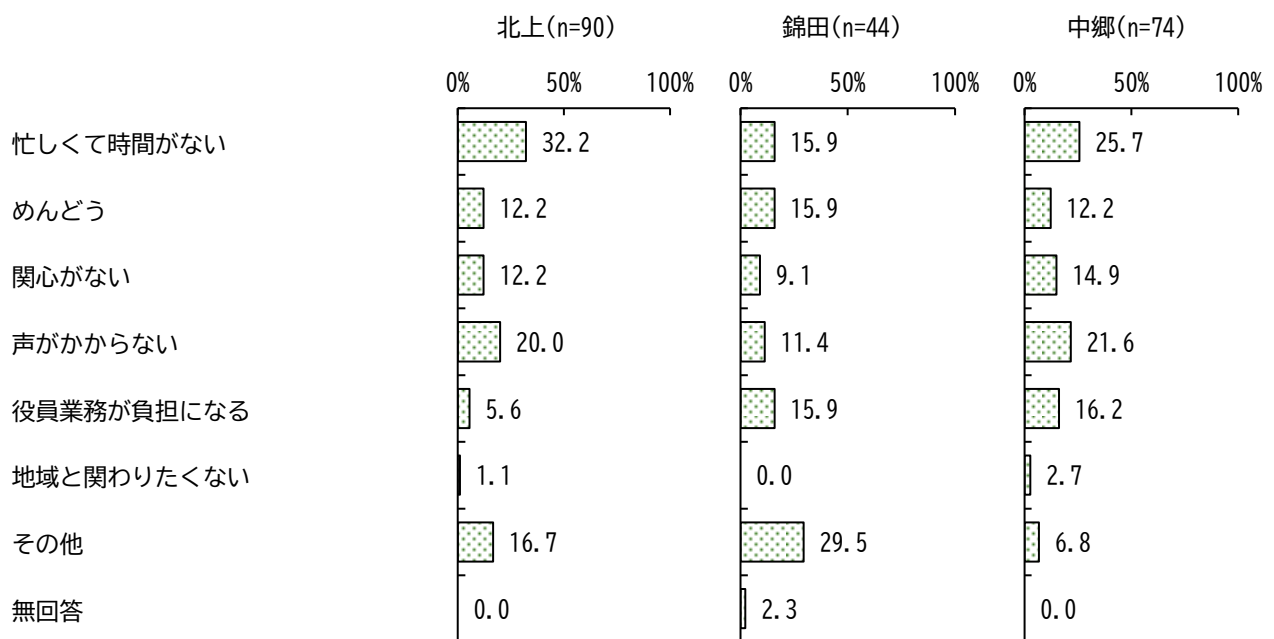




居 住 地 区 別



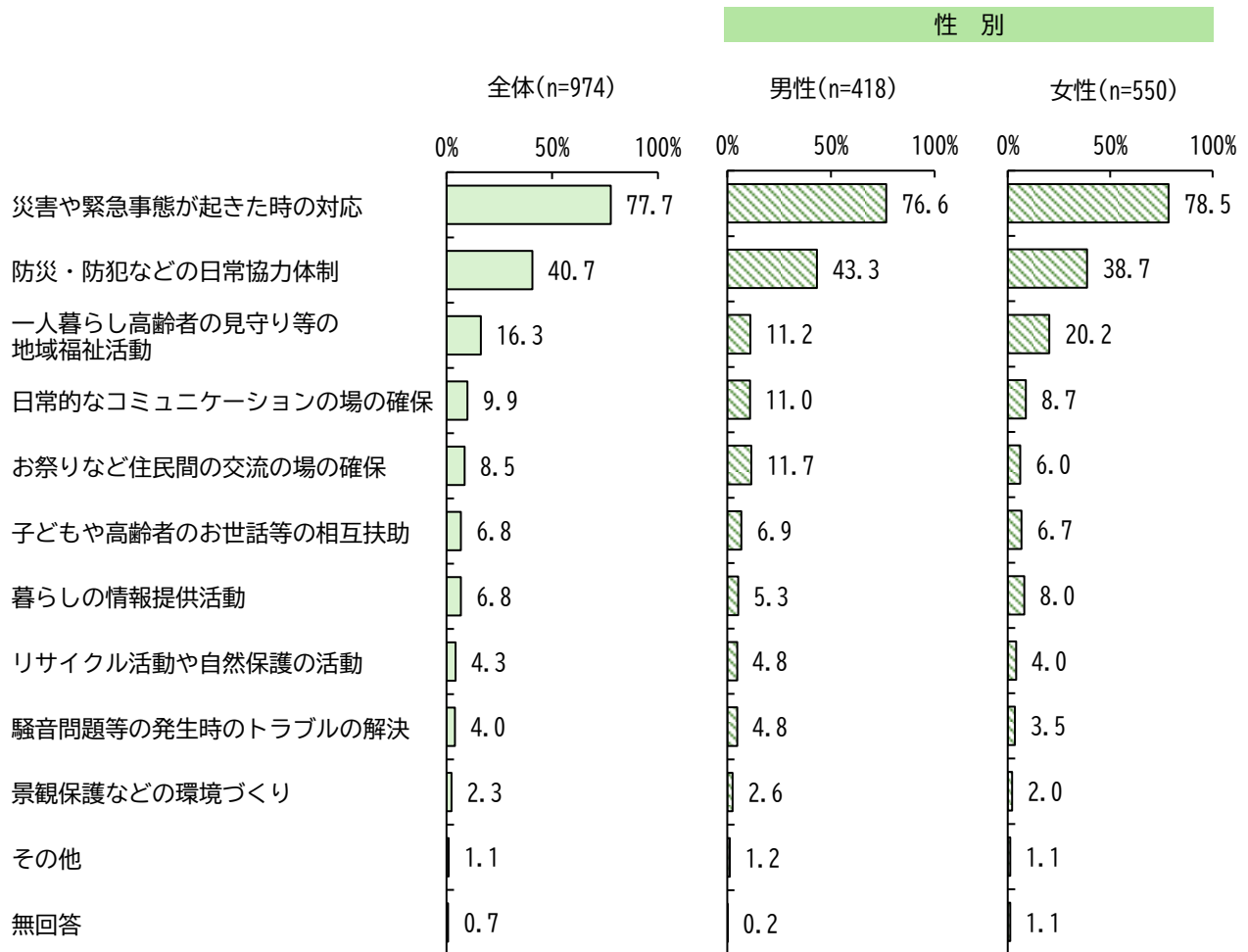
居 住 地 区 別

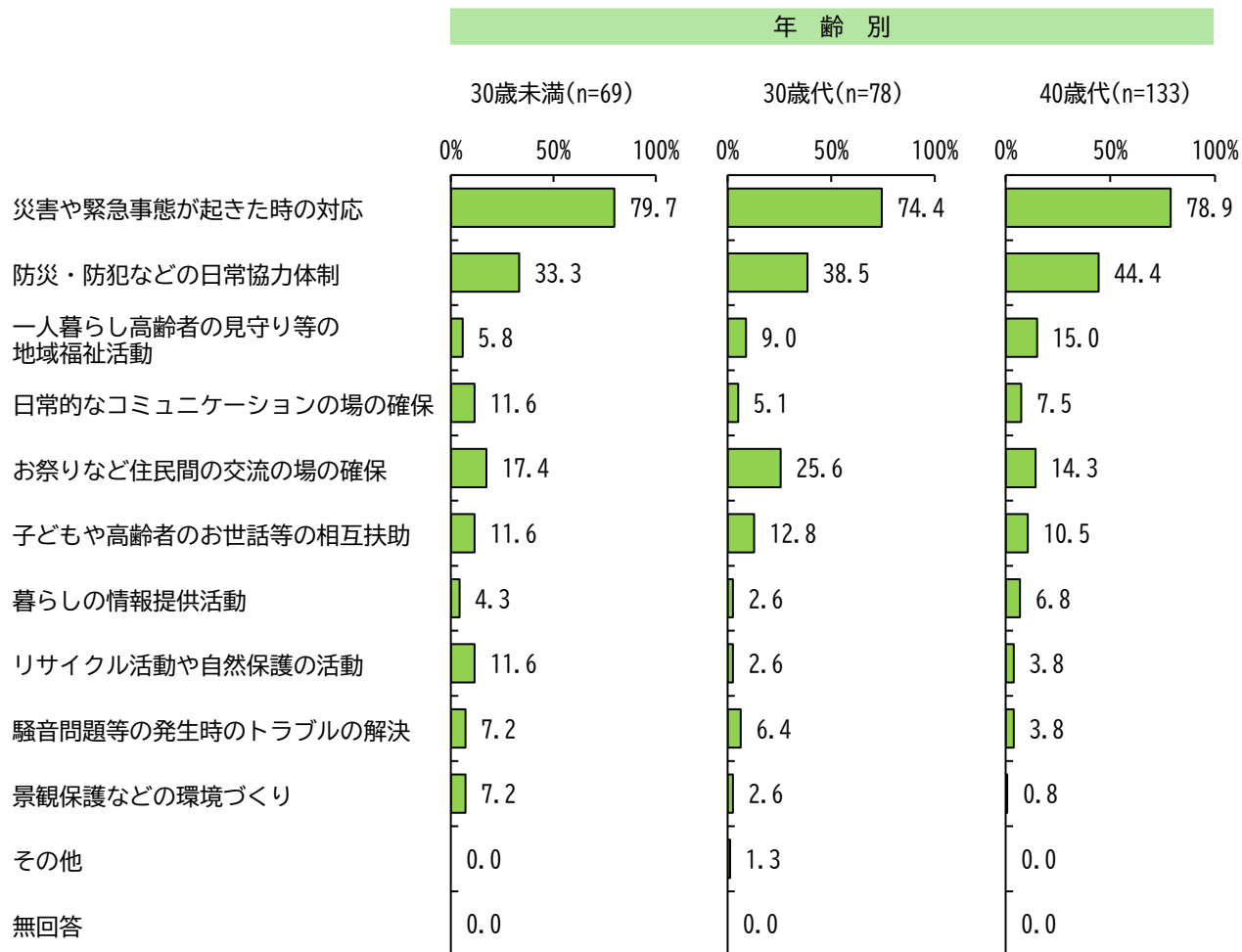


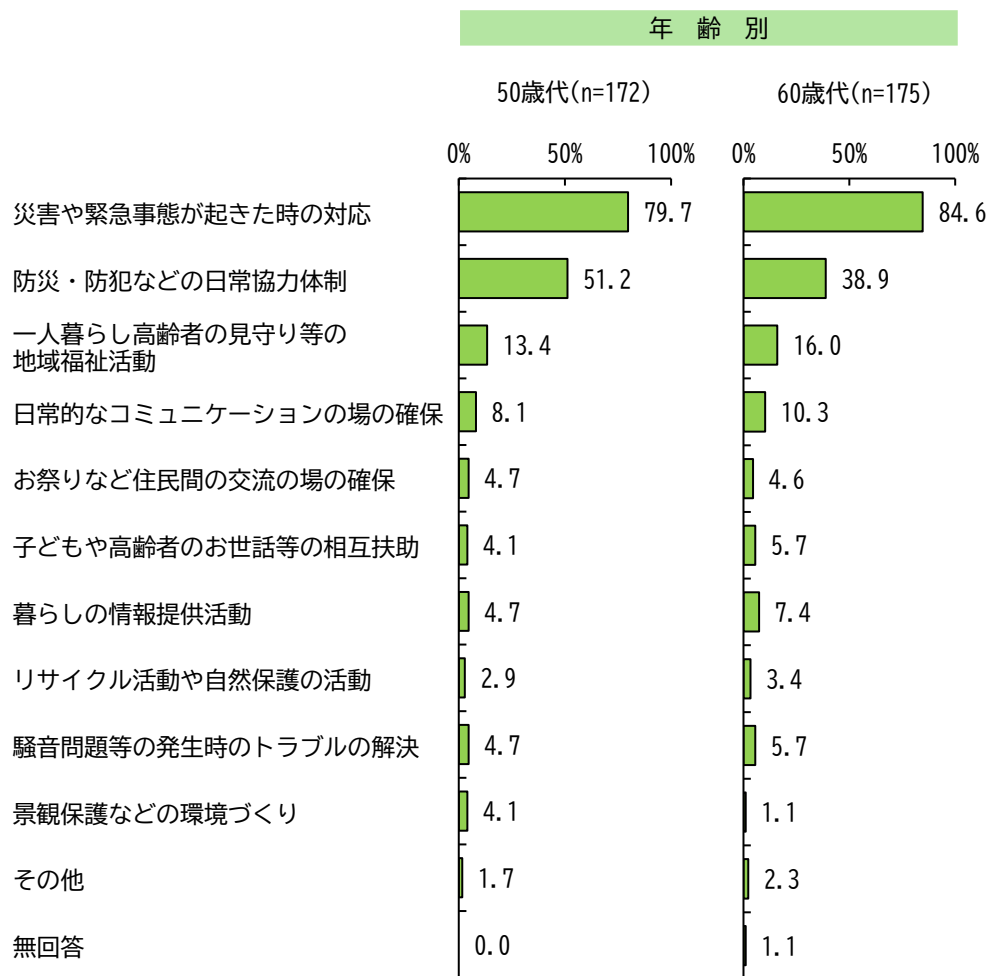
地域内の行事や自治会活動への参加・協力をしていない理由では、「忙しくて時間がない」が31.1%と最も多く、次いで「声がかからない」が18.2%、「役員業務が負担になる」が11.2%などとなっています。年齢別でみると、“60歳代”、“70歳代”、“80歳以上”は「声がかからない」が最も多くなっています。

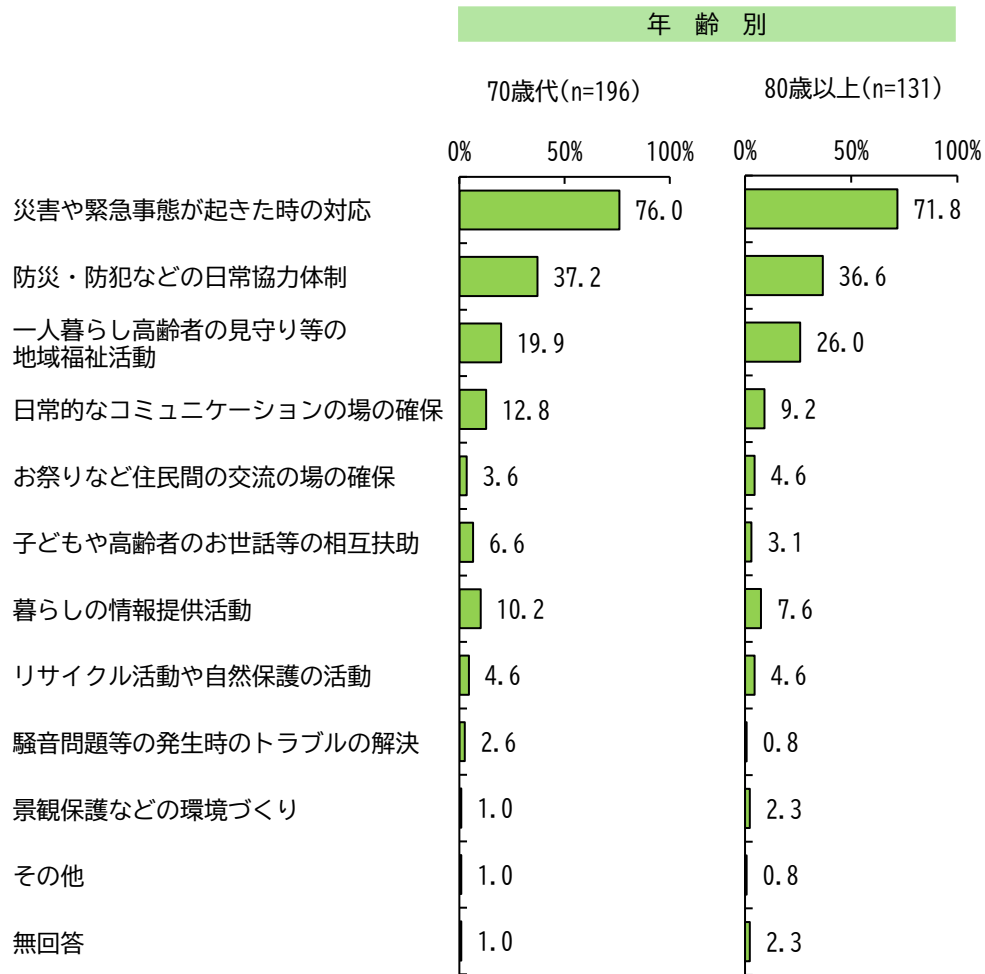
⑧地域社会の役割について期待すること

問19 あなたは地域社会の役割についてどのようなことを期待しますか。（○は2つまで）

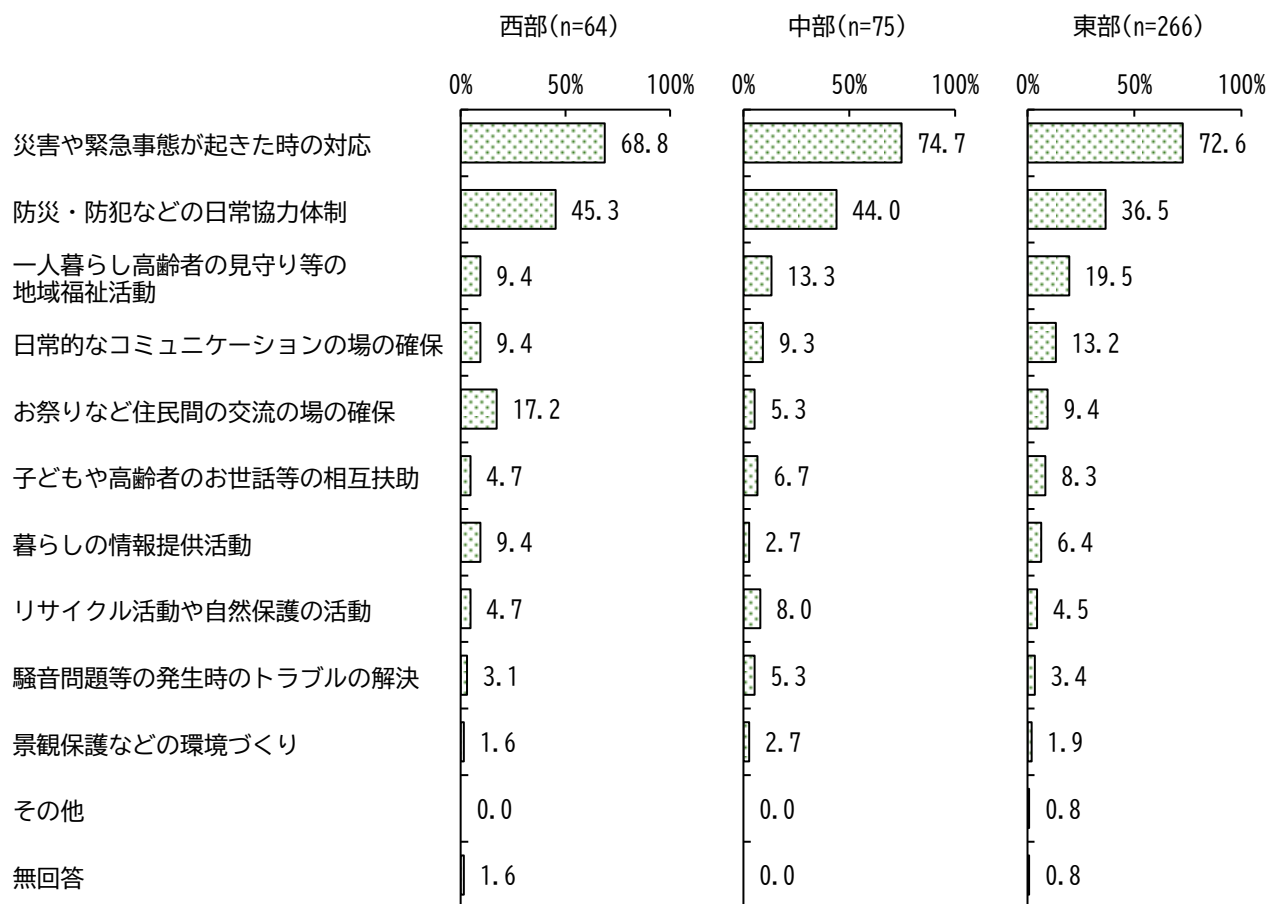




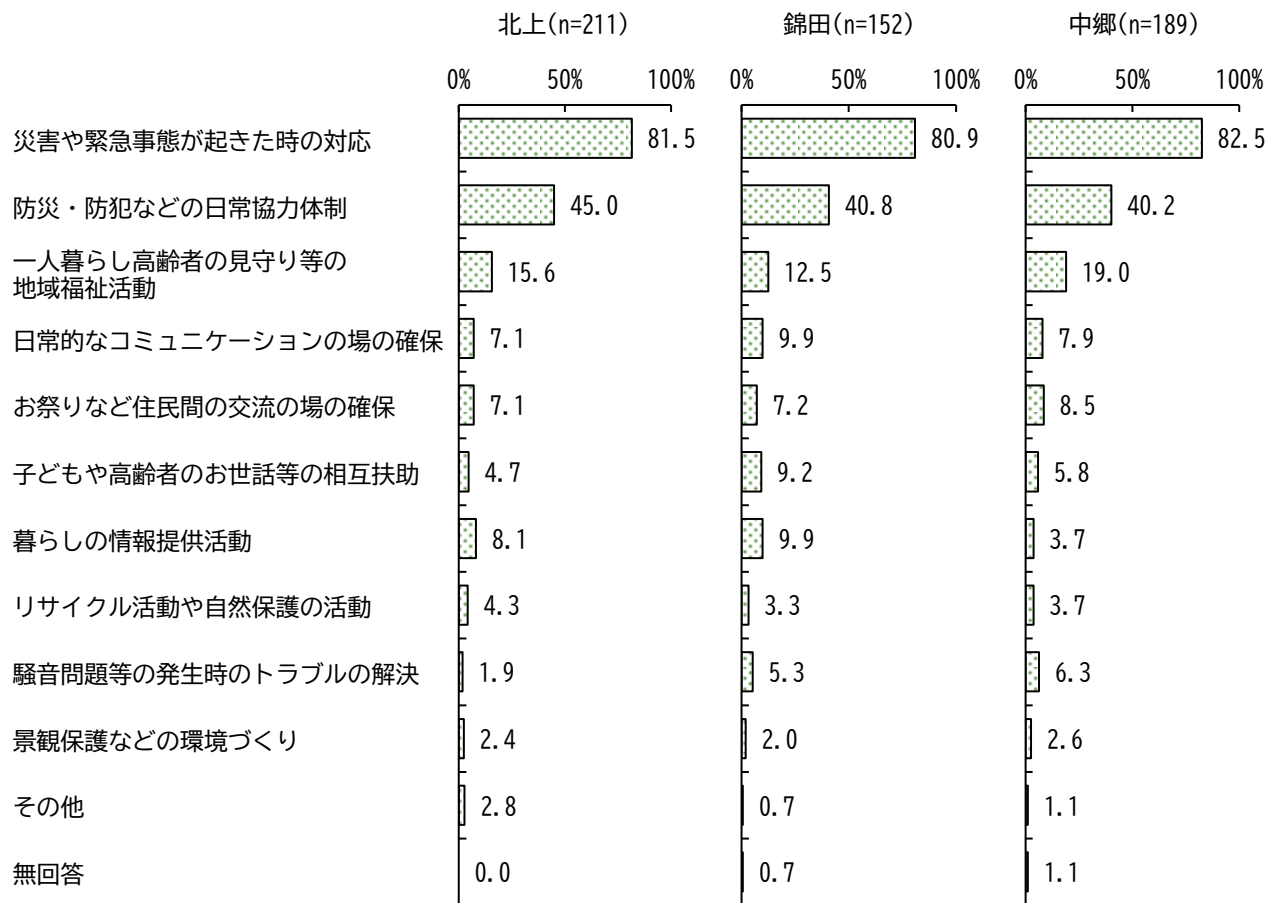




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別

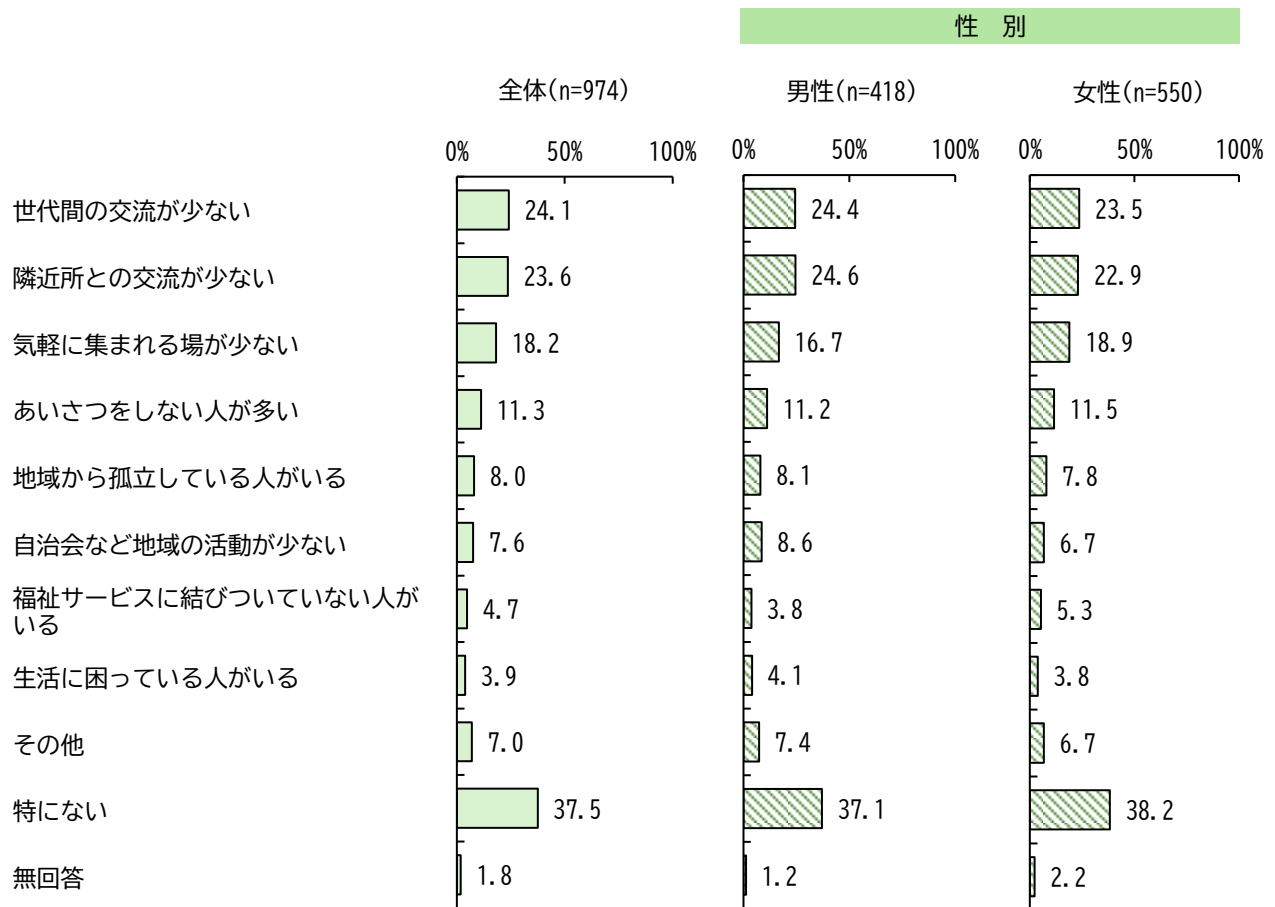


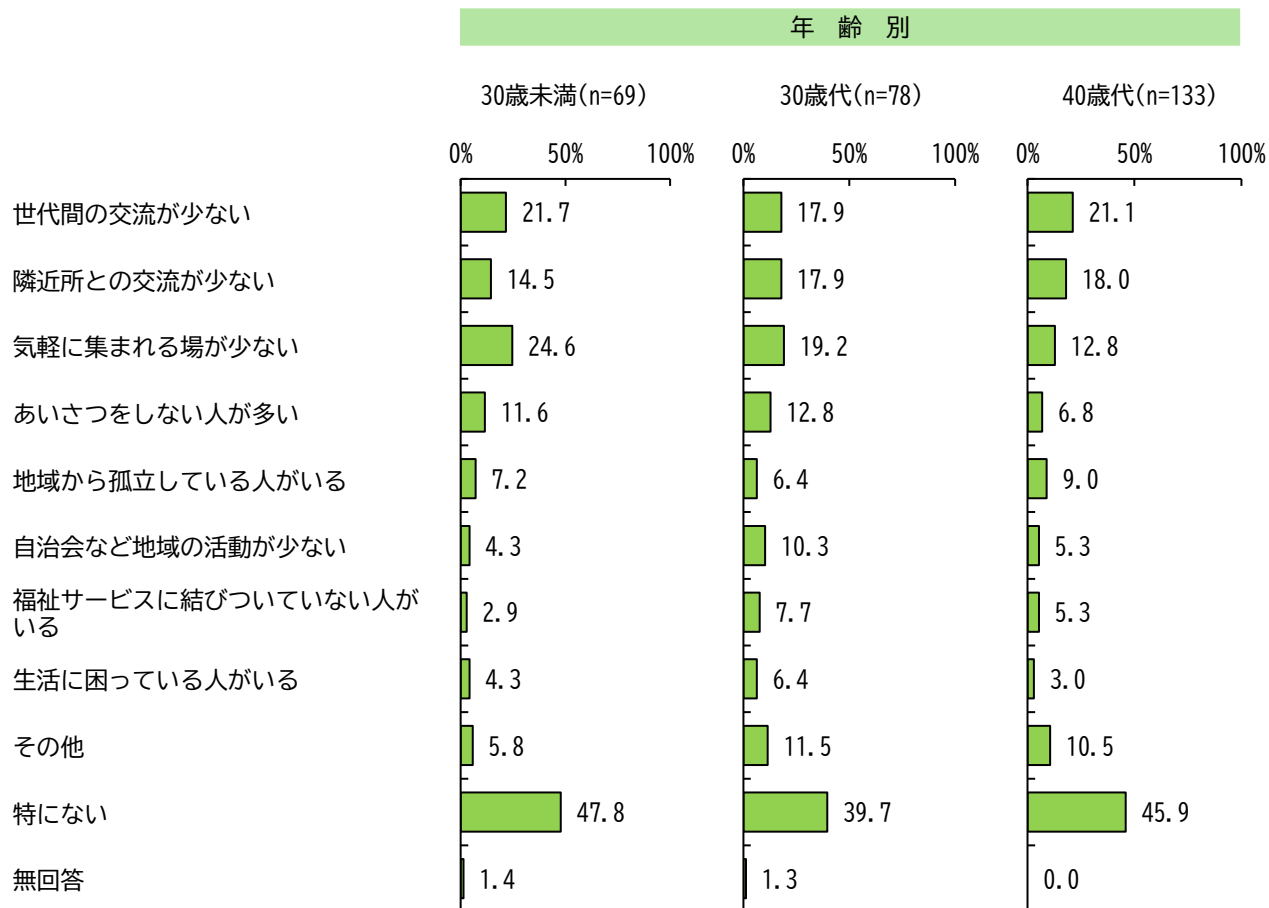
地域社会の役割について期待することでは、「災害や緊急事態が起きた時の対応」が77.7%と最も多く、次いで「防災・防犯などの日常協力体制」が40.7%、「一人暮らし高齢者の見守り等の地域福祉活動」が16.3%などとなっています。

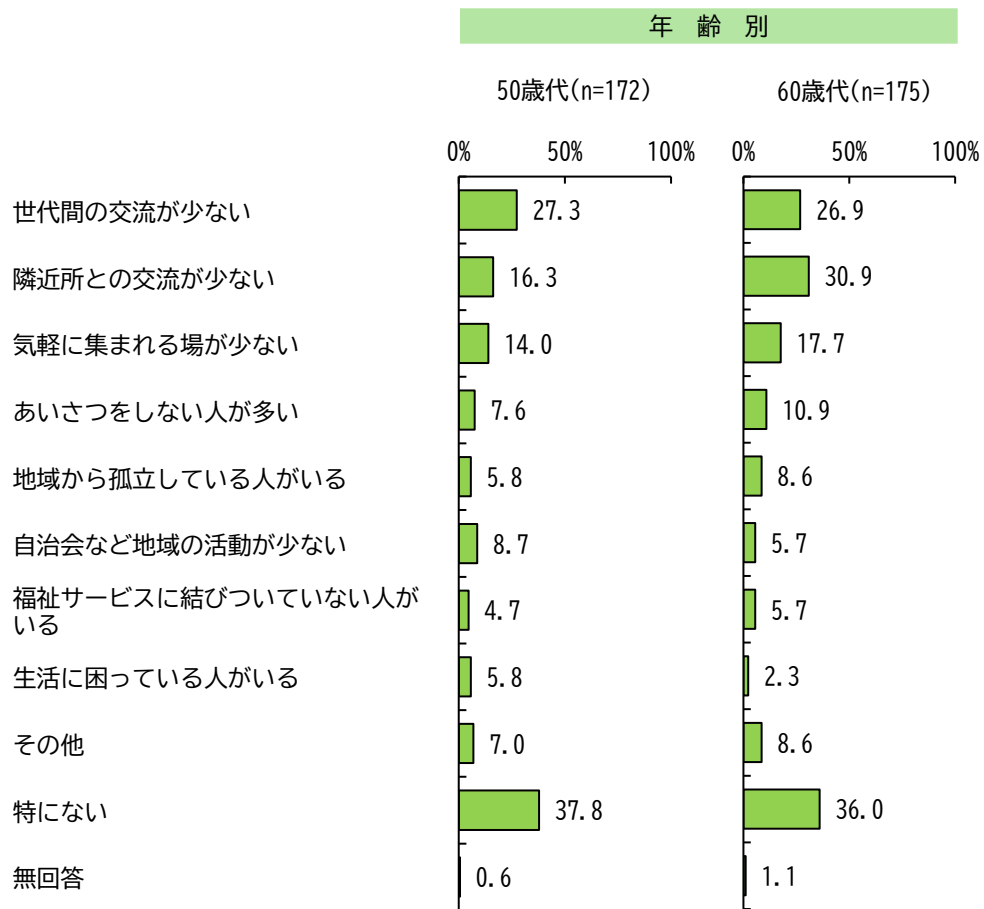
⑨住んでいる地域の中での問題点

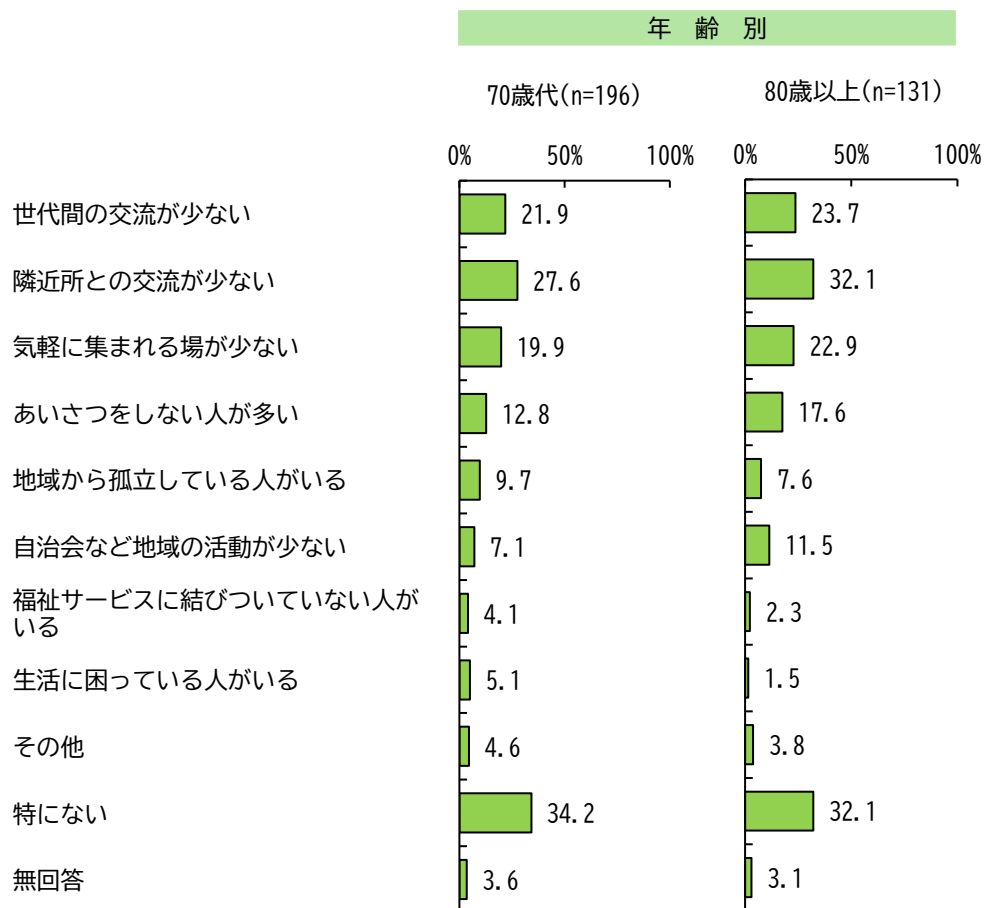
問20 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点だと思うものは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

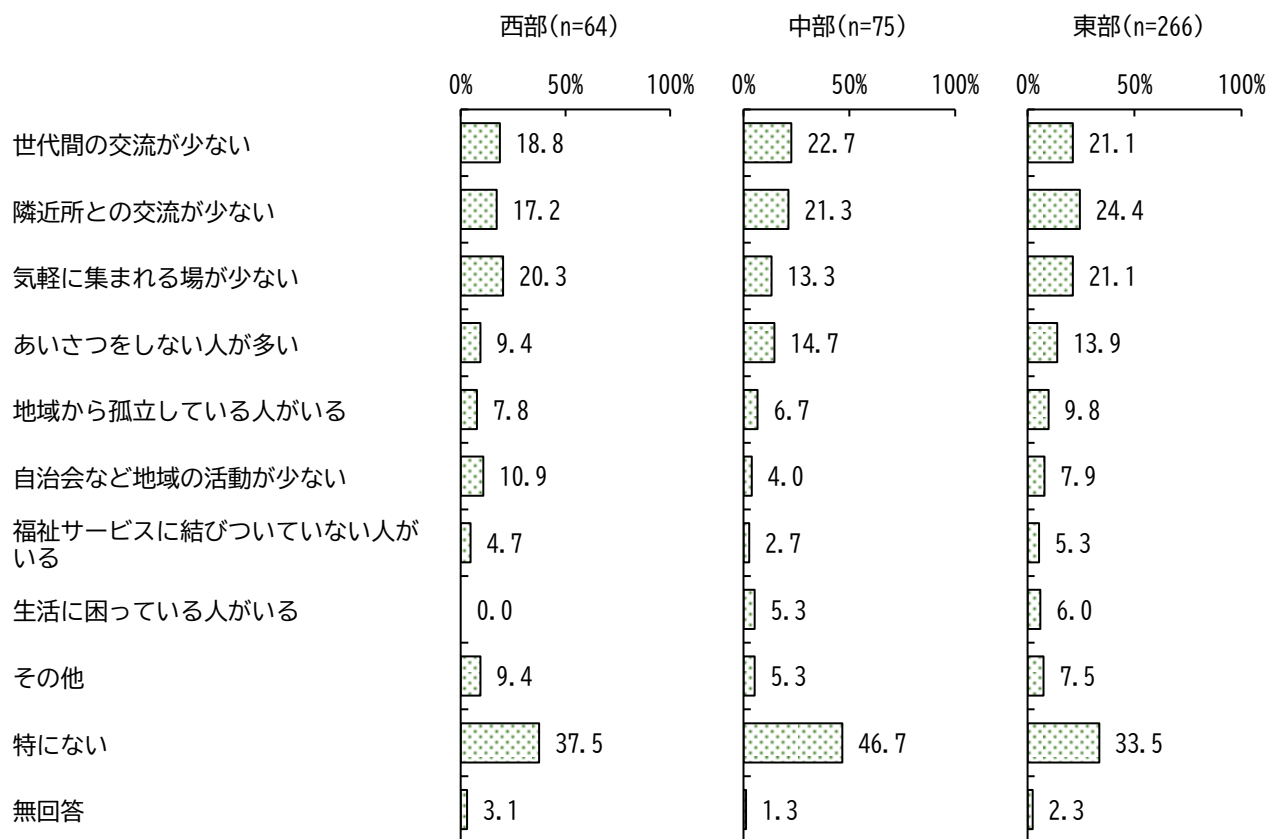




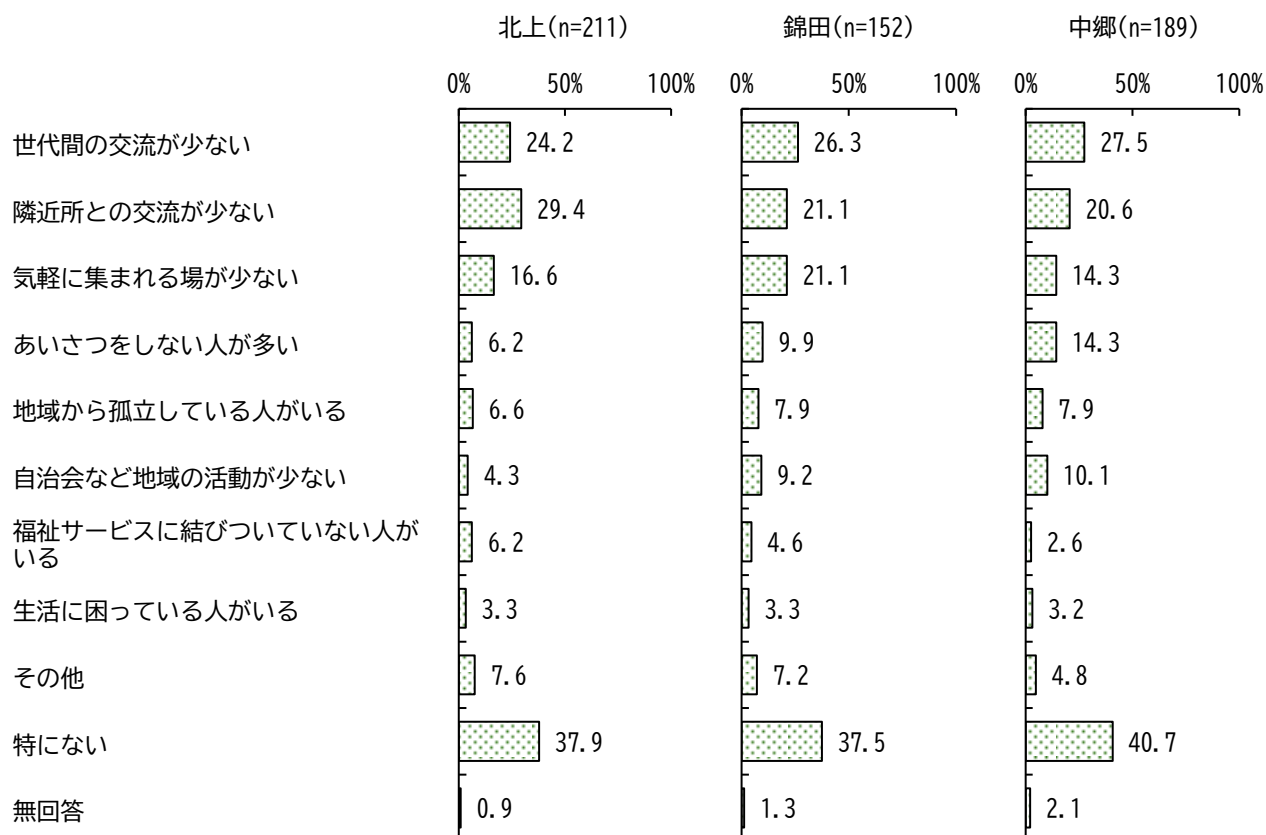




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



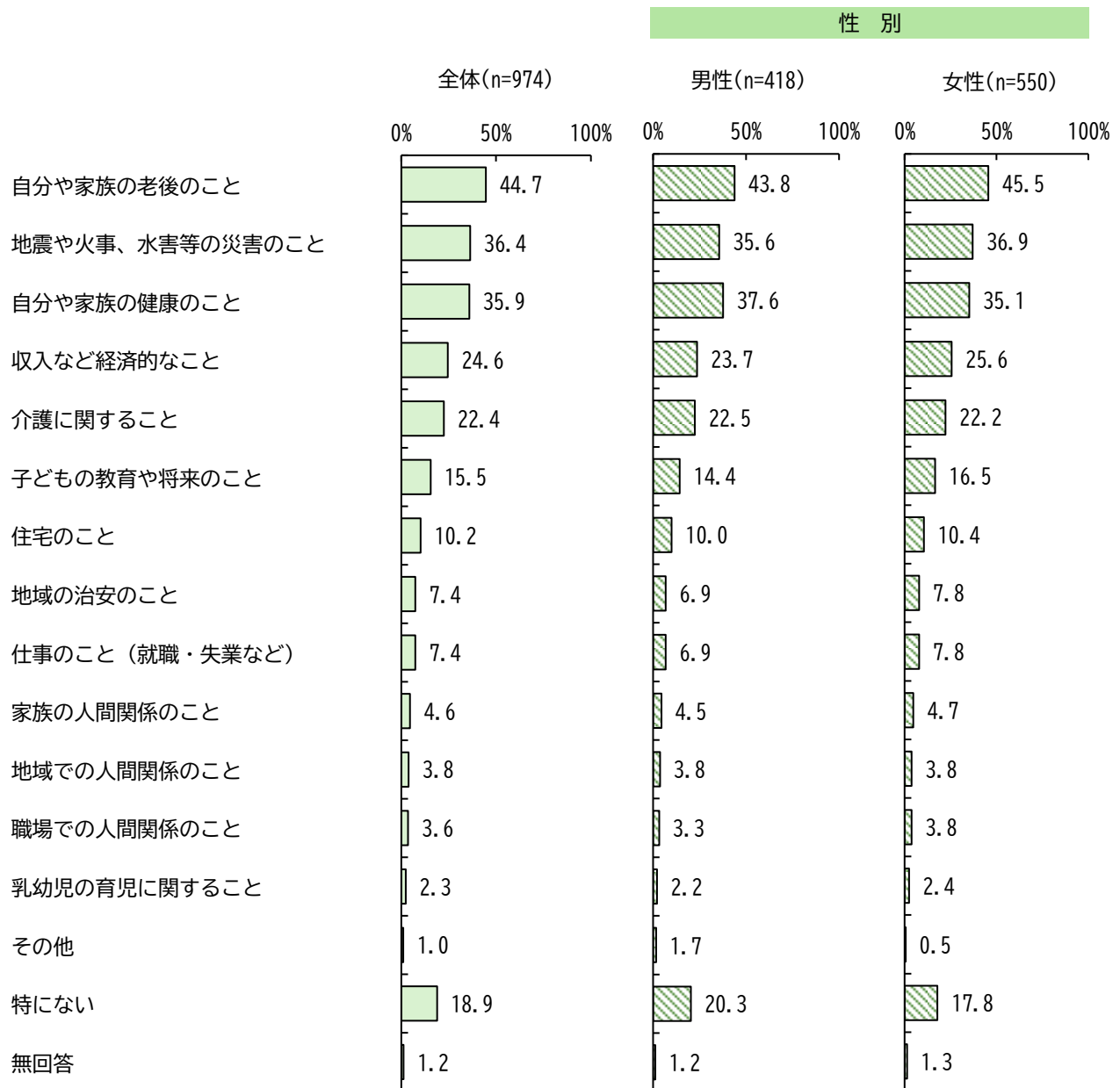
住んでいる地域の中での問題点では、「世代間の交流が少ない」が24.1%と最も多く、次いで「隣近所との交流が少ない」が23.6%、「気軽に集まれる場が少ない」が18.2%などとなっています。また、「特にない」が37.5%となっています。

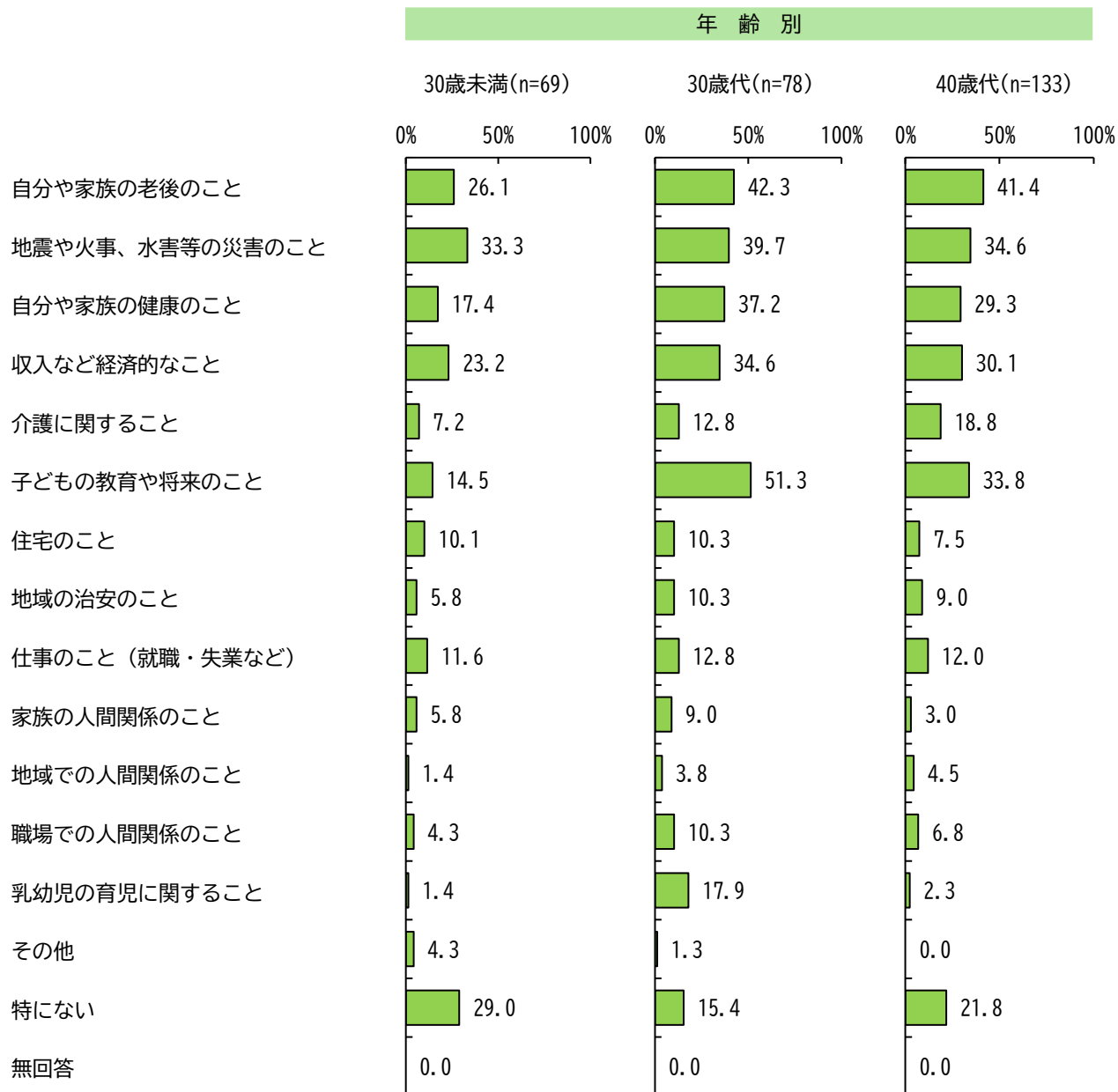
年齢別でみると、“30歳未満”と“30歳代”は「気軽に集まれる場が少ない」が最も多くなっています。“60歳代”、“70歳代”、“80歳以上”は「隣近所との交流が少ない」が最も多くなっています。

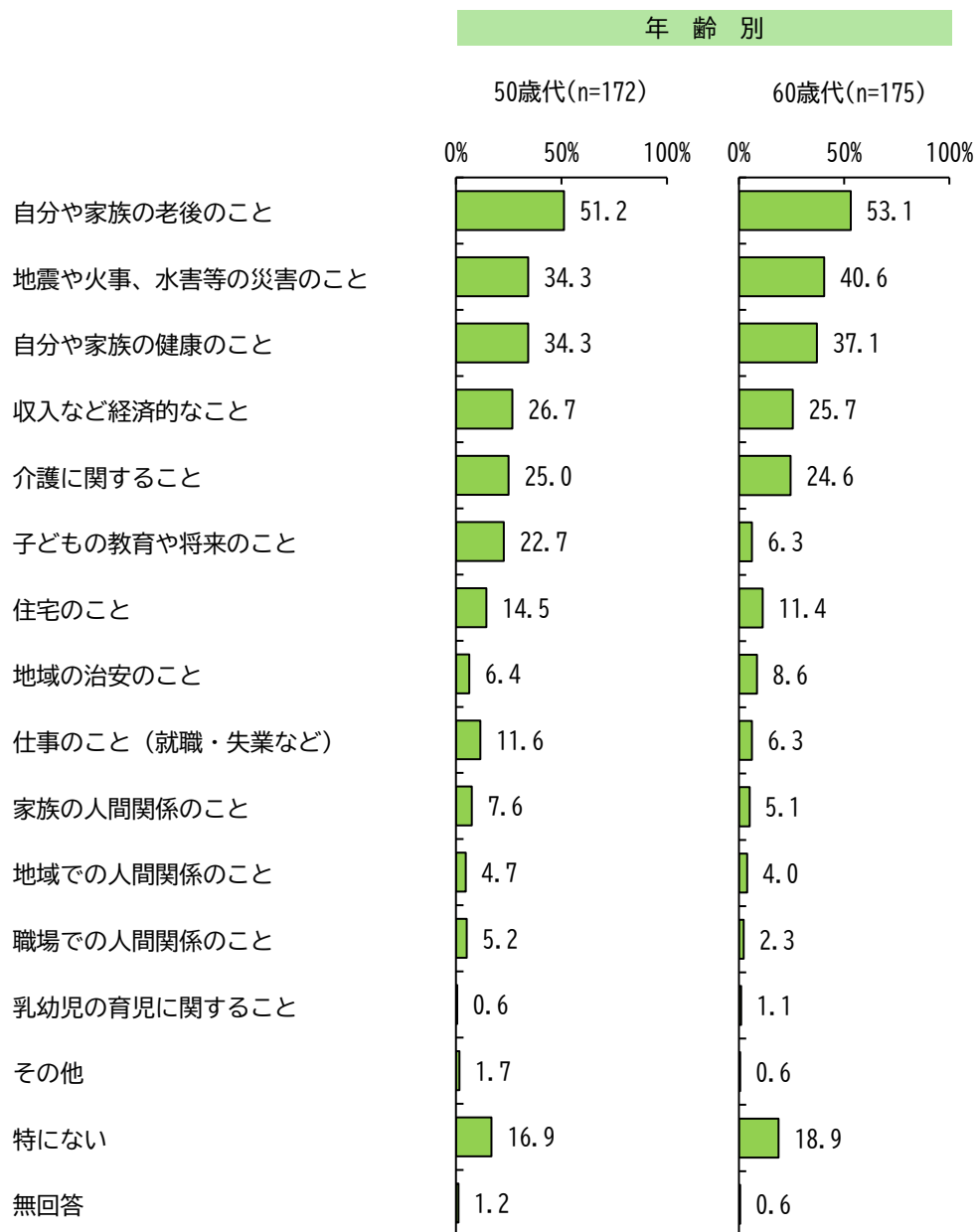
居住地区別でみると、“西部”は「気軽に集まれる場が少ない」が20.3%と最も多くなっています。“東部”と“北上”は「隣近所との交流が少ない」が最も多くなっています。

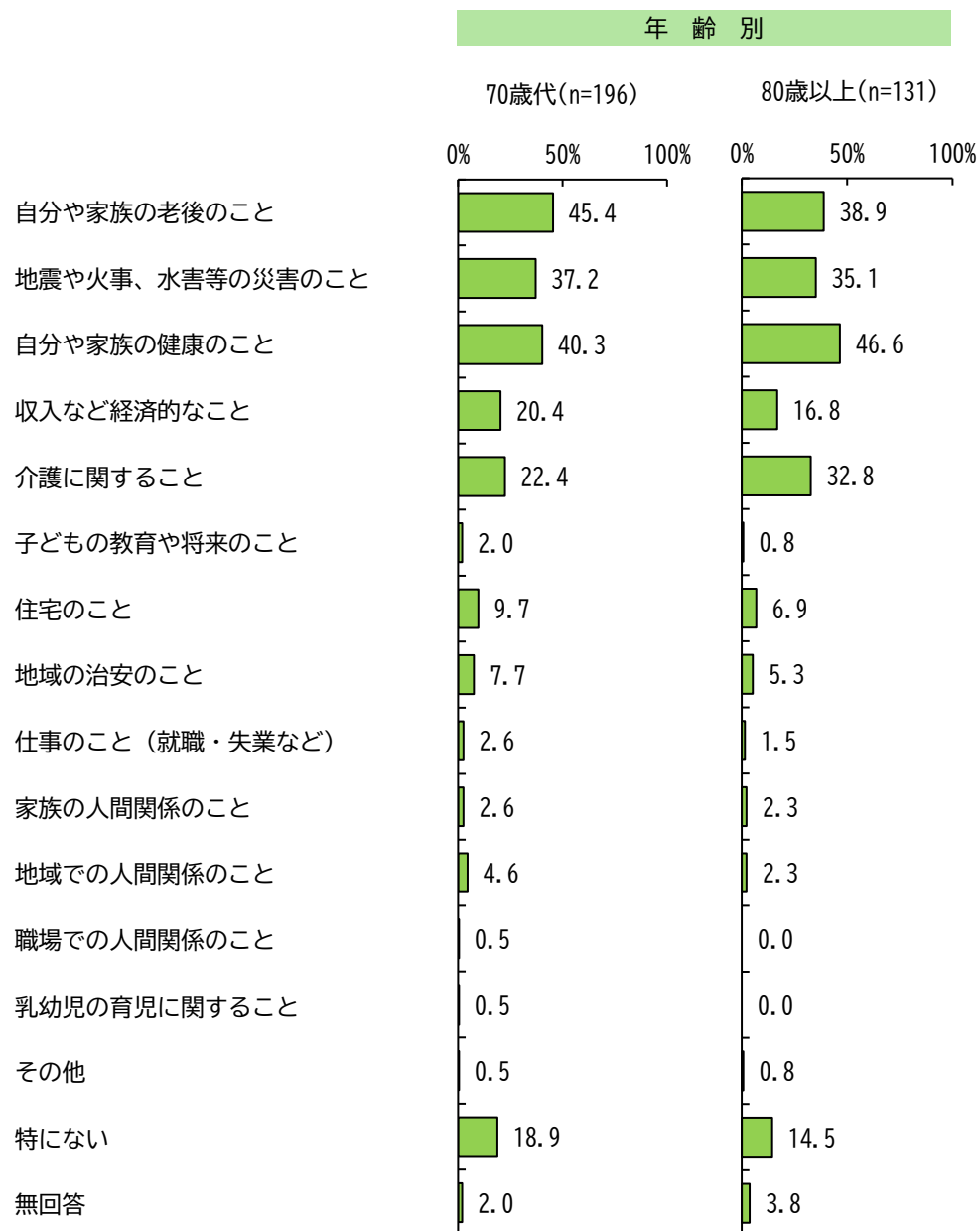
⑩日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていること

問21 あなたやご家族が日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていることはありますか。
(○はあてはまるものすべて)

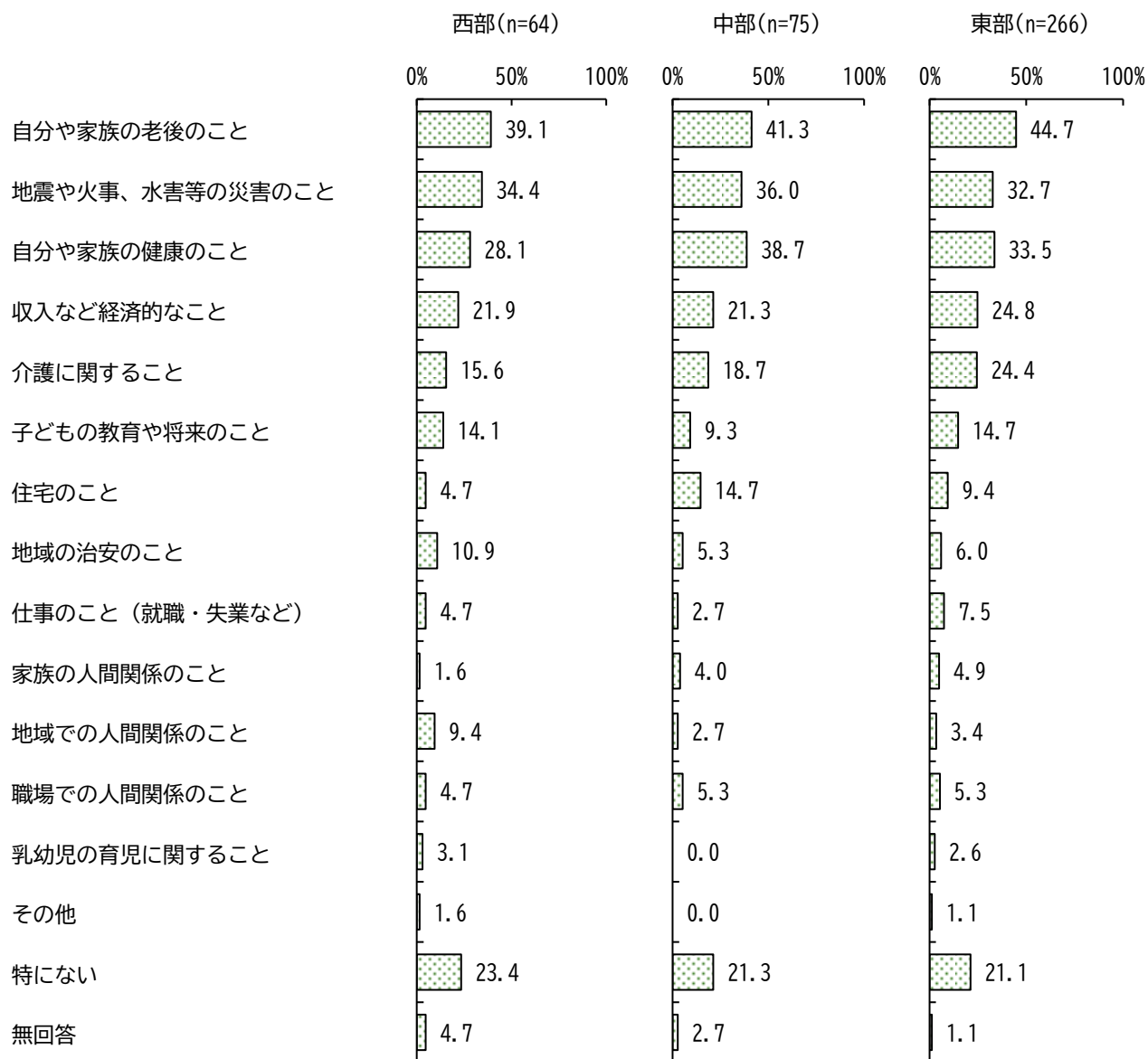




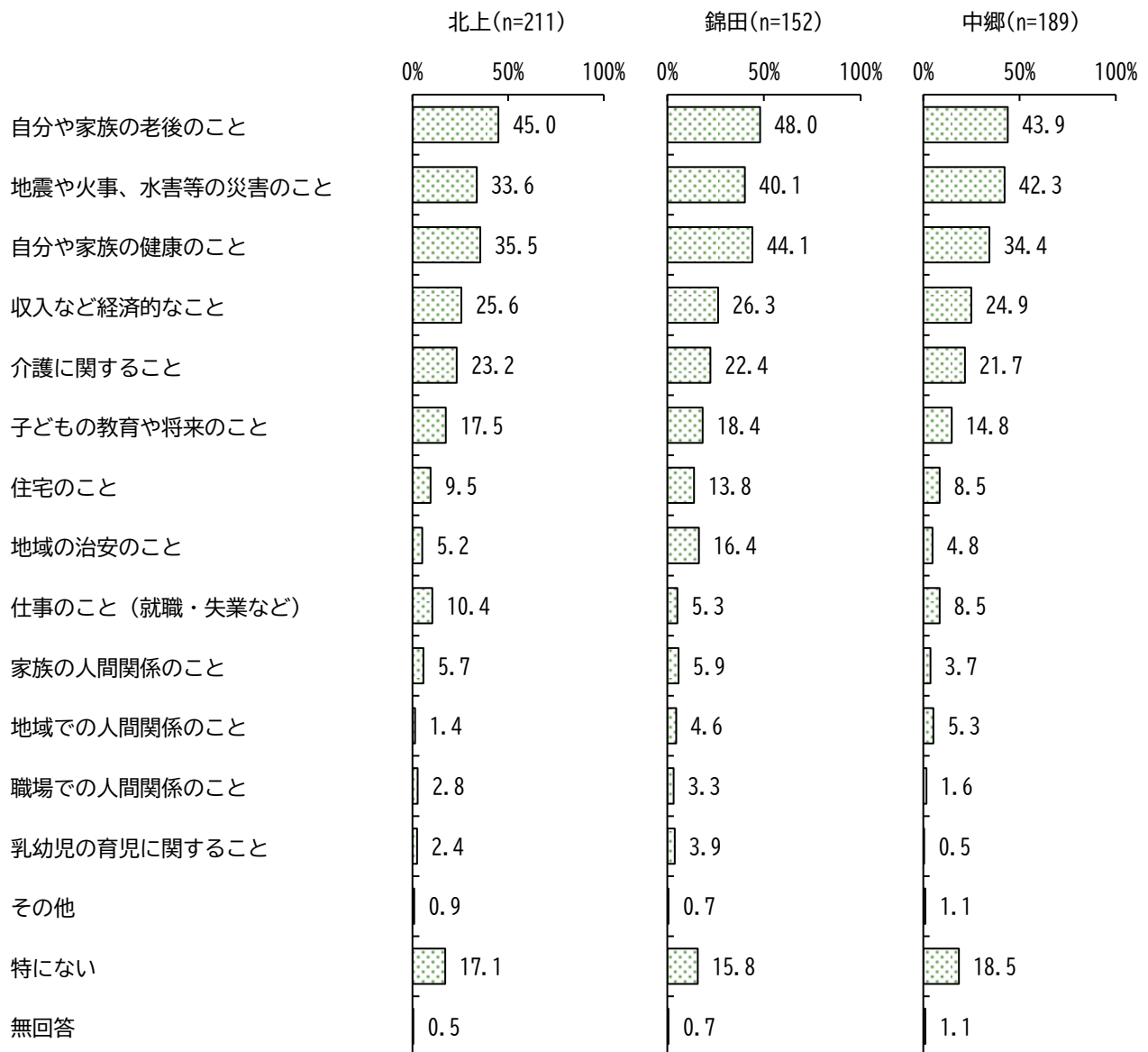




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別

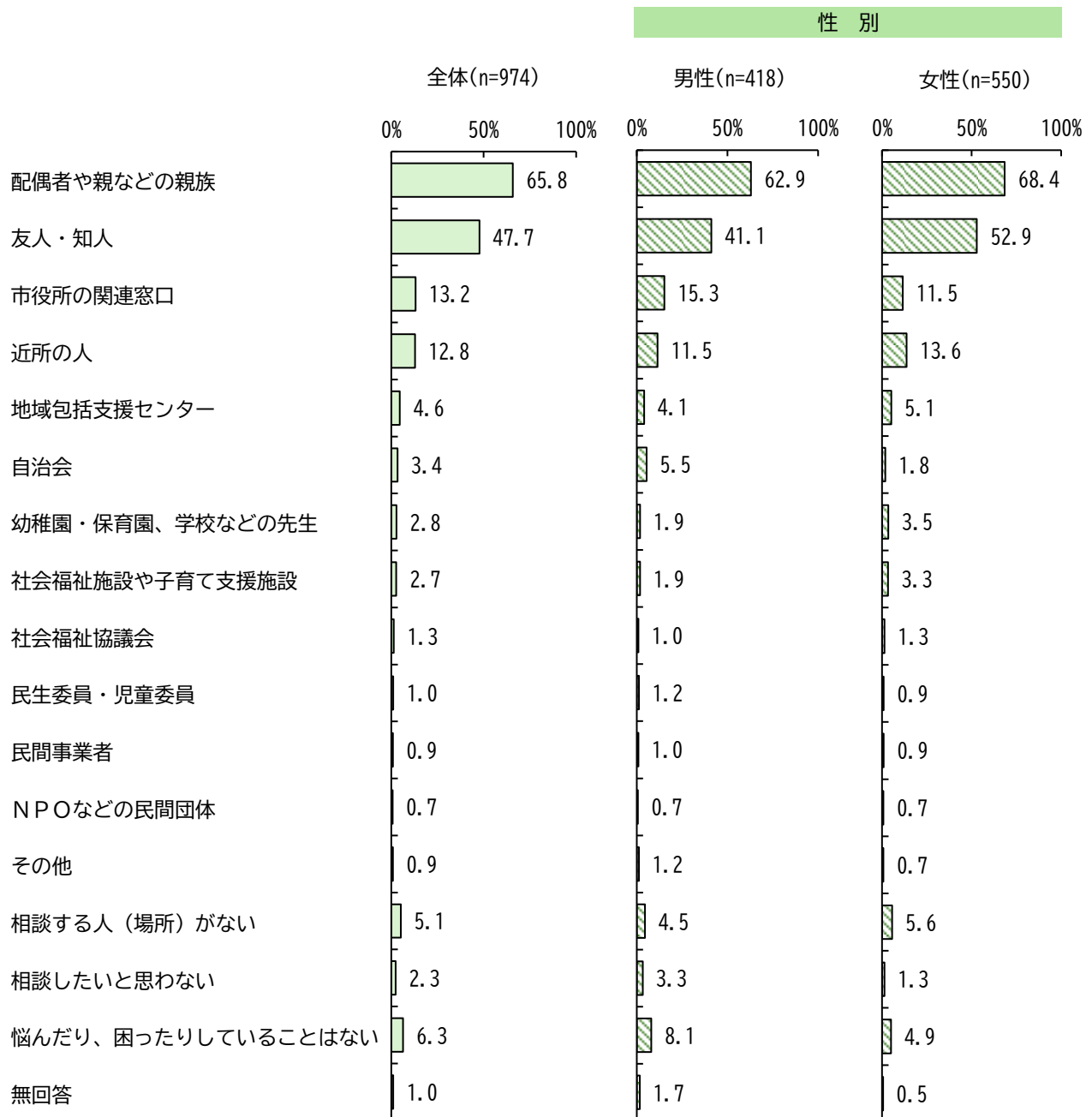


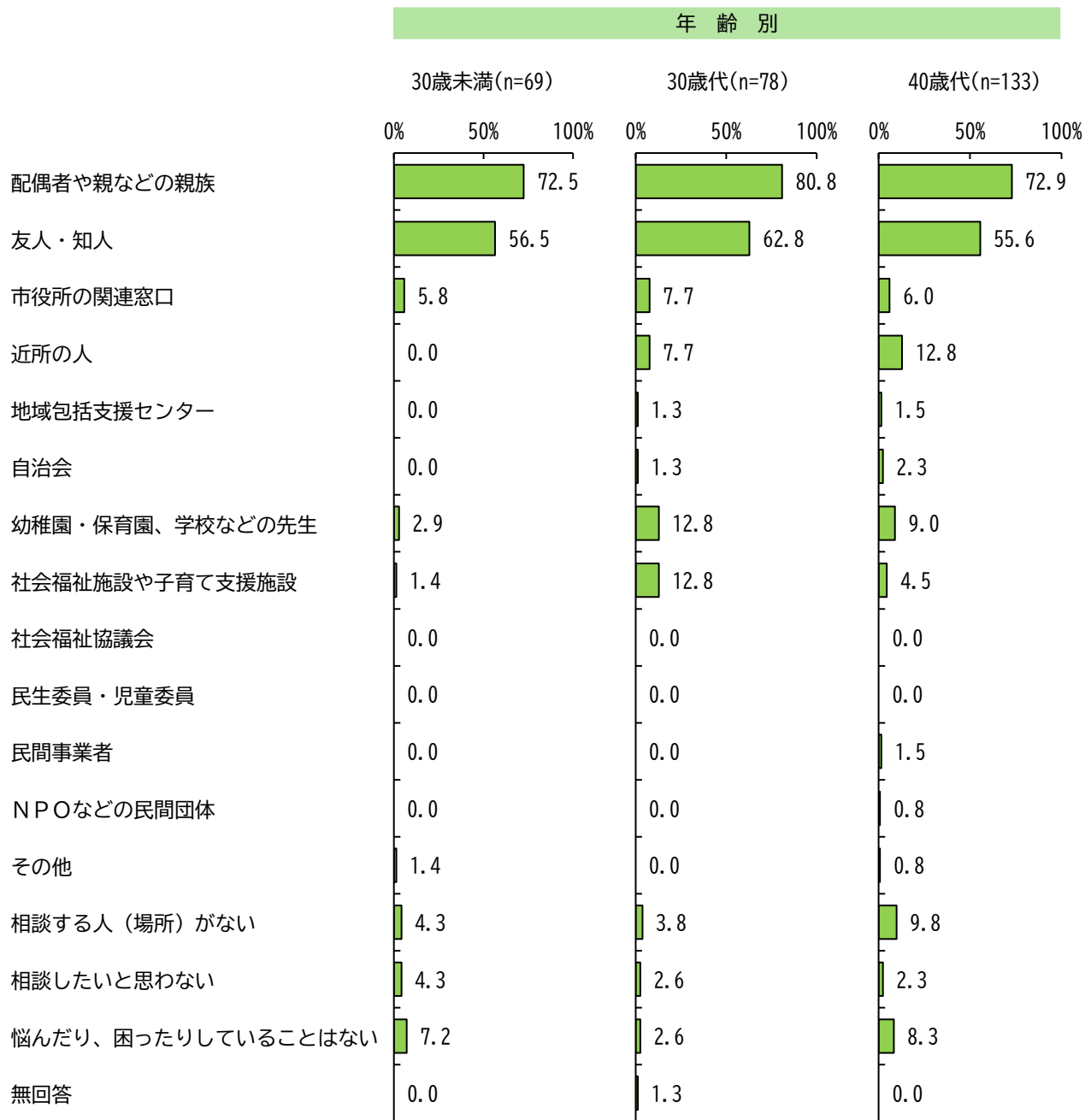
日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていることでは、「自分や家族の老後のこと」が44.7%と最も多く、次いで「地震や火事、水害等の災害のこと」が36.4%、「自分や家族の健康のこと」が35.9%などとなっています。

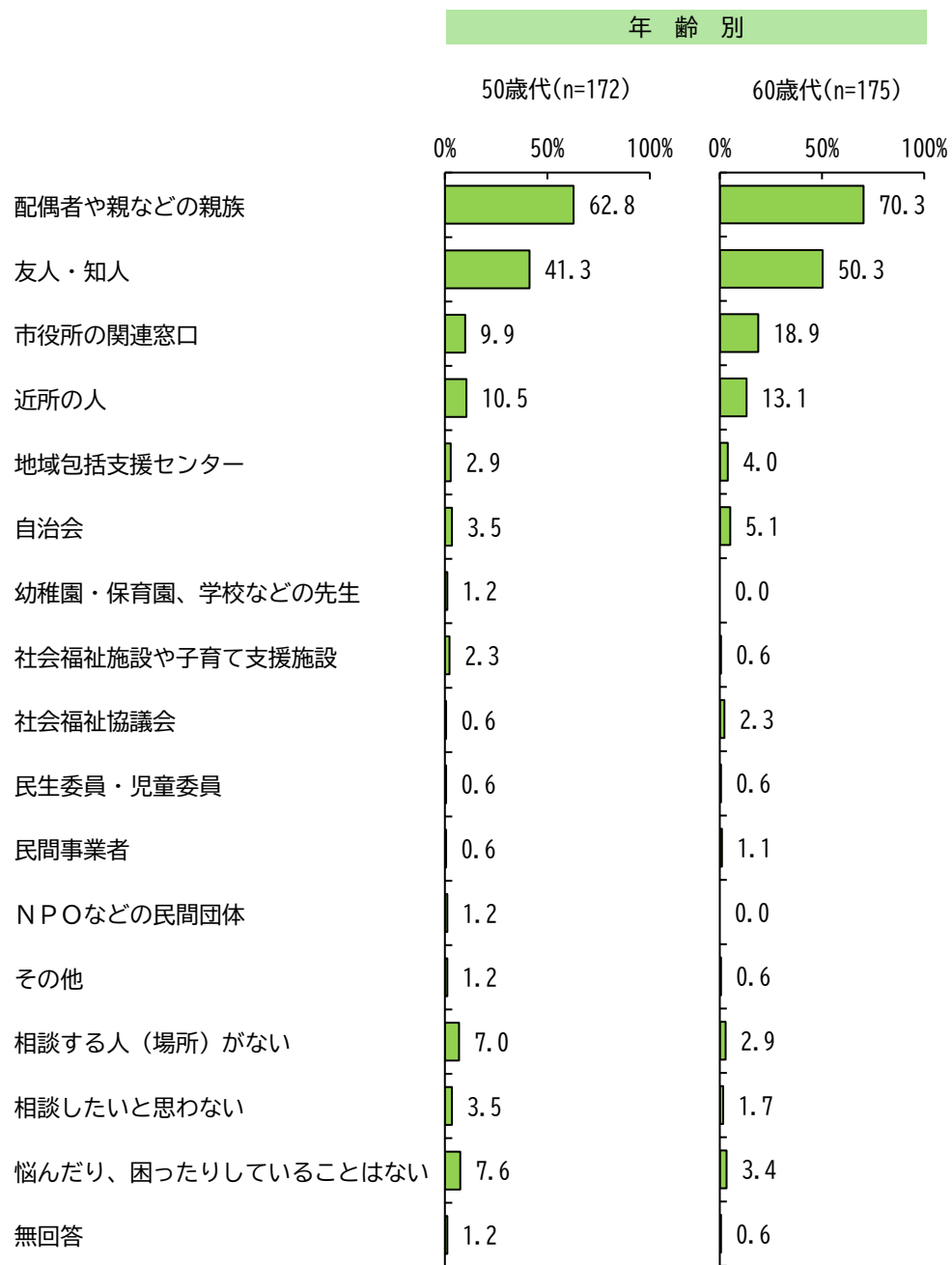
年齢別でみると、“30歳未満”は「地震や火事、水害等の災害のこと」が33.3%と最も多くなっています。“30歳代”は「子どもの教育や将来のこと」が51.3%と最も多くなっています。“80歳以上”は「自分や家族の健康のこと」が46.6%と最も多くなっています。

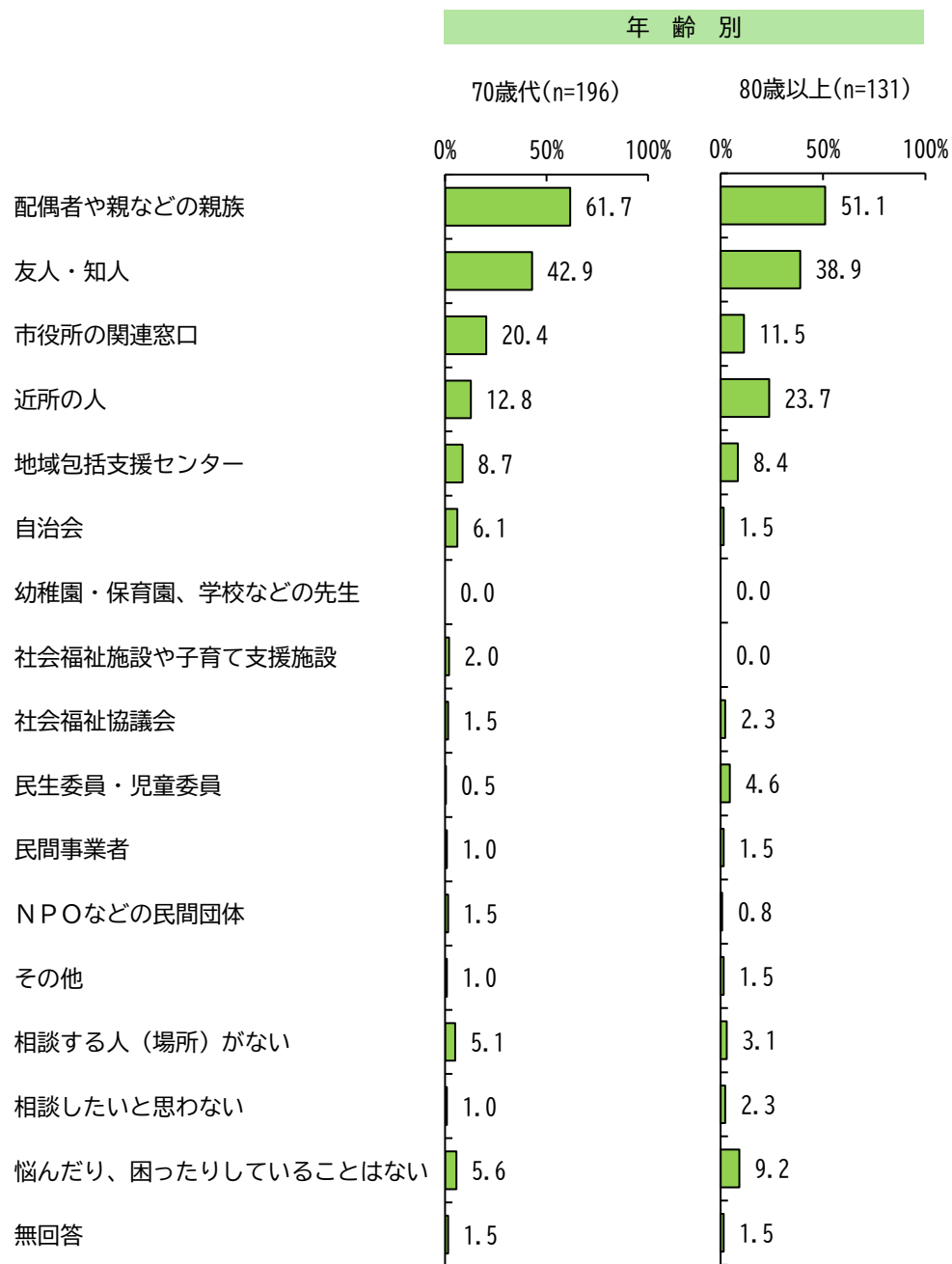
⑪地域生活の中での悩みや困りごとの相談先

問22 あなたが、地域生活の中での悩みや困りごとを相談できる先は誰（どこ）ですか。
（○はあてはまるものすべて）

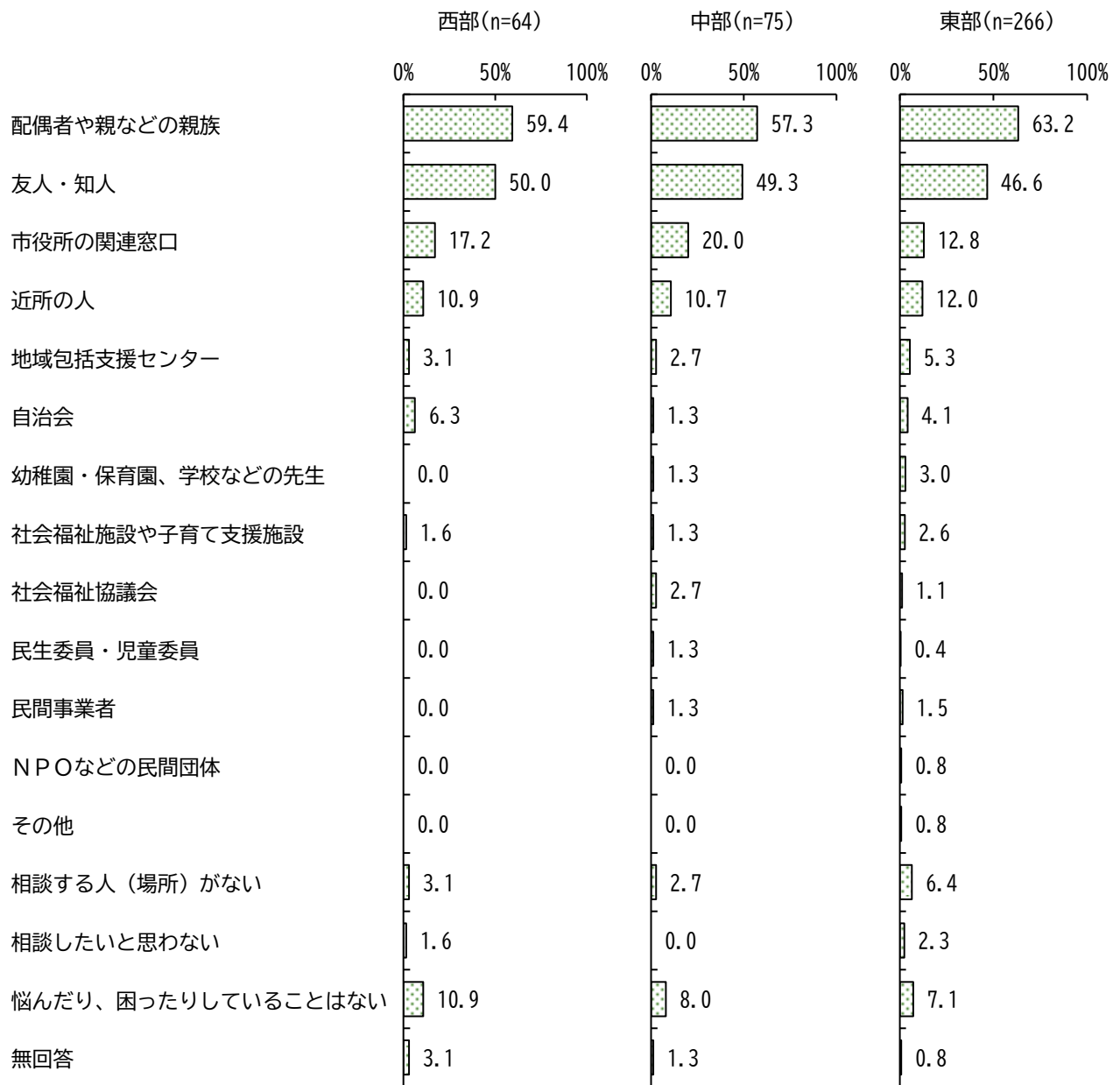




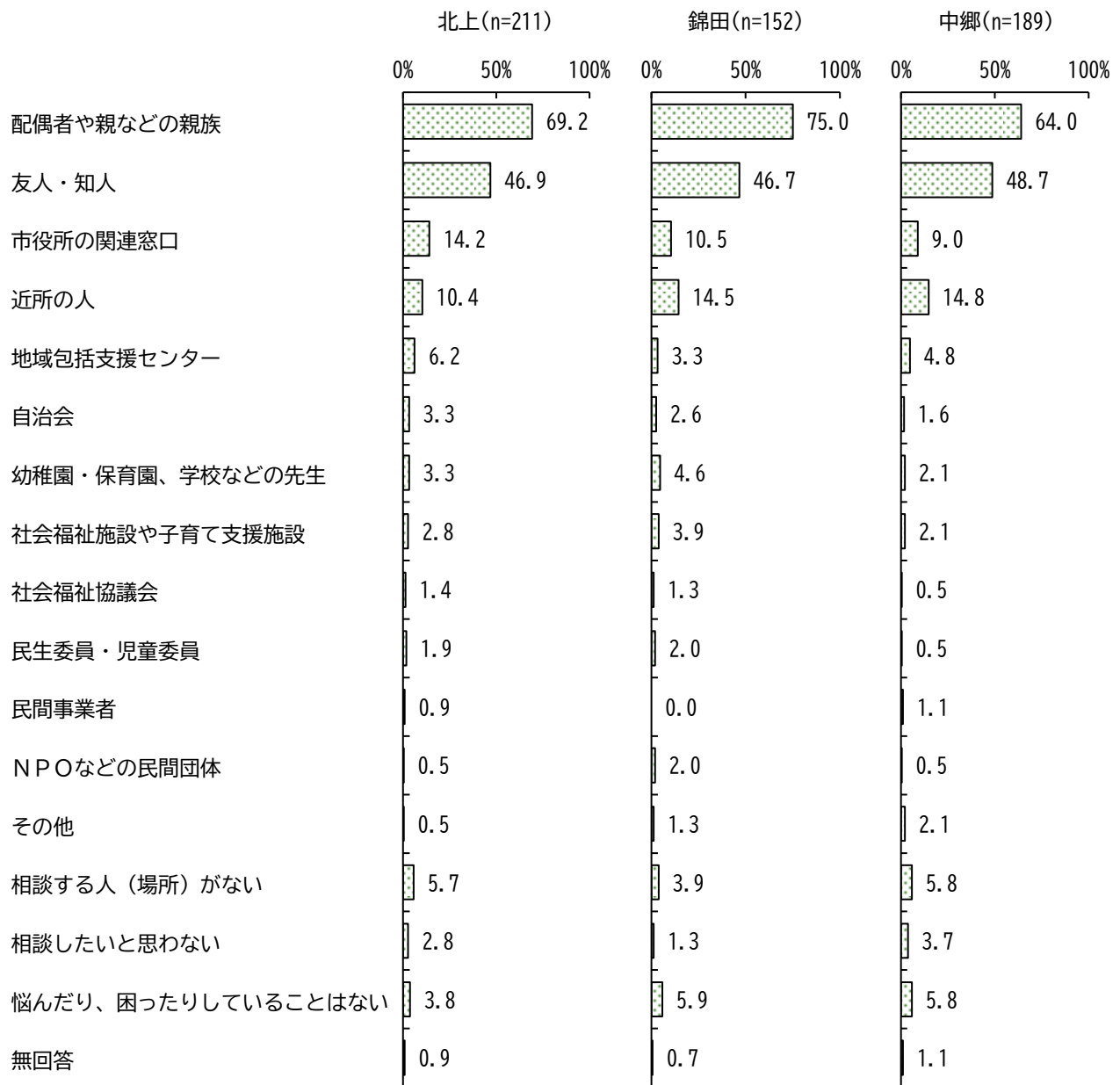




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別

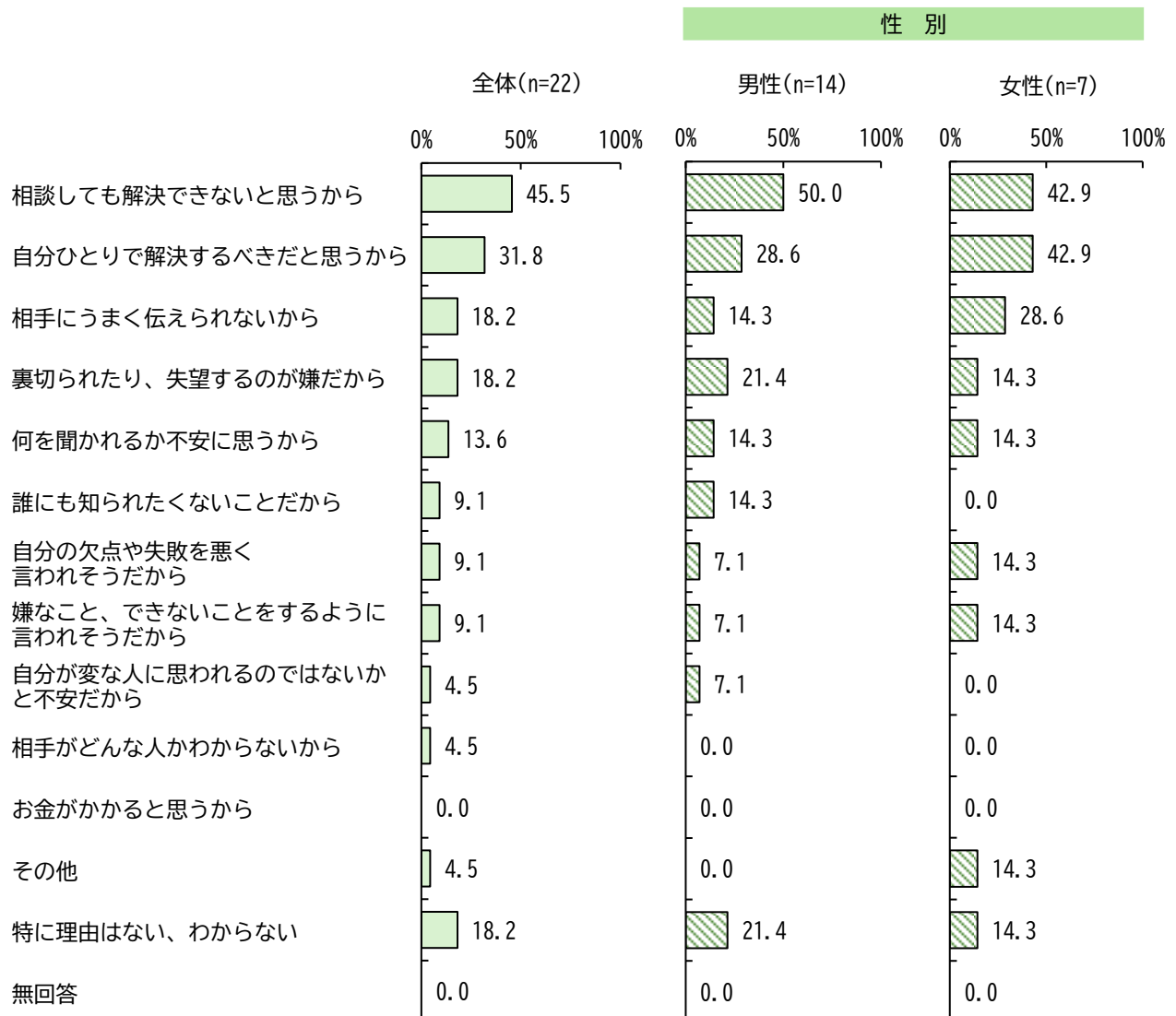


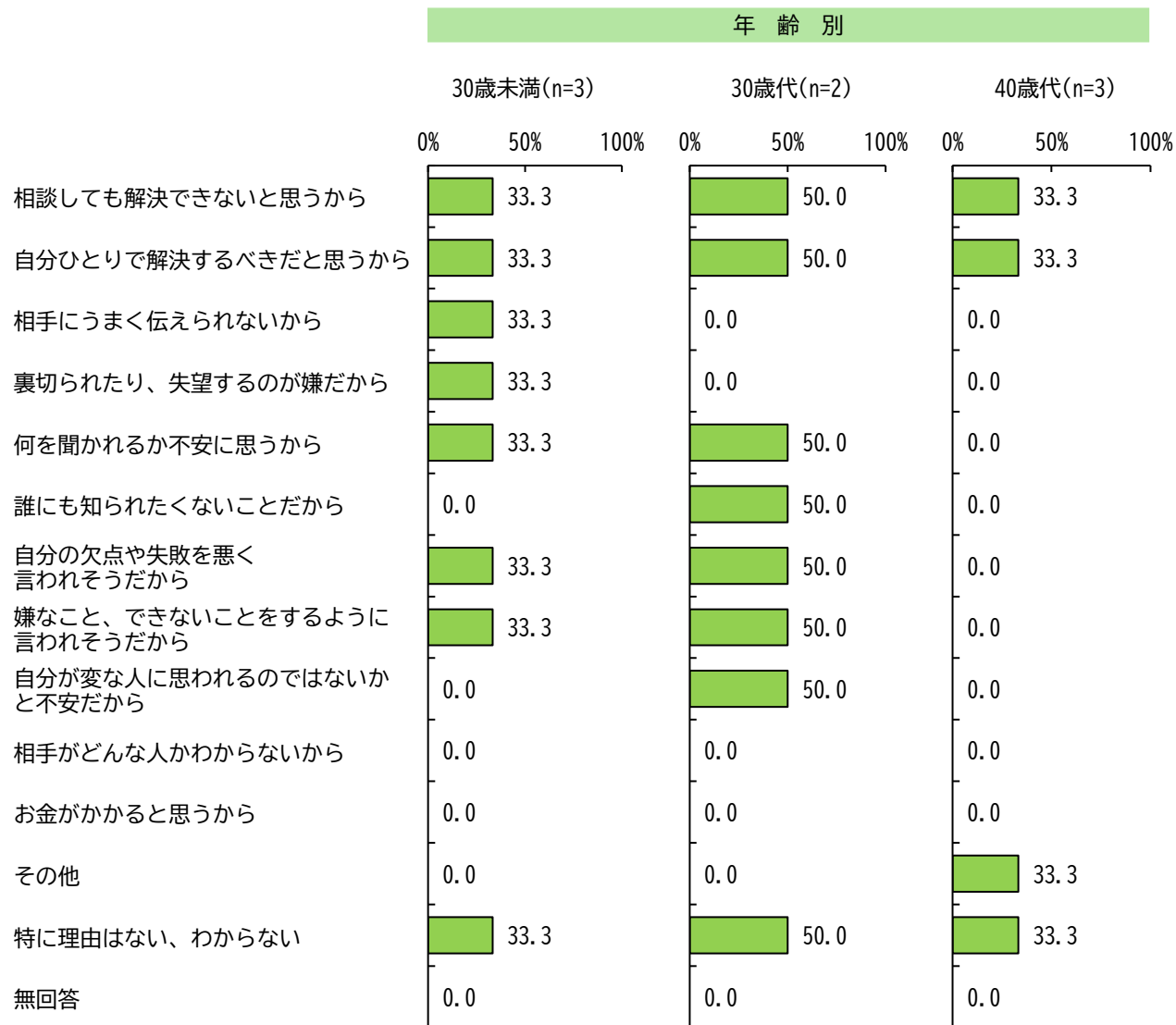
地域生活の中での悩みや困りごとの相談先では、「配偶者や親などの親族」が65.8%と最も多く、次いで「友人・知人」が47.7%、「市役所の関連窓口」が13.2%などとなっています。

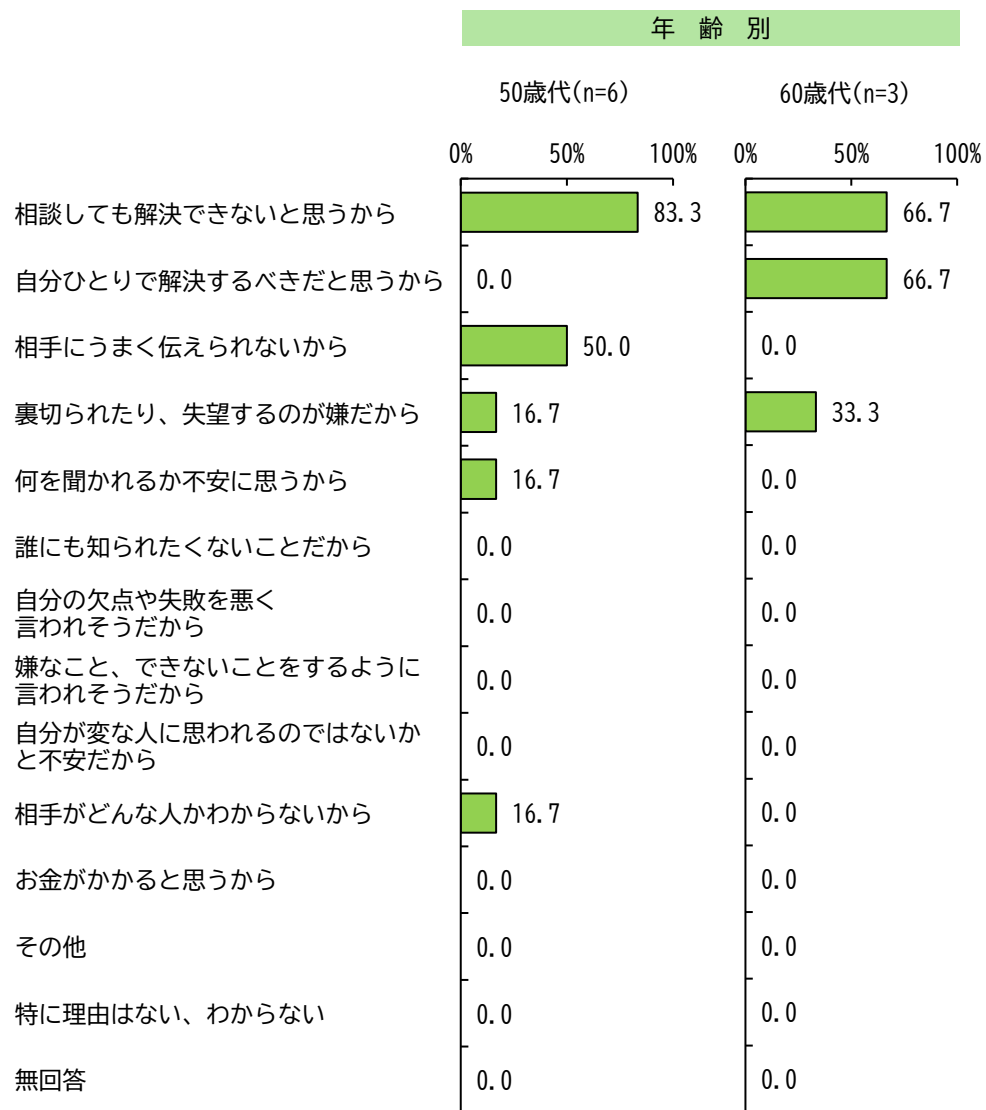
⑫相談したいと思わない理由

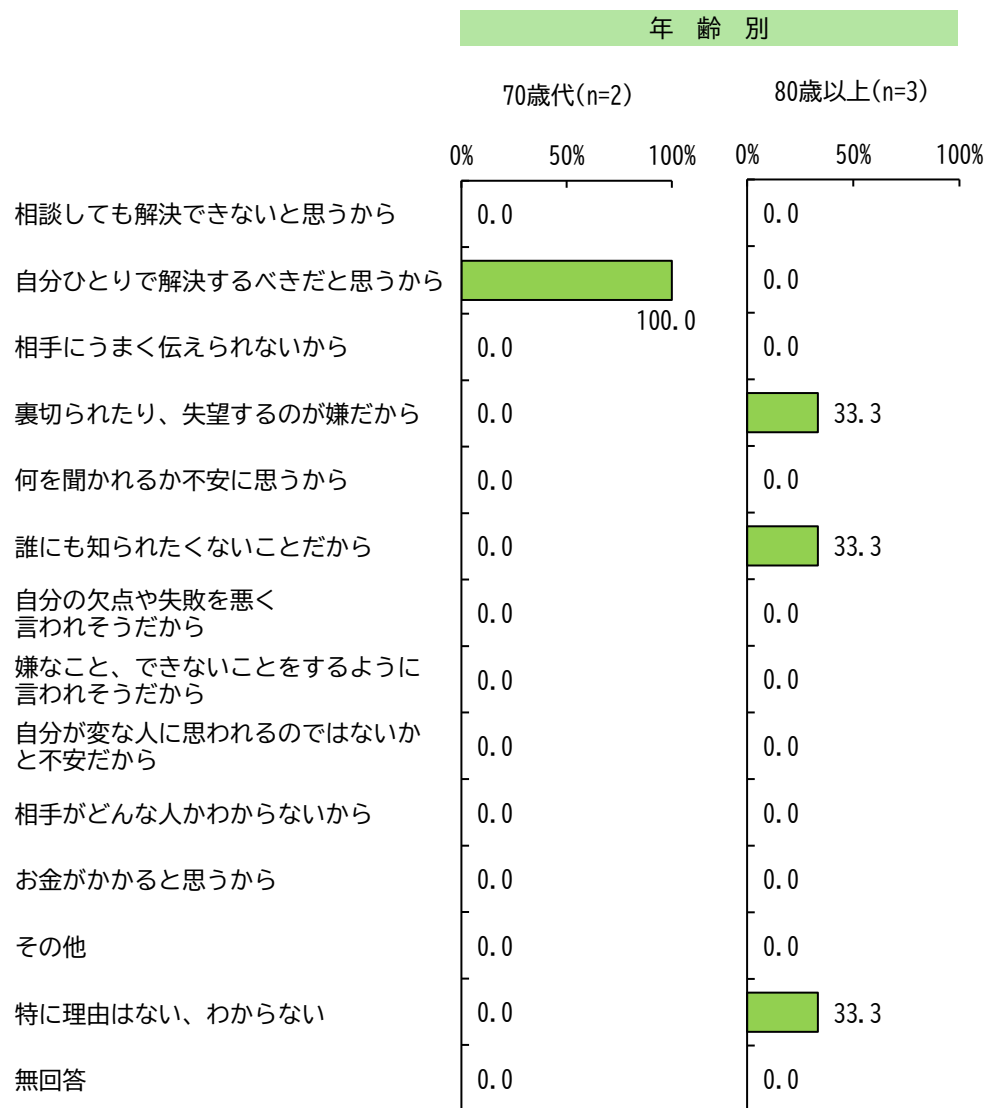
問22で「15 相談したいと思わない」と回答した方にお聞きします。

問22-1 相談したいと思わない理由は何ですか。 (〇はあてはまるものすべて)

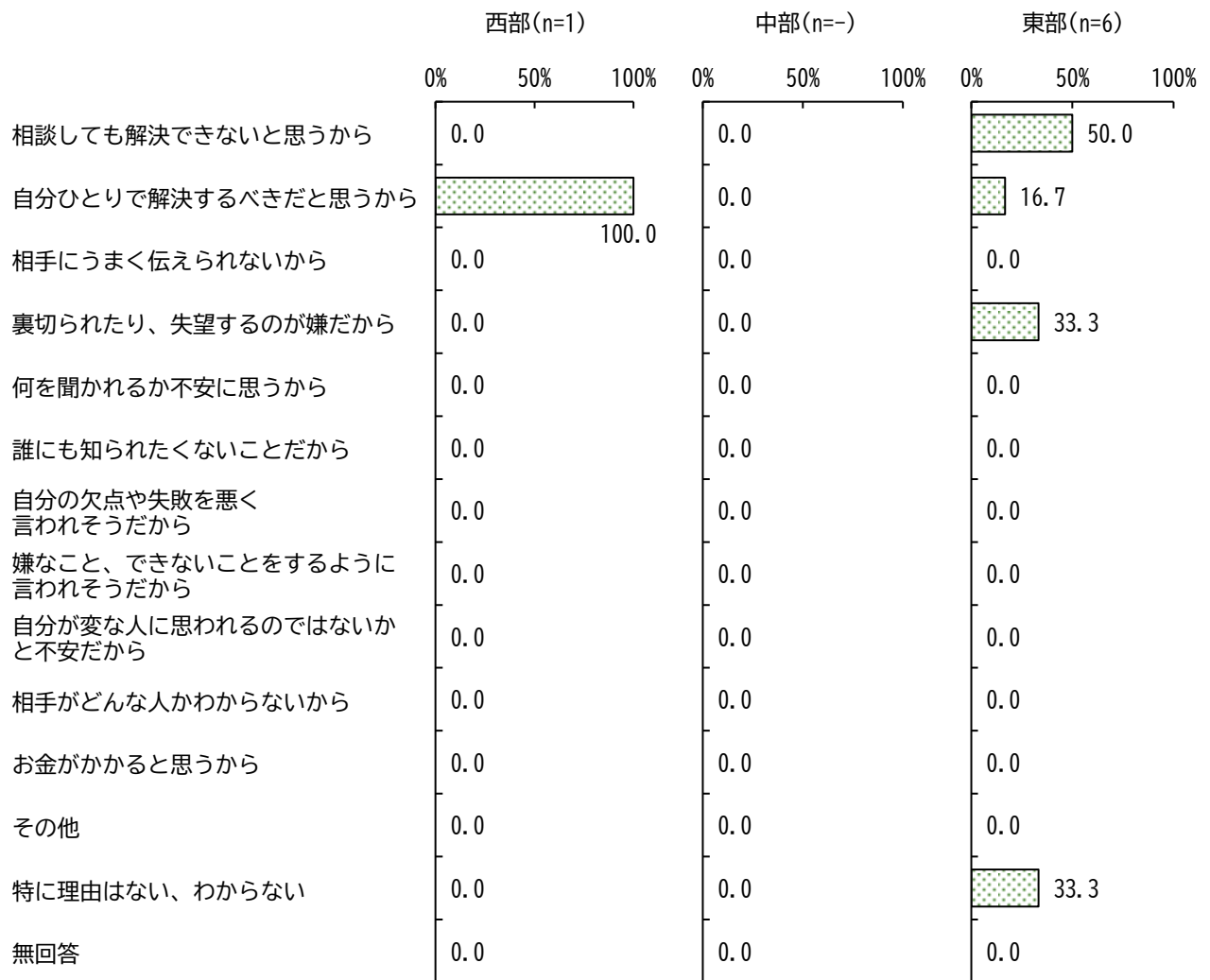




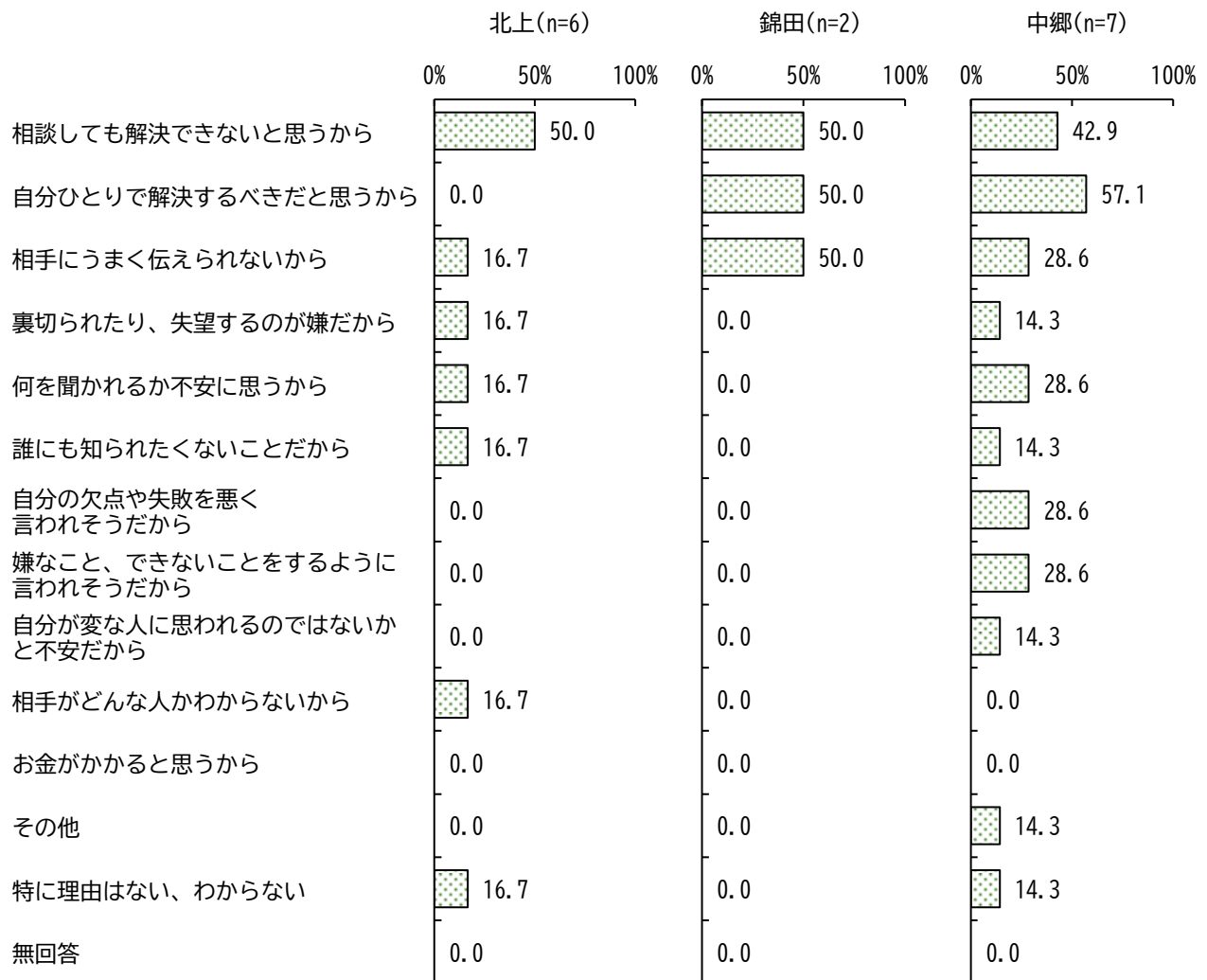




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



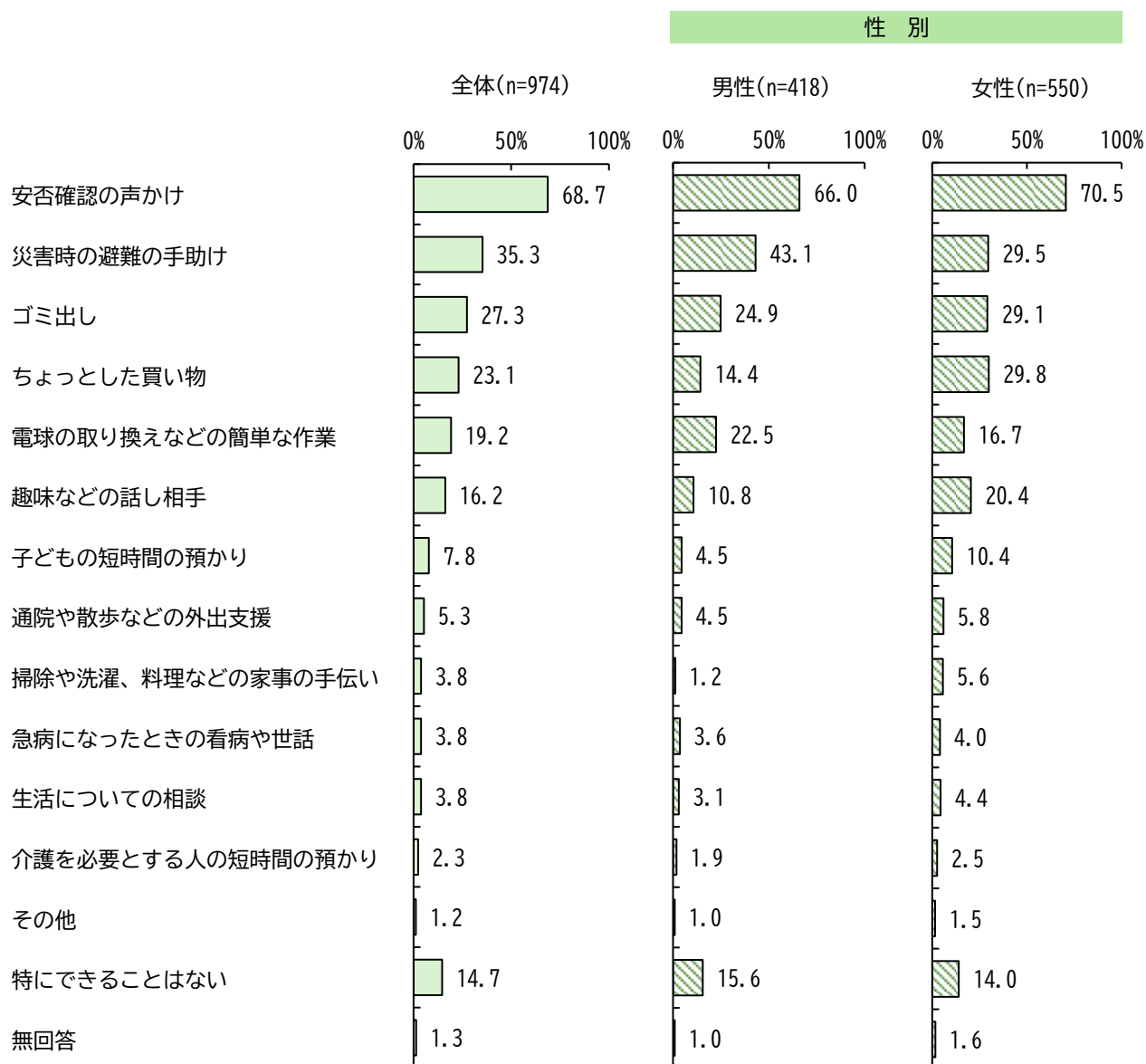
相談したいと思わない理由では、「相談しても解決できないと思うから」が45.5%と最も多く、次いで「自分ひとりで解決するべきだと思うから」が31.8%、「相手にうまく伝えられないから」と「裏切られたり、失望するのが嫌だから」が18.2%などとなっています。また、「特に理由はない、わからない」が18.2%となっています。

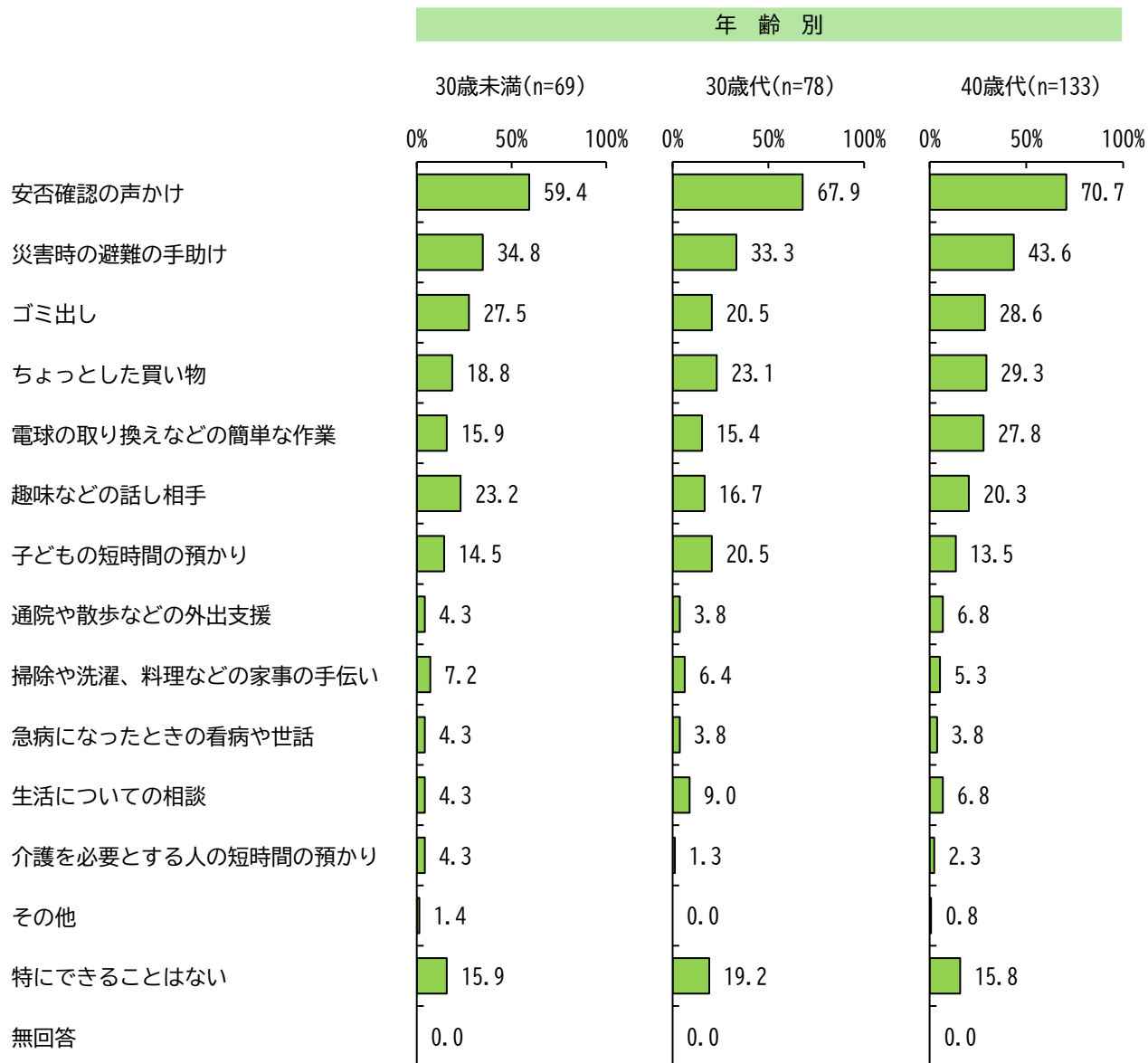
4. 地域での助け合いや支え合いについて

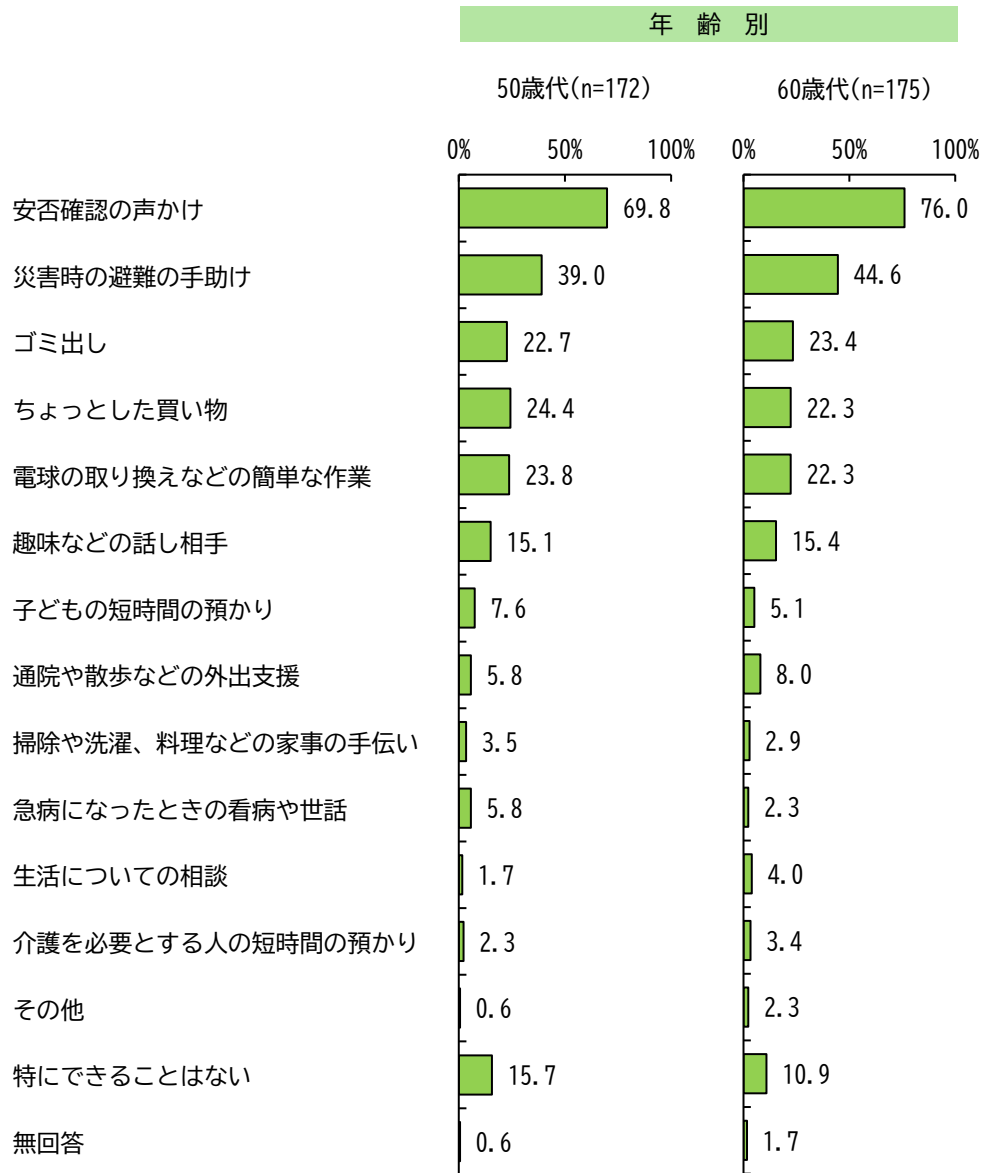
①近所に困っている人がいるときにしてあげられること

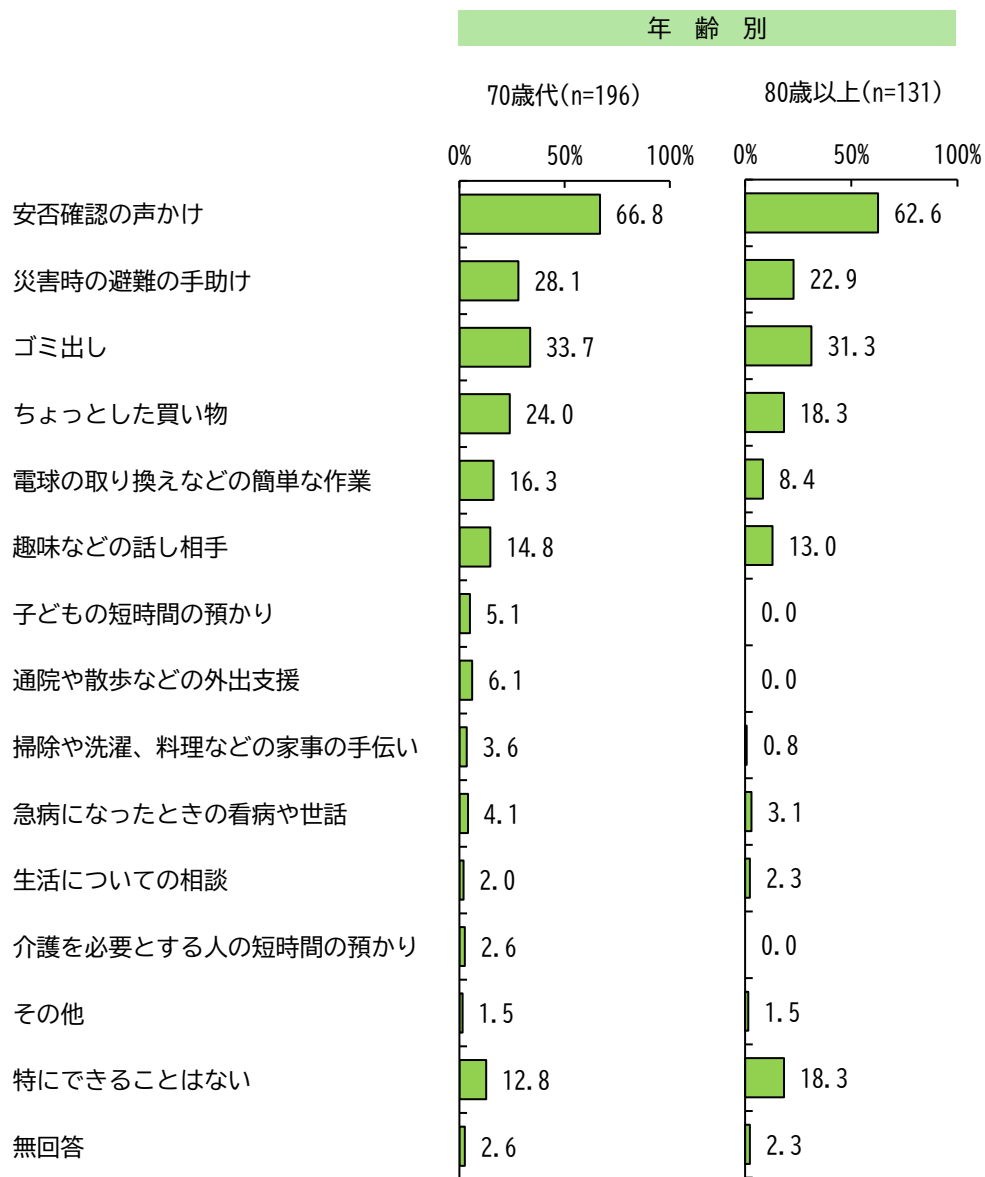
問23 近所に困っている人がいるとき、あなたがしてあげられることは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

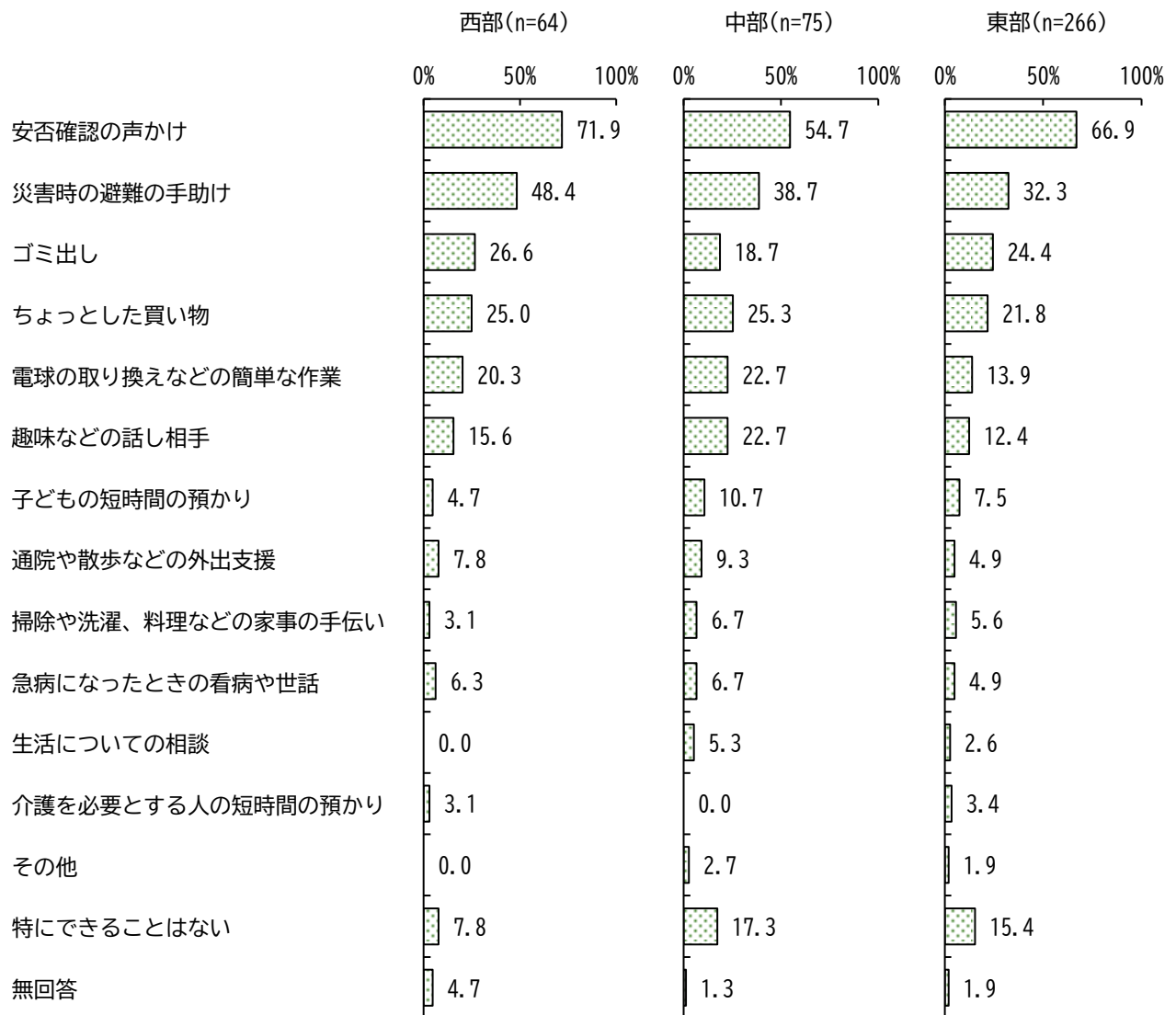




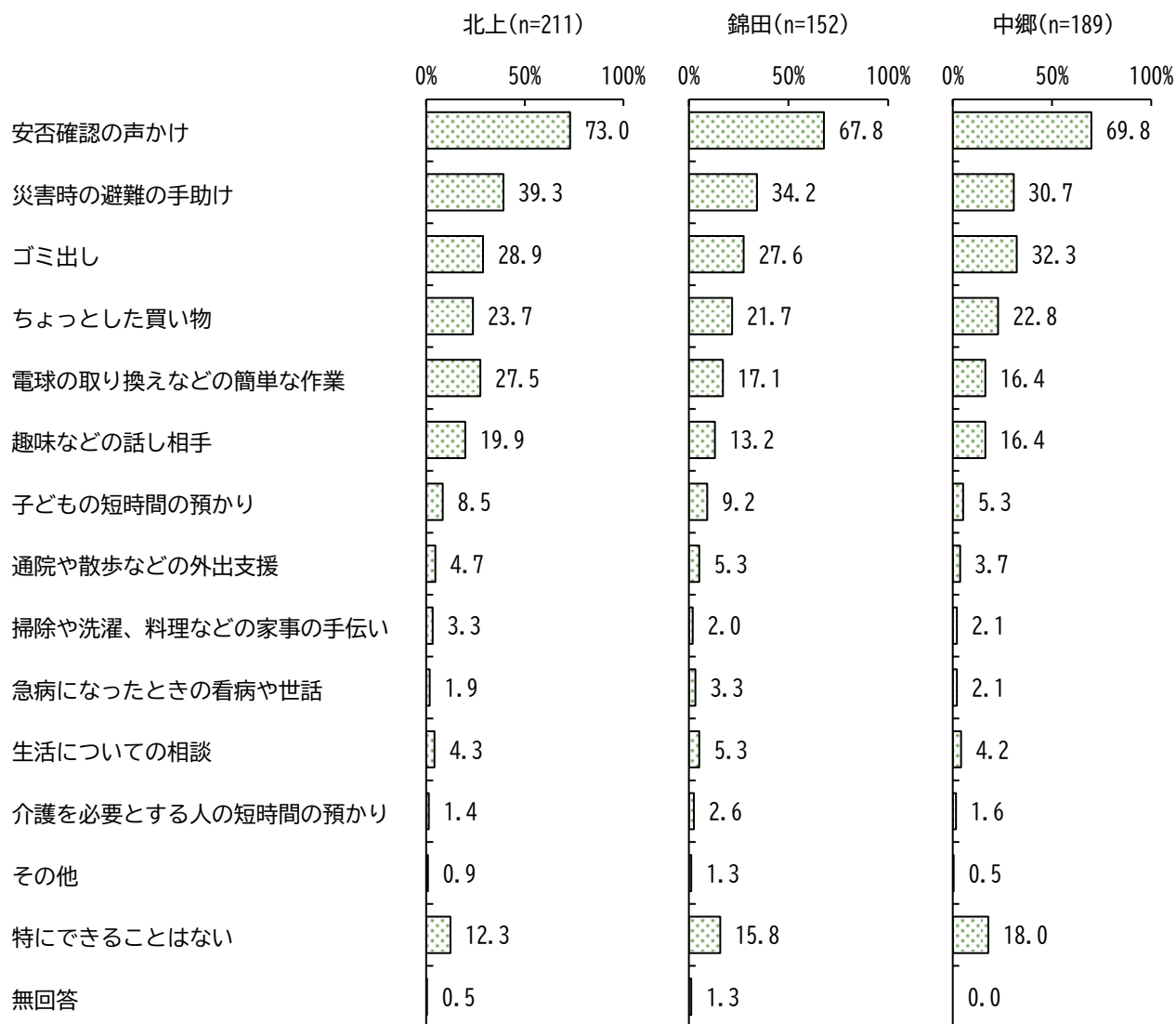




居 住 地 区 別



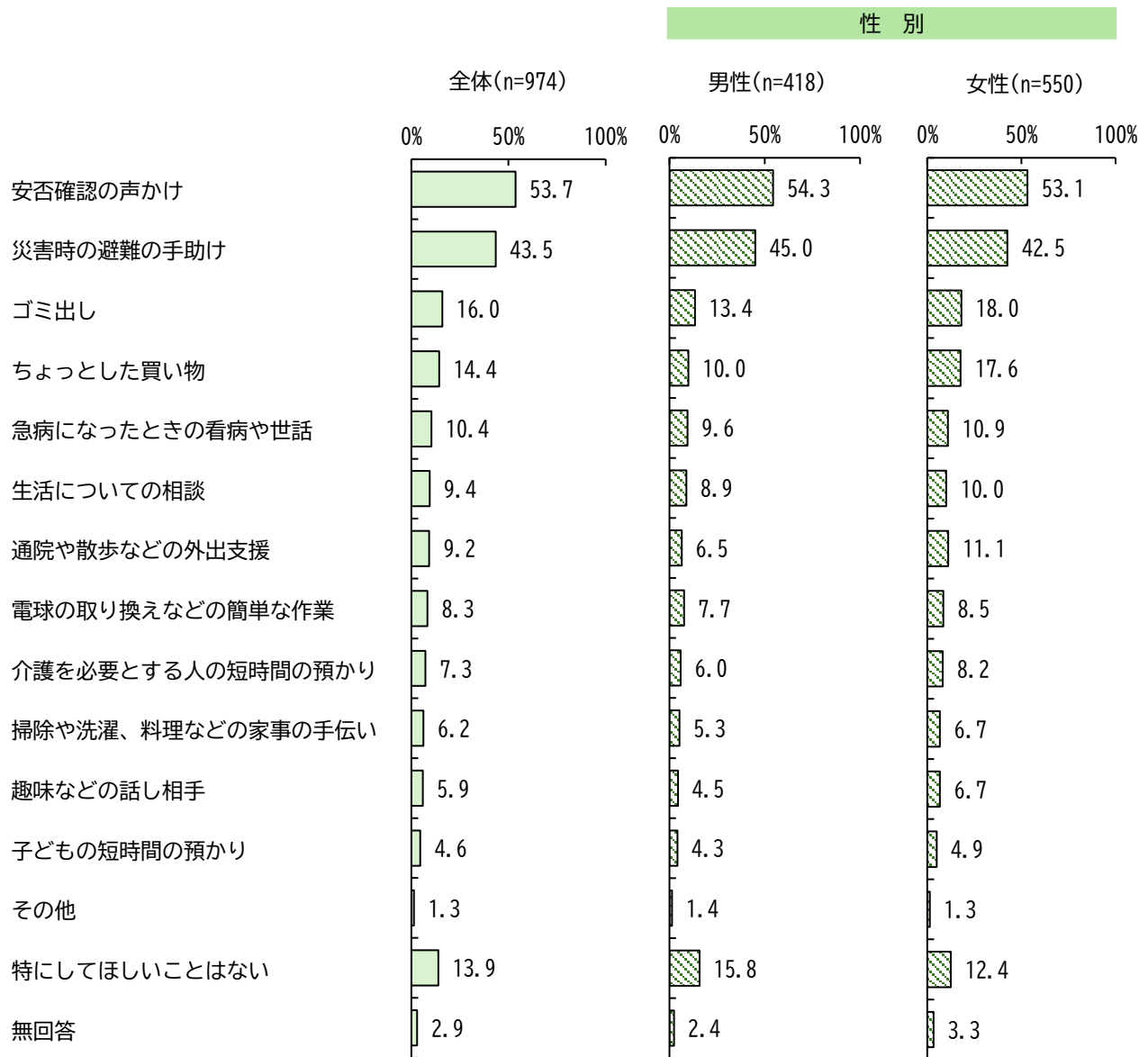
居 住 地 区 別

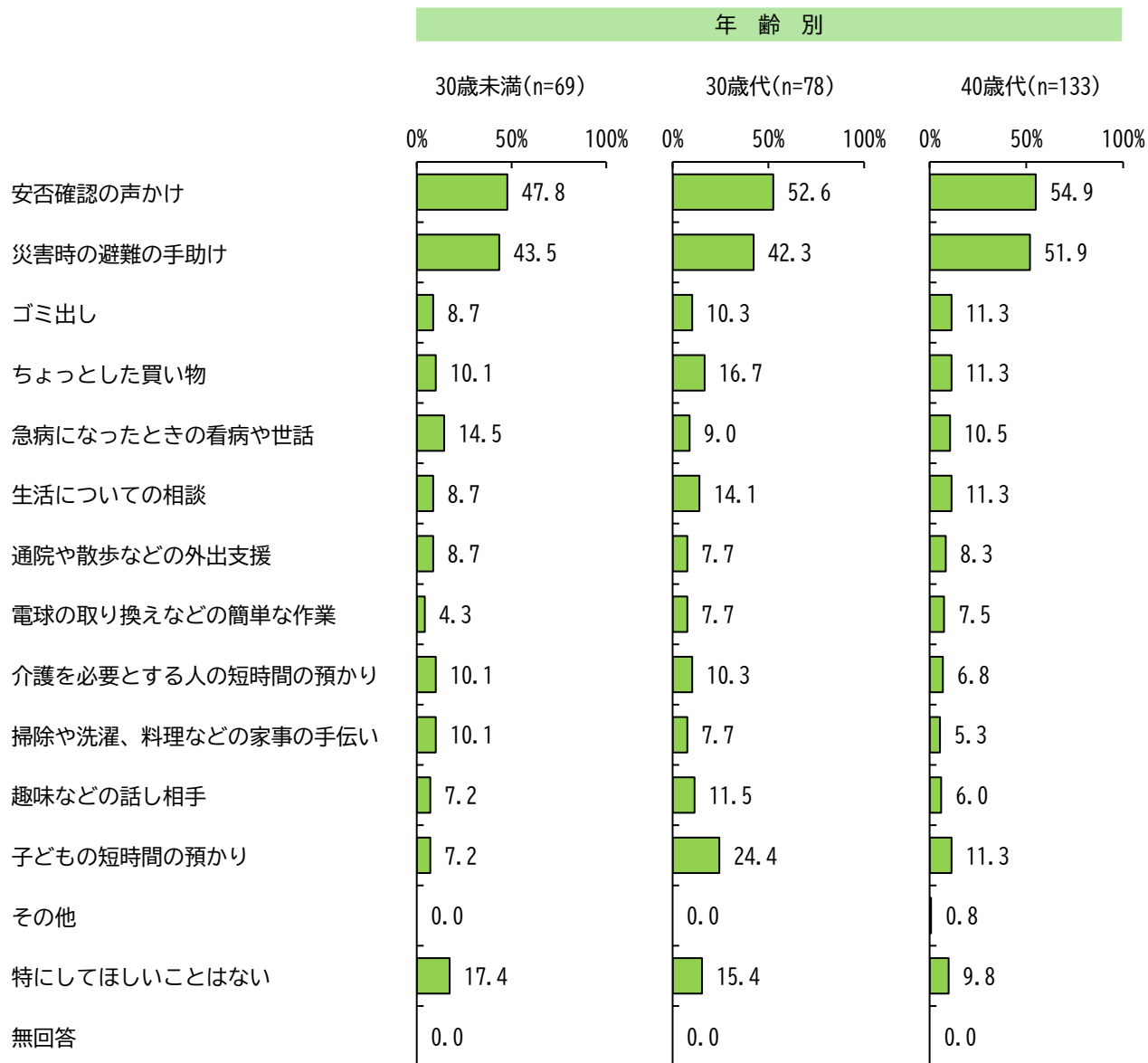


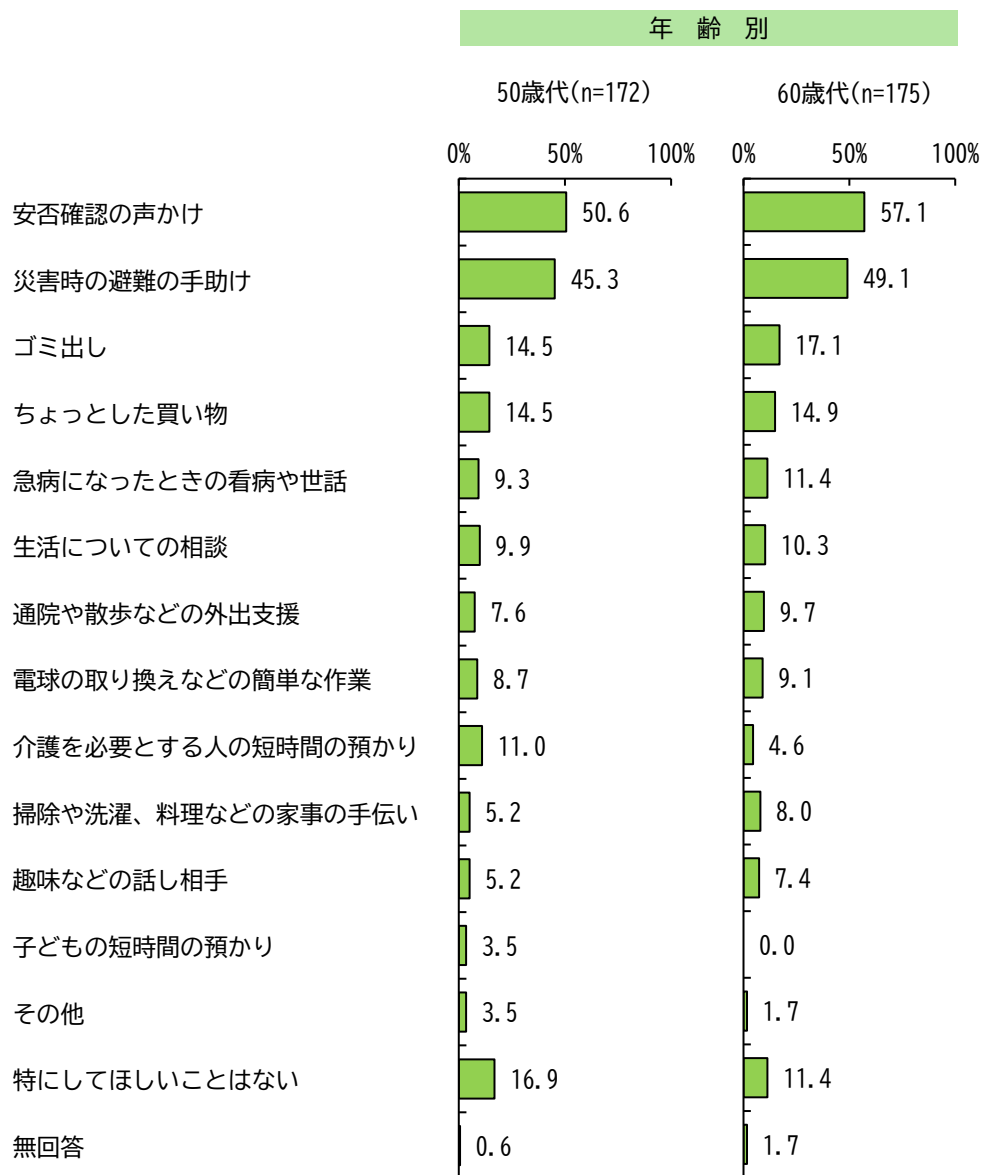
近所に困っている人がいるときにしてあげられることでは、「安否確認の声かけ」が68.7%と最も多く、次いで「災害時の避難の手助け」が35.3%、「ゴミ出し」が27.3%などとなっています。

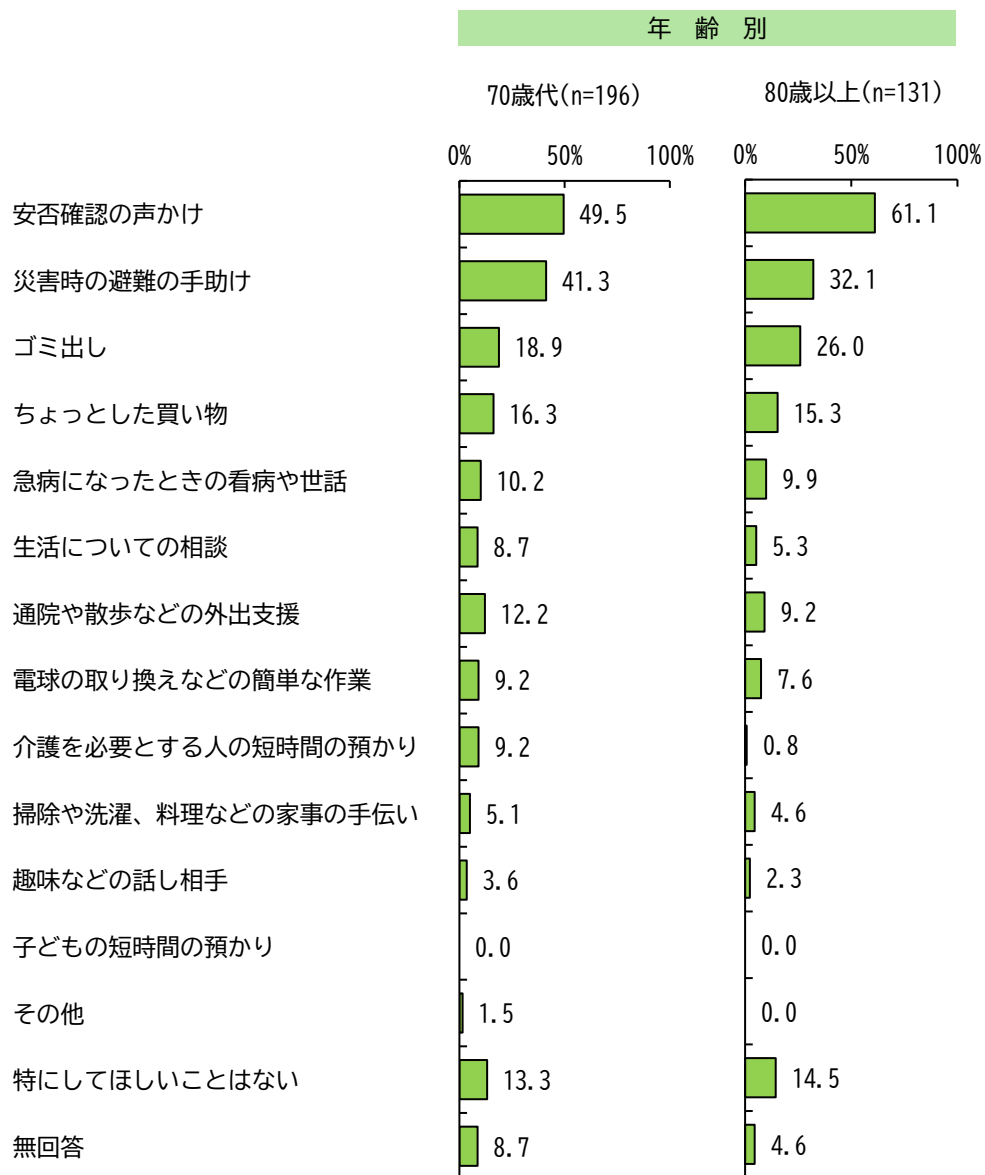
②助けが必要になったときに地域にしてほしい支援

問24 あなたや家族に助けが必要になったとき、地域にどのような支援をしてほしいと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

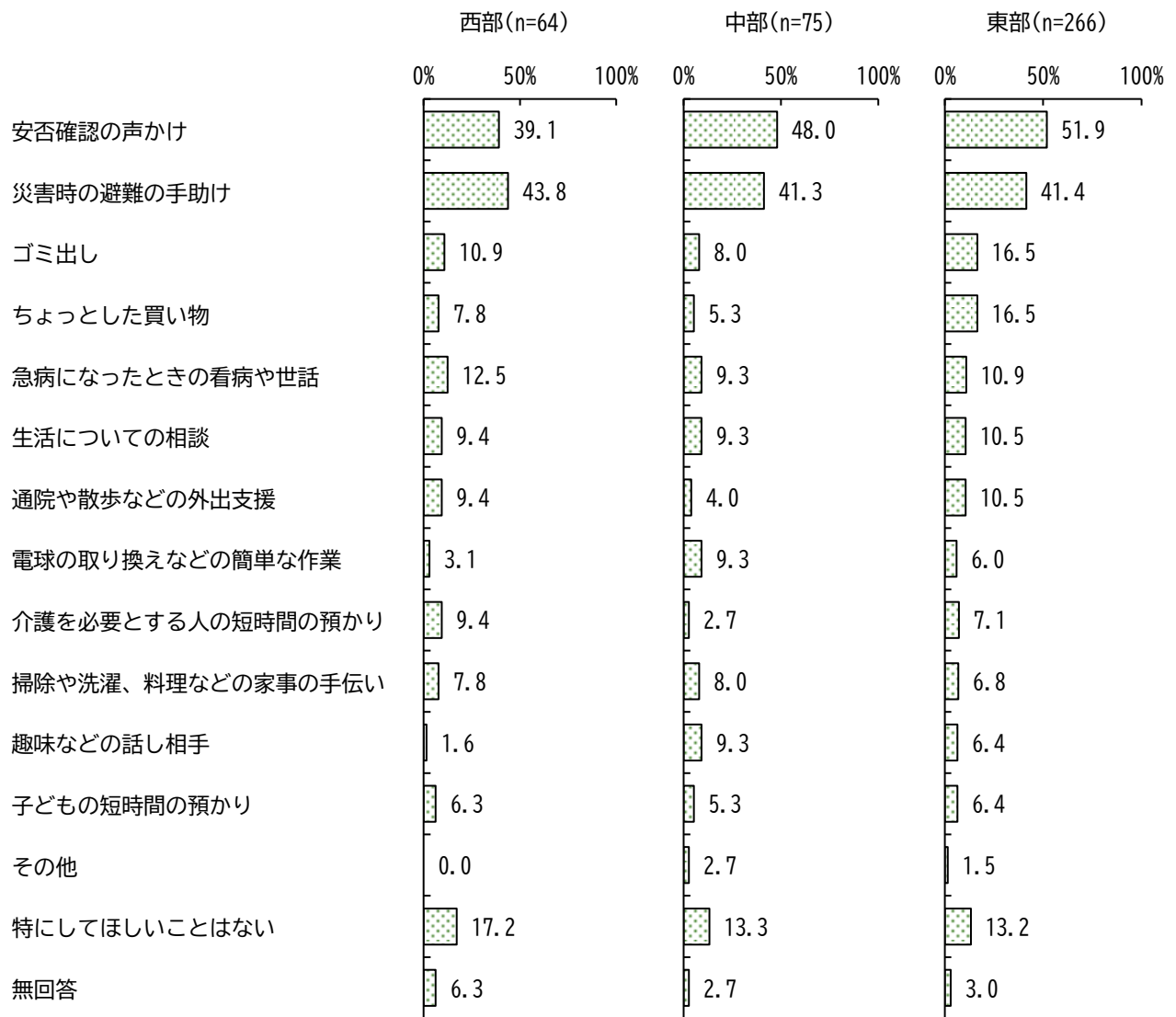




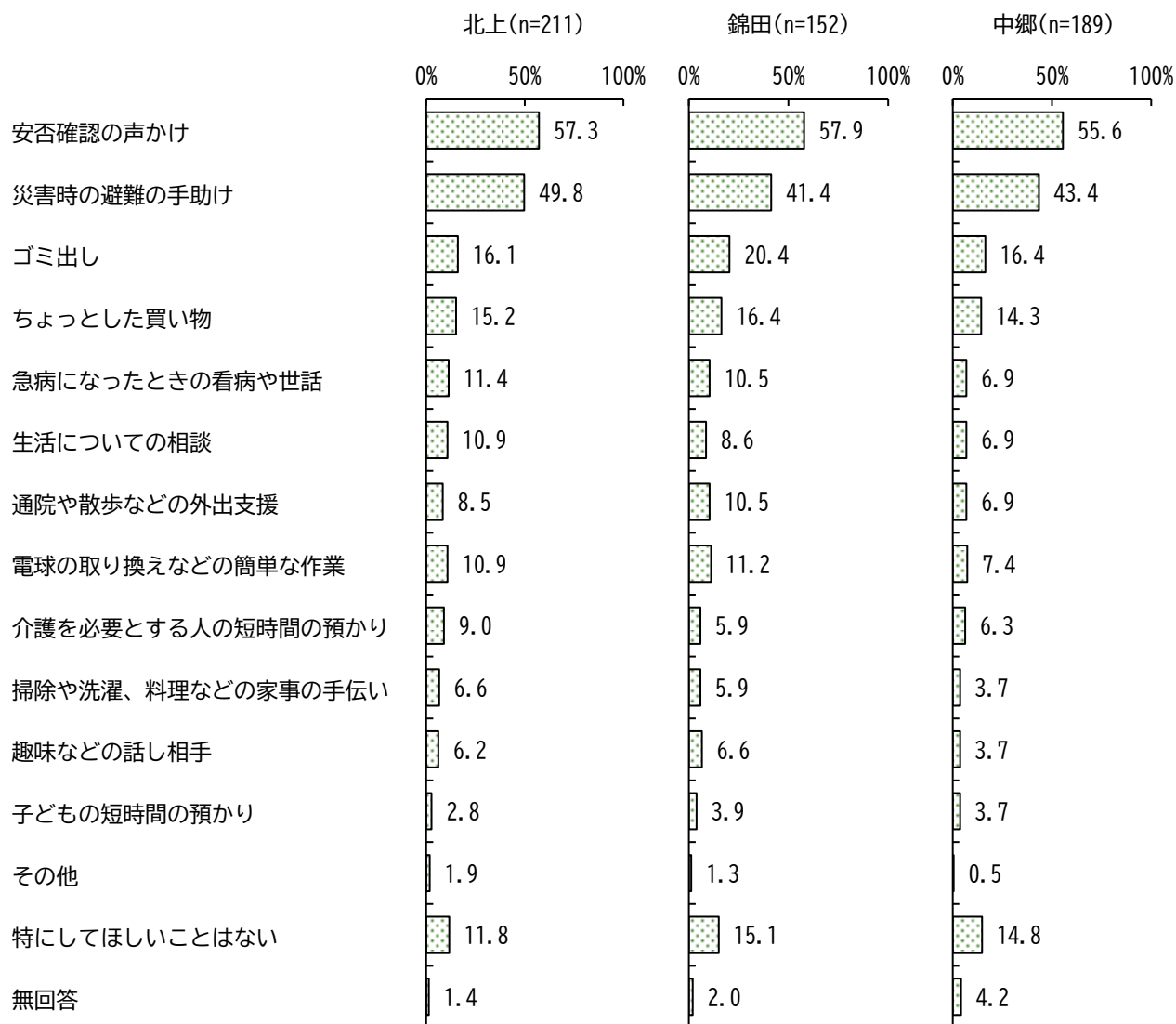




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別

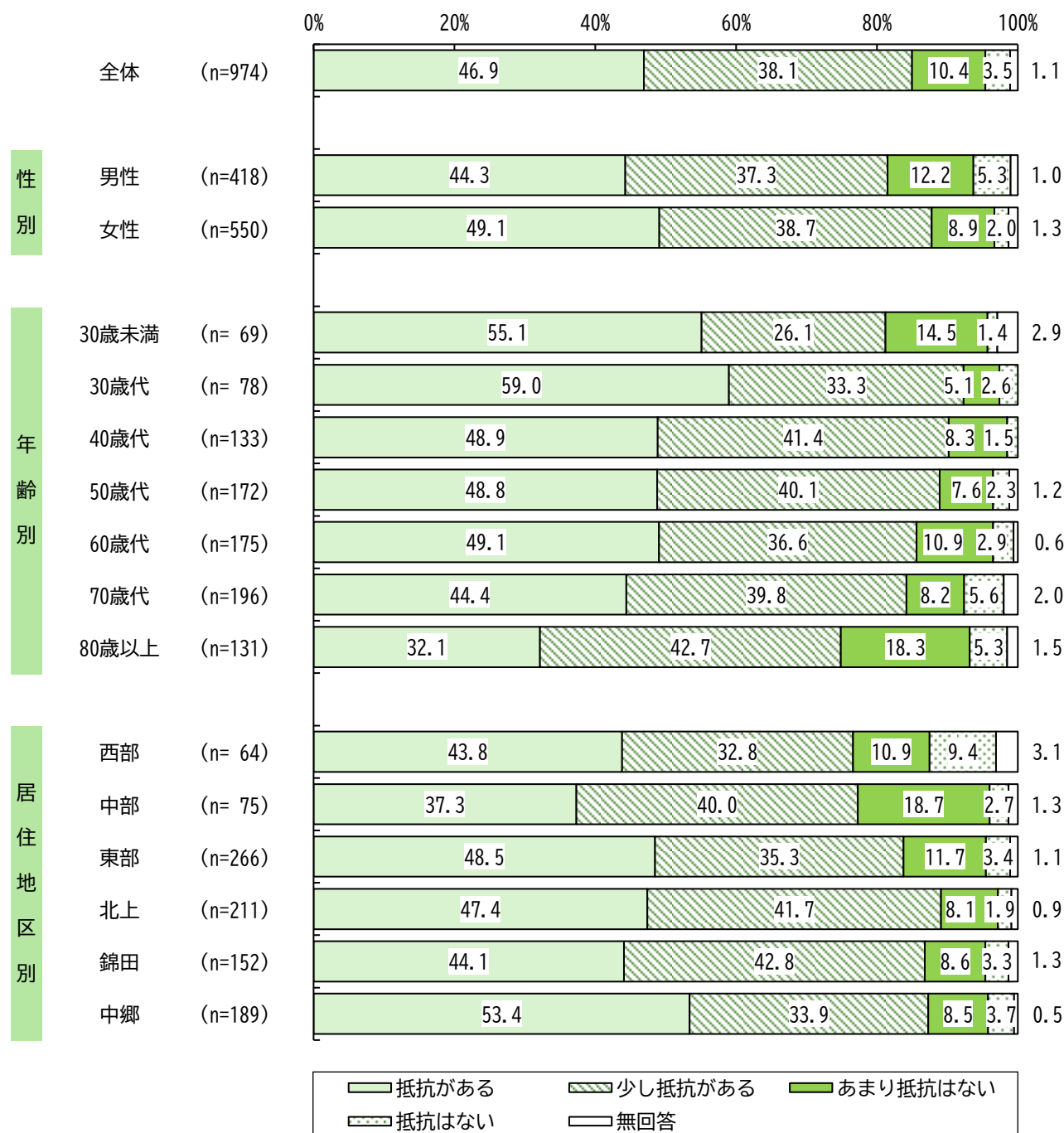


助けが必要になったときに地域にしてほしい支援では、「安否確認の声かけ」が53.7%と最も多く、次いで「災害時の避難の手助け」が43.5%、「ゴミ出し」が16.0%などとなっています。

居住地区別でみると、“西部”は「災害時の避難の手助け」が43.8%と最も多くなっています。

③隣近所の人に支援を頼むことへの抵抗感

問25 あなたが日常の手助けが必要になった場合、隣近所の人に支援を頼むことに抵抗がありますか。
(○は1つだけ)



隣近所の人に支援を頼むことへの抵抗感では、「抵抗がある」が46.9%、「少し抵抗がある」が38.1%、「あまり抵抗はない」が10.4%、「抵抗はない」が3.5%となっています。

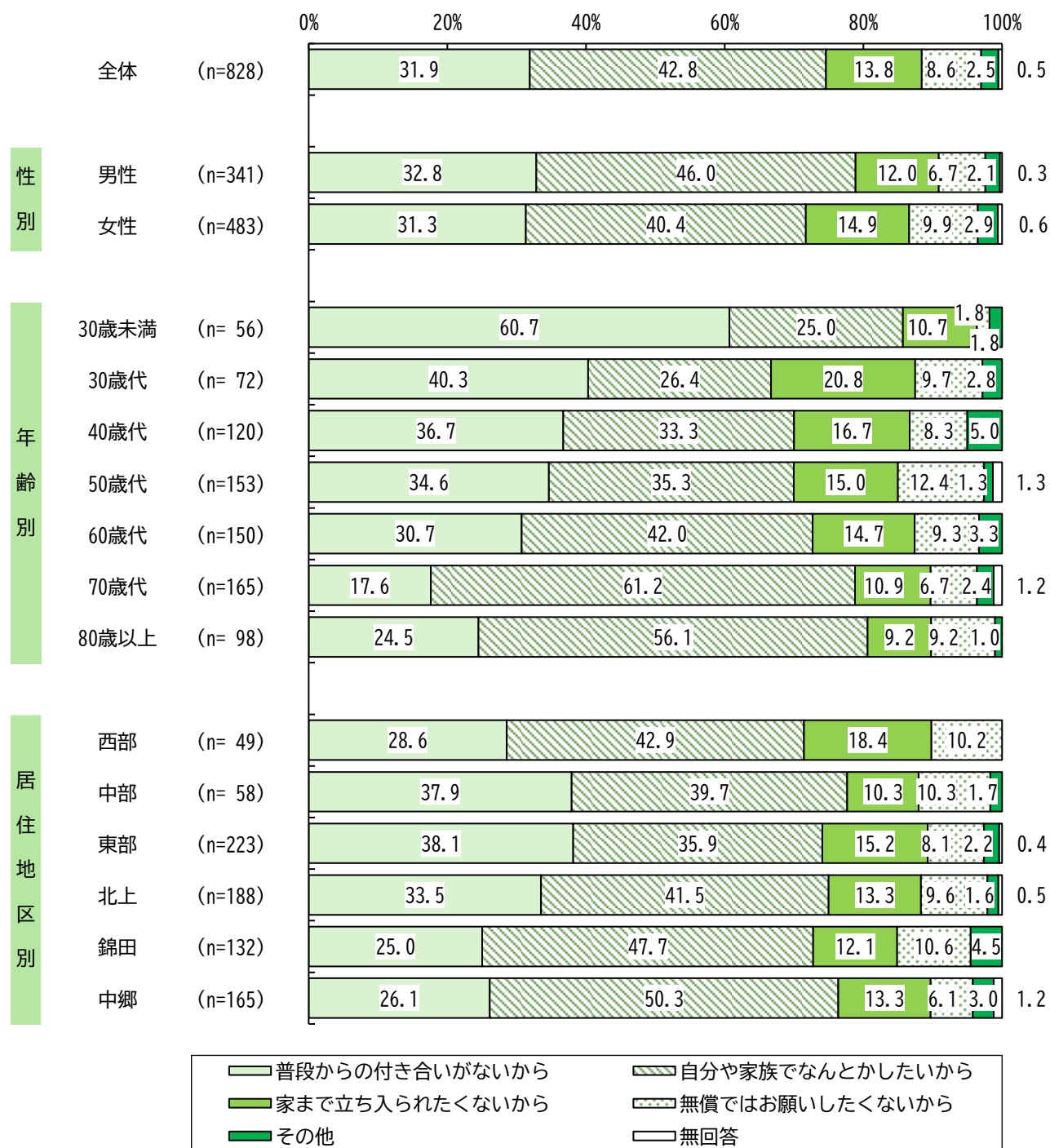
年齢別でみると、“80歳以上”は「少し抵抗がある」が42.7%と最も多くなっています。

居住地区別でみると、“中部”は「少し抵抗がある」が40.0%と最も多くなっています。

④支援を頼むことに抵抗がある理由

問25で「1 抵抗がある」「2 少し抵抗がある」と回答した方にお聞きします。

問25-1 支援を頼むことに抵抗がある理由を教えてください。(○は1つだけ)



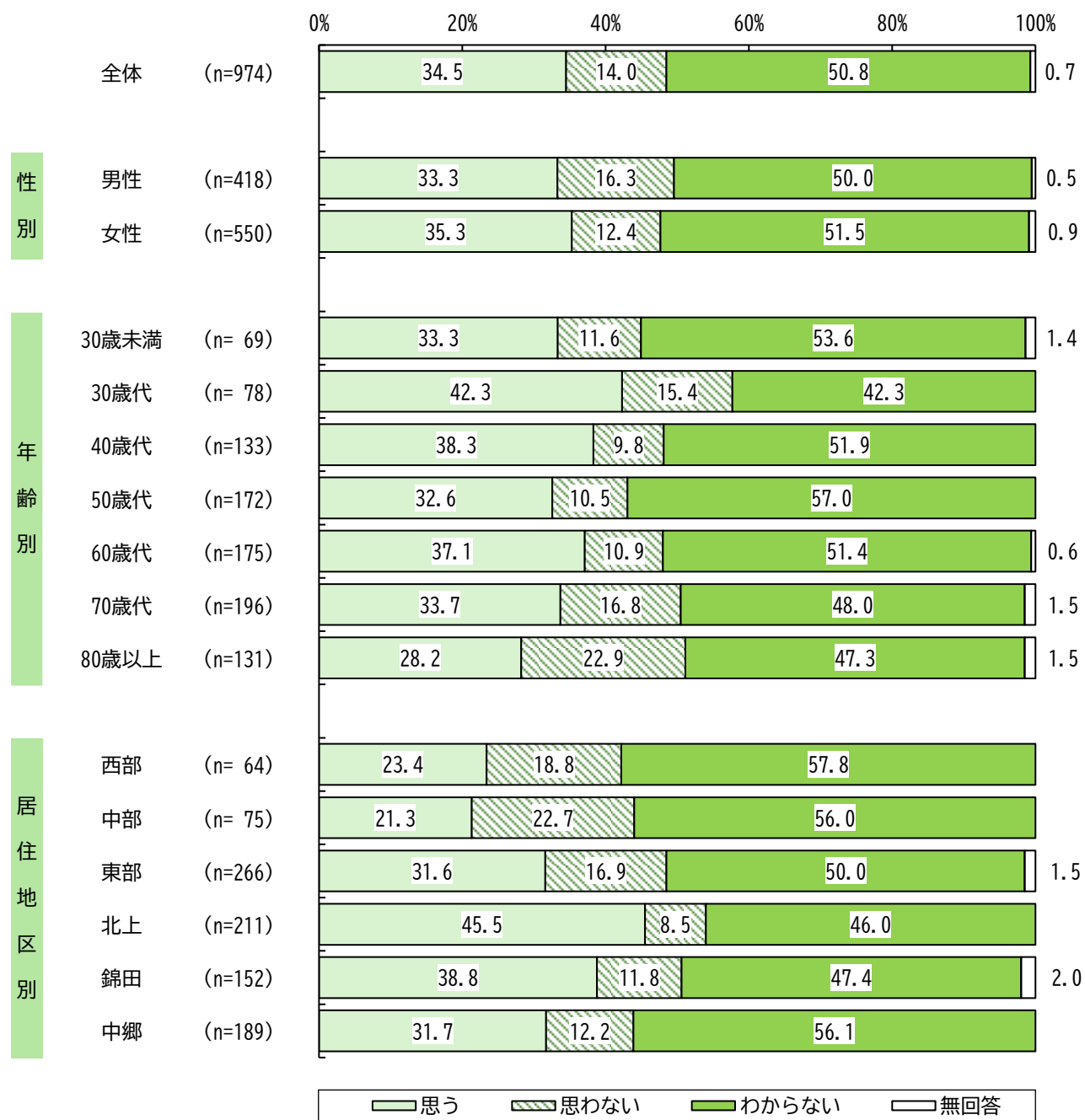
支援を頼むことに抵抗がある理由では、「自分や家族でなんとかしたいから」が42.8%と最も多く、次いで「普段からの付き合いがないから」が31.9%、「家まで立ち入られたくないから」が13.8%などとなっています。

年齢別でみると、「30歳未満」、「30歳代」、「40歳代」は「普段からの付き合いがないから」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、「東部」は「普段からの付き合いがないから」が38.1%と最も多くなっています。

⑤支援を必要とする人の暮らしの不便さ

問26 あなたの地域は、高齢者、障がい者、子育てなど支援を必要とする人の暮らしに不便があると思いますか。
(○は1つだけ)



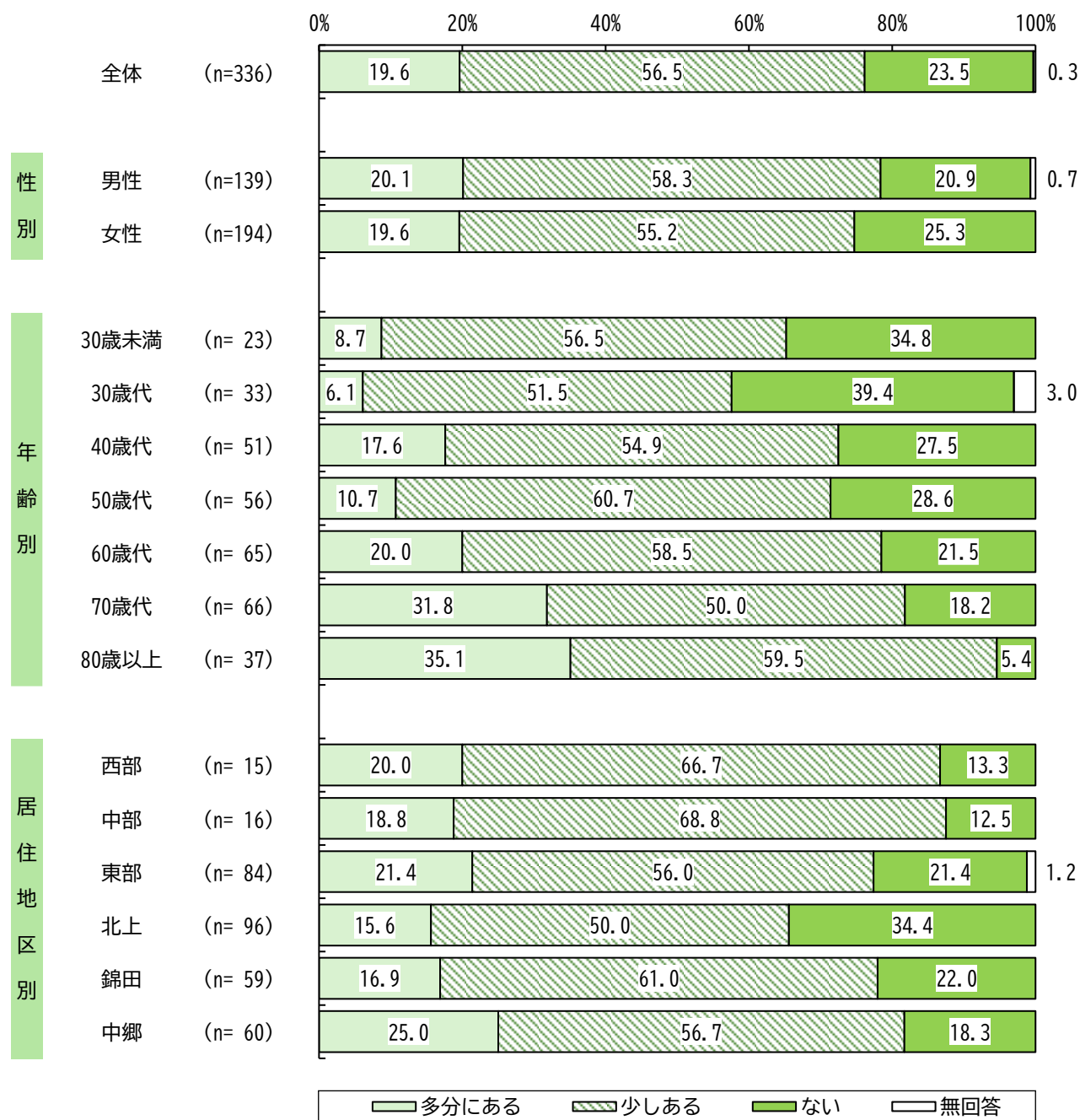
支援を必要とする人の暮らしの不便さでは、「思う」が34.5%、「思わない」が14.0%、「わからない」が50.8%となっています。

⑥住民のちょっとした支え合いでの不便さの解消

問26で「1 思う」と回答した方にお聞きします。

問26-1 住民のちょっとした支え合いで不便が解消される点があると思いますか。

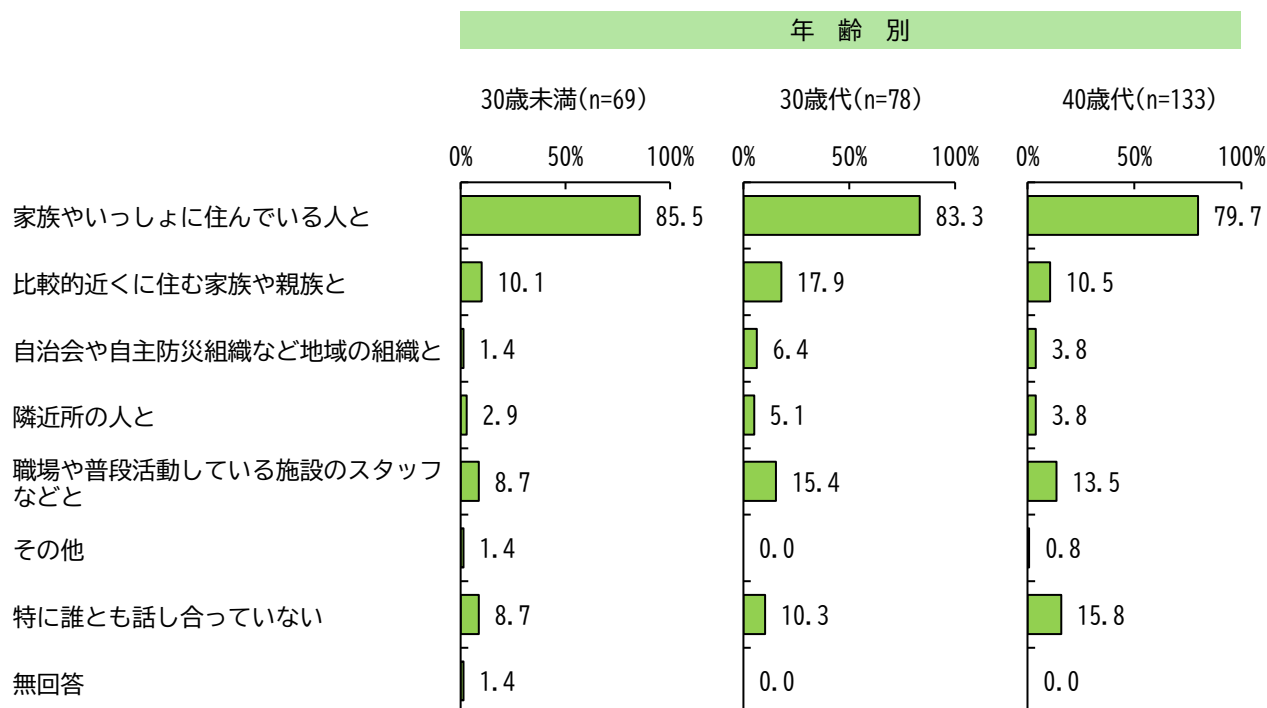
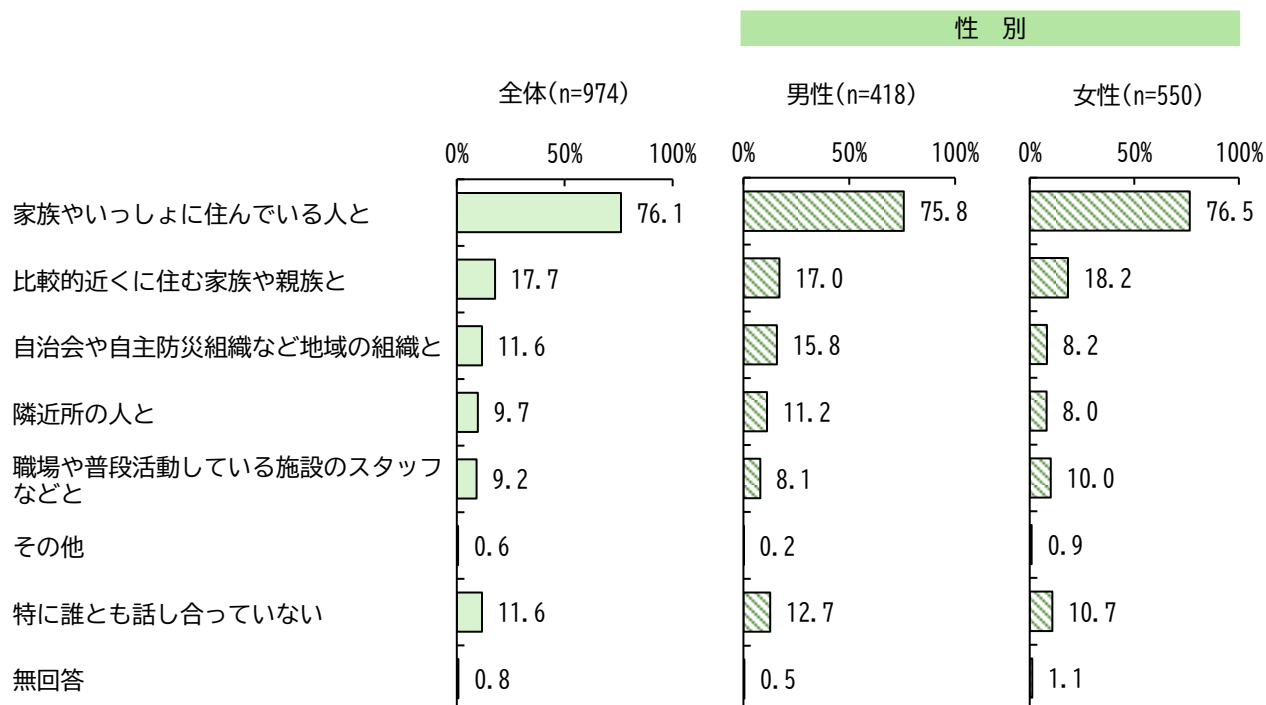
(○は1つだけ)

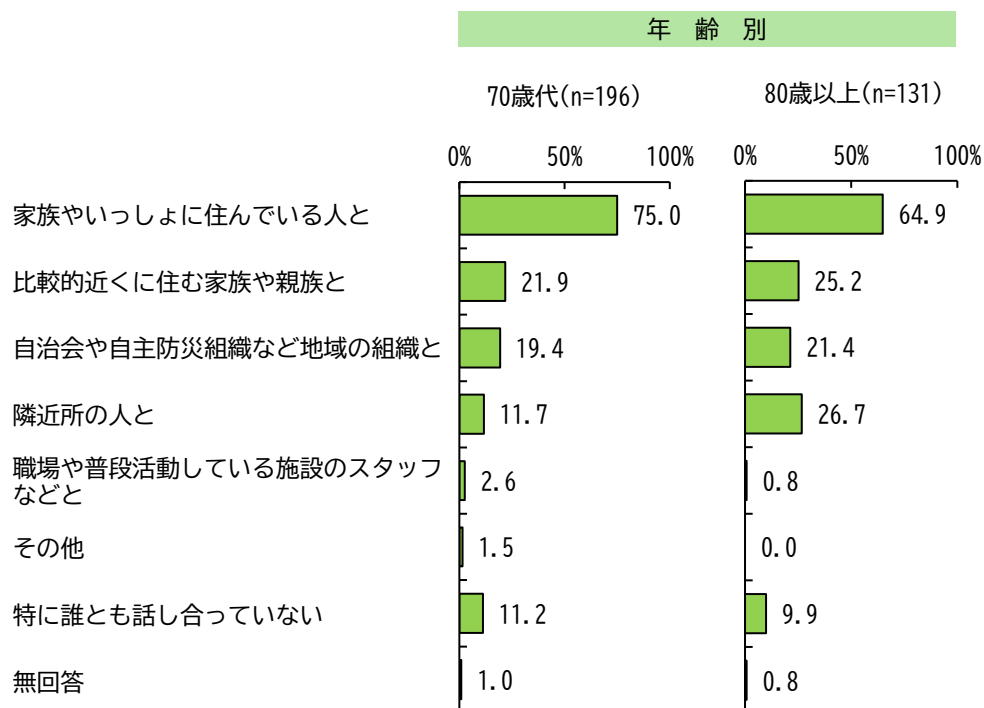
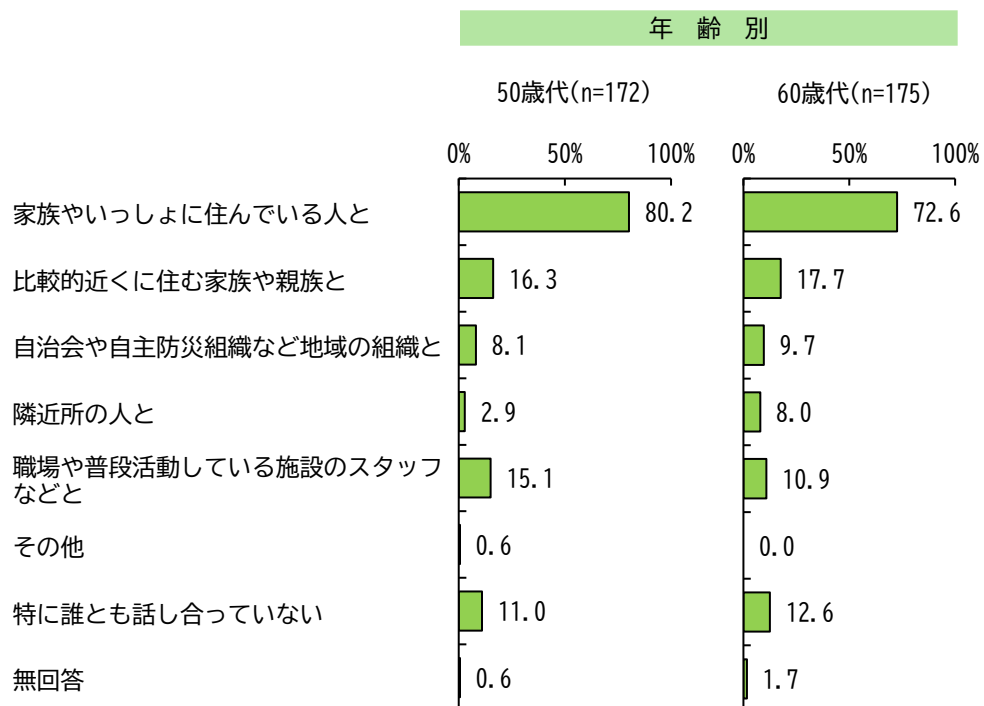


住民のちょっとした支え合いでの不便さの解消では、「多分にある」が19.6%、「少しある」が56.5%、「ない」が23.5%となっています。

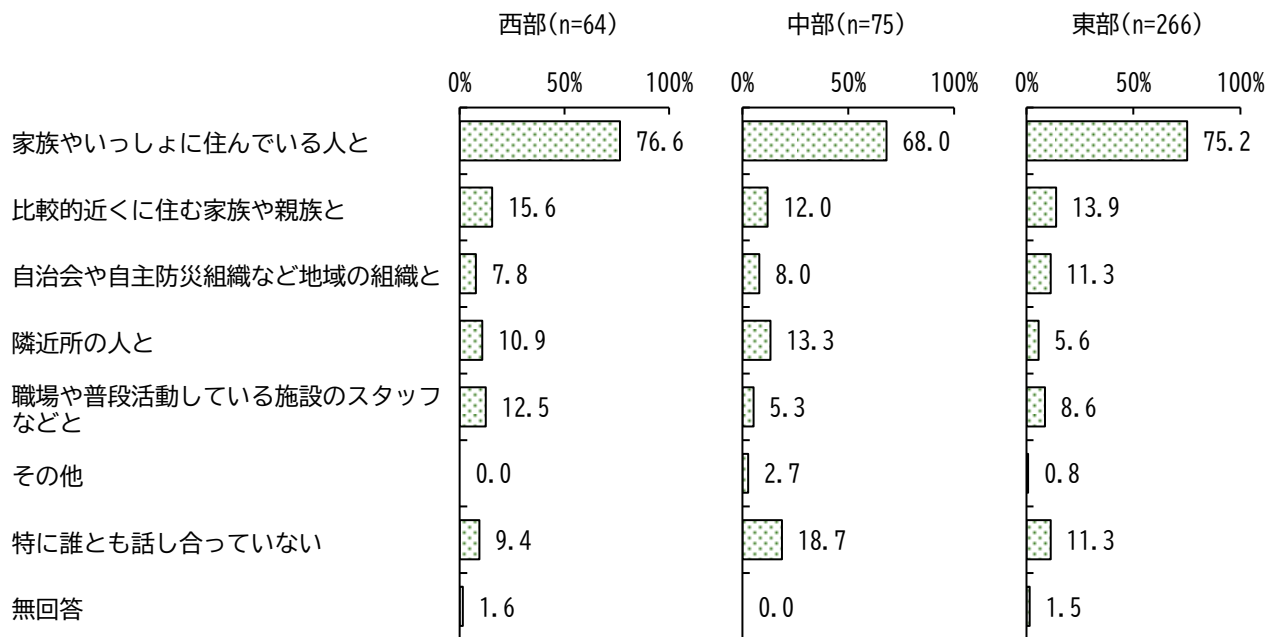
⑦災害時や緊急時の連絡のとり方や避難の方法などについての誰かとの話し合い

問27 あなたは、災害時や緊急時の連絡のとり方や避難の方法などについて、誰と話し合っていますか。
(○はあてはまるものすべて)

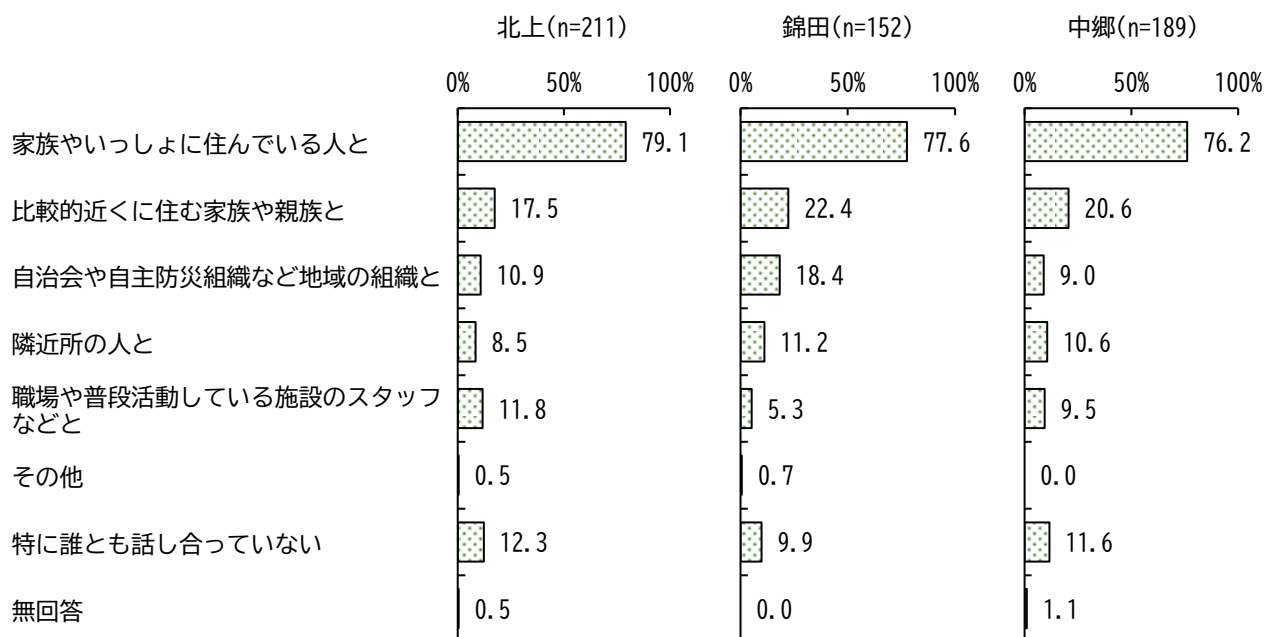




居 住 地 区 別



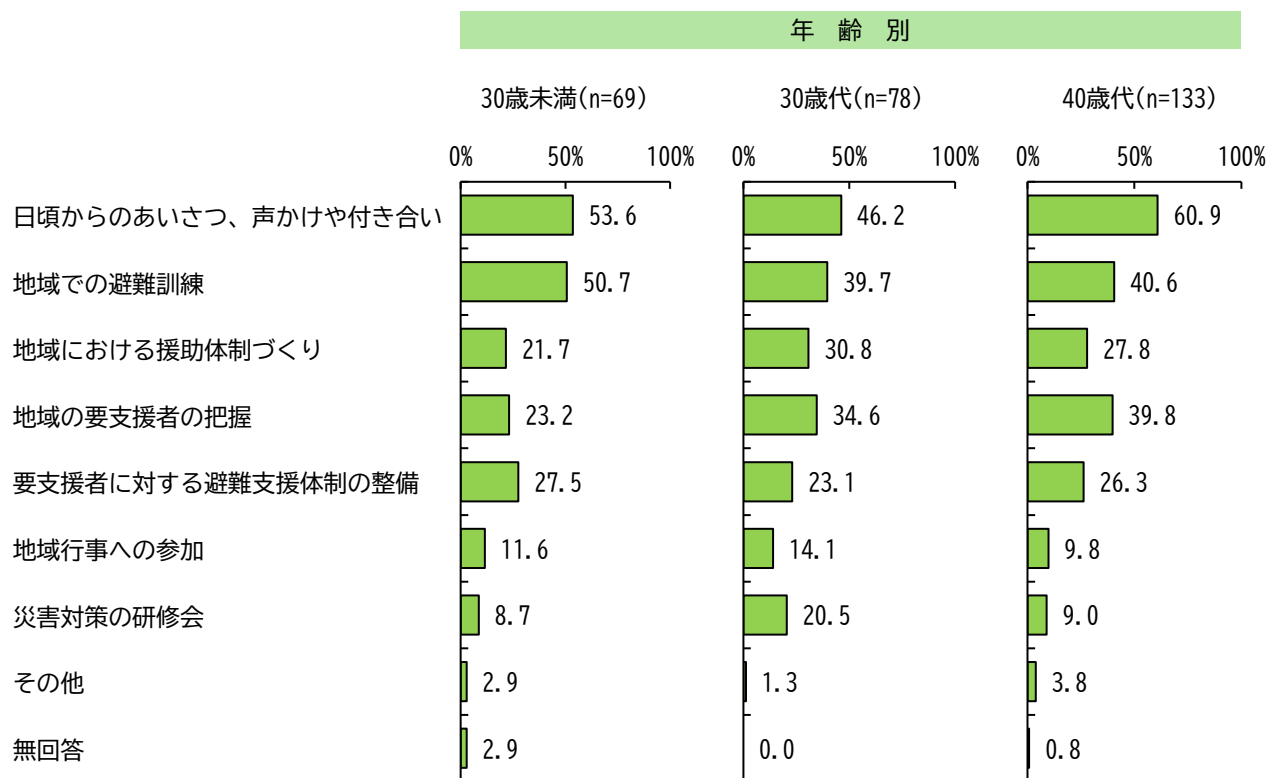
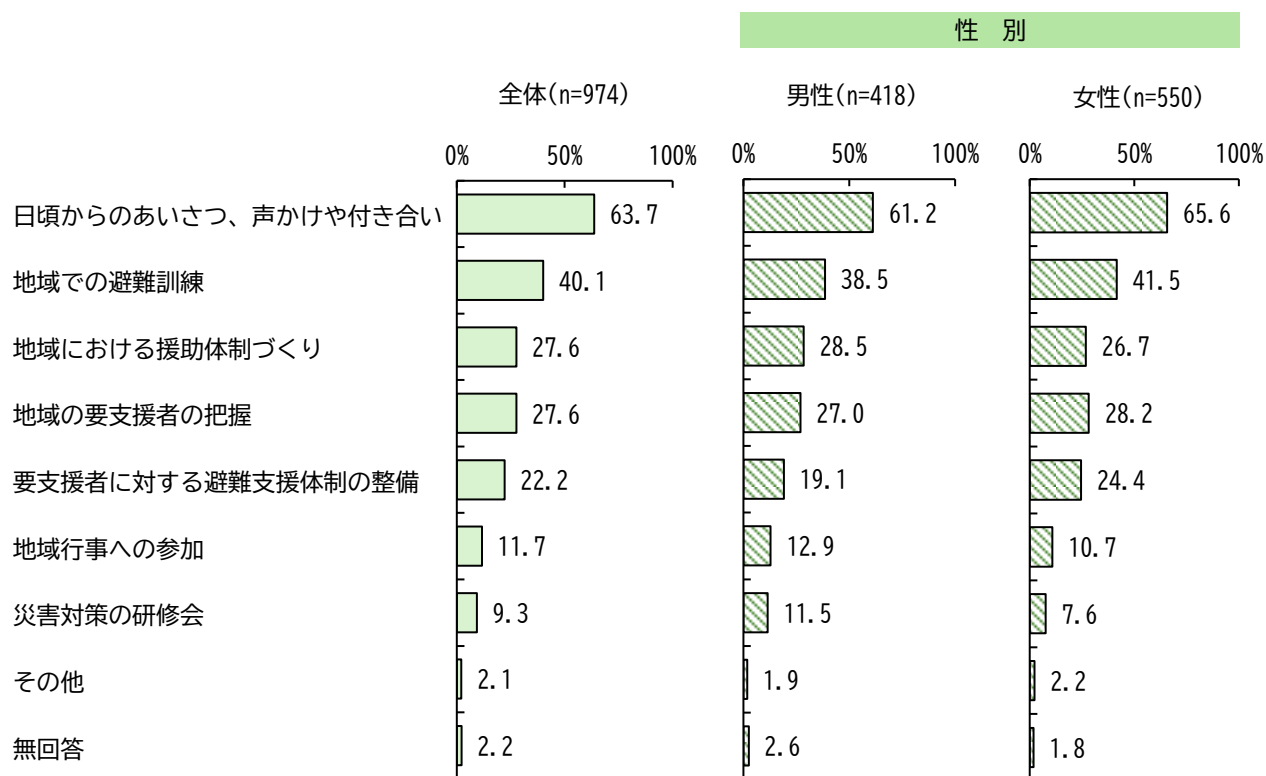
居 住 地 区 別

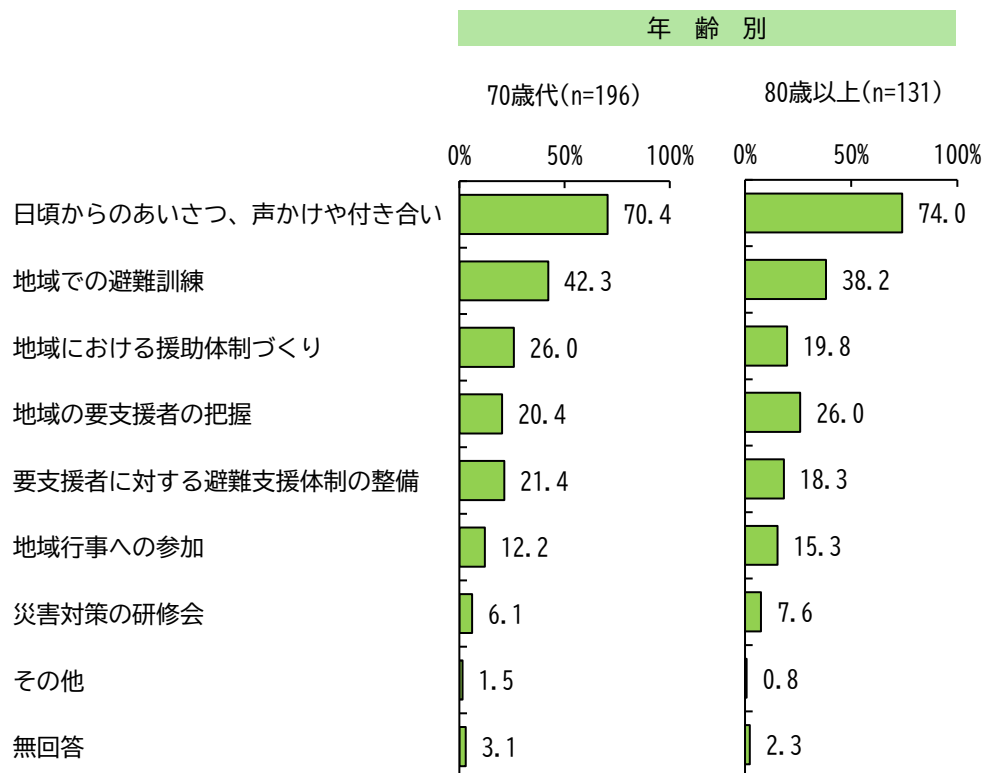
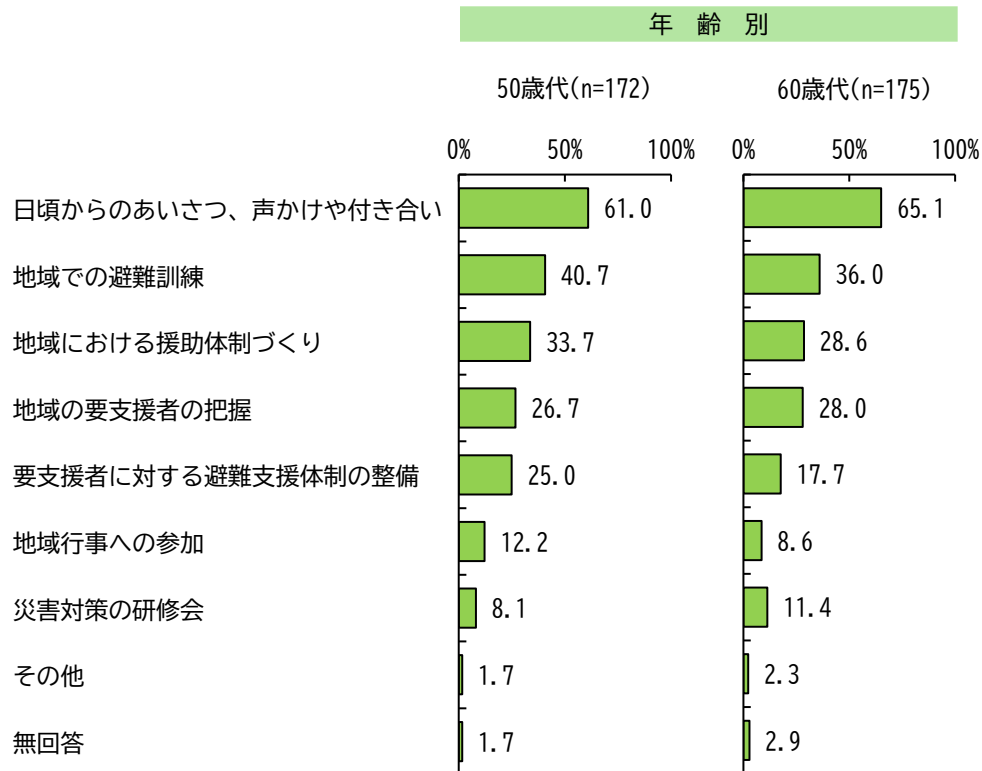


災害時や緊急時の連絡のとり方や避難の方法などについての誰かとの話し合いでは、「家族やいっしょに住んでいる人と」が76.1%と最も多く、次いで「比較的近くに住む家族や親族と」が17.7%、「自治会や自主防災組織など地域の組織と」が11.6%などとなっています。また、「特に誰とも話し合っていない」が11.6%となっています。

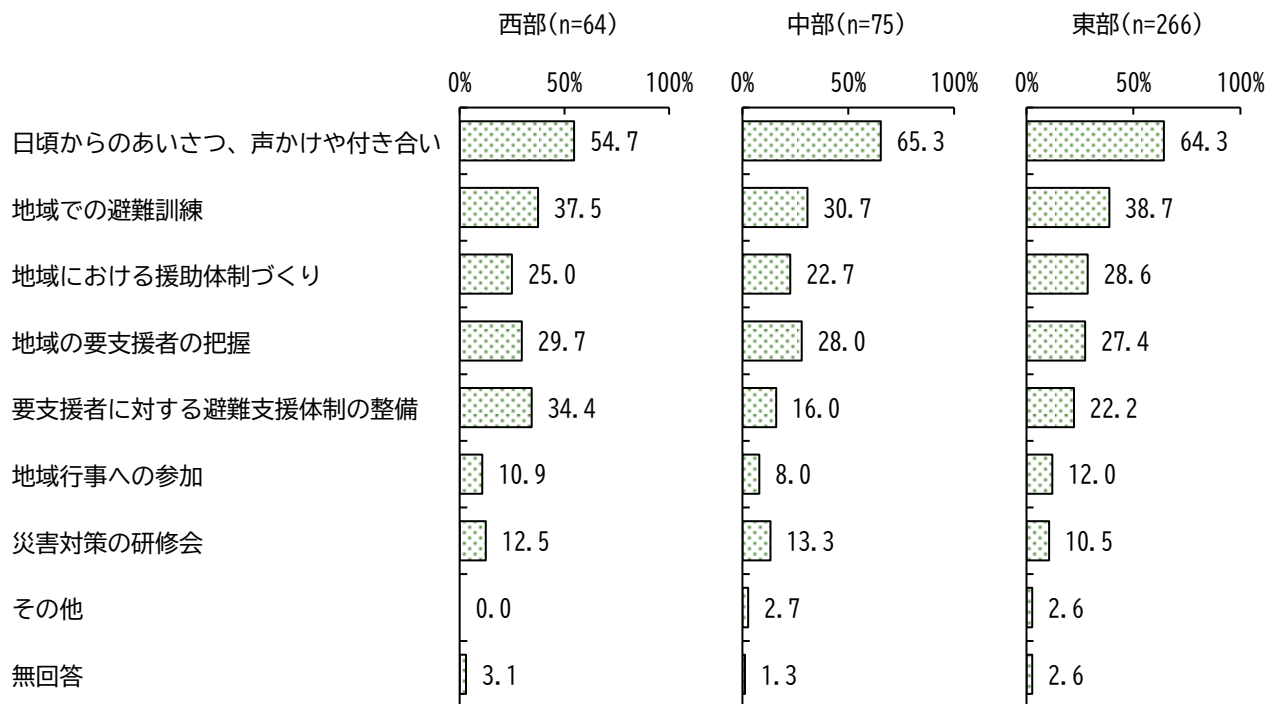
⑧地域における災害時の備えとして重要だと思うこと

問28 あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。
(○は3つまで)

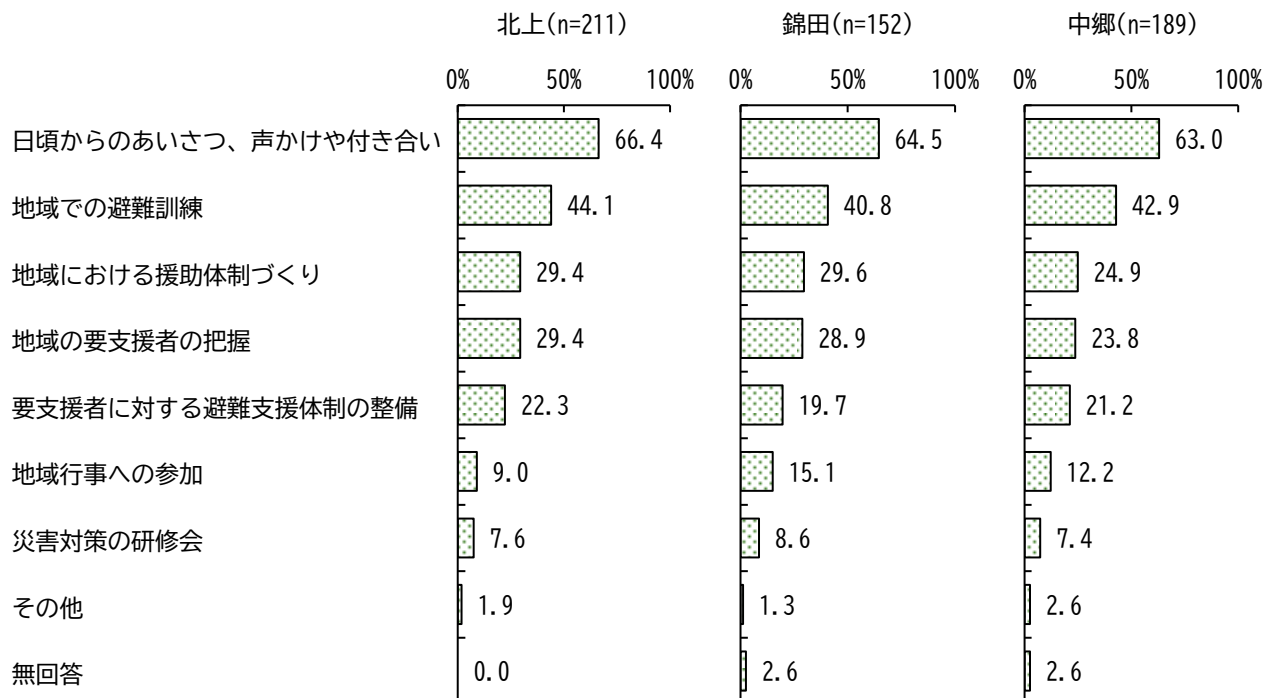




居 住 地 区 別



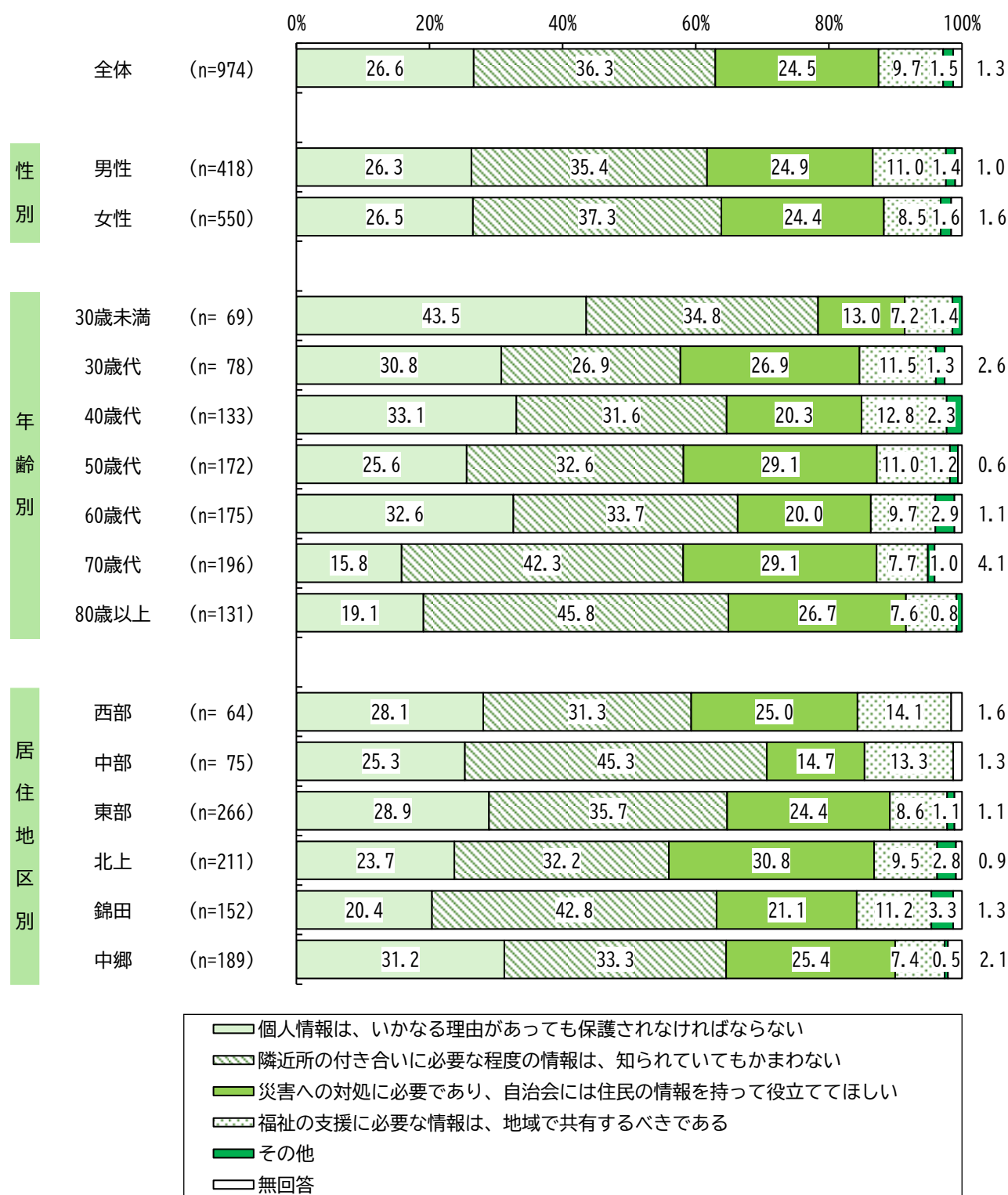
居 住 地 区 別



地域における災害時の備えとして重要だと思うことでは、「日頃からのあいさつ、声かけや付き合い」が63.7%と最も多く、次いで「地域での避難訓練」が40.1%、「地域における援助体制づくり」と「地域の要支援者の把握」が27.6%などとなっています。

⑨地域の支え合いを進める上で必要となる個人情報の取り扱いに関する考え

問29 地域の支え合いを進める上で必要となる個人情報の取り扱いに関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。（○は1つだけ）

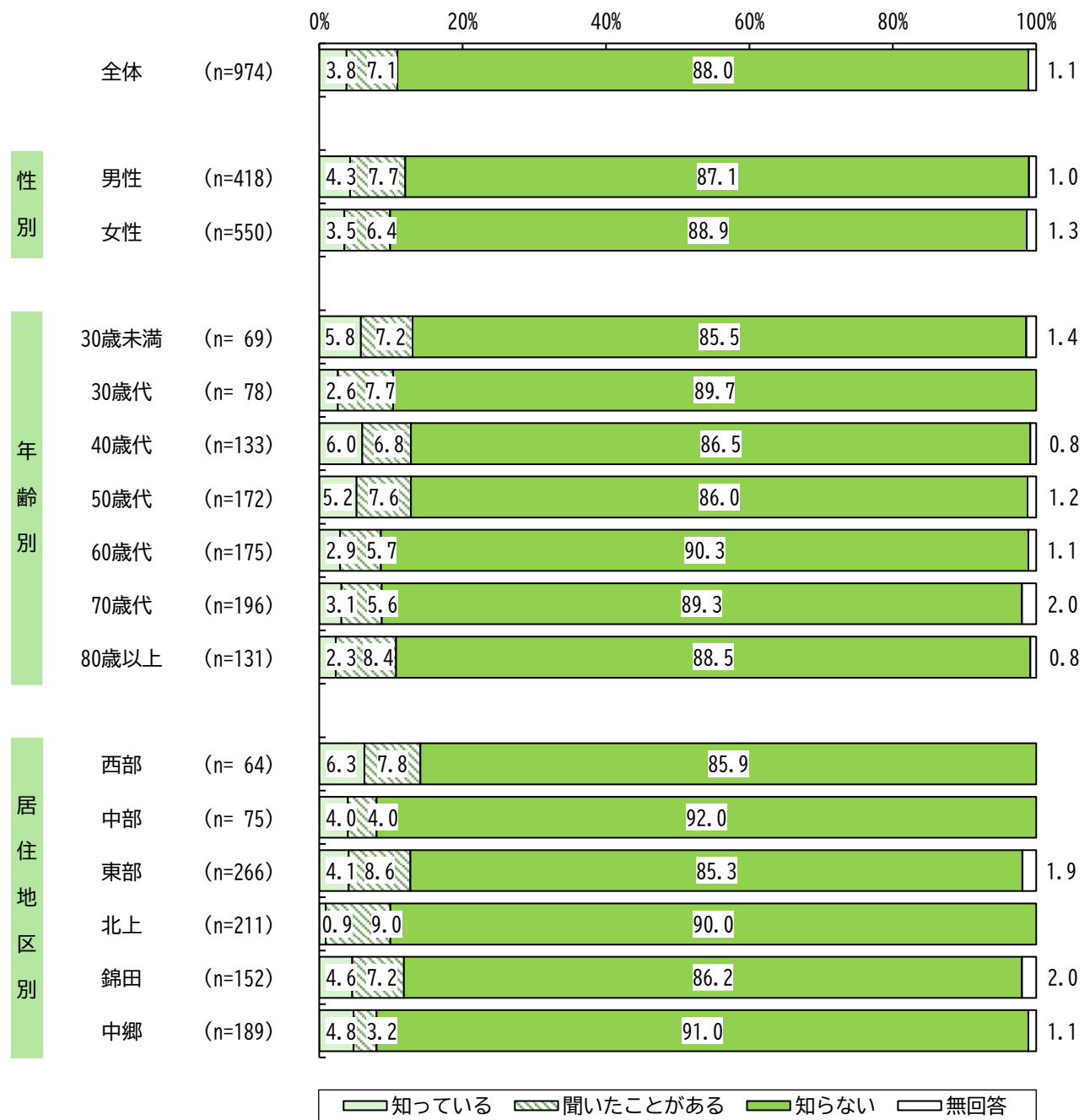


地域の支え合いを進める上で必要となる個人情報の取り扱いに関する考えでは、「隣近所の付き合いに必要な程度の情報は、知られていてもかまわない」が36.3%と最も多く、次いで「個人情報は、いかなる理由があっても保護されなければならない」が26.6%、「災害への対処に必要であり、自治会には住民の情報を持って役立ててほしい」が24.5%などとなっています。

年齢別でみると、「30歳未満」、「30歳代」、「40歳代」は「個人情報は、いかなる理由があっても保護されなければならない」が最も多くなっています。

⑩必要な支援を受けることができず、地域からも孤立している人たちの認知

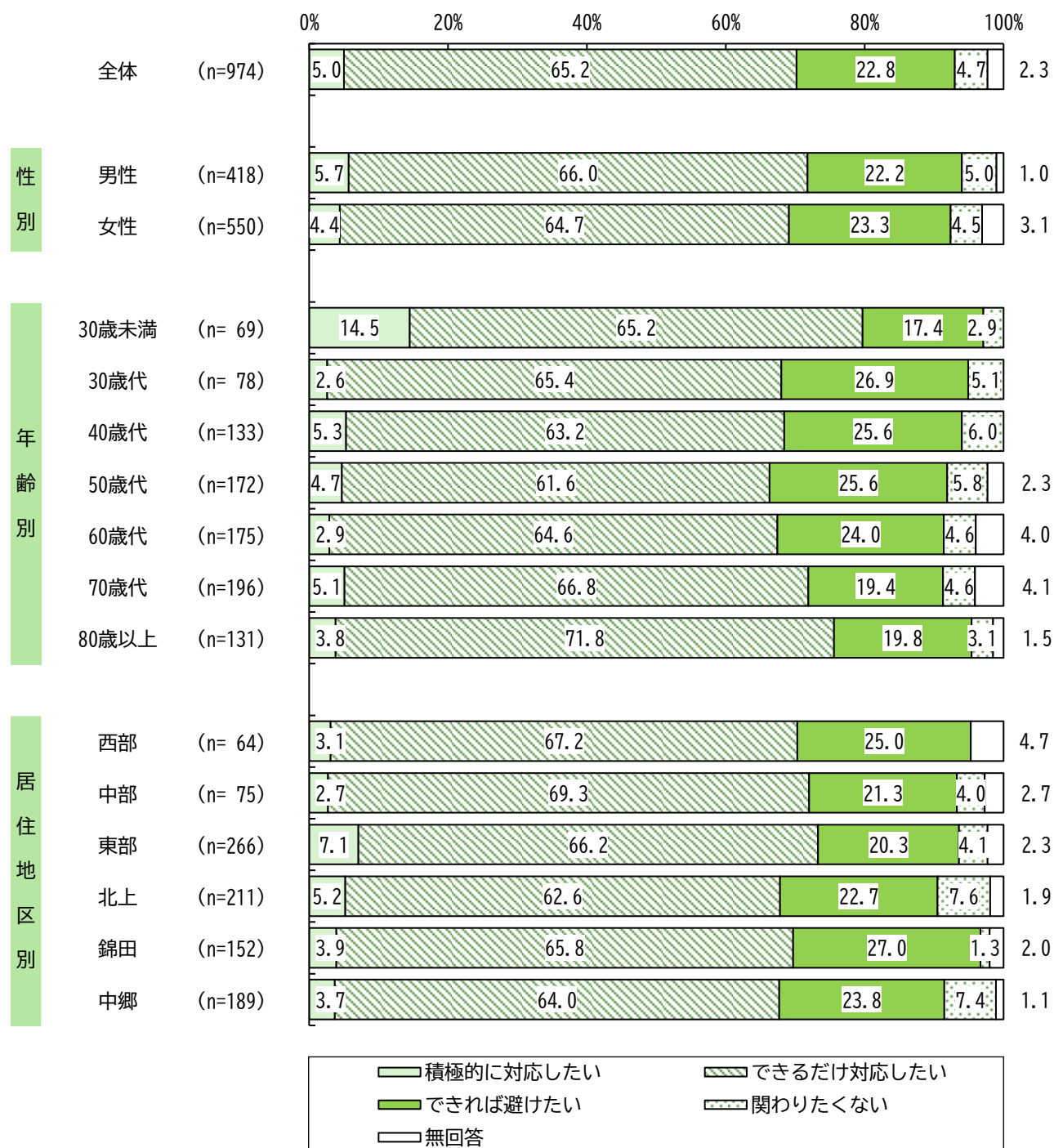
問30 生活上の様々な問題を抱えているが必要な支援を受けることができず、地域からも孤立している人たちがあなたの住む地域にいるか知っていますか。(○は1つだけ)



必要な支援を受けることができず、地域からも孤立している人たちの認知では、「知っている」が3.8%、「聞いたことがある」が7.1%、「知らない」が88.0%となっています。

⑪問題を抱えている人たちから助けを求められたときの対応

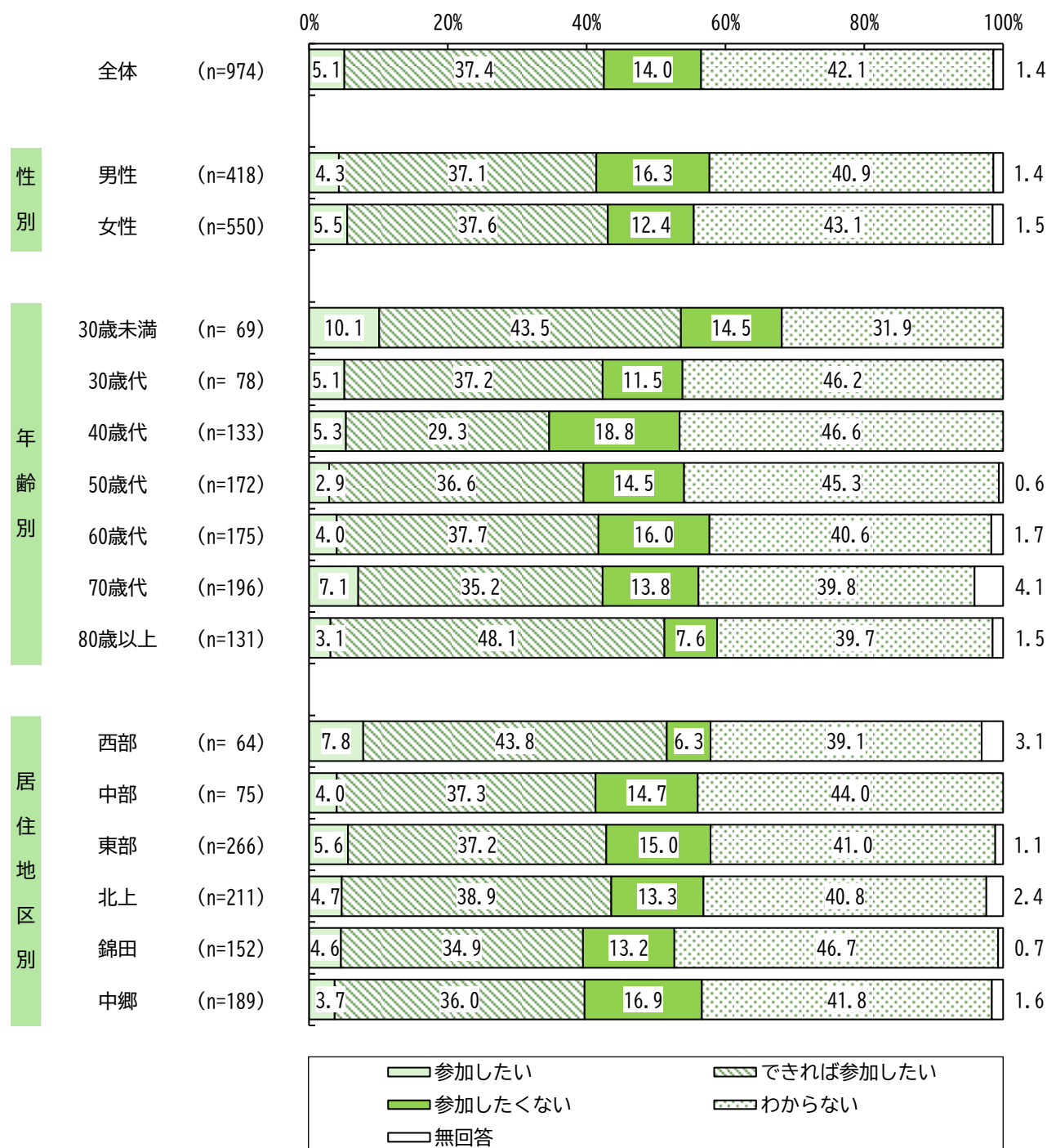
問31 生活上の様々な問題を抱えている人たちから助けを求められたとき、あなた自身はどのように対応したいと思いますか。(○は1つだけ)



問題を抱えている人たちから助けを求められたときの対応では、「積極的に対応したい」が5.0%、「できるだけ対応したい」が65.2%、「できれば避けたい」が22.8%、「関わりたくない」が4.7%となっています。

⑫地域での支え合いへの参加

問32 日常生活をする上で困っている人、高齢者、障がい者、子育てなどに対する地域での支え合いに参加したいと思いますか。(○は1つだけ)



地域での支え合いへの参加では、「参加したい」が5.1%、「できれば参加したい」が37.4%、「参加したくない」が14.0%、「わからない」が42.1%となっています。

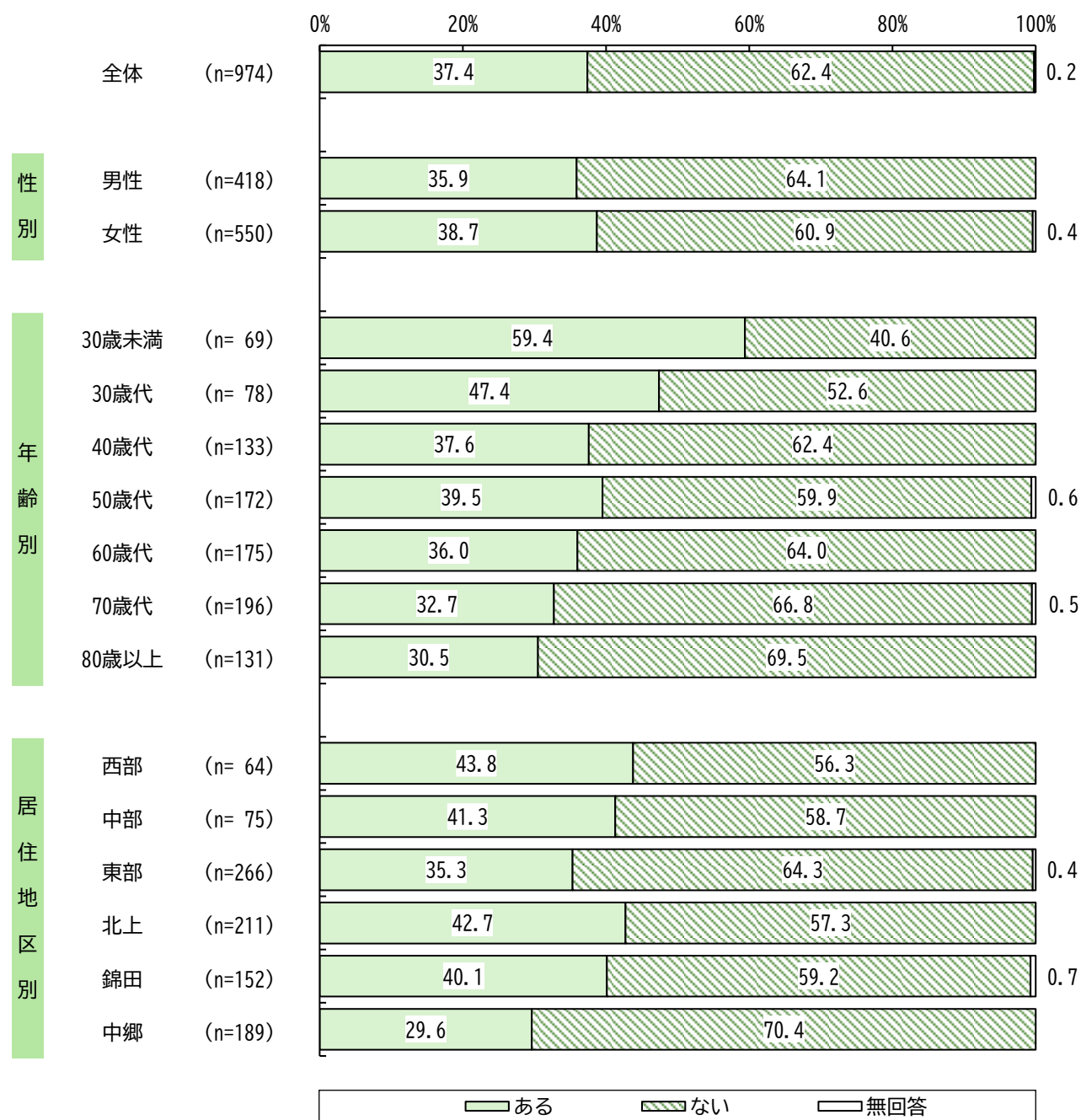
年齢別でみると、“30歳未満”と“80歳以上”は「できれば参加したい」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、“西部”は「できれば参加したい」が43.8%と最も多くなっています。

5. ボランティア活動などに関することについて

①ボランティア活動への参加

問33 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。 (○は1つだけ)



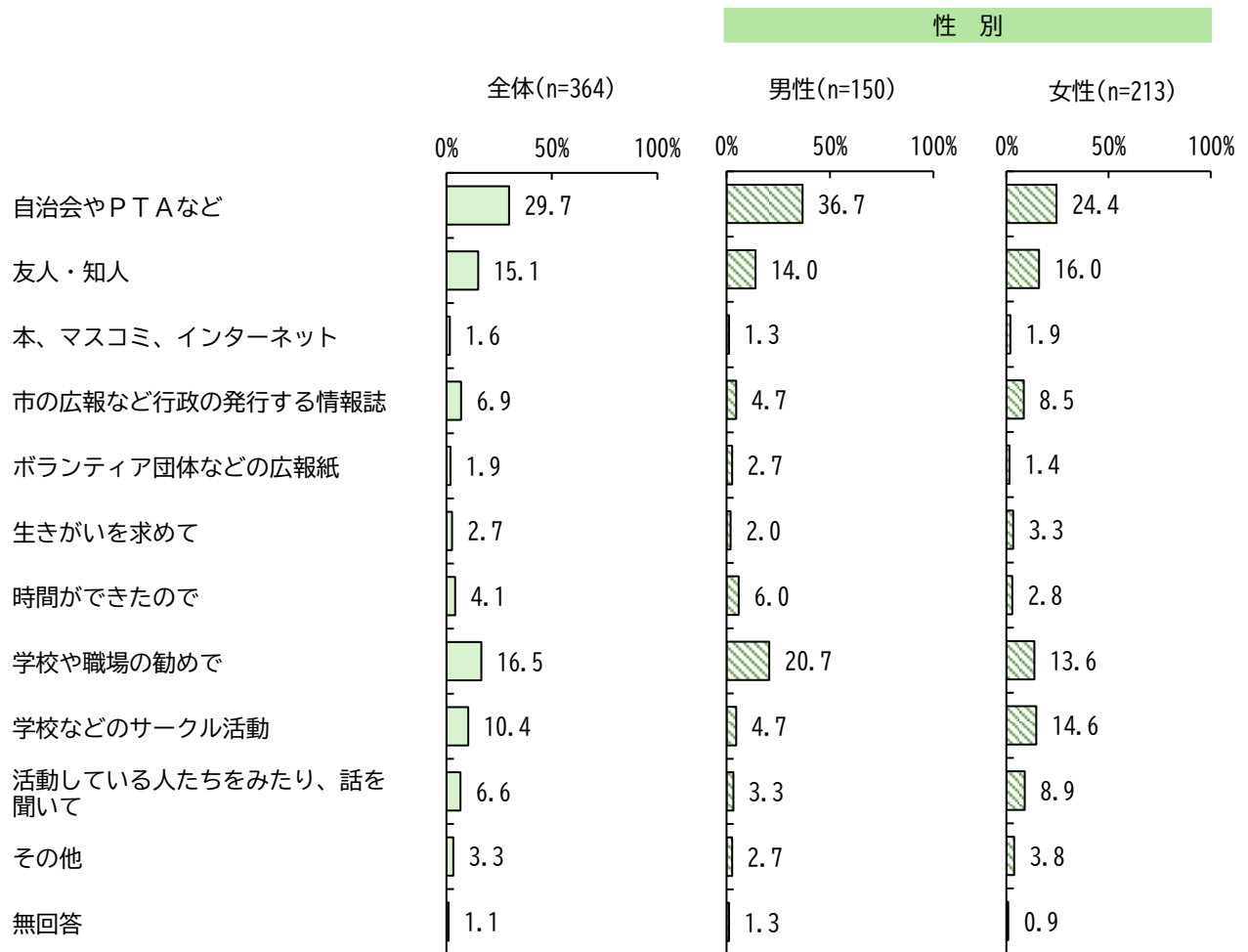
ボランティア活動への参加では、「ある」が37.4%、「ない」が62.4%となっています。

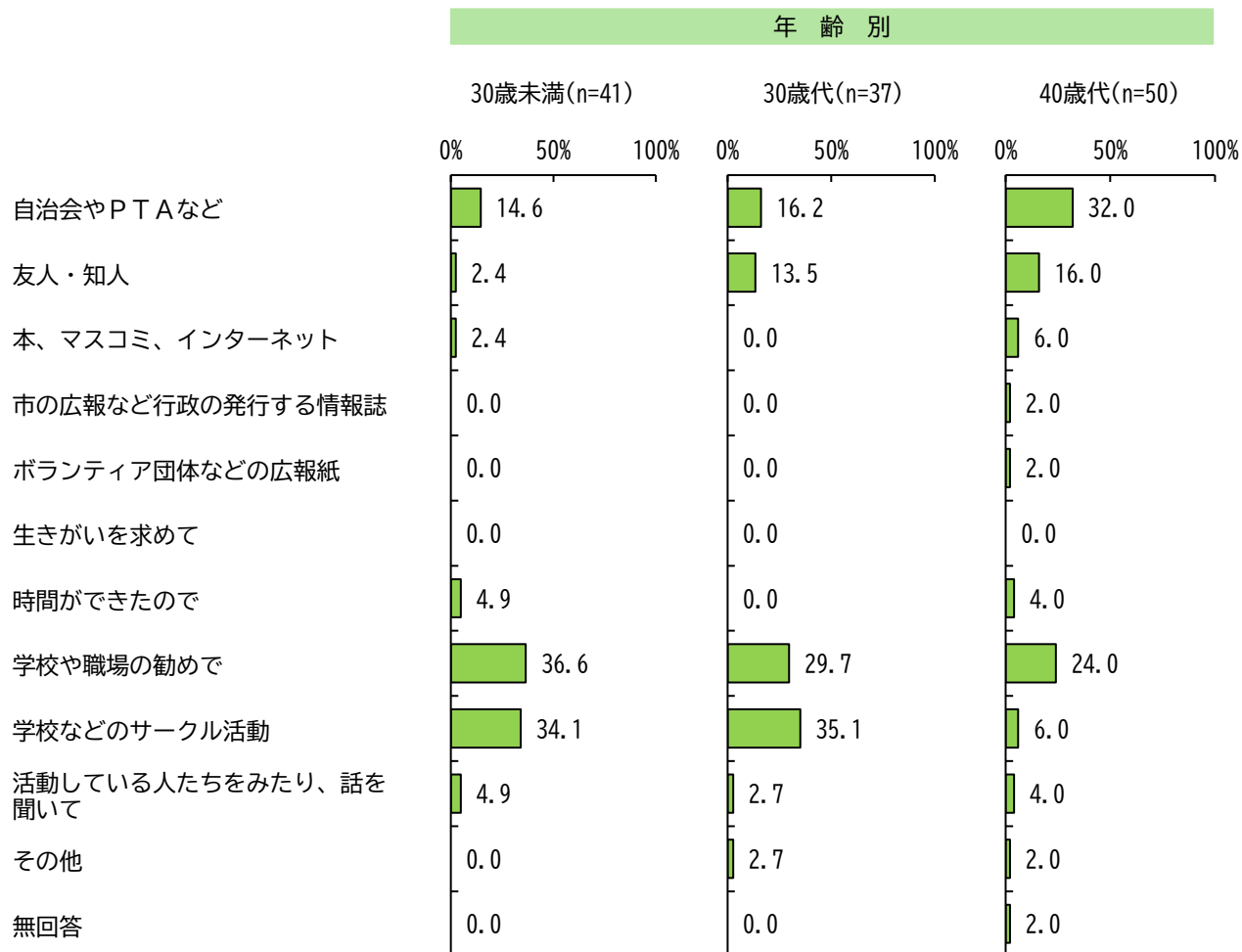
年齢別でみると、“30歳未満”は「ある」が59.4%、「ない」が40.6%と、「ある」のほうが多くなっています。

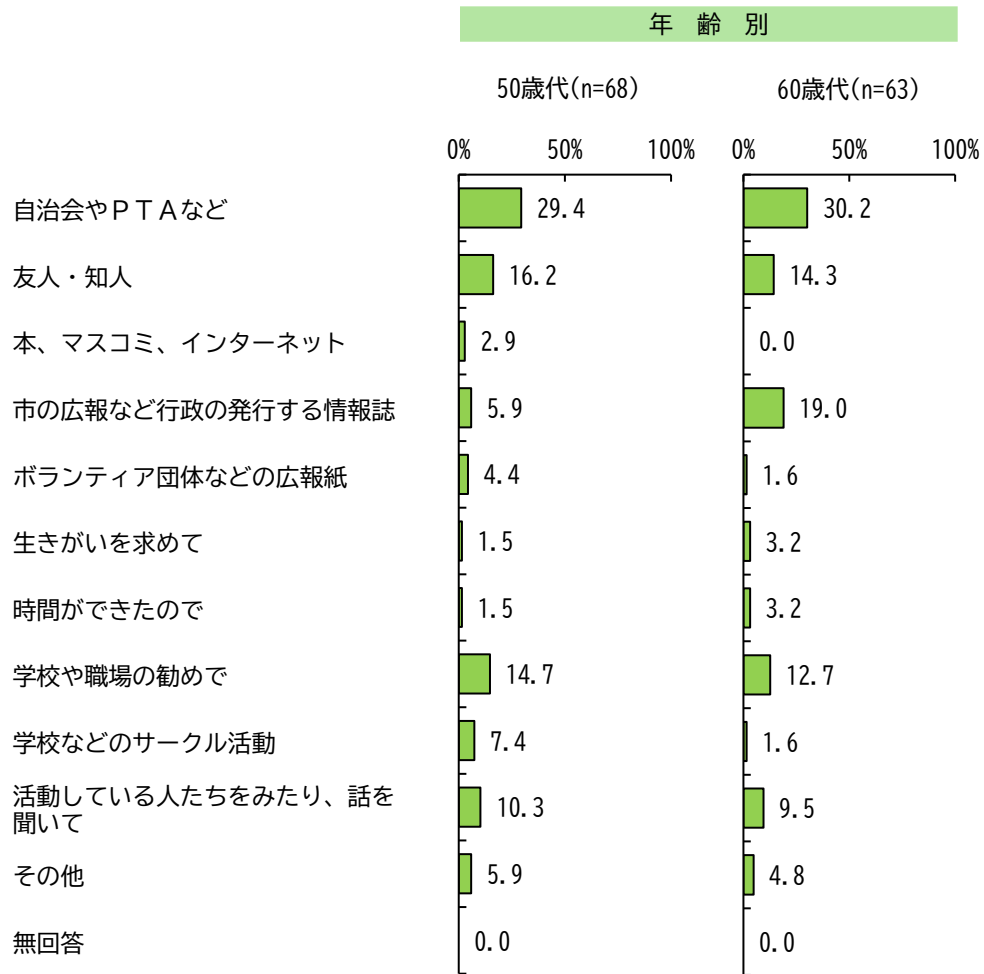
②ボランティア活動をはじめた主なきっかけ

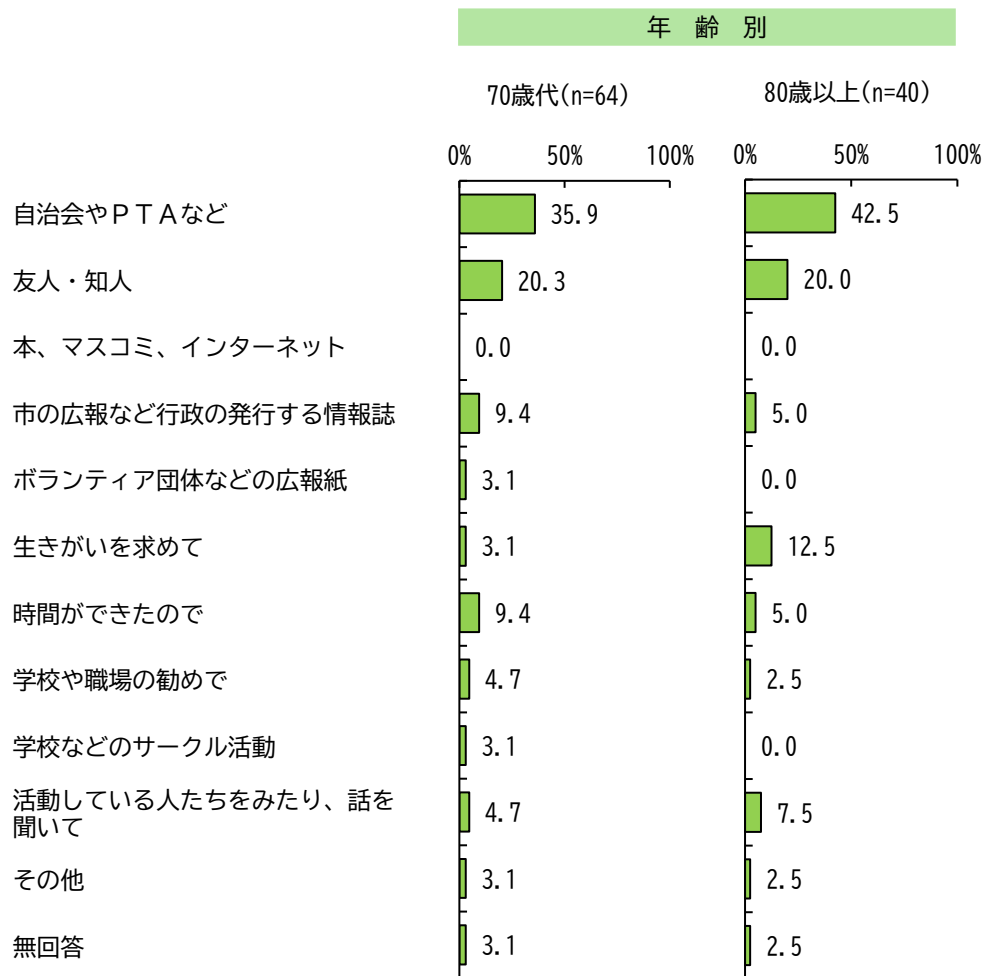
問33で「1 ある」と回答した方にお聞きします。

問33-1 ボランティア活動をはじめた主なきっかけは何ですか。 (○は1つだけ)

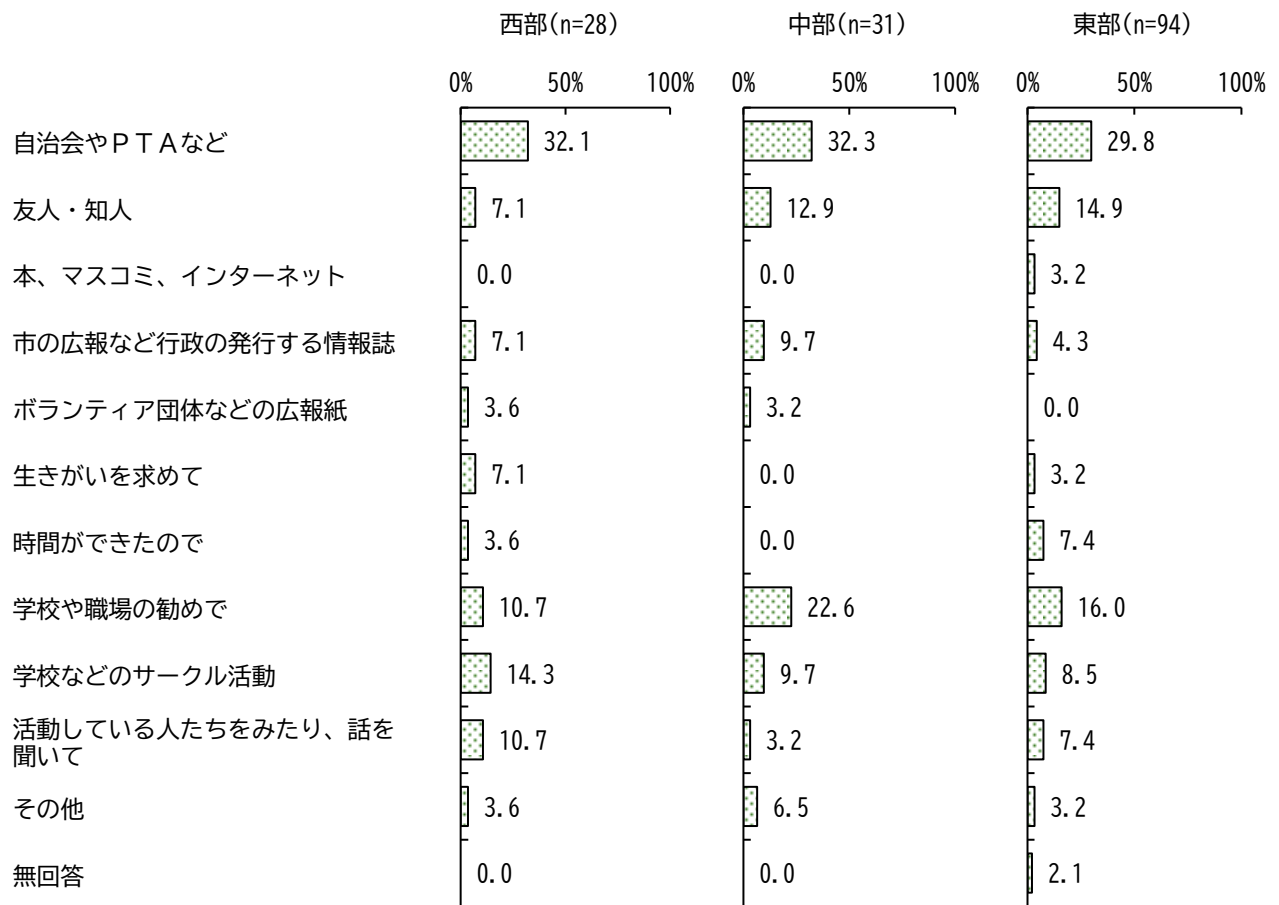




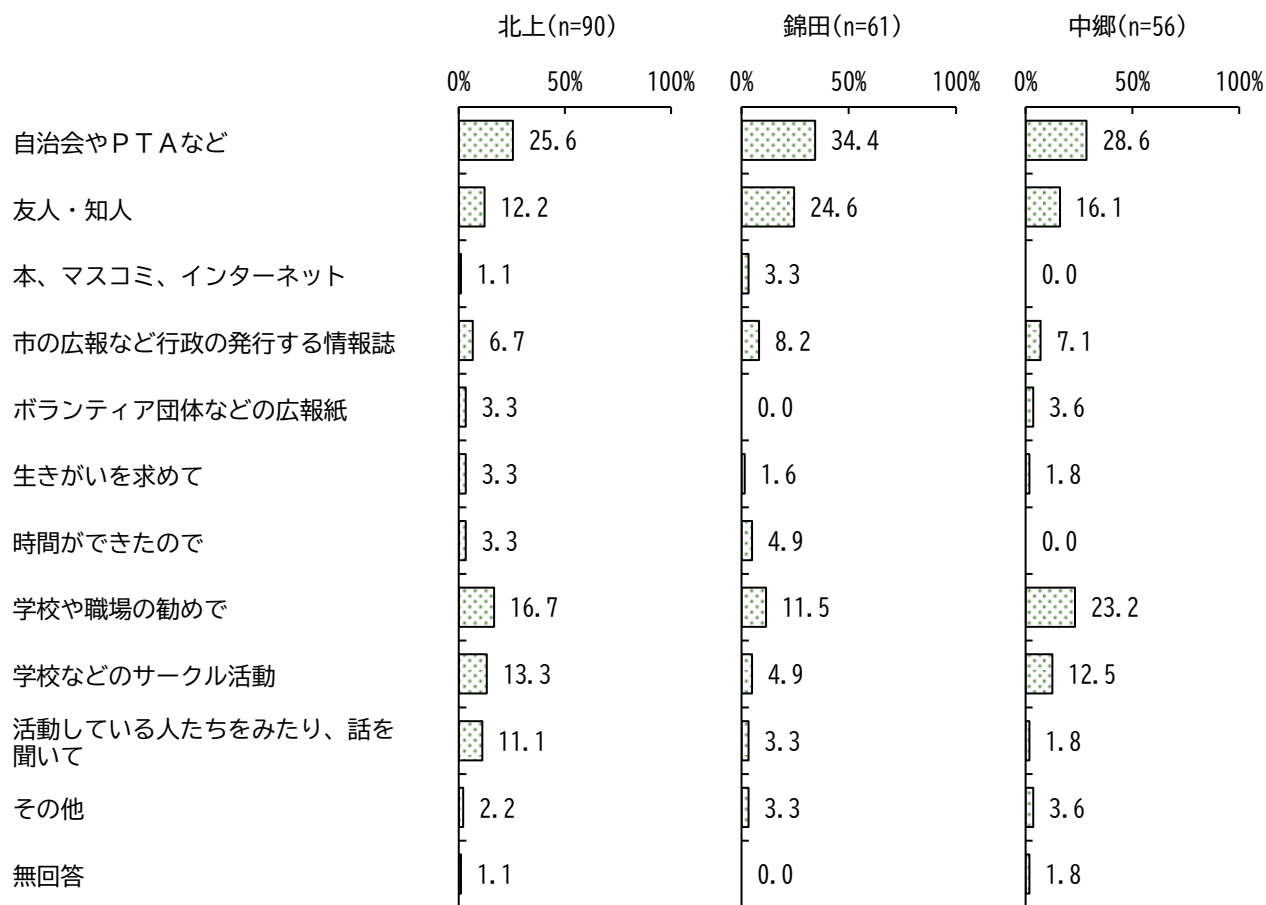




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



ボランティア活動をはじめた主なきっかけでは、「自治会やPTAなど」が29.7%と最も多く、次いで「学校や職場の勧めで」が16.5%、「友人・知人」が15.1%などとなっています。

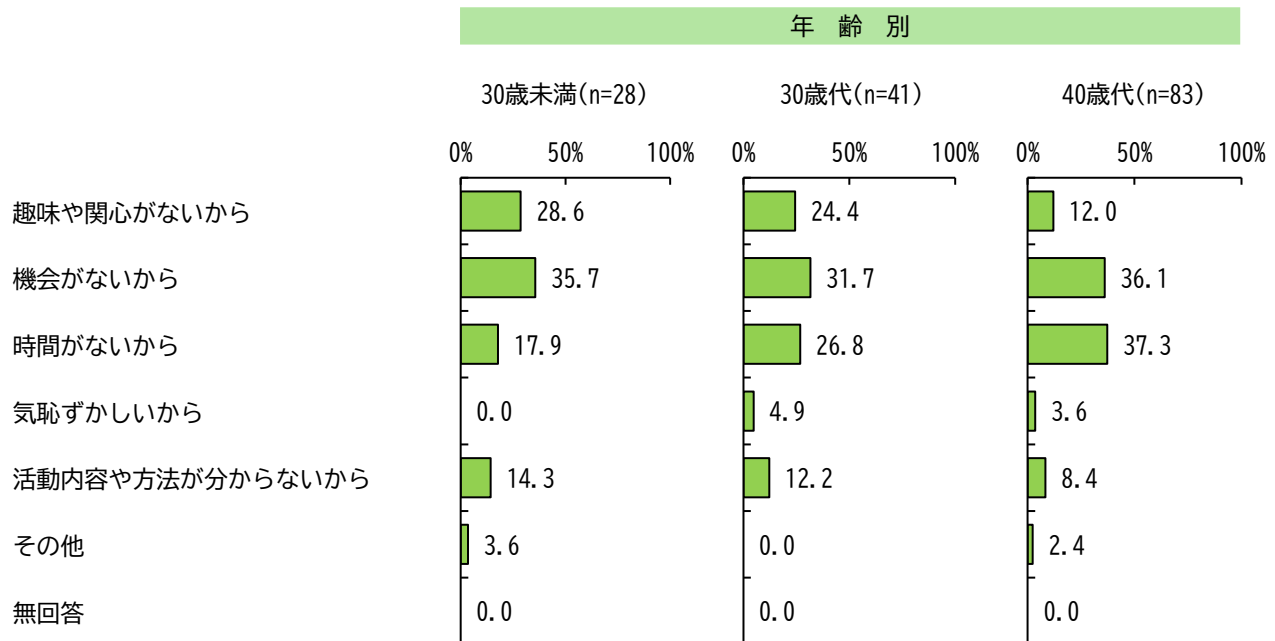
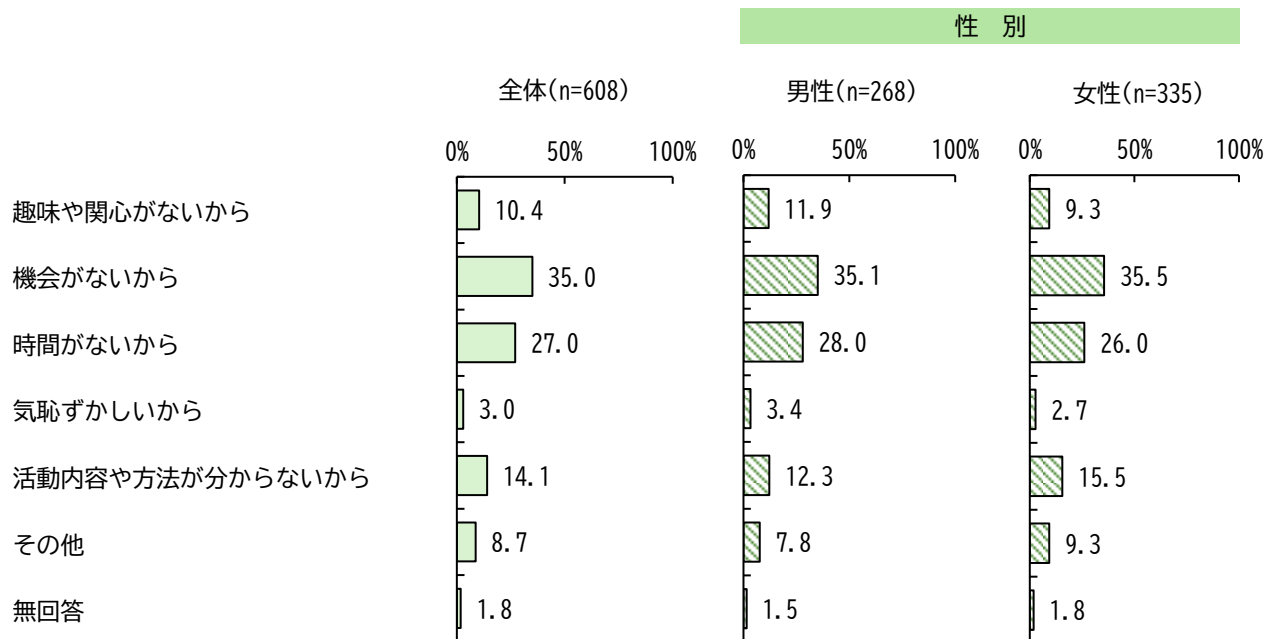
年齢別でみると、“30歳未満”は「学校や職場の勧めで」が36.6%と最も多くなっています。“30歳代”は「学校などのサークル活動」が35.1%と最も多くなっています。

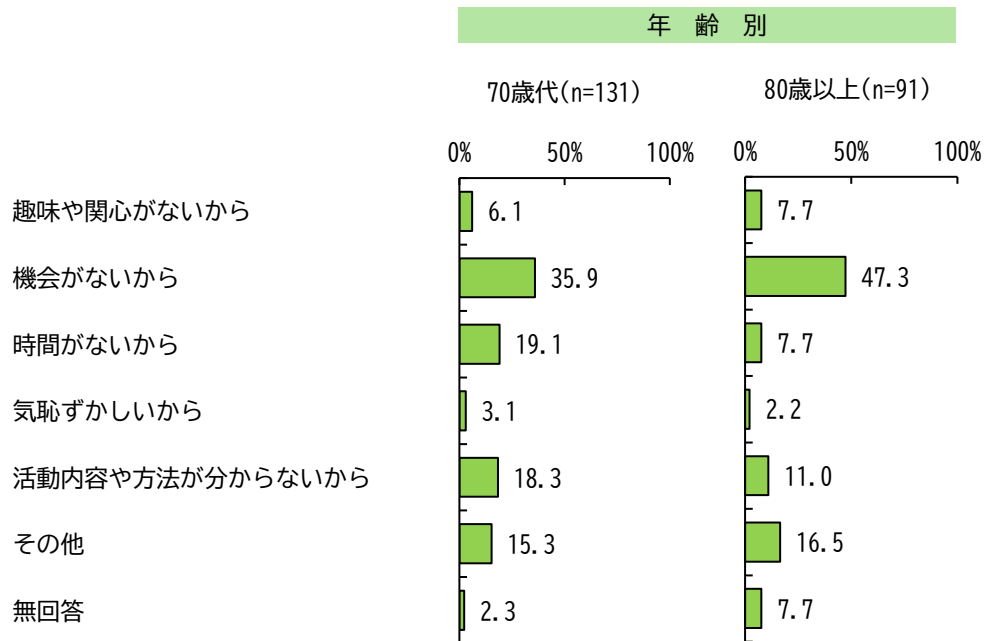
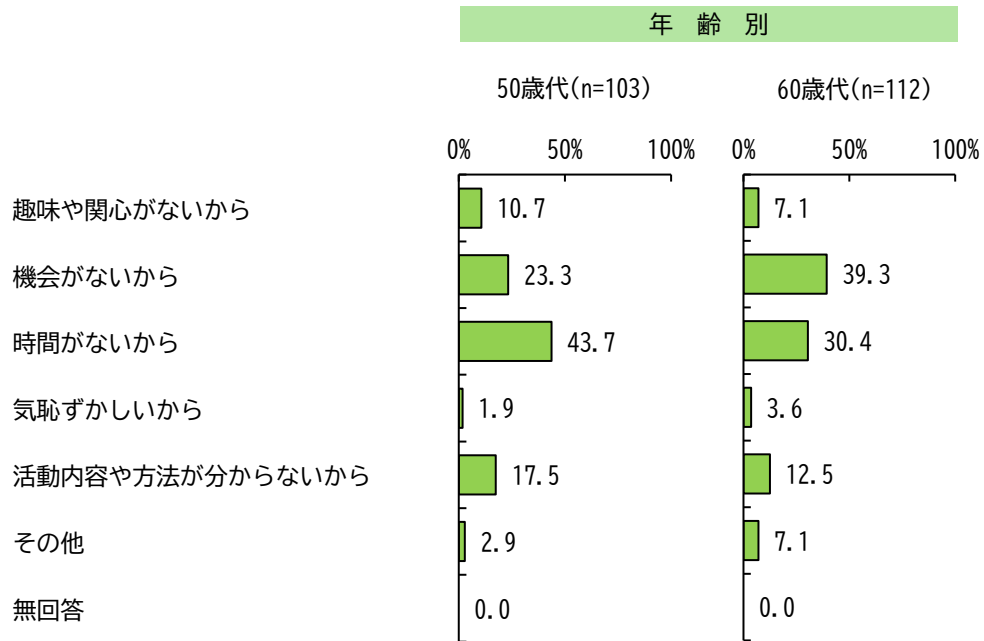
③ボランティア活動に参加したことがない主な理由

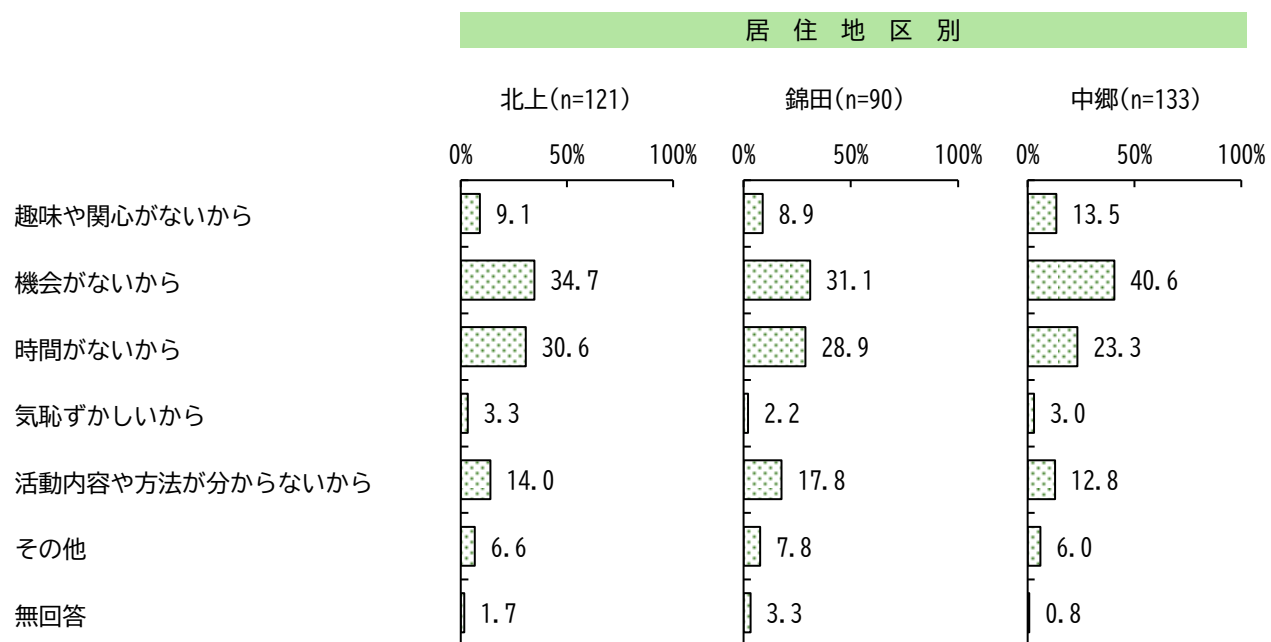
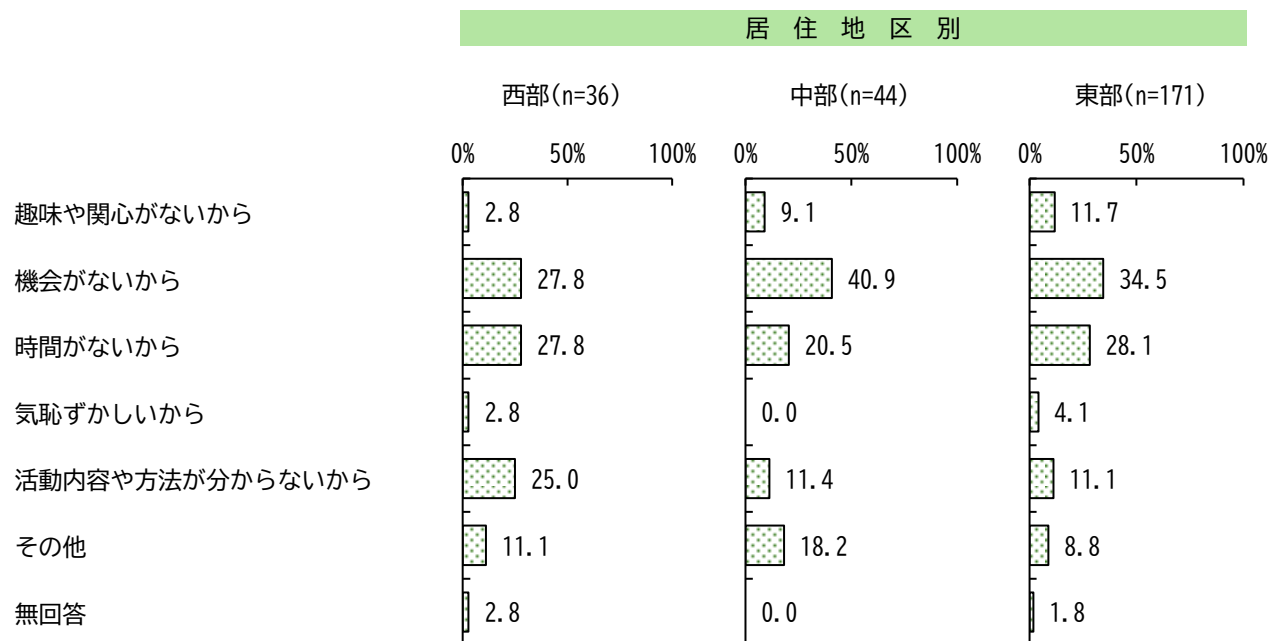
問33で「2 ない」と回答した方にお聞きします。

問33-2 その主な理由を次の中から選んでください。

(○は1つだけ)







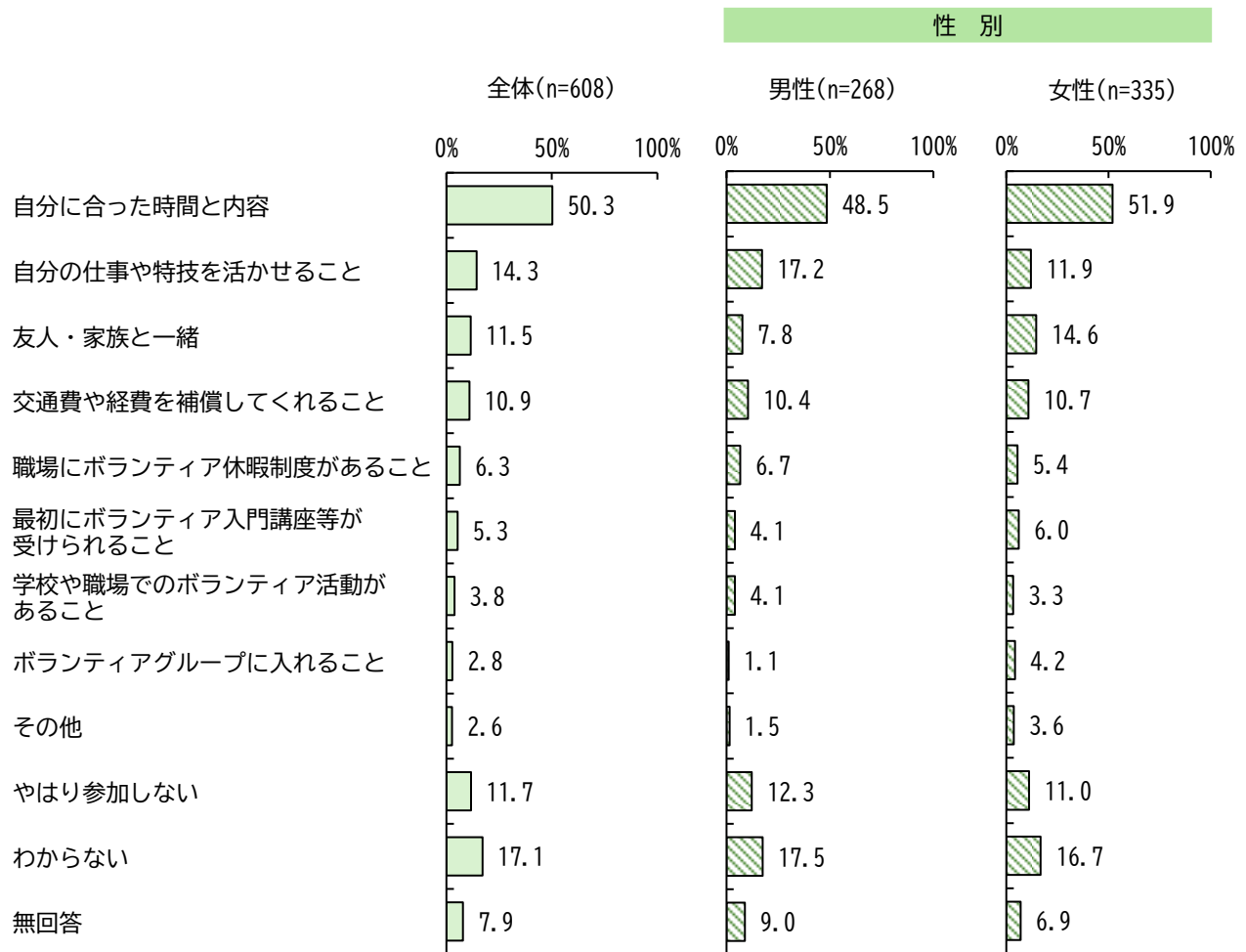
ボランティア活動に参加したことがない主な理由では、「機会がないから」が35.0%と最も多く、次いで「時間がないから」が27.0%、「活動内容や方法が分からないから」が14.1%などとなっています。年齢別でみると、“40歳代”と“50歳代”は「時間がないから」が最も多くなっています。

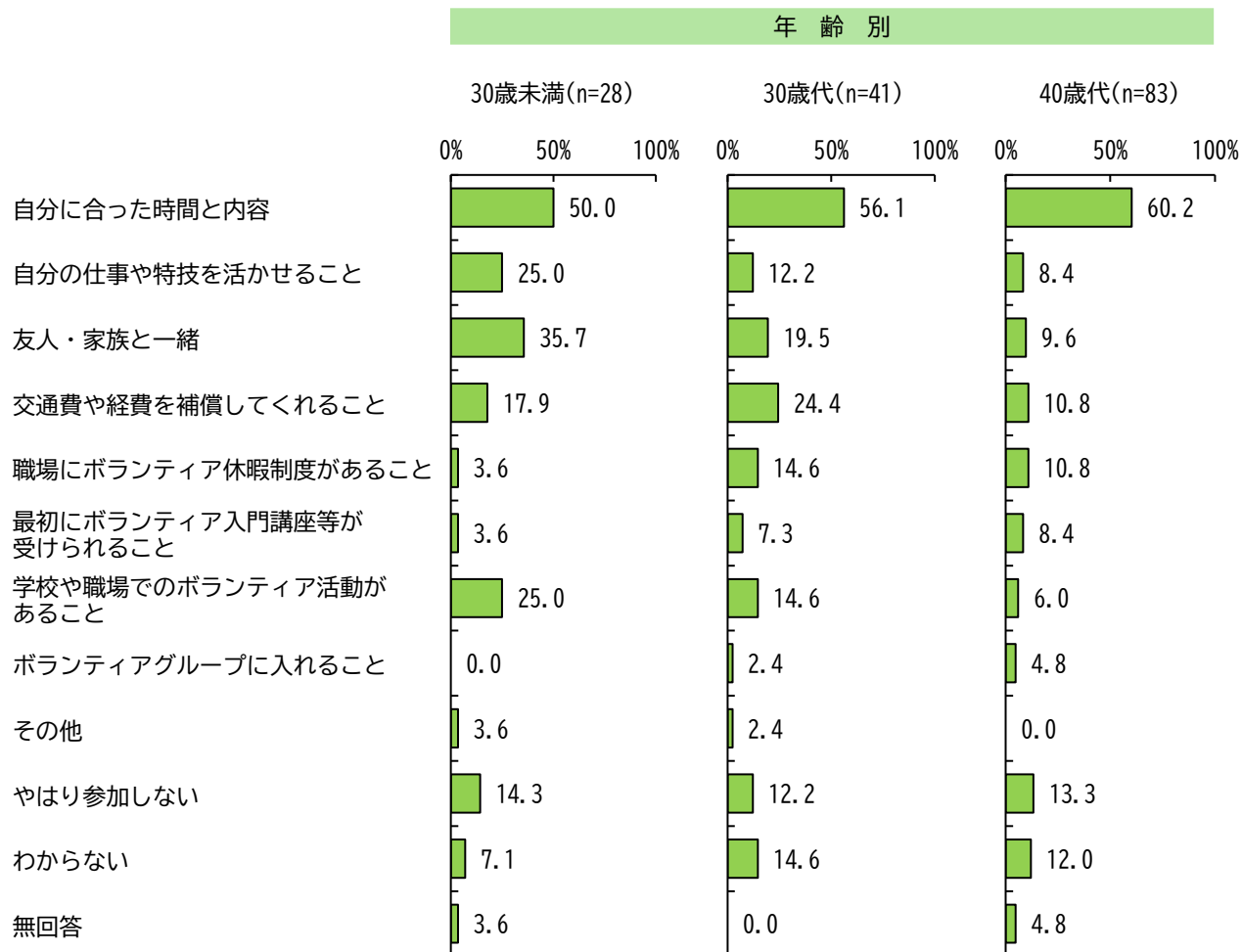
④ボランティア活動に参加しようとする条件

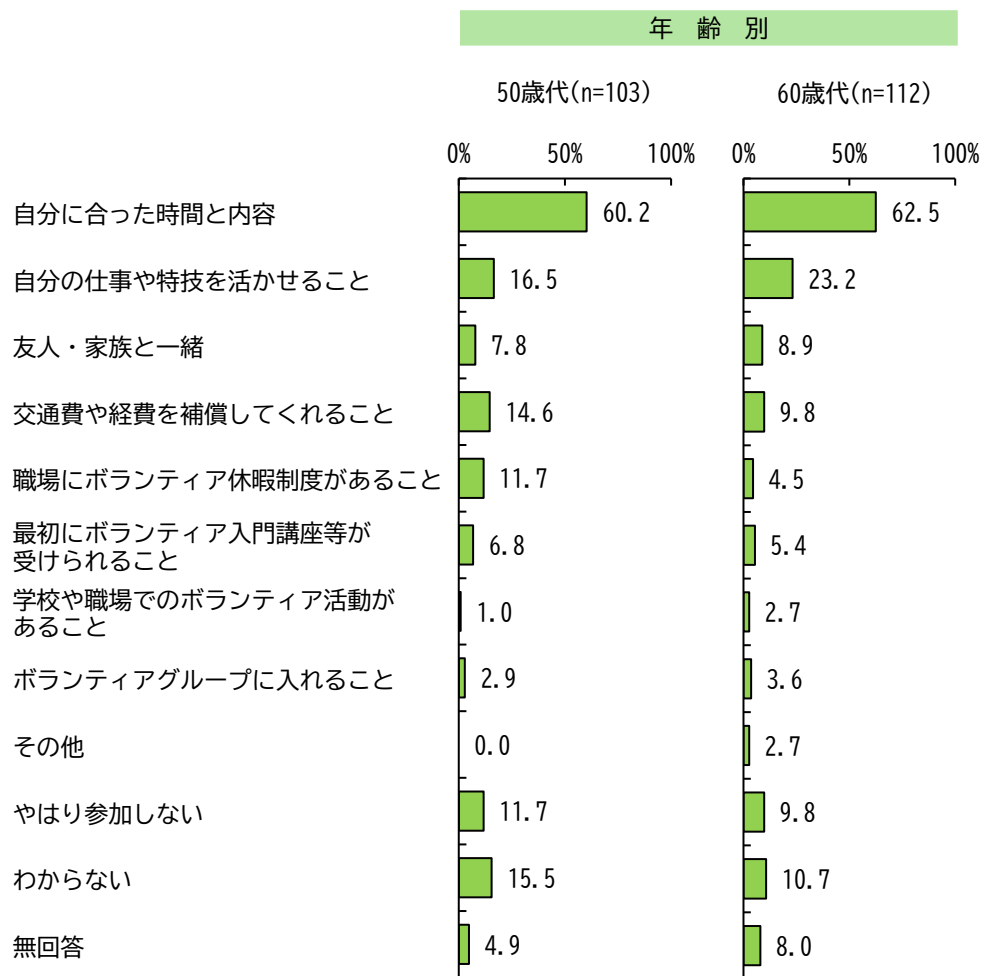
問33で「2 ない」と回答した方にお聞きします。

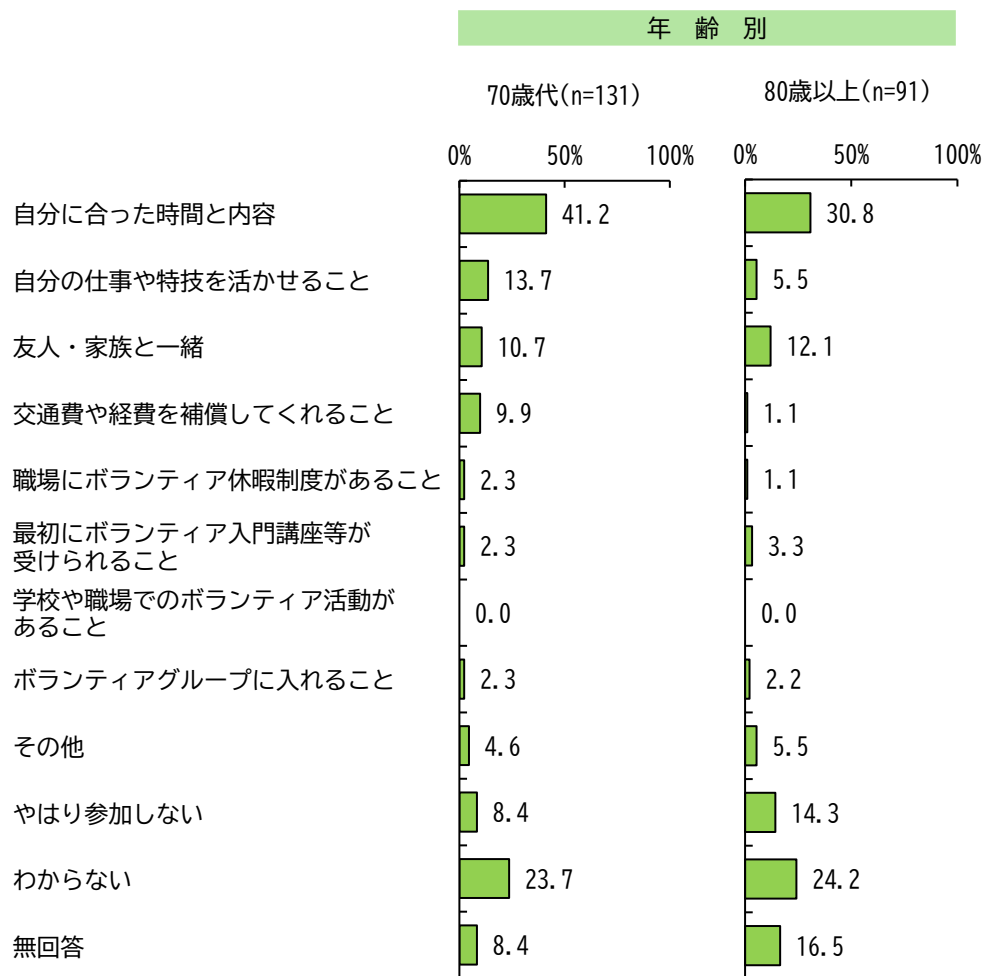
問33-3 どのような条件が整えば参加できますか。

(○はあてはまるものすべて)

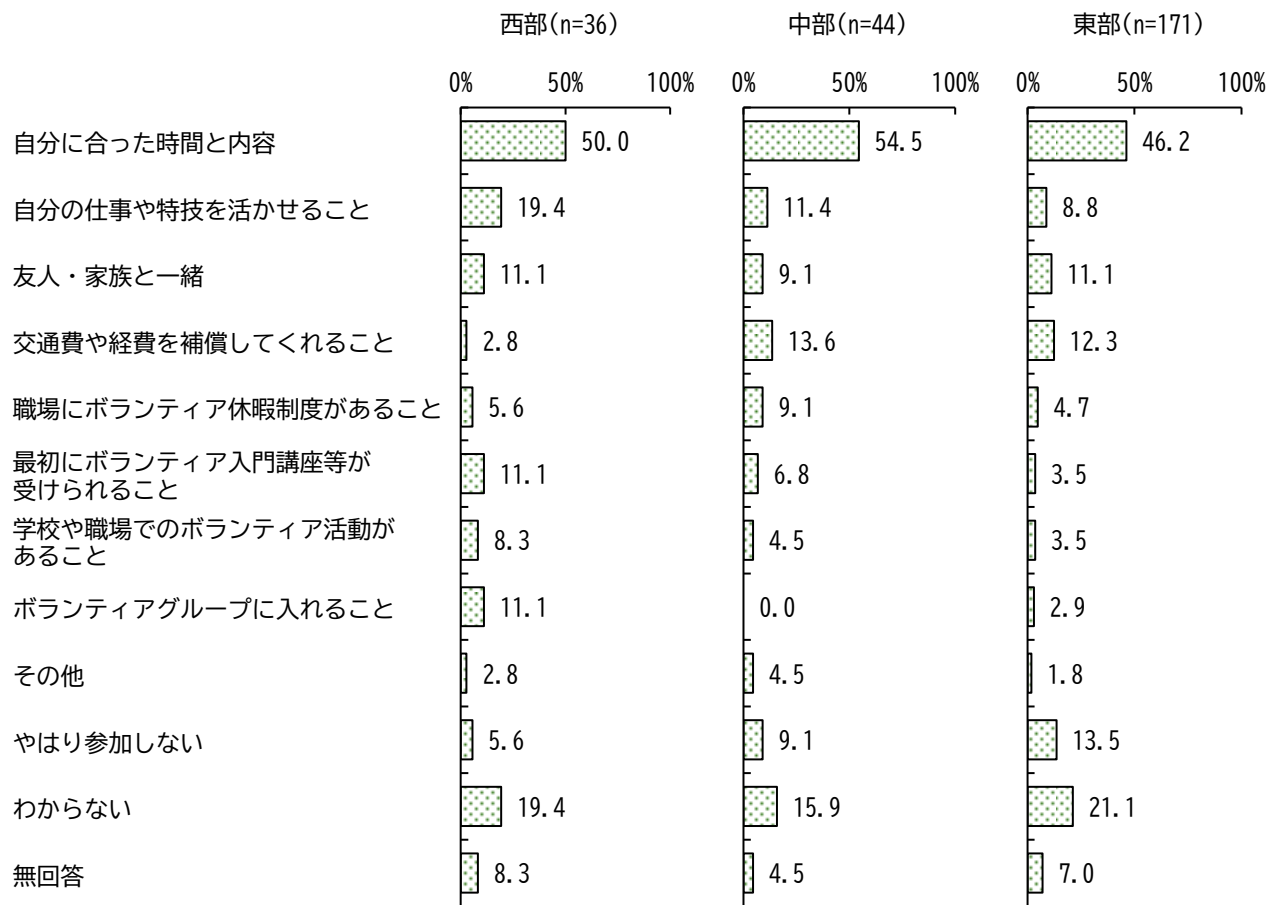




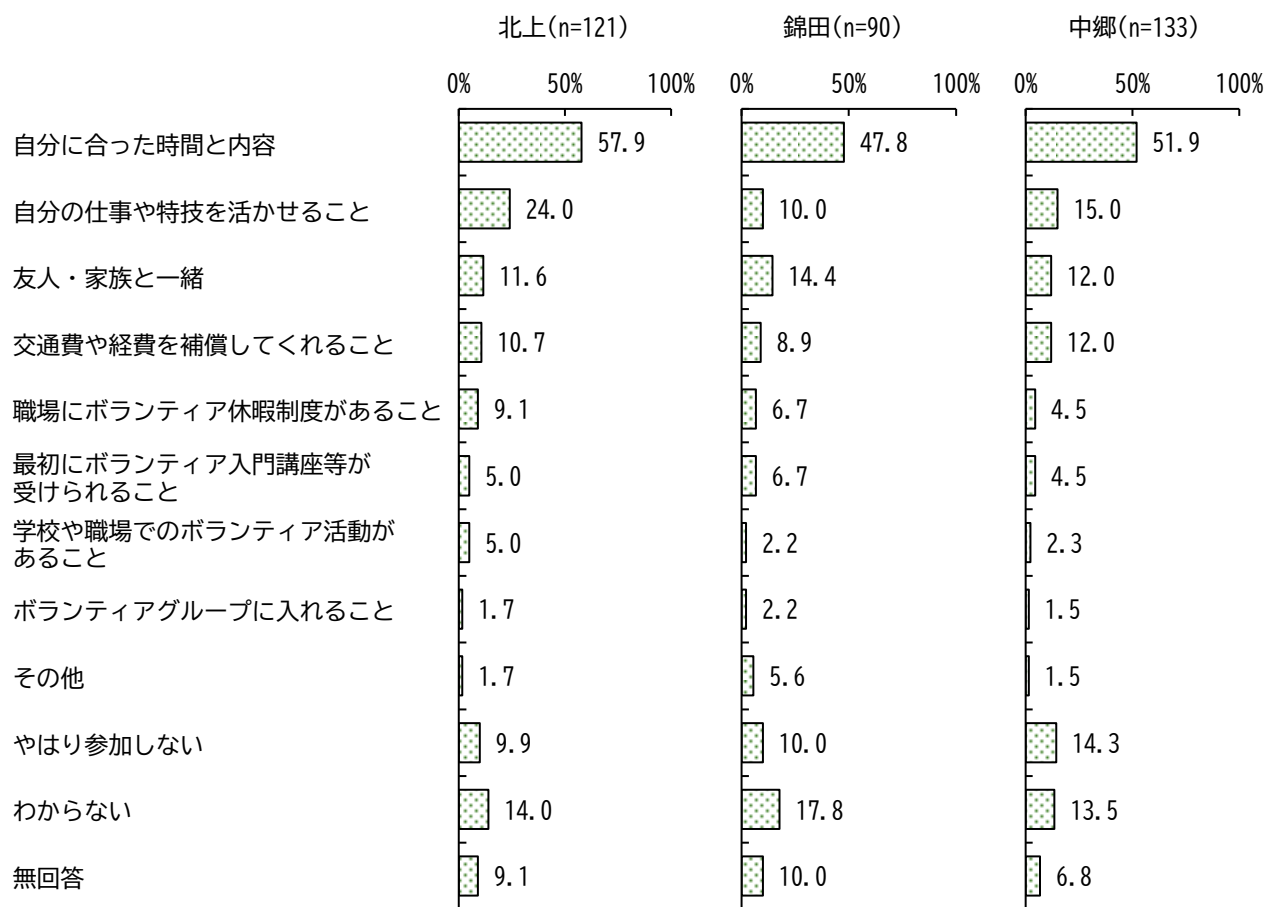




居 住 地 区 別



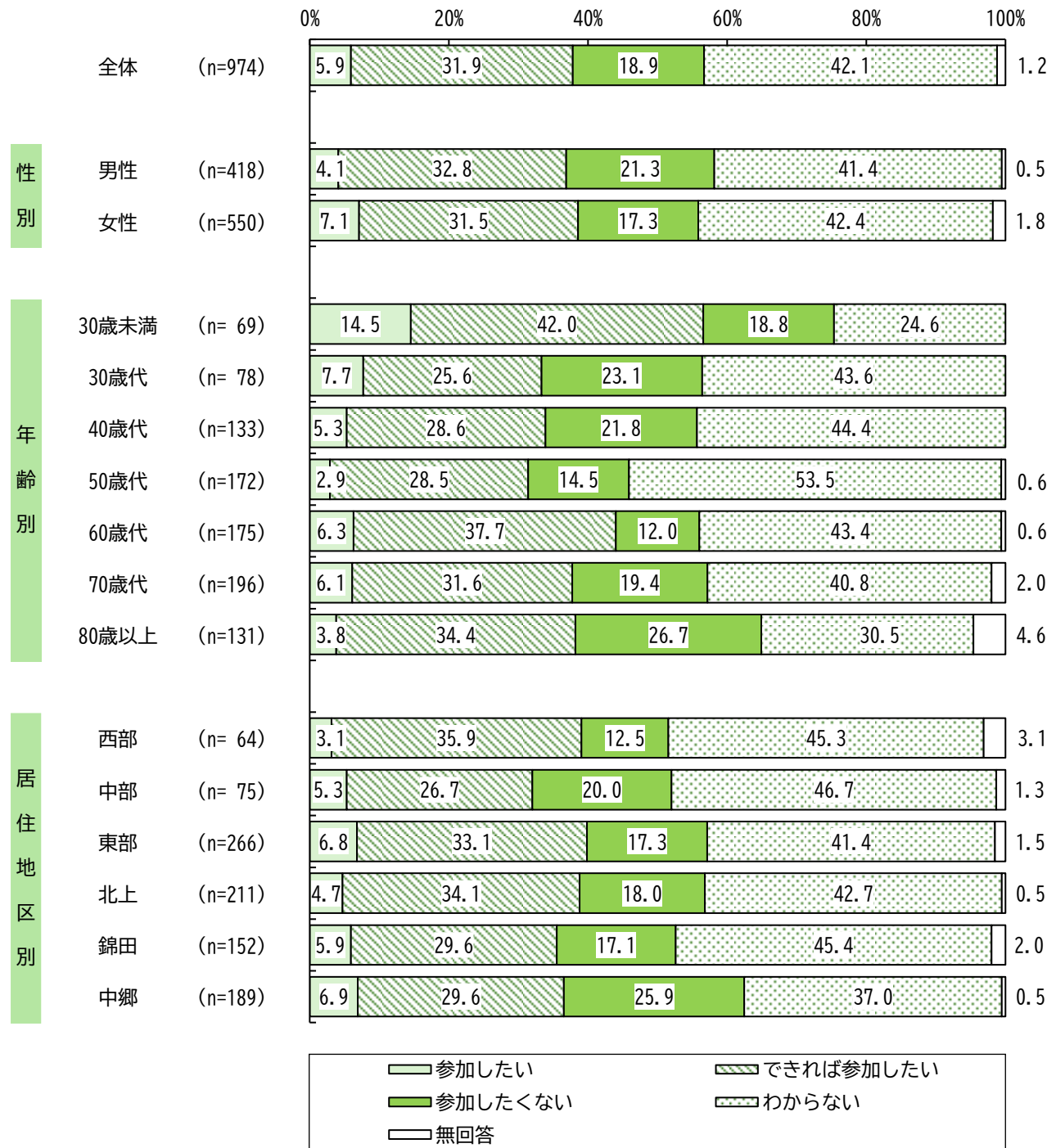
居 住 地 区 別



ボランティア活動に参加しようとする条件では、「自分に合った時間と内容」が50.3%と最も多く、次いで、「自分の仕事や特技を活かせること」が14.3%、「友人・家族と一緒に」が11.5%などとなっています。また、「わからない」が17.1%となっています。

⑤今後のボランティア活動への参加

問34 あなたは今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。（○は1つだけ）



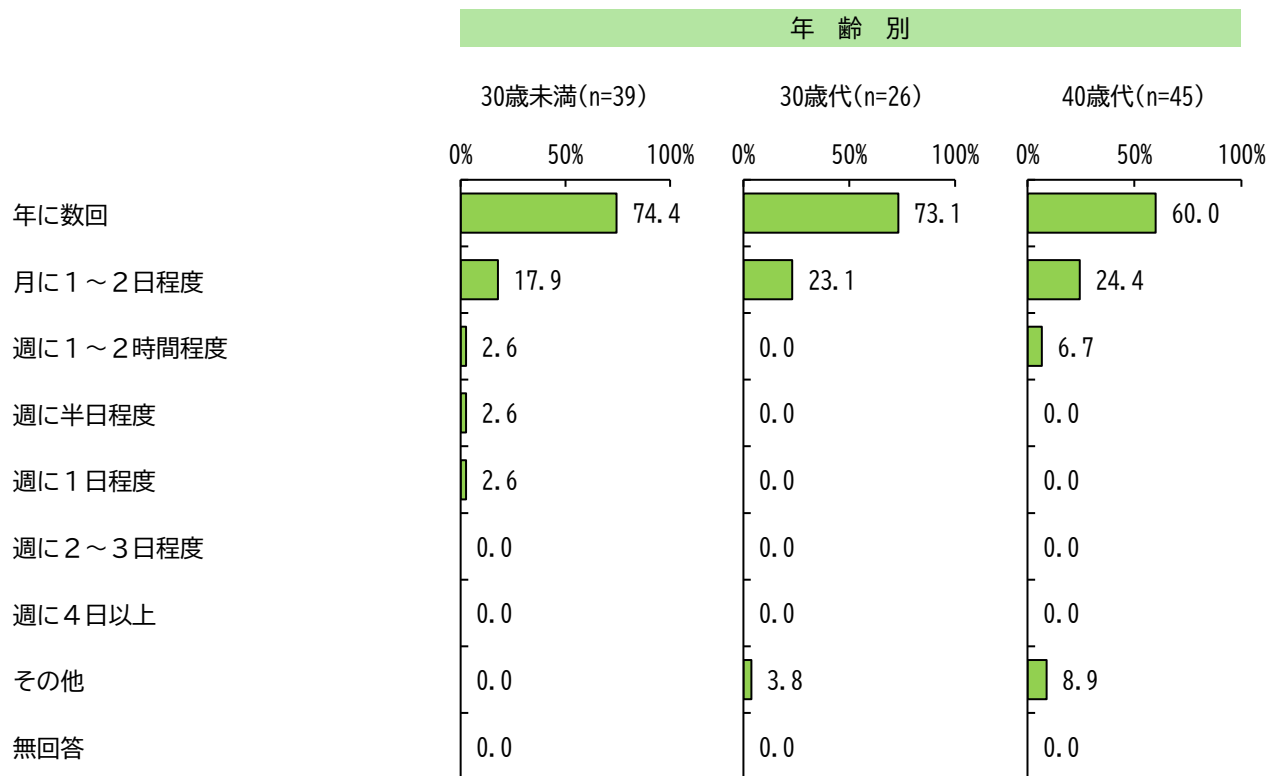
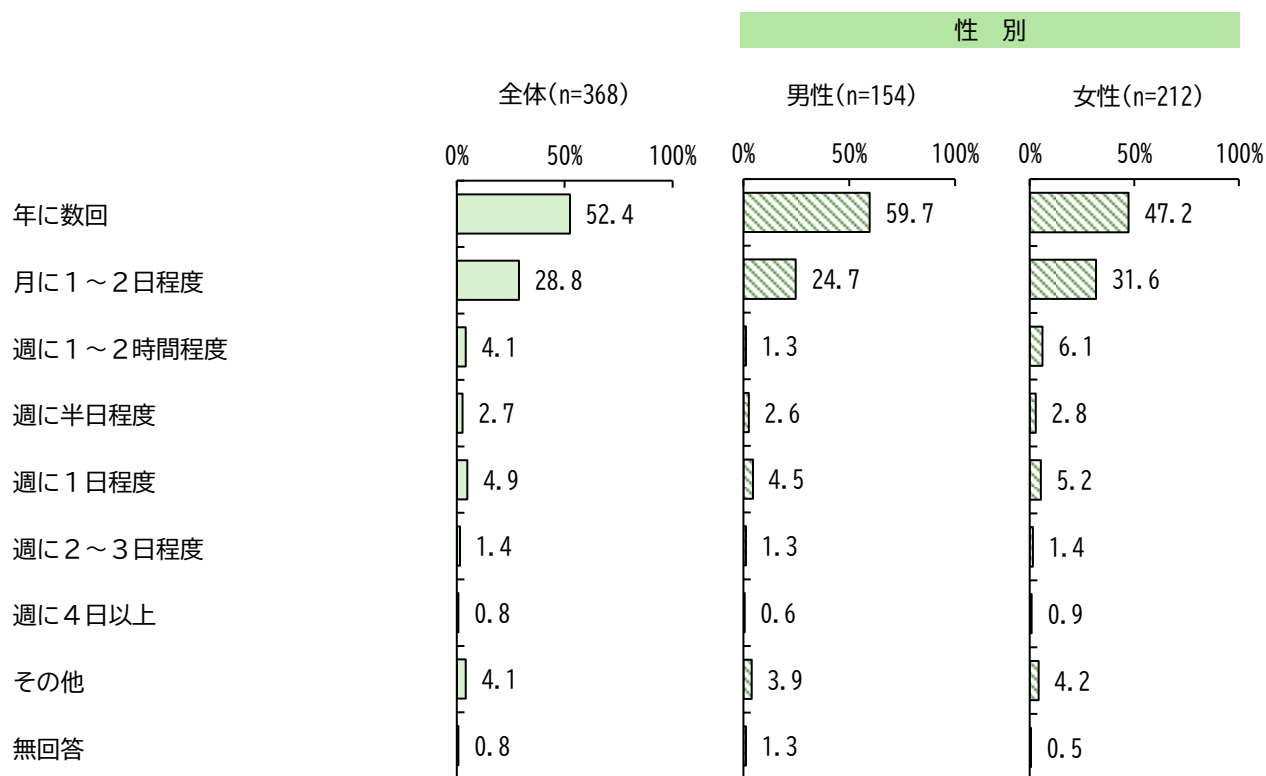
今後のボランティア活動への参加では、「参加したい」が5.9%、「できれば参加したい」が31.9%、「参加したくない」が18.9%、「わからない」が42.1%となっています。

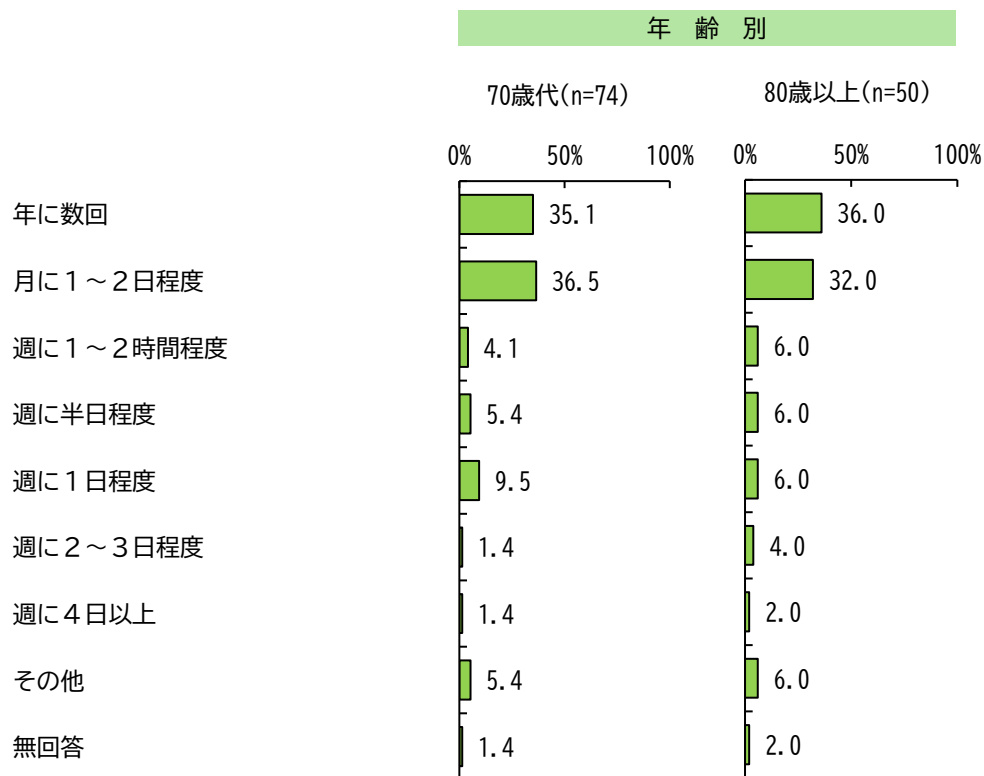
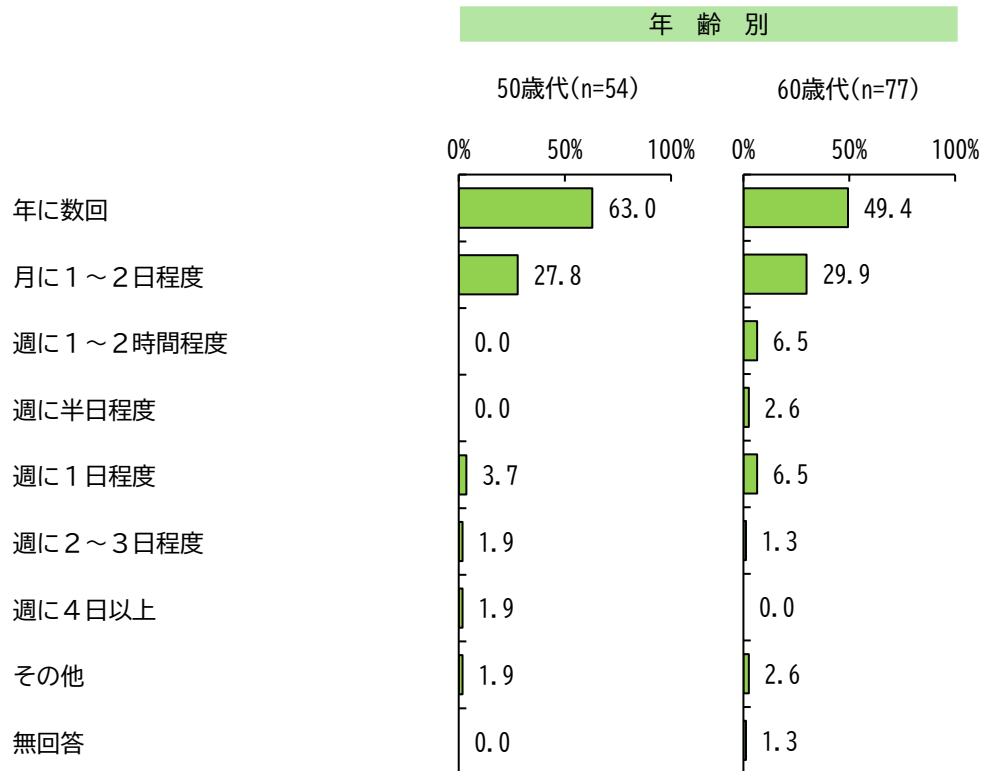
年齢別でみると、“30歳未満”と“80歳以上”は「できれば参加したい」が最も多くなっています。

⑥活動に参加できる頻度

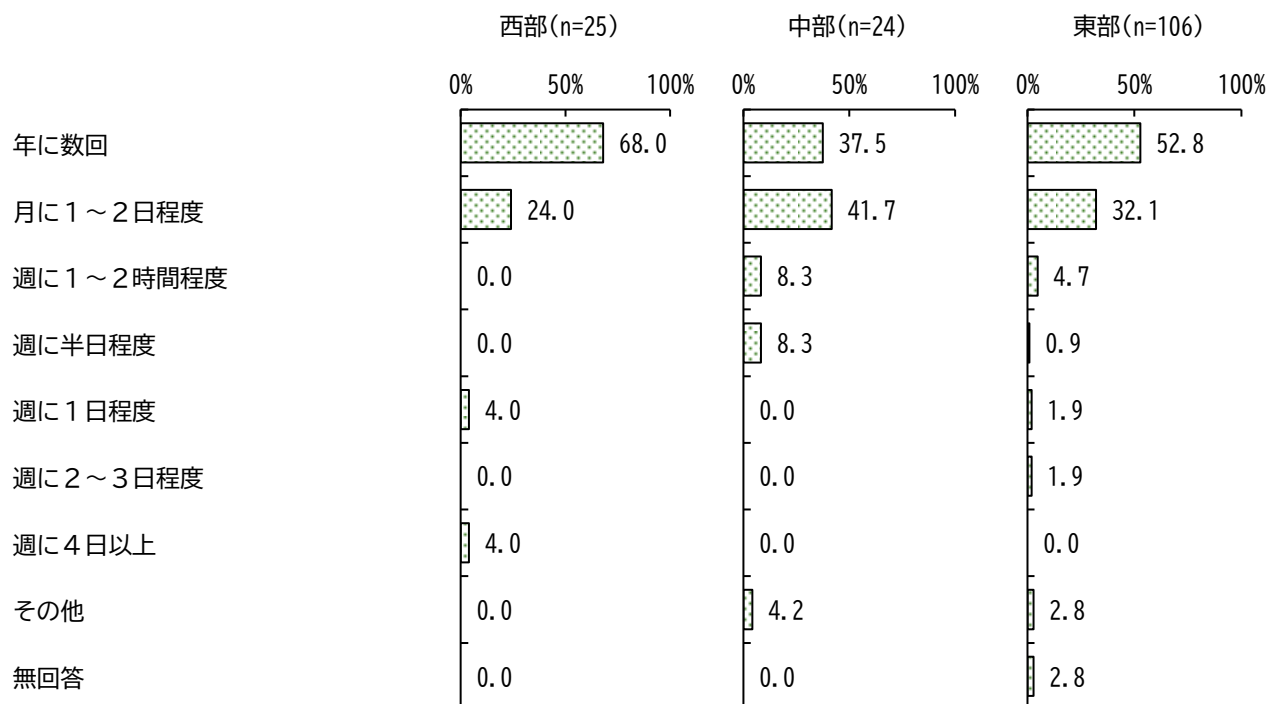
問34で「1 参加したい」「2 できれば参加したい」と回答した方にお聞きます。

問34-1 どのくらいの時間なら活動に参加できますか。(○は1つだけ)

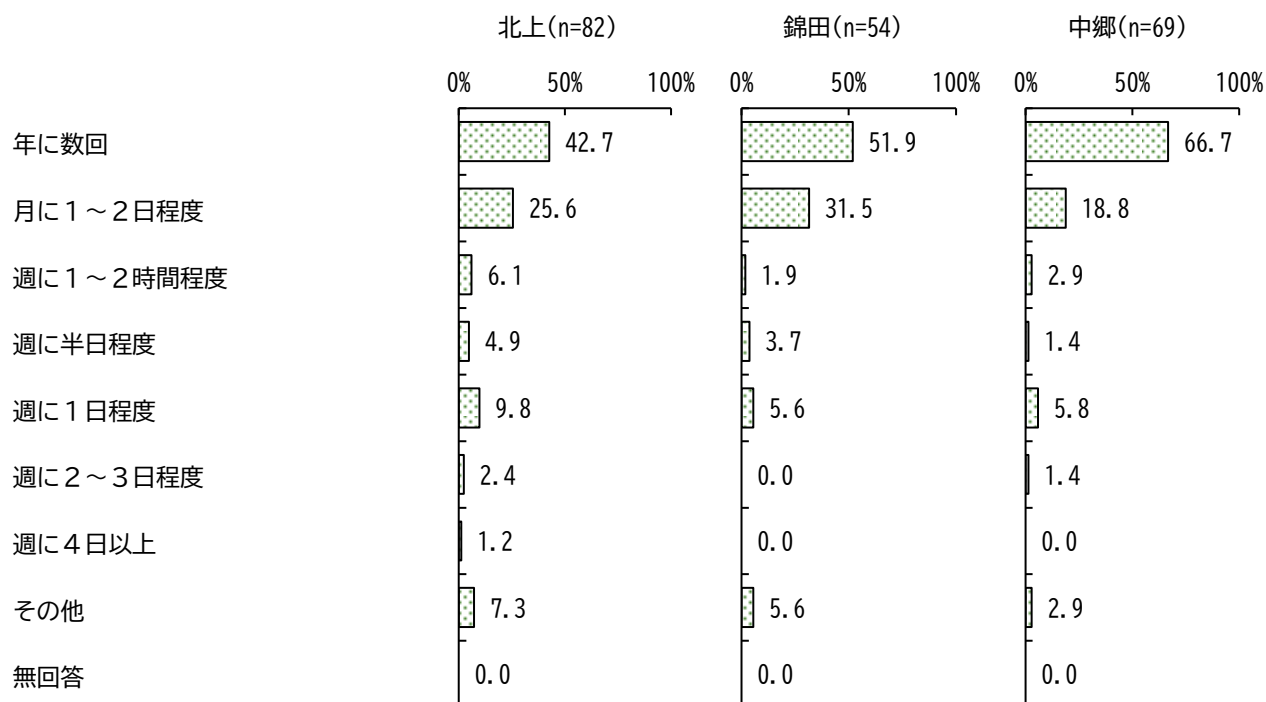




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



活動に参加できる頻度では、「年に数回」が52.4%と最も多く、次いで「月に1～2日程度」が28.8%、「週に1日程度」が4.9%などとなっています。

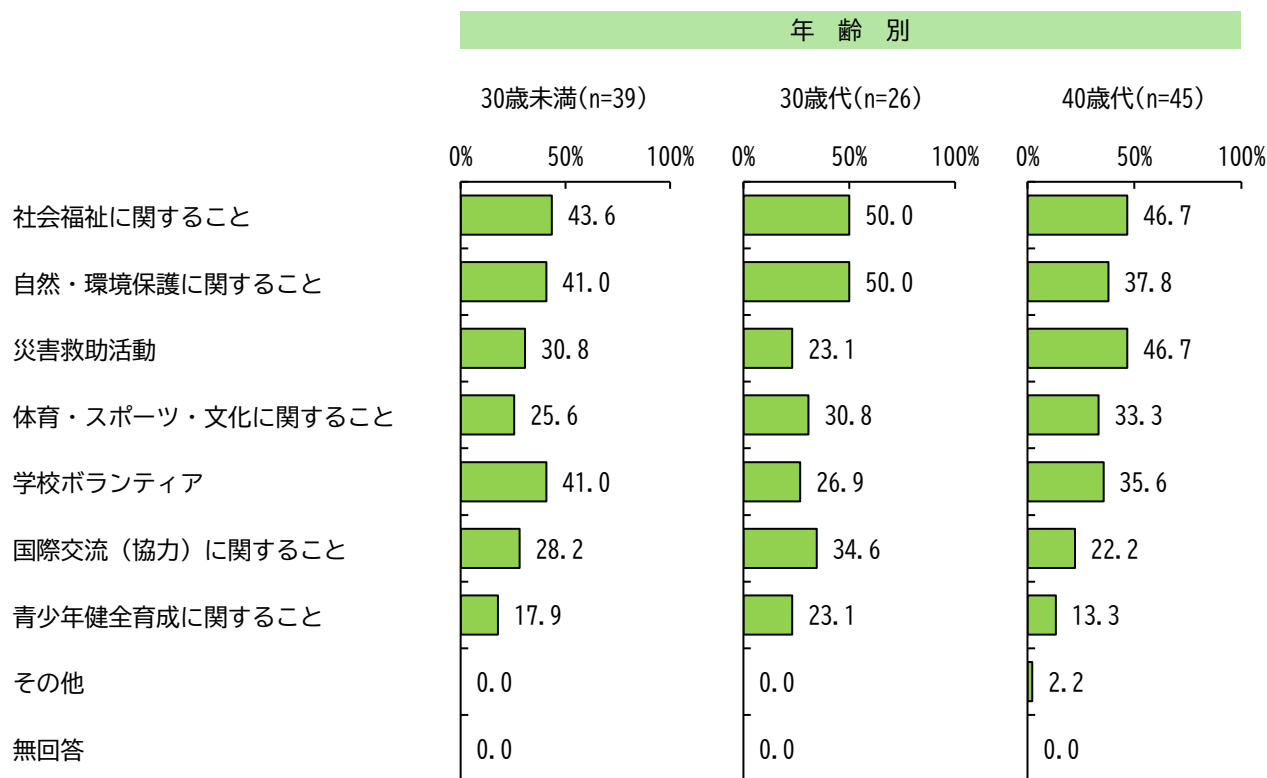
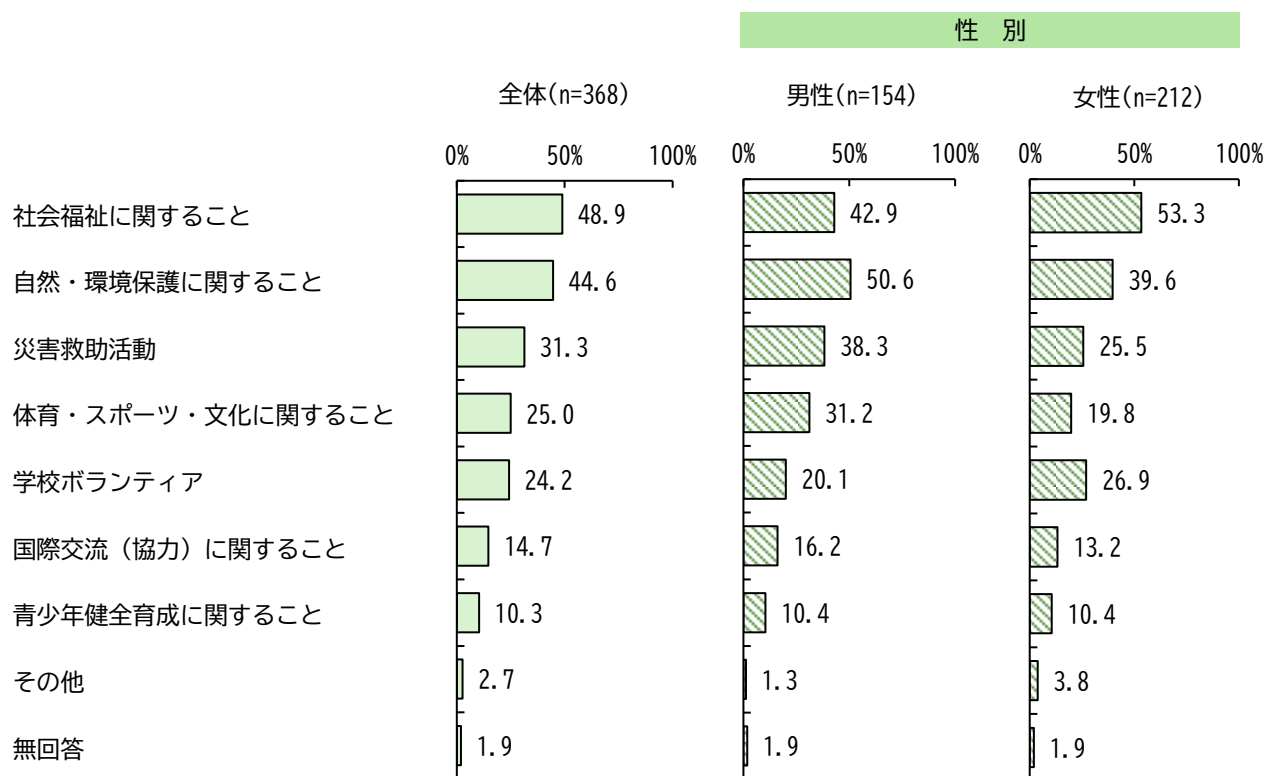
年齢別でみると、“70歳代”は「月に1～2日程度」が36.5%と最も多くなっています。

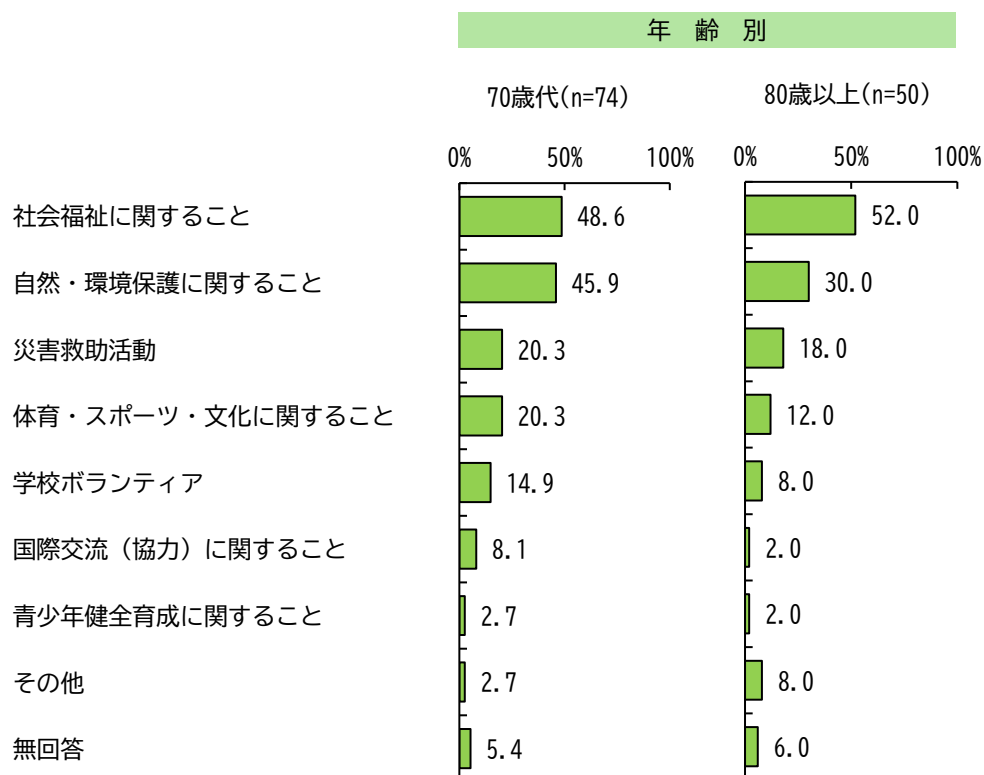
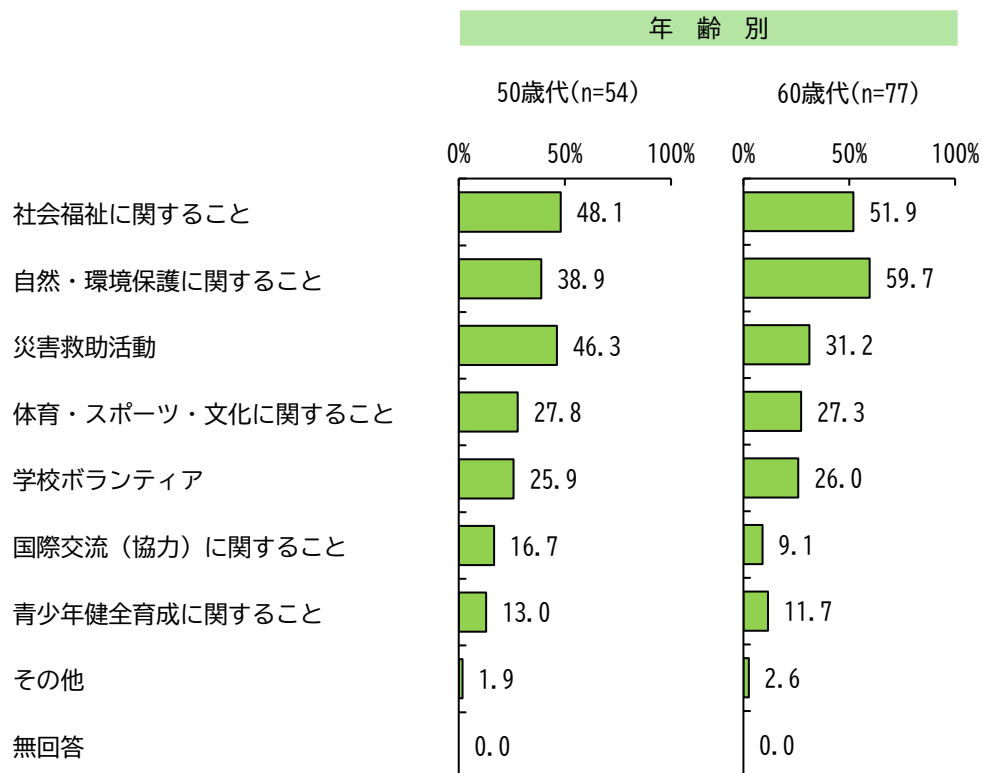
居住地区別でみると、“中部”は「月に1～2日程度」が41.7%と最も多くなっています。

⑦参加したいと思う活動

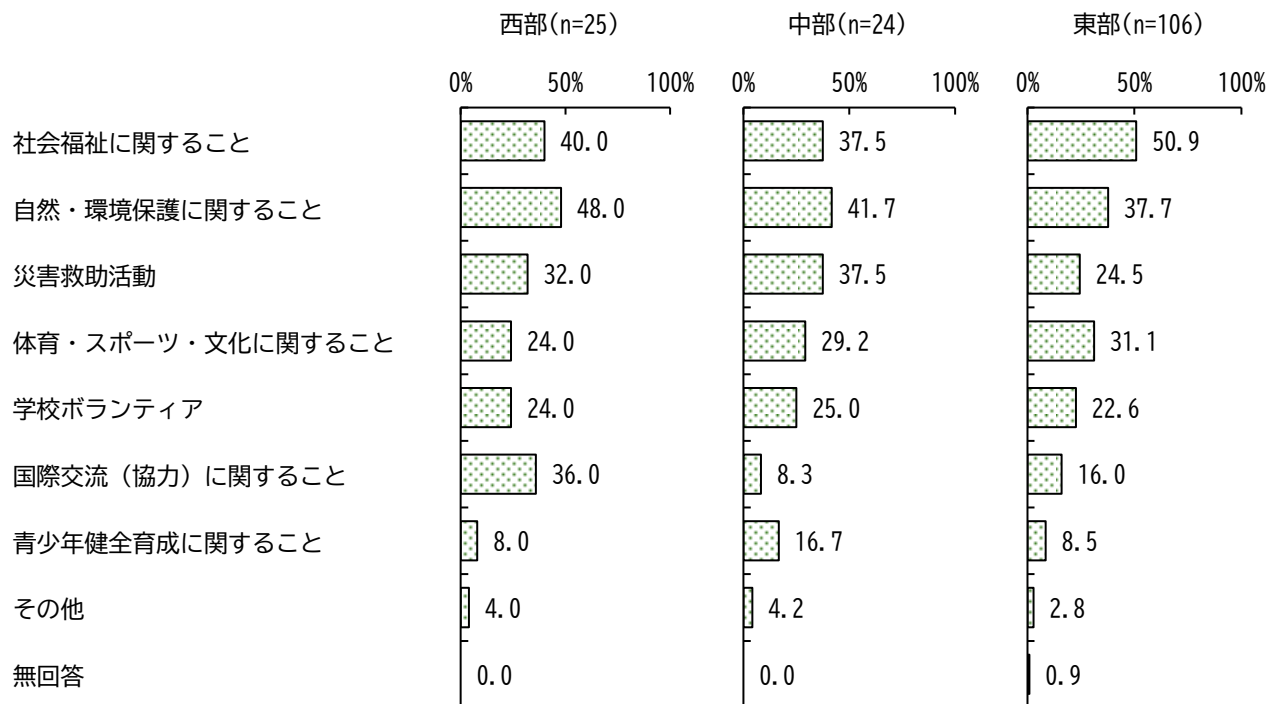
問34で「1 参加したい」「2 できれば参加したい」と回答した方にお聞きます。

問34-2 どのような活動に参加したいと思いますか。（〇はあてはまるものすべて）

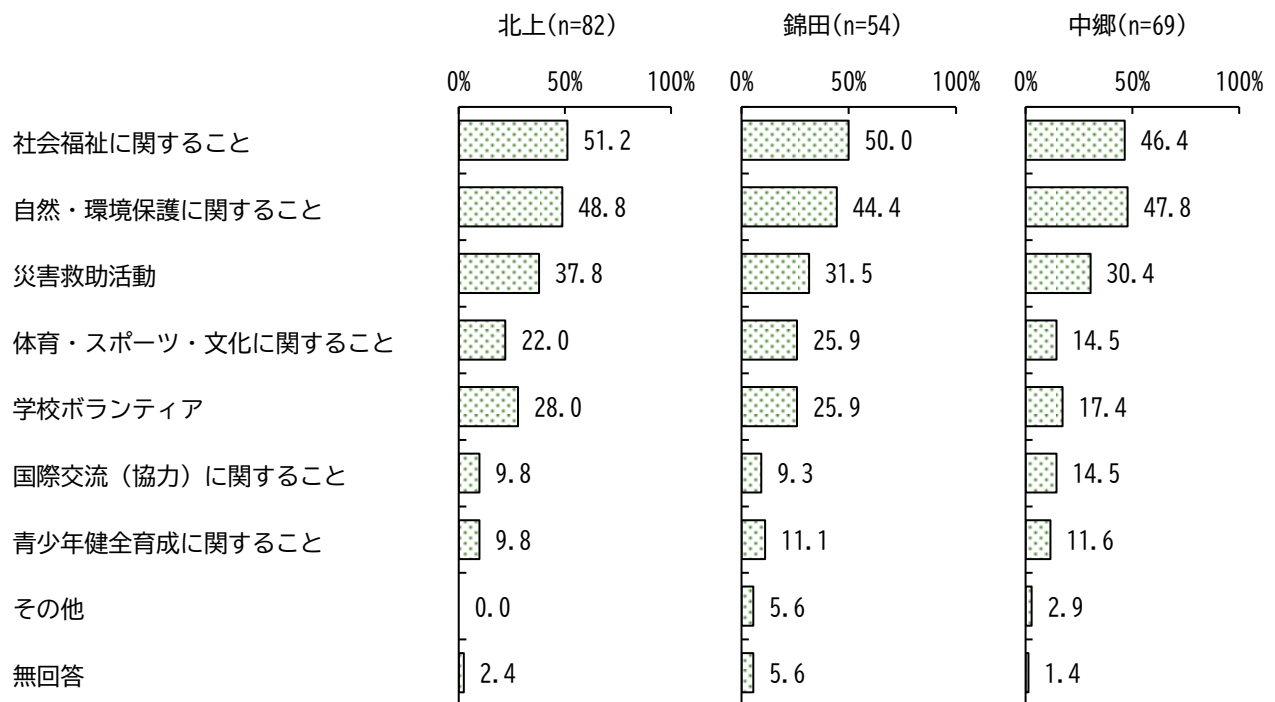




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



参加したいと思う活動では、「社会福祉に関すること」が48.9%と最も多く、次いで「自然・環境保護に関すること」が44.6%、「災害救助活動」が31.3%などとなっています。

性別でみると、“男性”は「自然・環境保護に関すること」が50.6%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“60歳代”は「自然・環境保護に関すること」が59.7%と最も多くなっています。

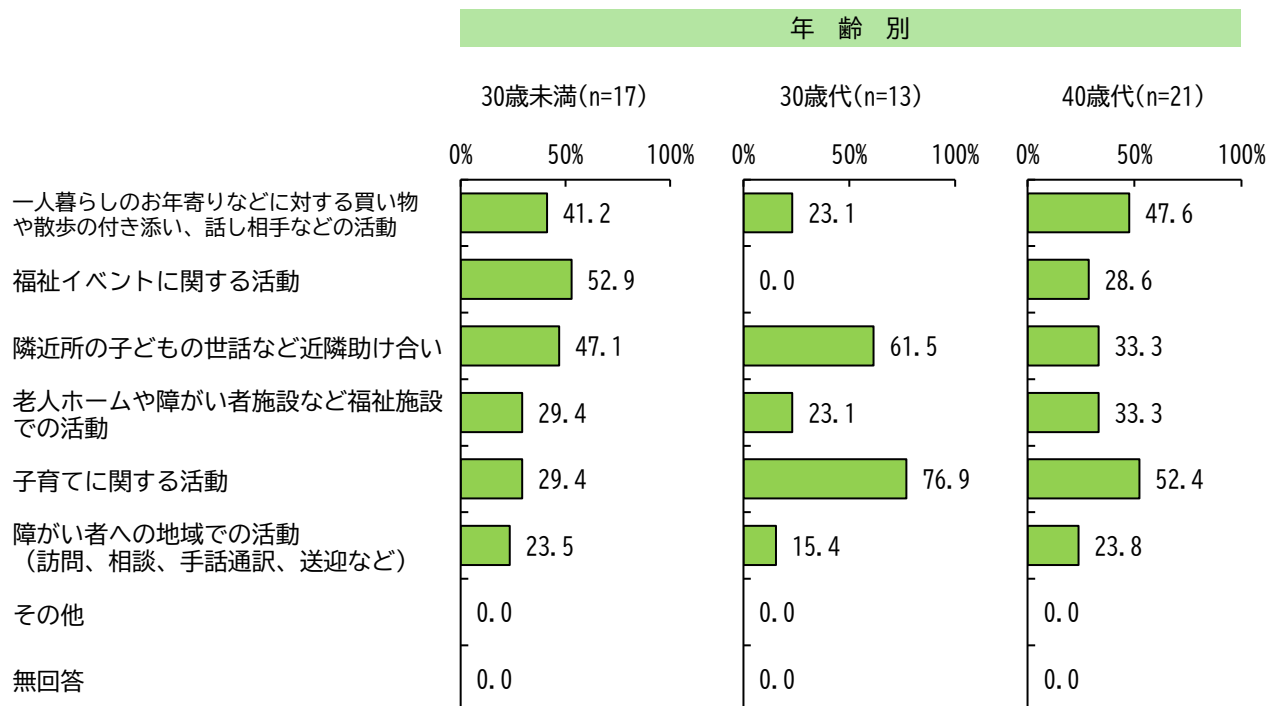
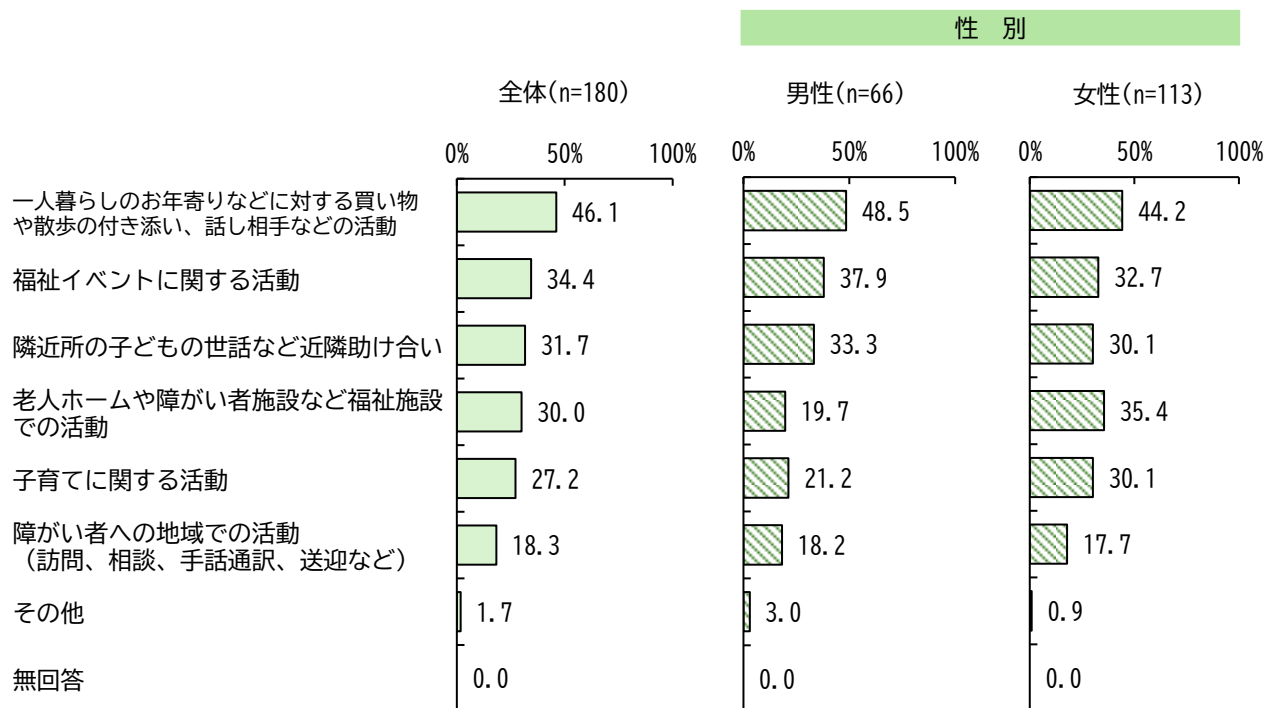
居住地区別でみると、“西部”、“中部”、“中郷”は「自然・環境保護に関すること」が最も多くなっています。

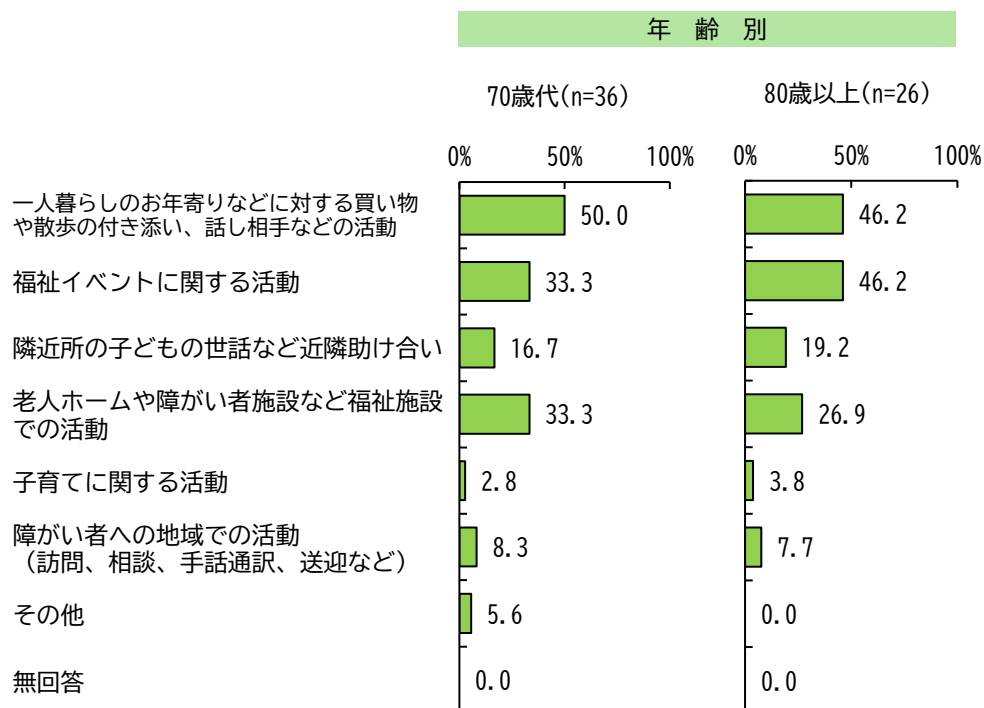
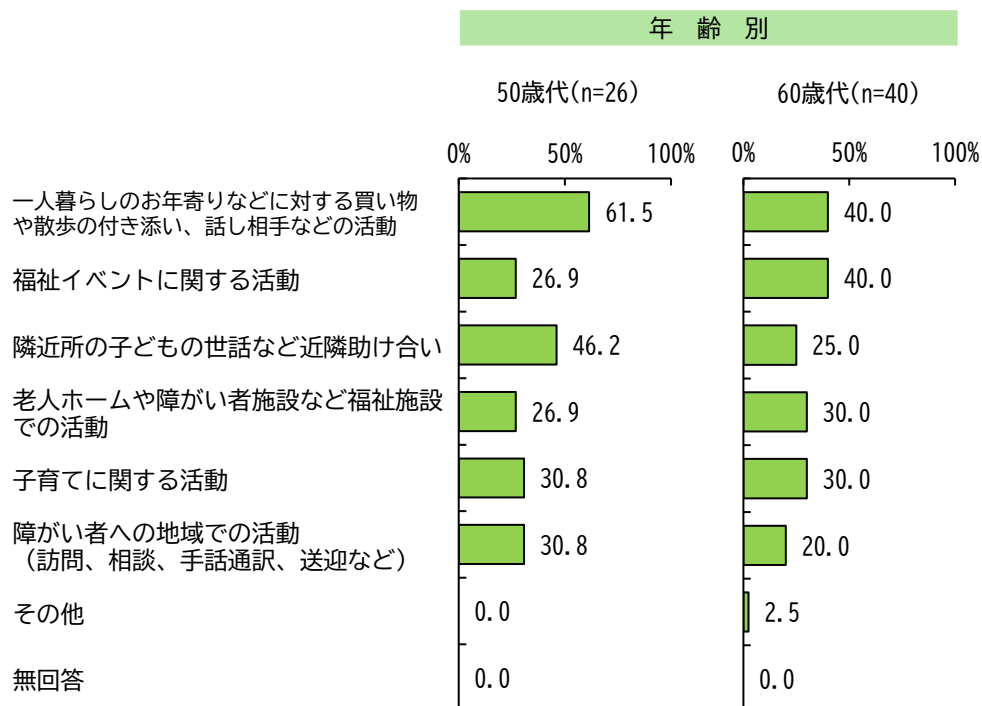
⑧参加したいと思う社会福祉活動

問34-2で「1 社会福祉に関すること」と回答した方にお聞きします。

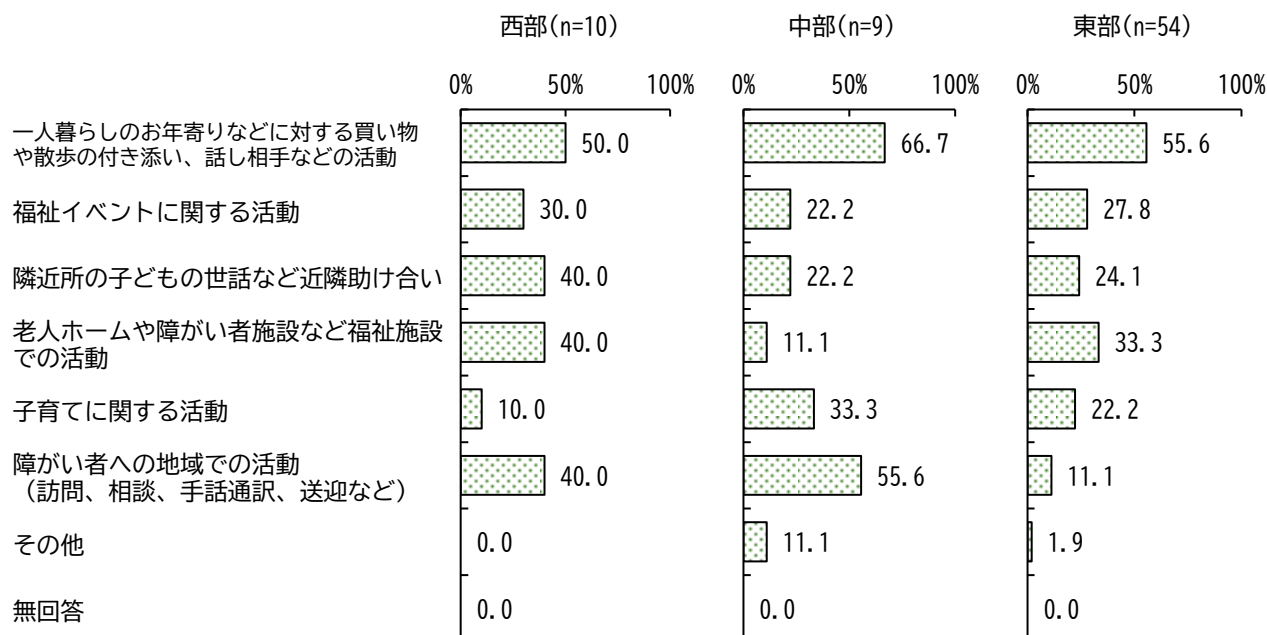
問34-3 どのような社会福祉活動に参加したいと思いますか。

(〇はあてはまるものすべて)

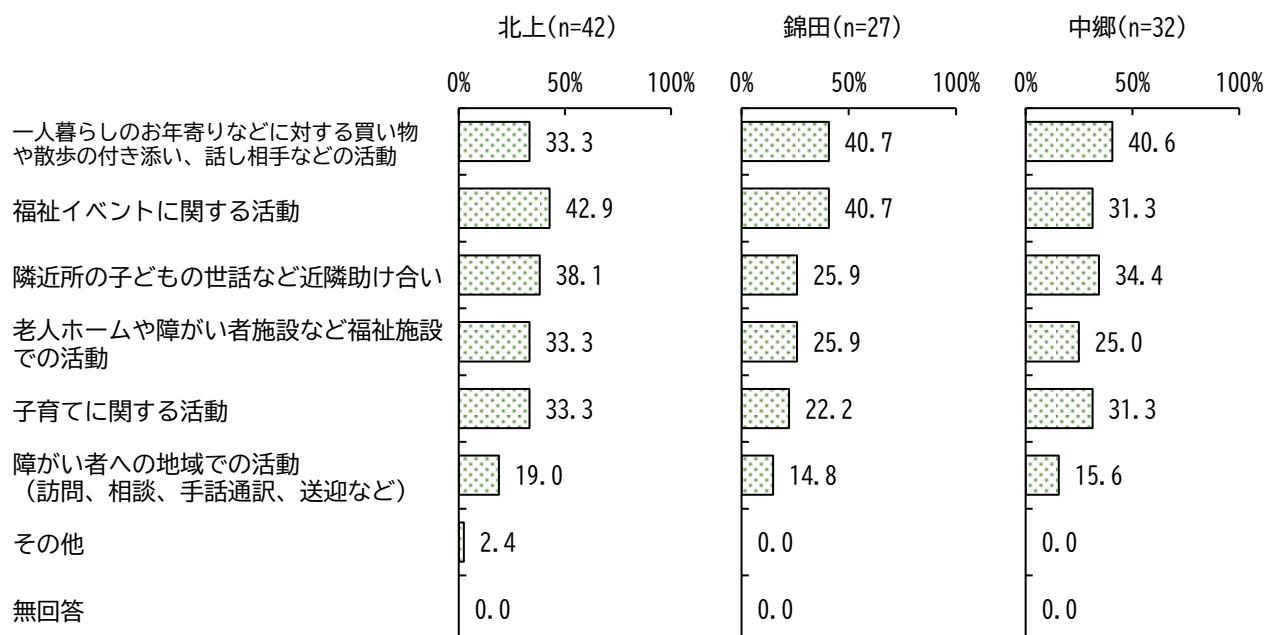




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



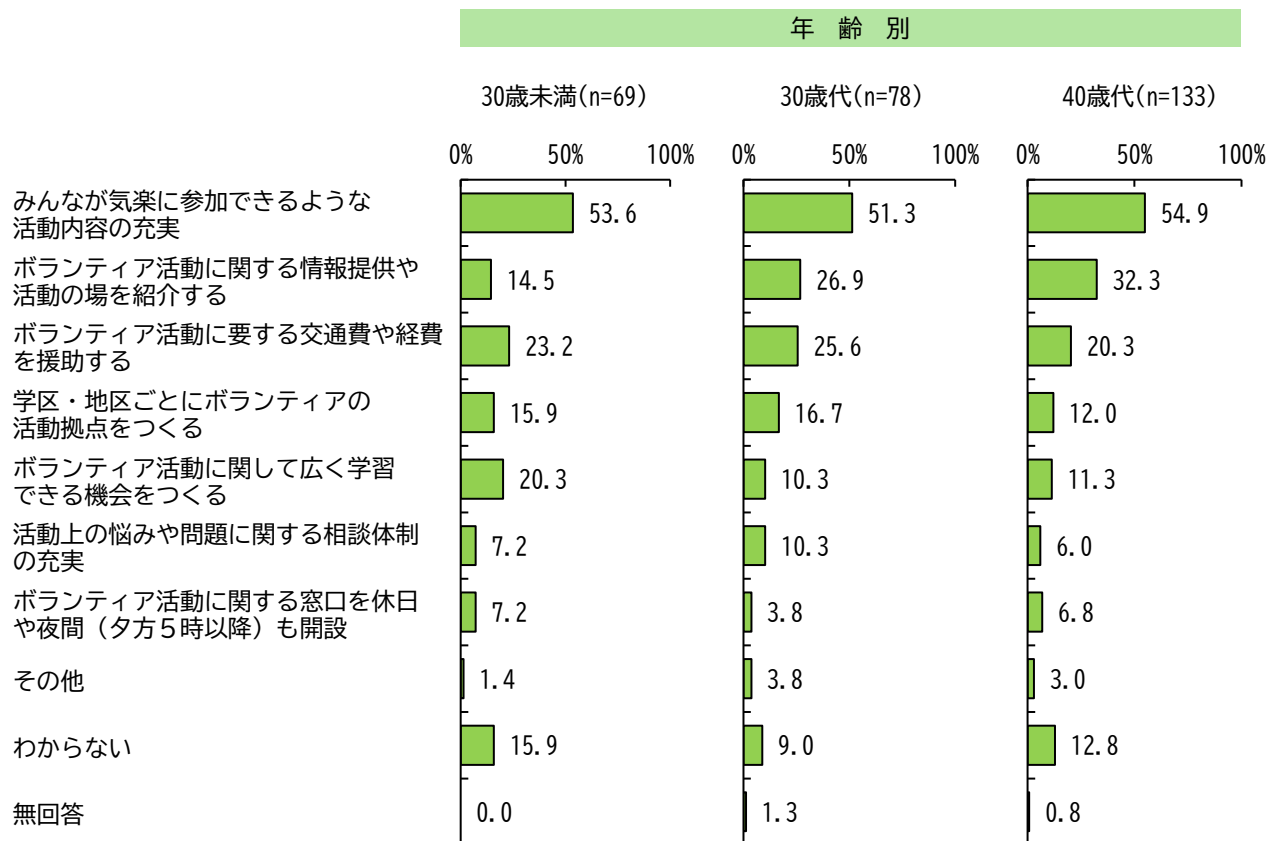
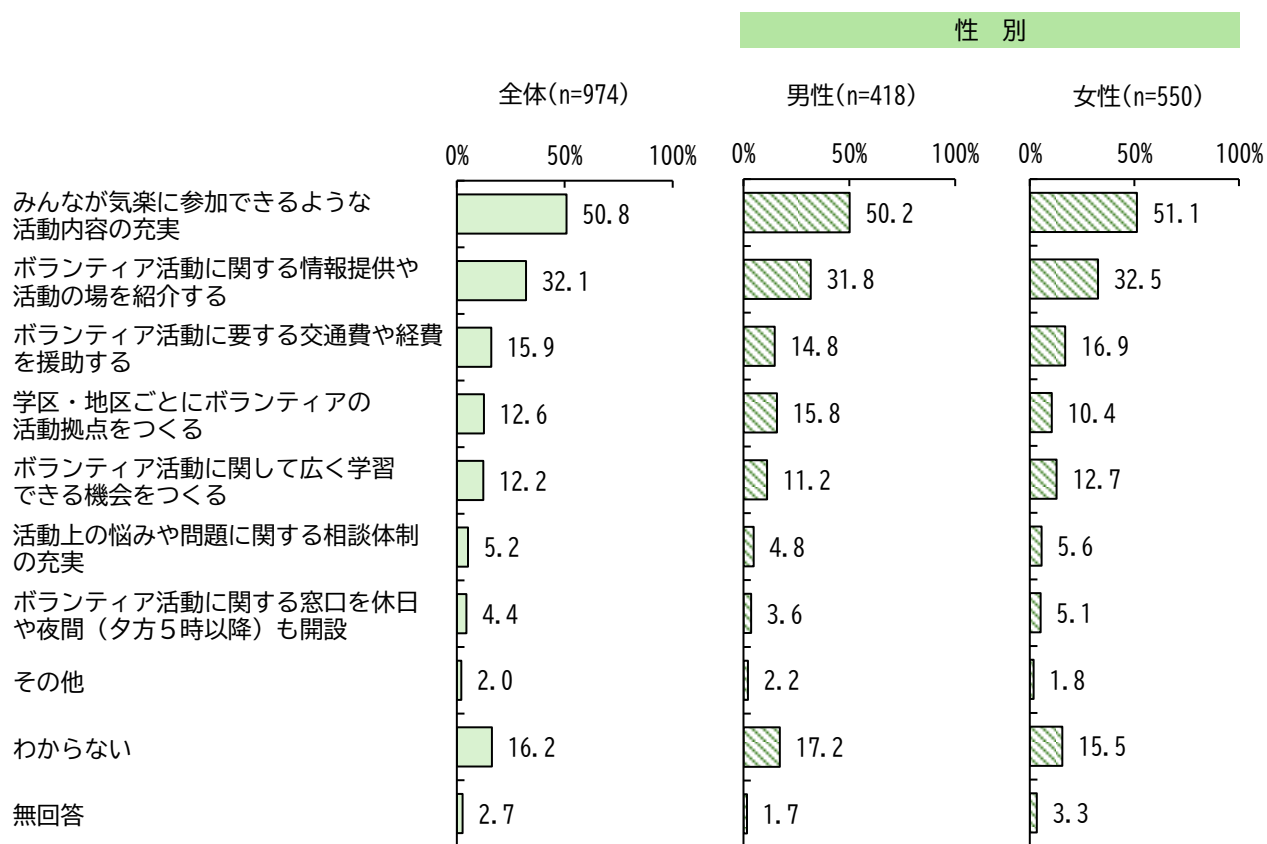
参加したいと思う社会福祉活動では、「一人暮らしのお年寄りなどに対する買い物や散歩の付き添い、話し相手などの活動」が46.1%と最も多く、次いで「福祉イベントに関する活動」が34.4%、「隣近所の子どもの世話など近隣助け合い」が31.7%などとなっています。

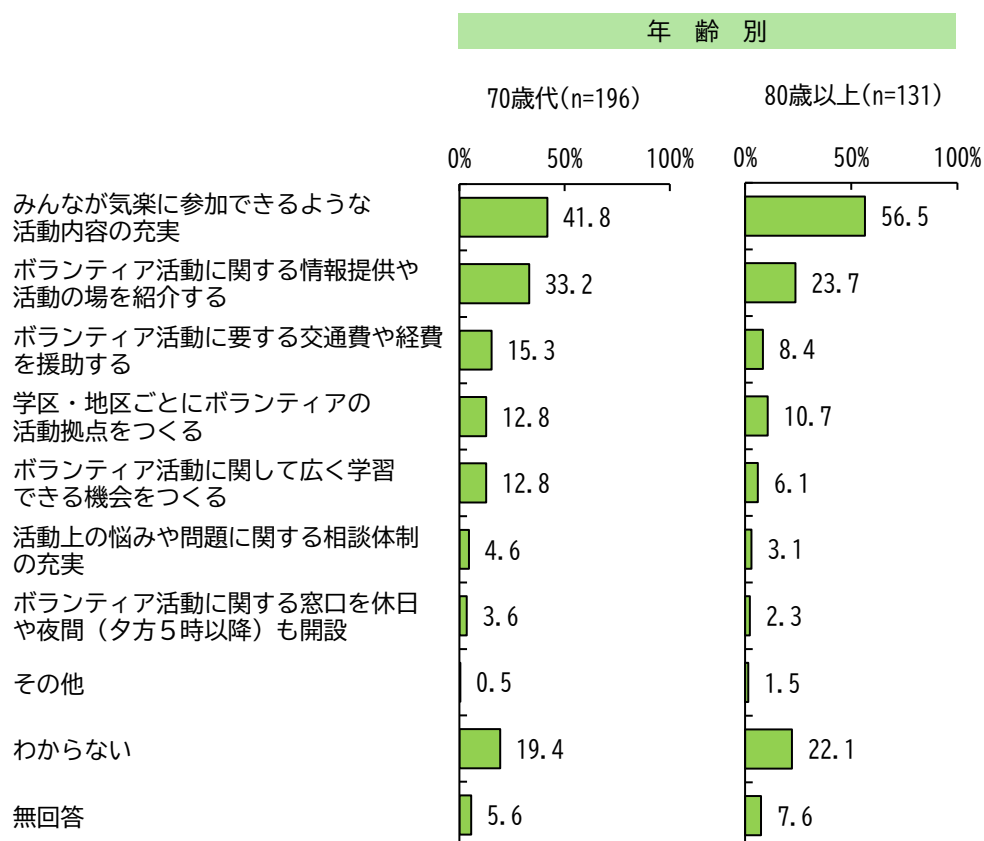
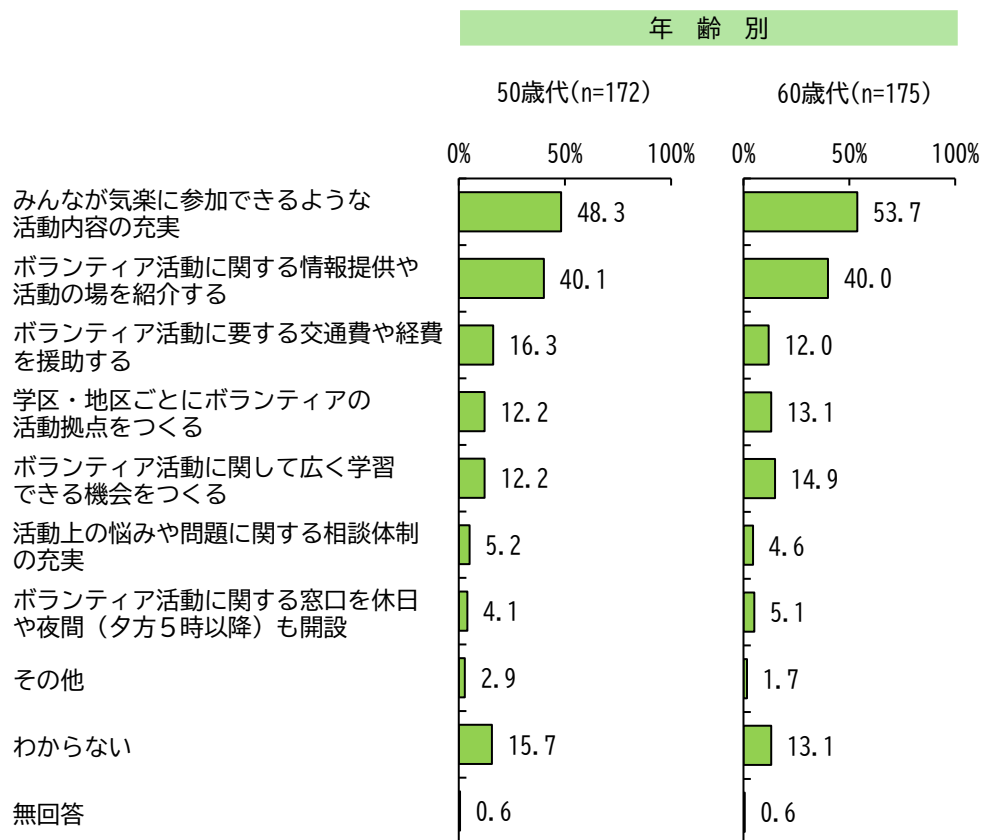
年齢別でみると、「30歳未満」は「福祉イベントに関する活動」が52.9%と最も多くなっています。「30歳代」と「40歳代」は「子育てに関する活動」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、「北上」は「福祉イベントに関する活動」が42.9%と最も多くなっています。

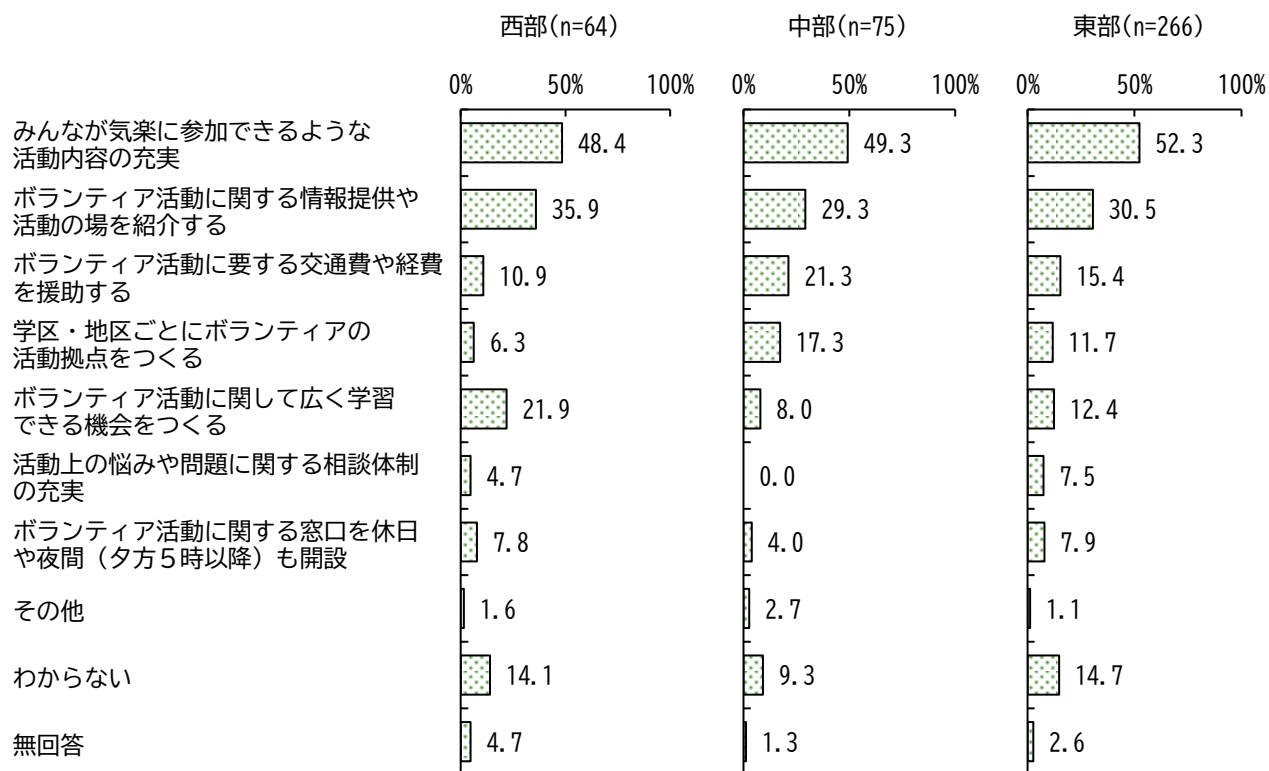
⑨三島市でボランティア活動を活発にするために必要だと思うこと

問35 今後、三島市でボランティア活動を活発にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。
(○は2つまで)

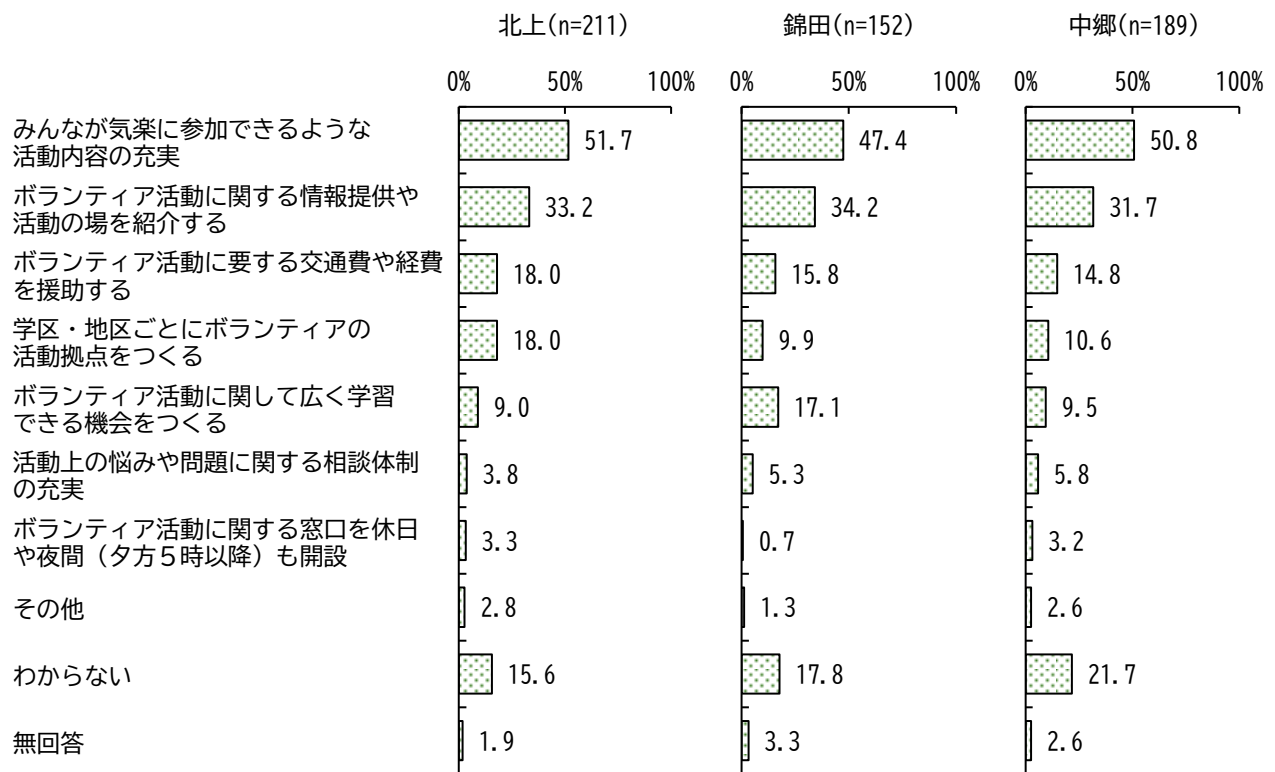




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別

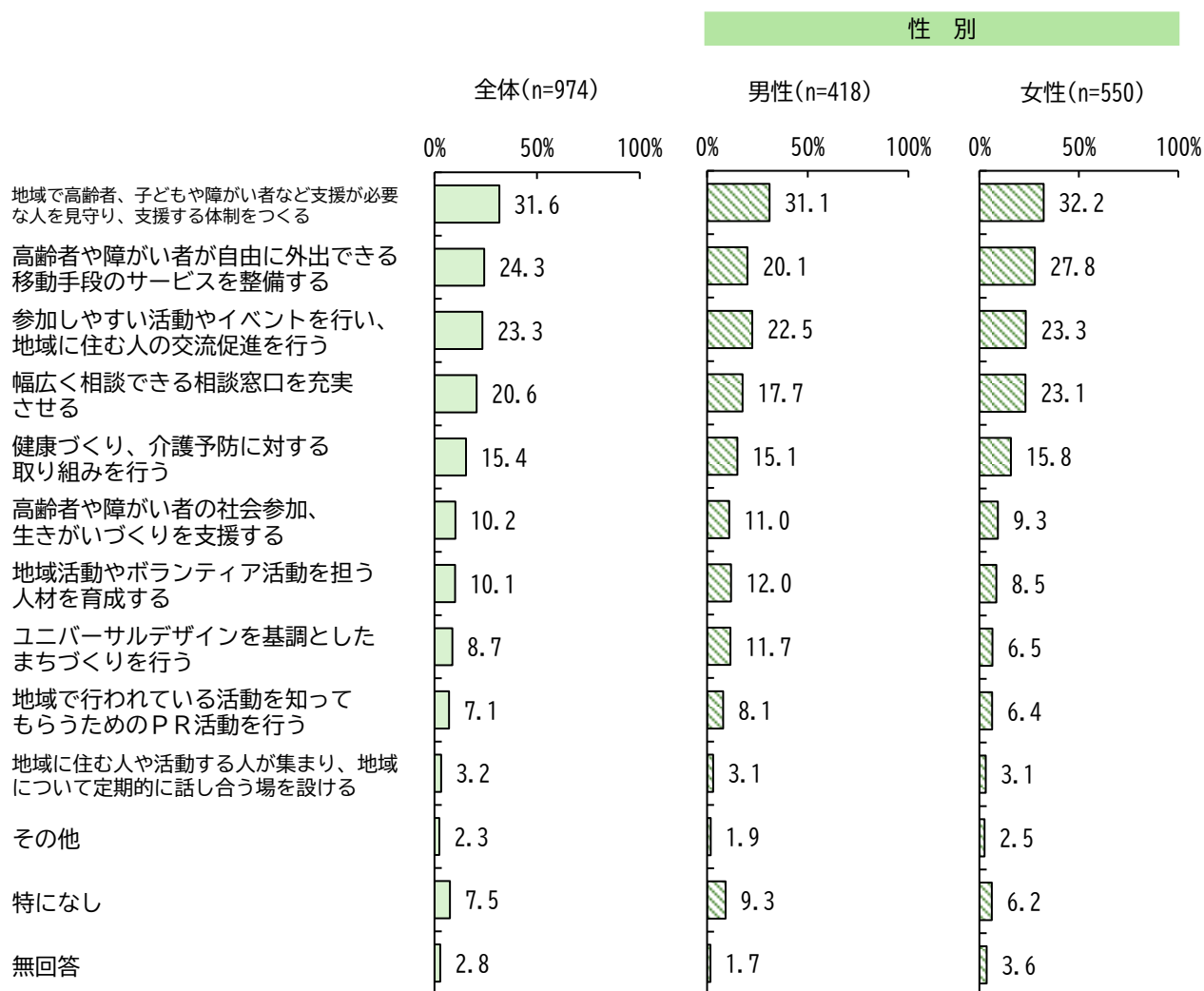


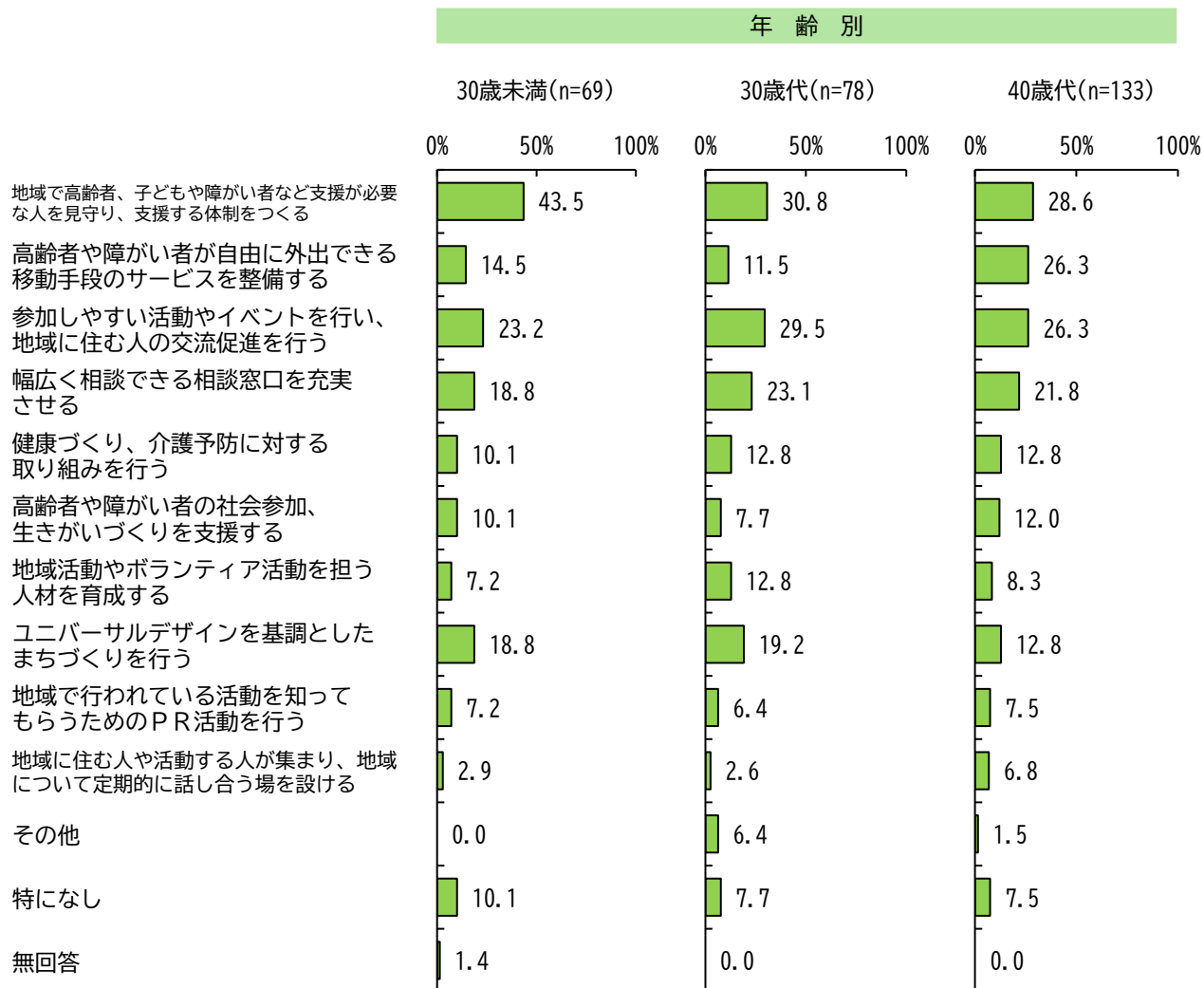
三島市でボランティア活動を活発にするために必要だと思うことでは、「みんなが気楽に参加できるような活動内容の充実」が50.8%と最も多く、次いで「ボランティア活動に関する情報提供や活動の場を紹介する」が32.1%、「ボランティア活動に要する交通費や経費を援助する」が15.9%などとなっています。また、「わからない」が16.2%となっています。

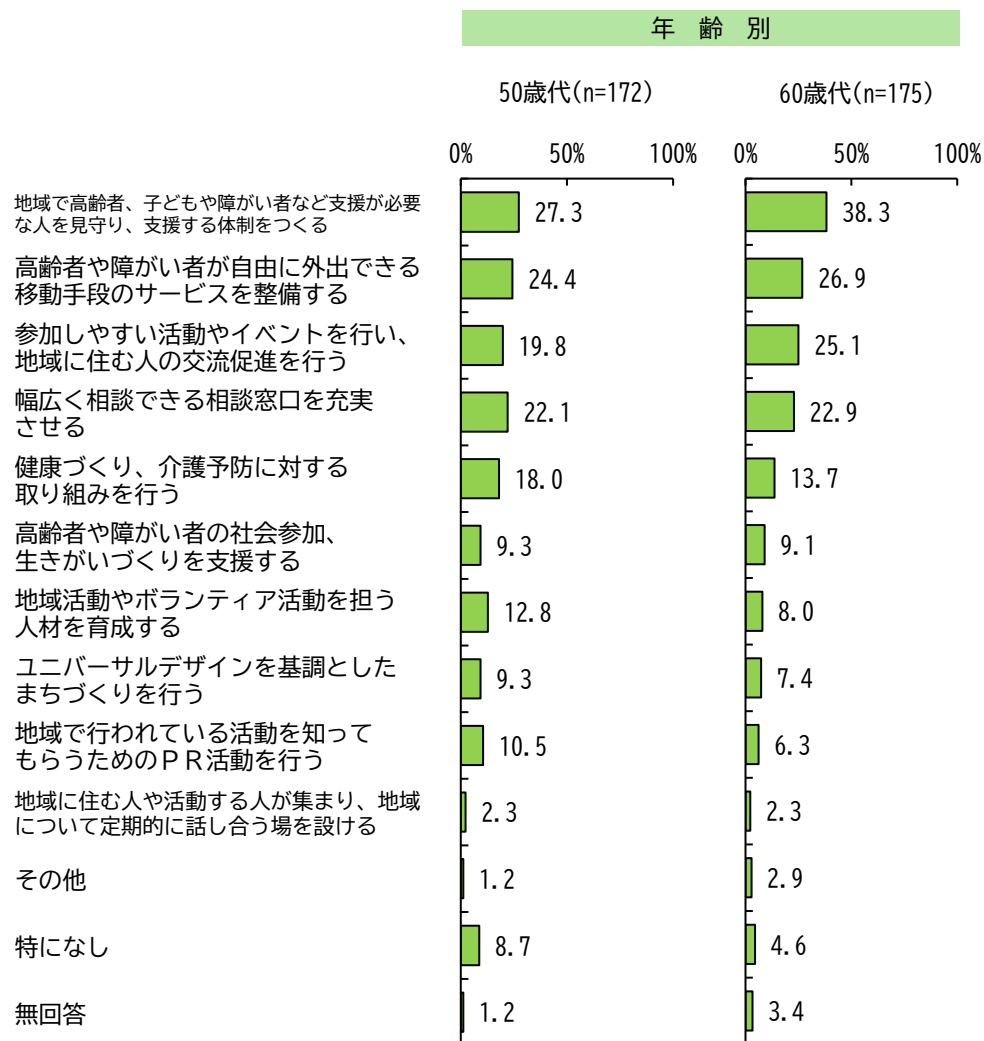
6. 福祉施策に関することについて

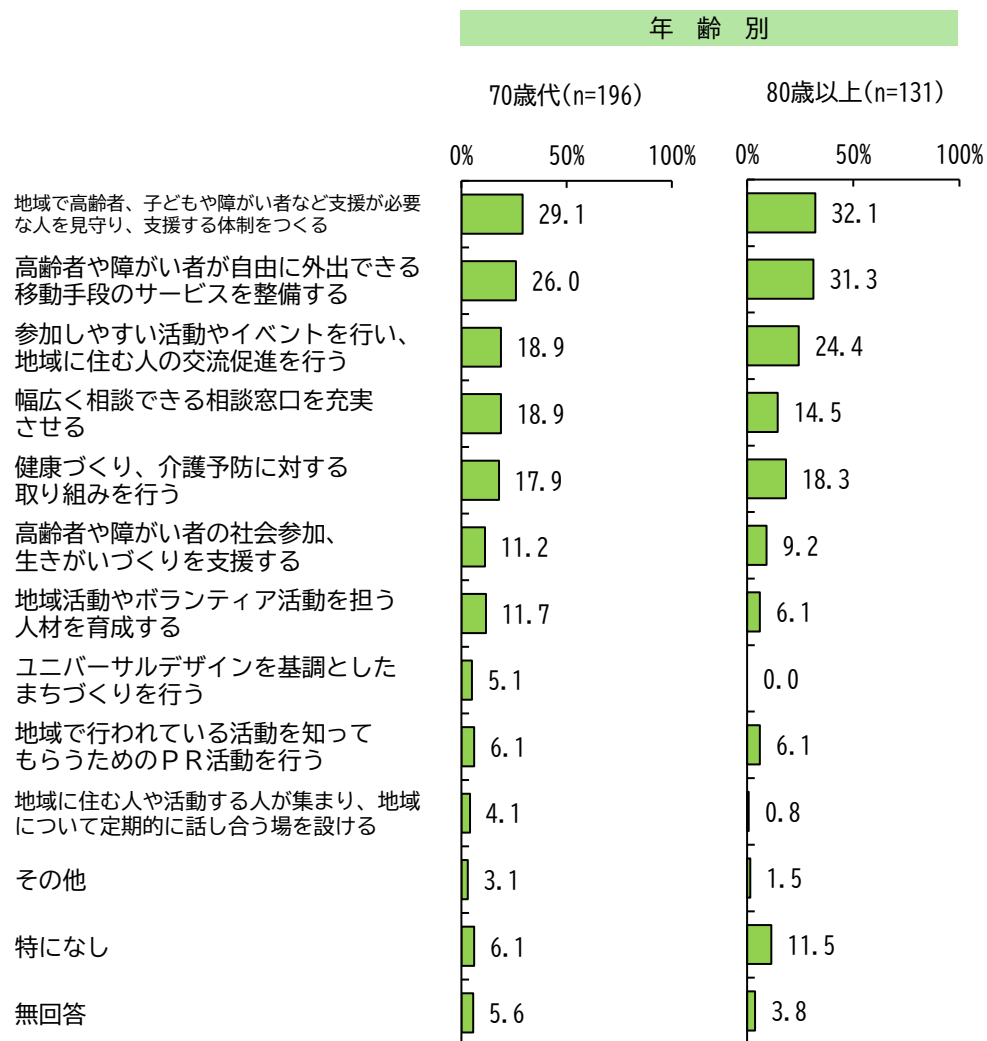
①地域がより住みやすくなるために必要な活動

問36 あなたは、今後地域がより住みやすくなるためには、次のうち、どのような活動を行う必要があると思いますか。
(○は2つまで)





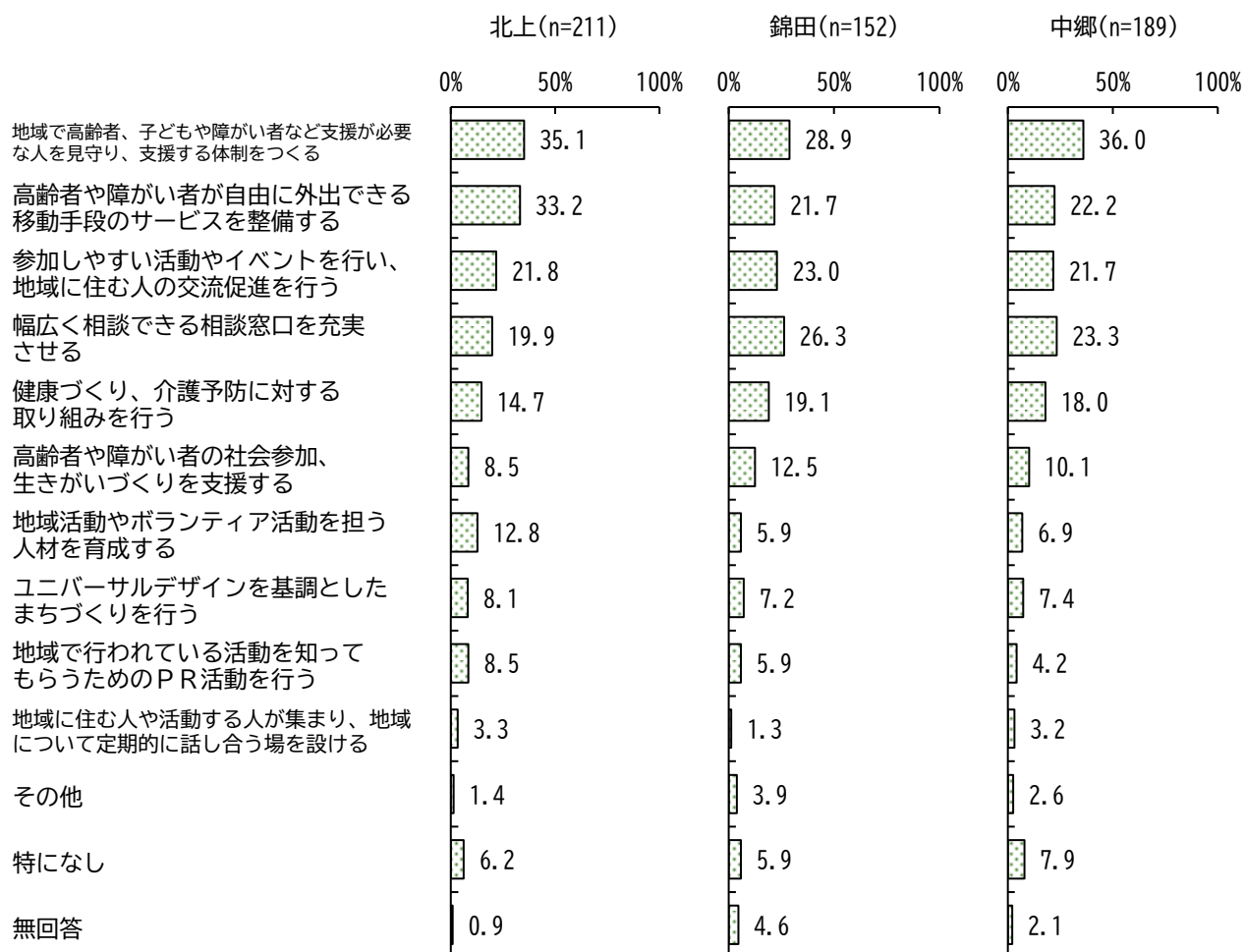




居 住 地 区 別



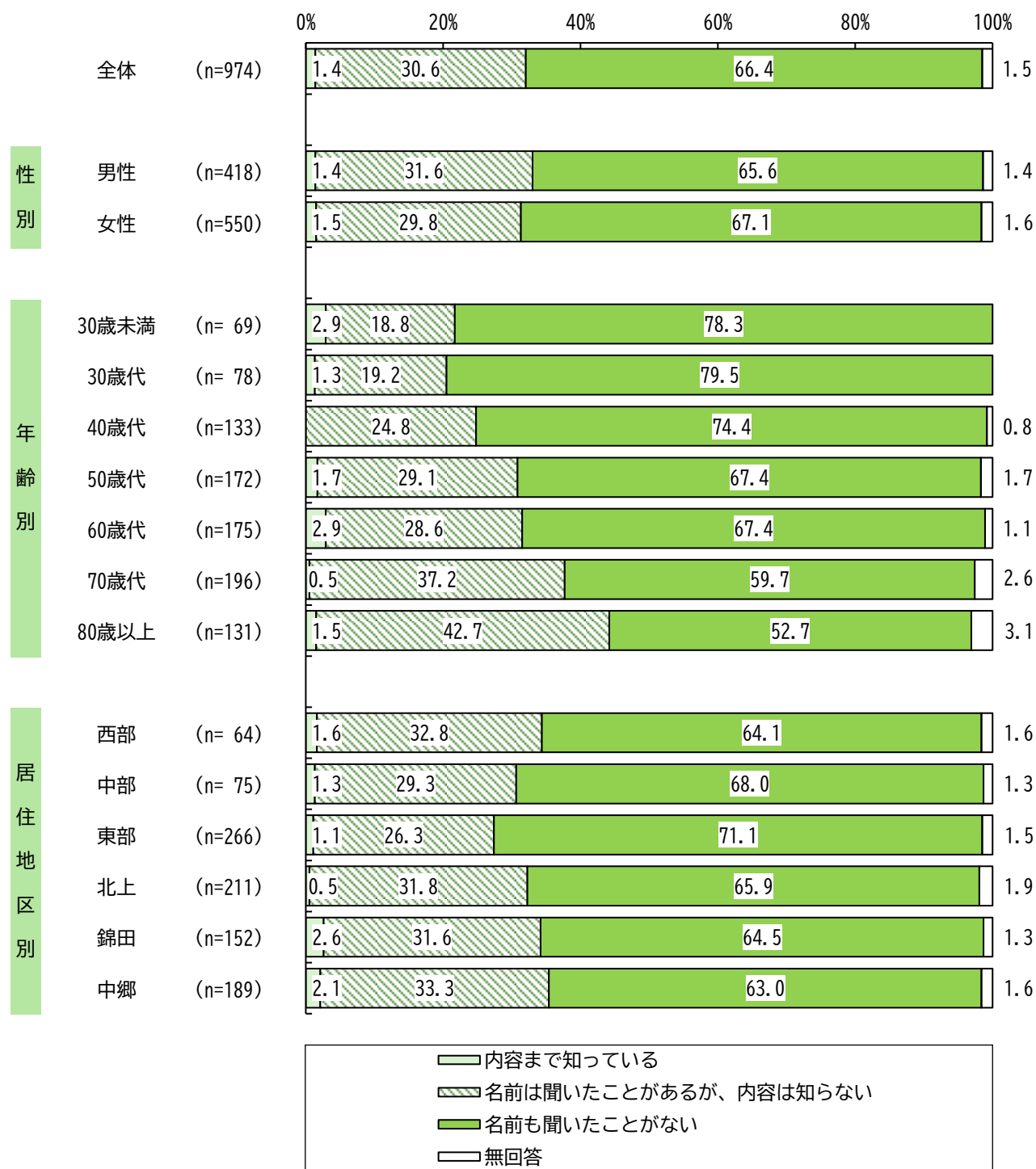
居 住 地 区 別



地域がより住みやすくなるために必要な活動では、「地域で高齢者、子どもや障がい者など支援が必要な人を見守り、支援する体制をつくる」が31.6%と最も多く、次いで「高齢者や障がい者が自由に外出できる移動手段のサービスを整備する」が24.3%、「参加しやすい活動やイベントを行い、地域に住む人の交流促進を行う」が23.3%などとなっています。

②三島市地域福祉計画の認知

問37 三島市では、地域福祉を進めるための計画として「三島市地域福祉計画」という計画を作っています。この計画についてご存知でしたか。(○は1つだけ)

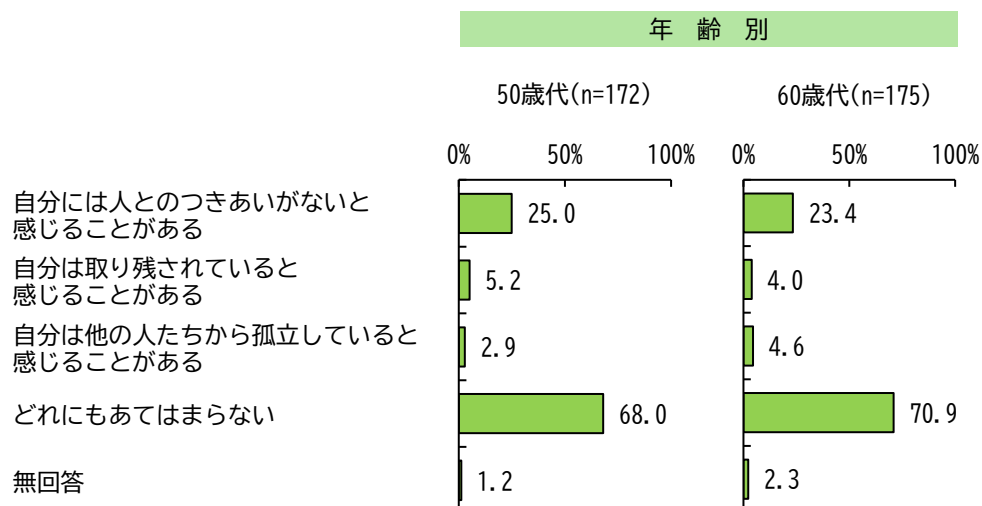
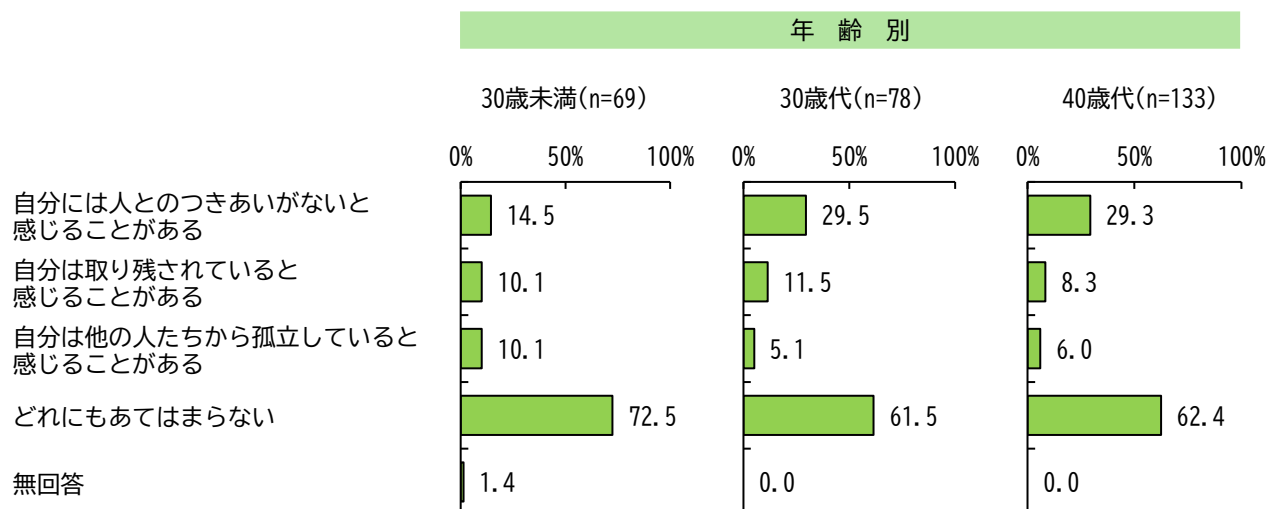
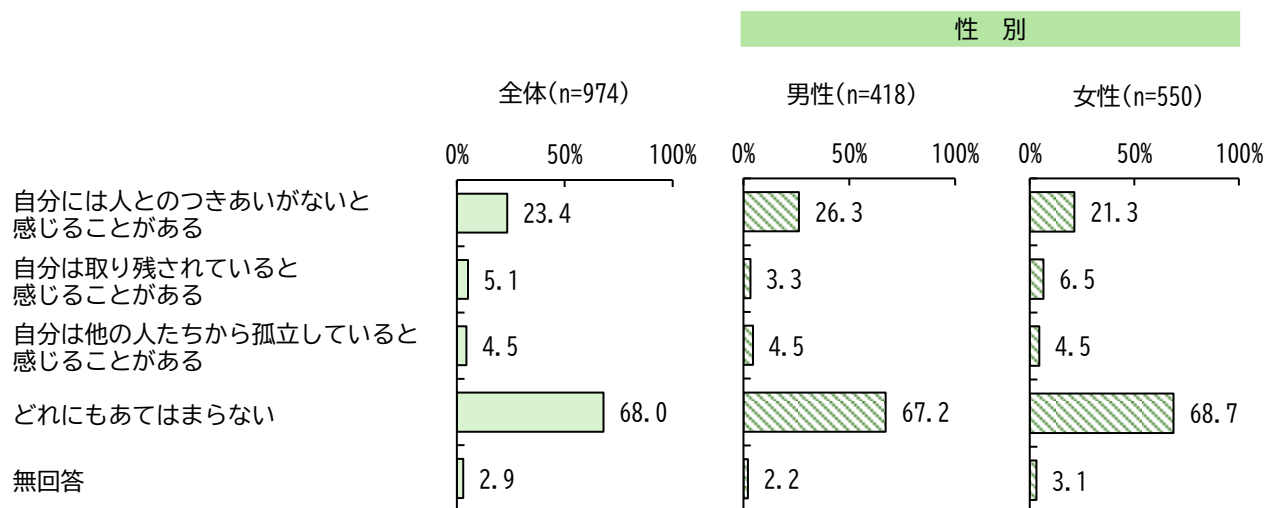


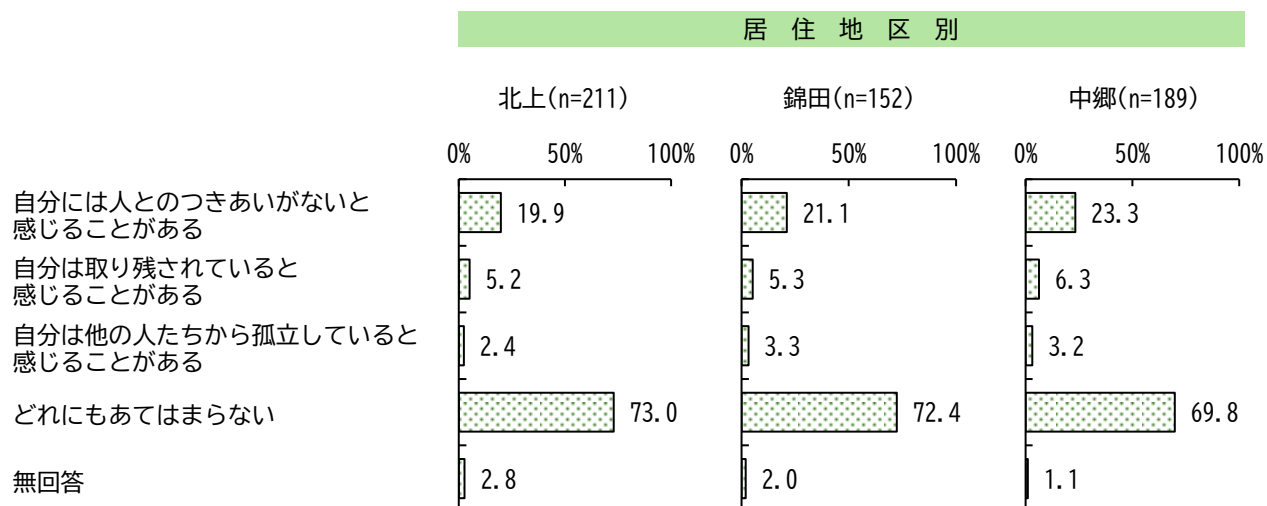
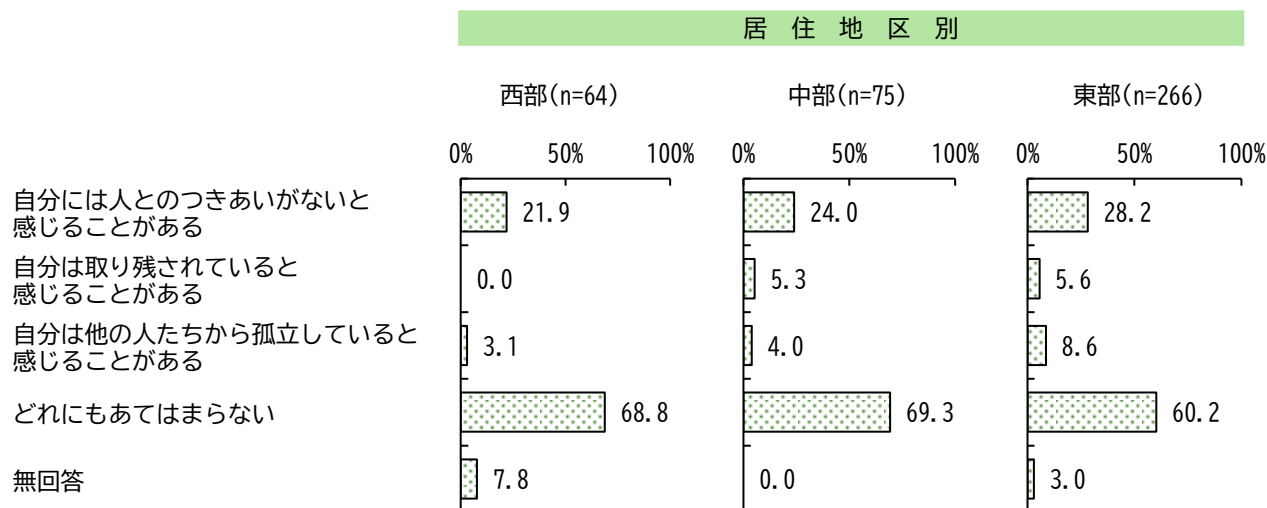
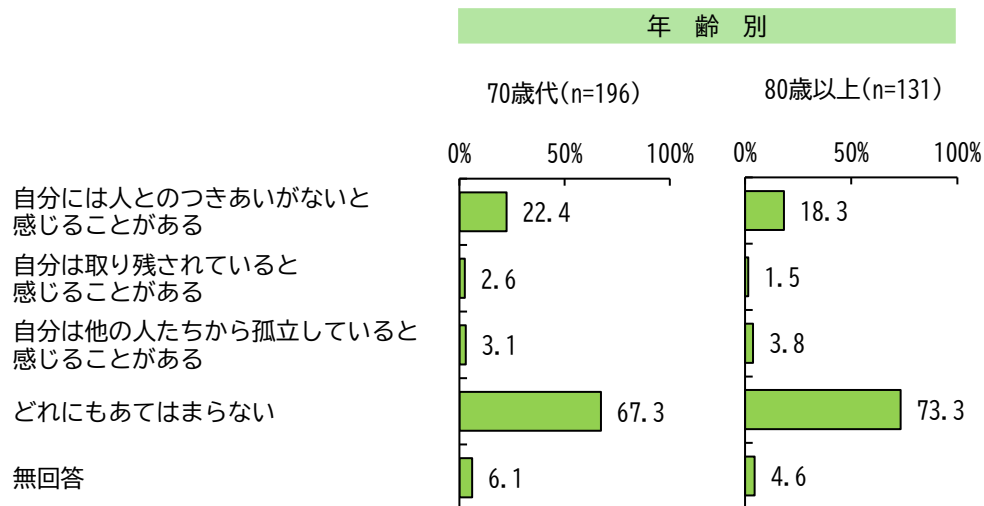
三島市地域福祉計画の認知では、「内容まで知っている」が1.4%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が30.6%、「名前も聞いたことがない」が66.4%となっています。

7. 日常や交友関係について

①あてはまると思う項目

問38 次の項目にあてはまると思うことはありますか。（○はあてはまるものすべて）



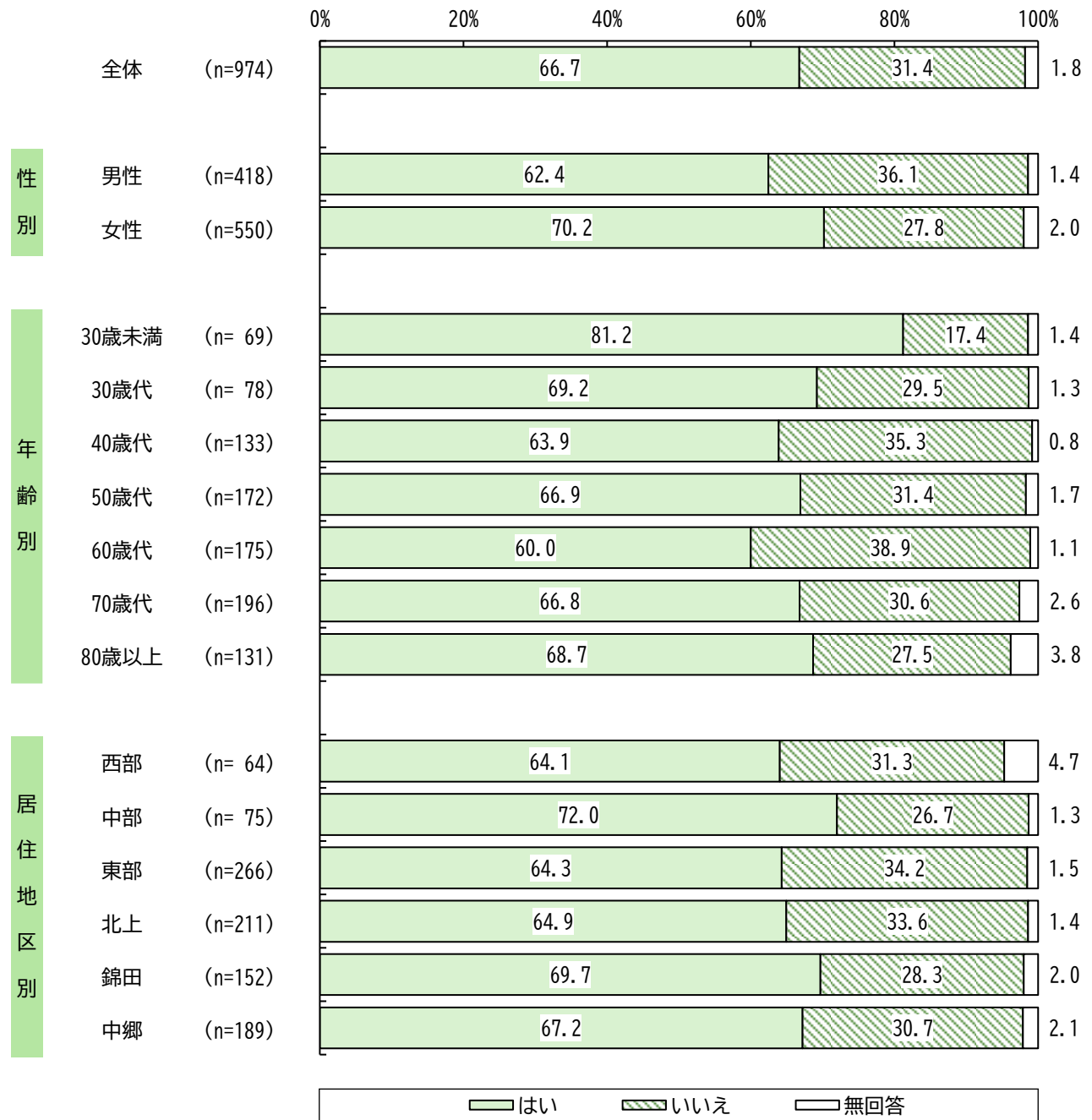


あてはまると思う項目では、「自分には人とのつきあいがないと感じることがある」が23.4%と最も多く、次いで「自分は取り残されていると感じることがある」が5.1%、「自分は他の人たちから孤立していると感じることがある」が4.5%となっています。また、「どれにもあてはまらない」が68.0%となっています。

②親友の有無

問39 親友といえる友人がいますか。

(○は1つだけ)

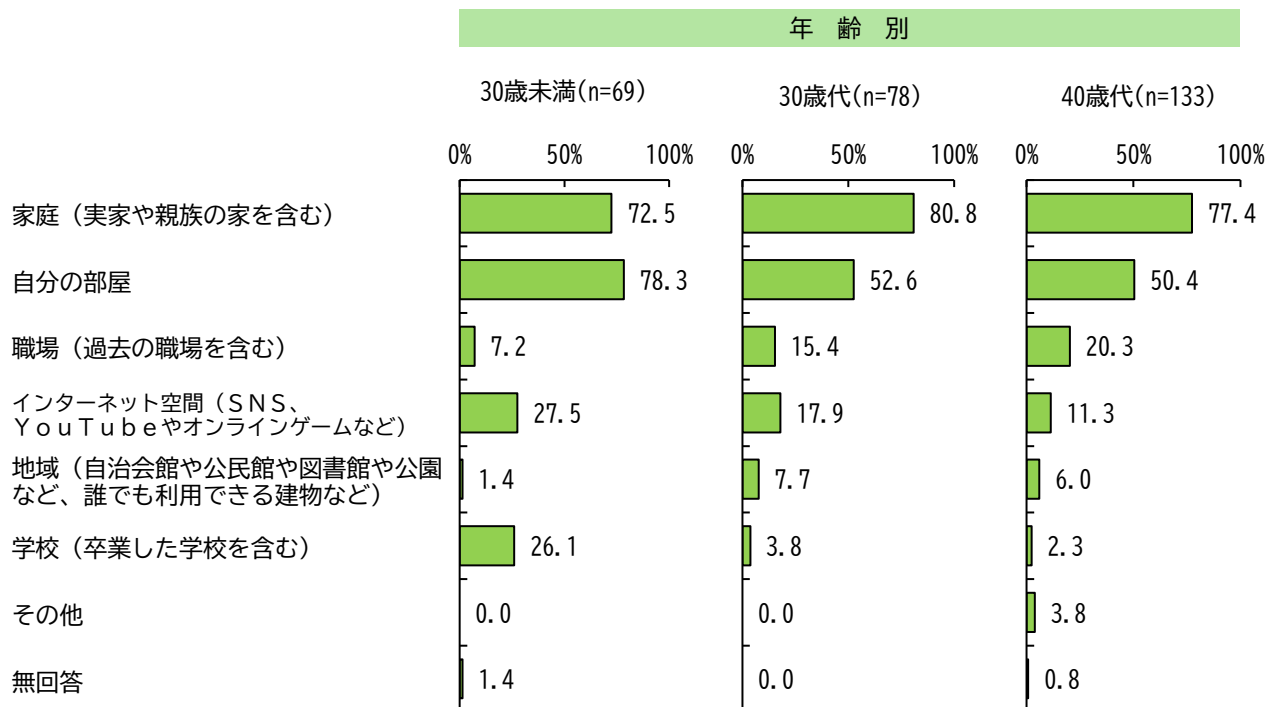
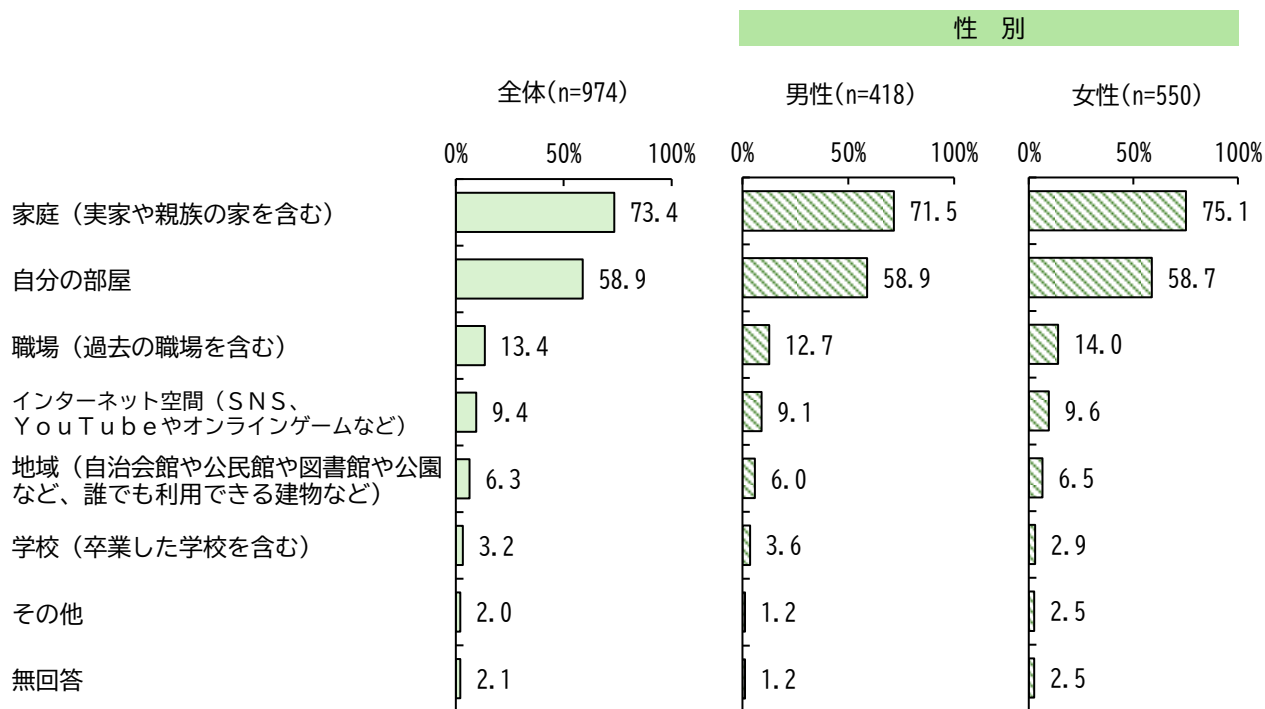


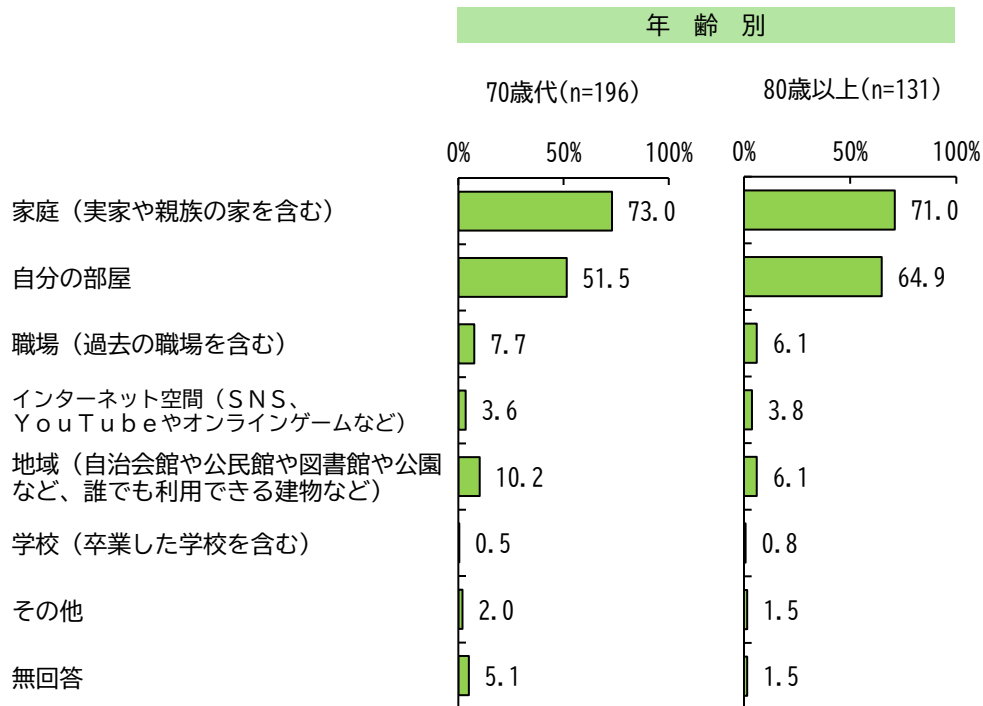
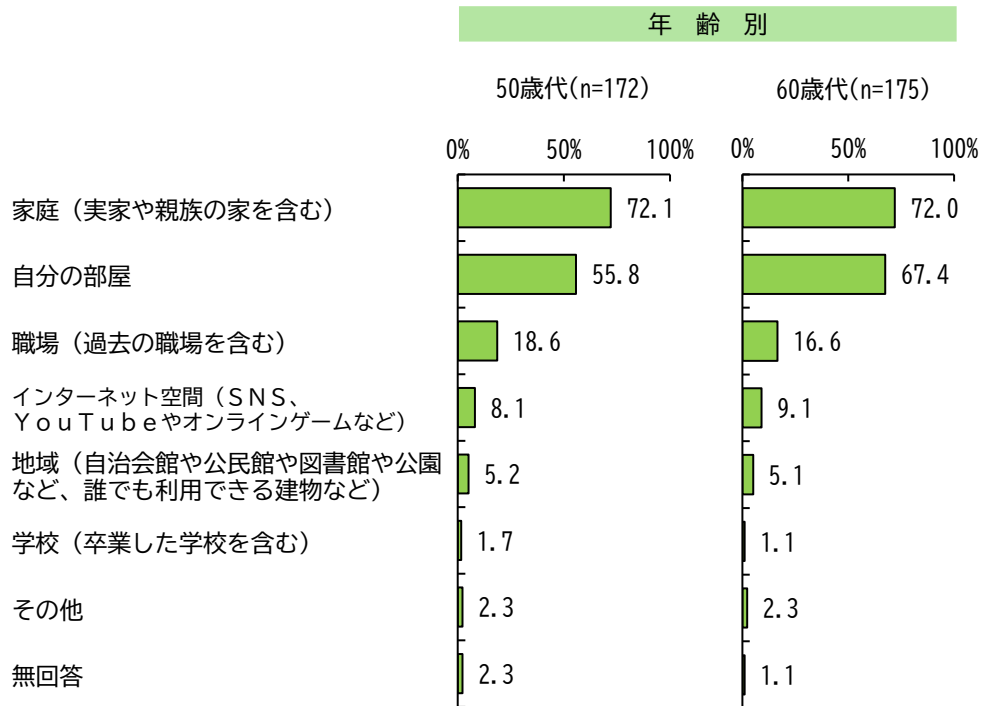
親友の有無では、「はい」が66.7%、「いいえ」が31.4%となっています。

8. 居場所について

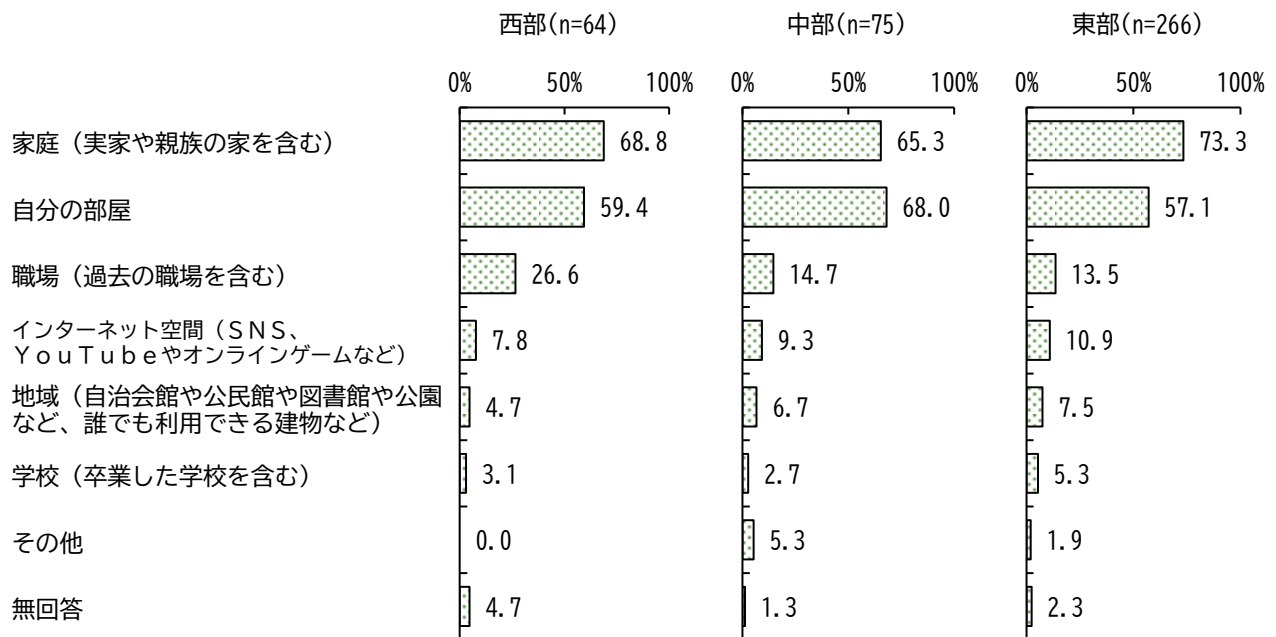
①居場所になっている場所

問40 次の場所は、今のあなたにとって居場所（ほっとできる場所、居心地のいい場所など）になっていますか。
（○はあてはまるものすべて）

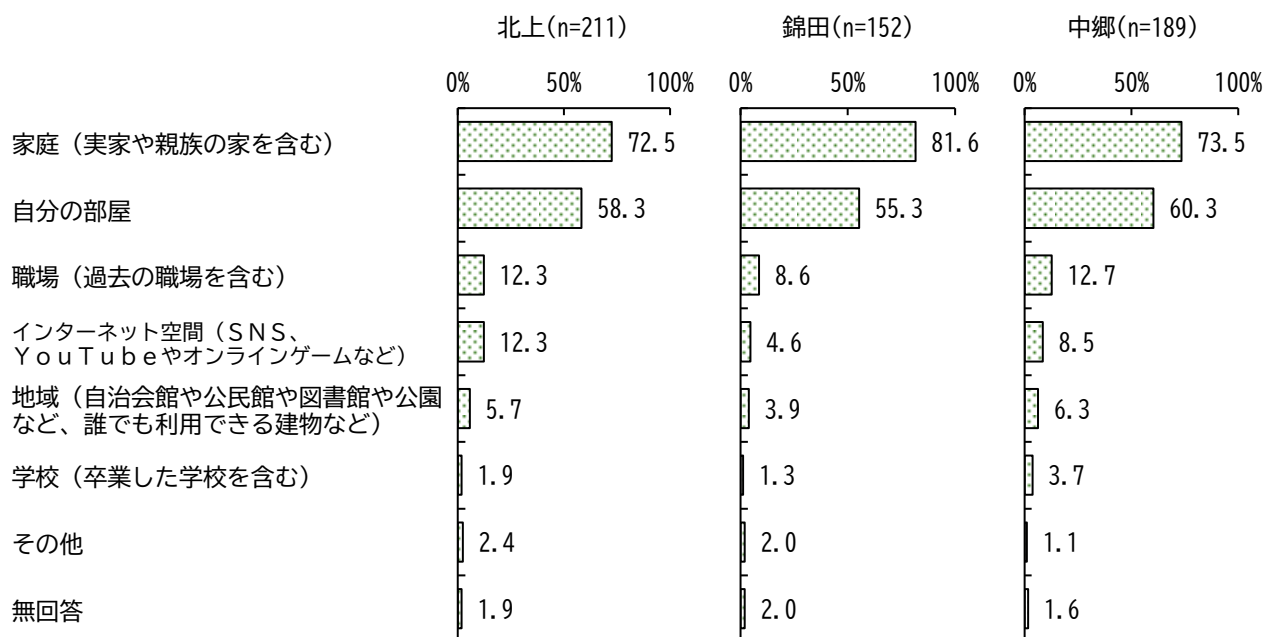




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



居場所になっている場所では、「家庭（実家や親族の家を含む）」が73.4%と最も多く、次いで「自分の部屋」が58.9%、「職場（過去の職場を含む）」が13.4%などとなっています。

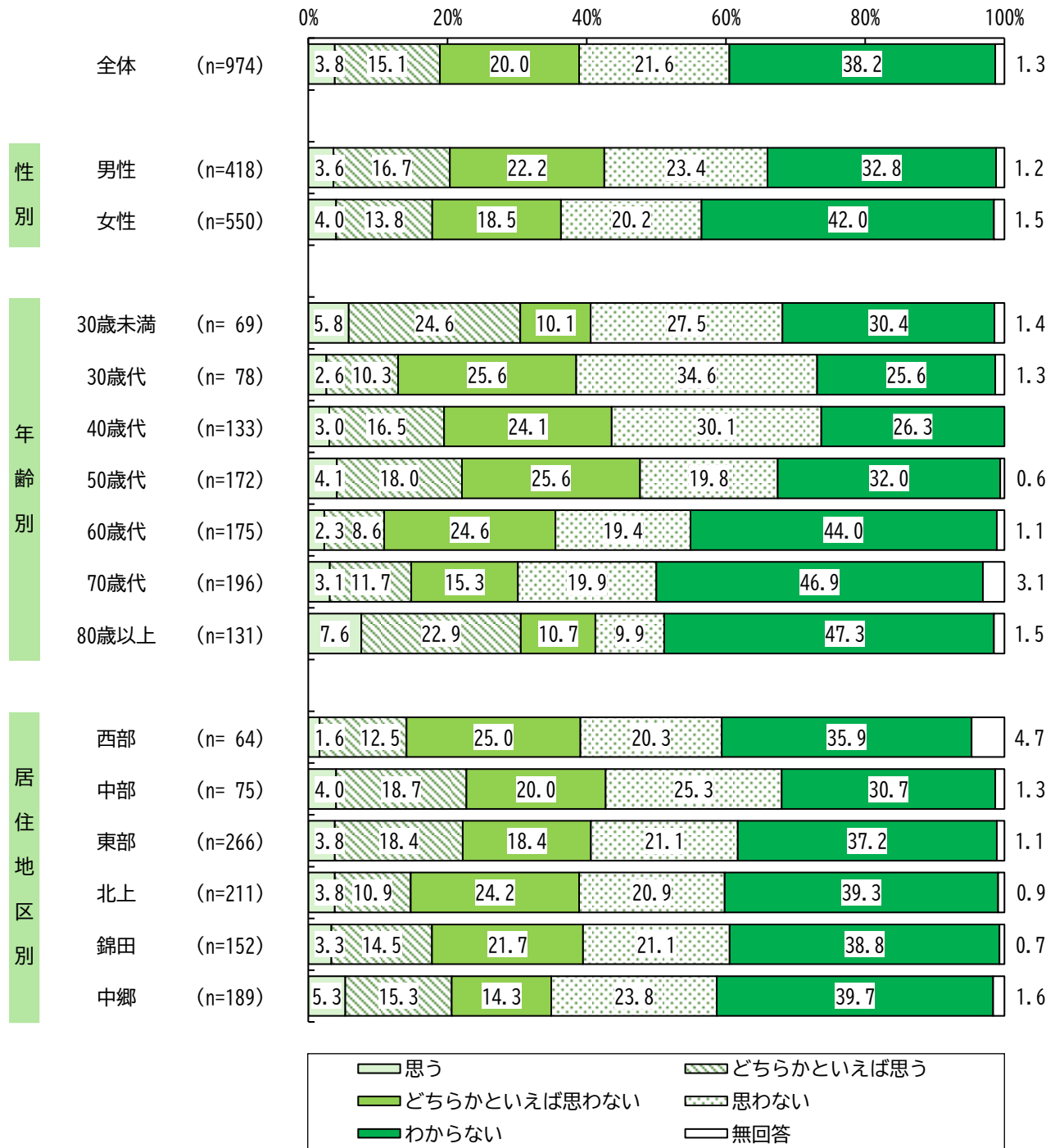
年齢別でみると、“30歳未満”は「自分の部屋」が78.3%と最も多くなっています。

居住地区別でみると、“中部”は「自分の部屋」が68.0%と最も多くなっています。

9. 再犯防止について

①犯罪をした人の立ち直りへの協力をしたいと思うか

問41 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。(○は1つだけ)

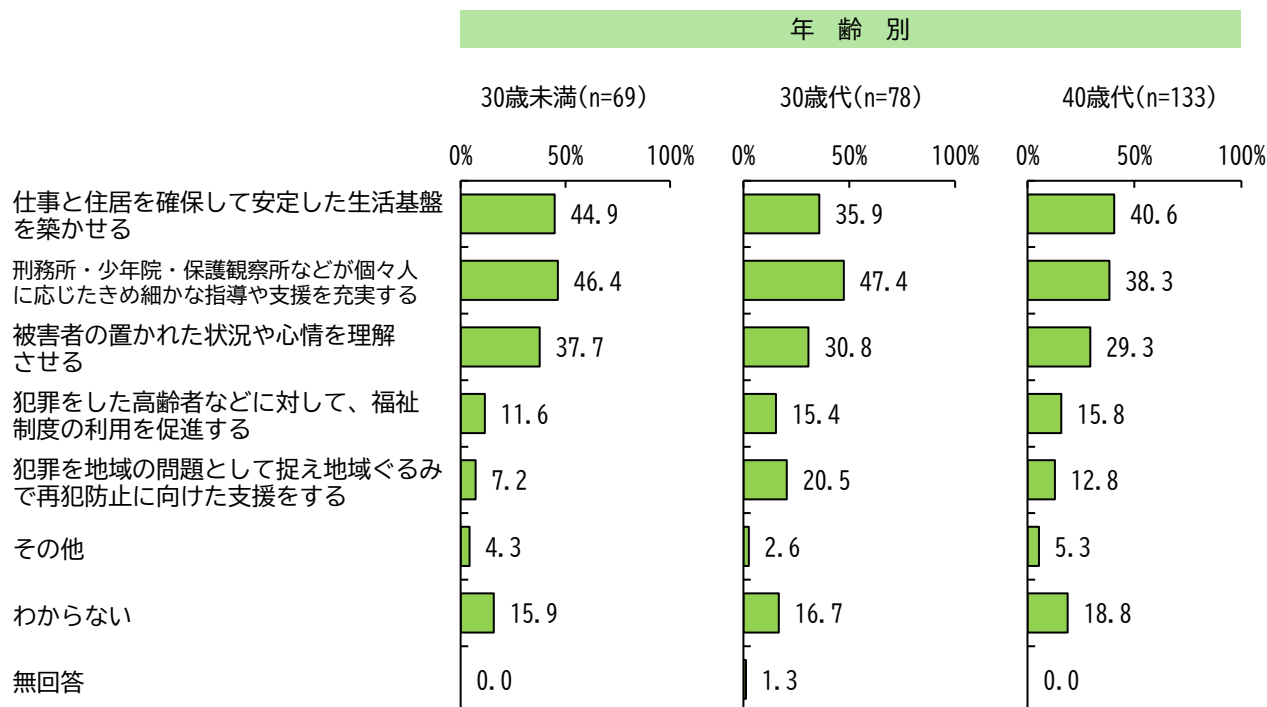
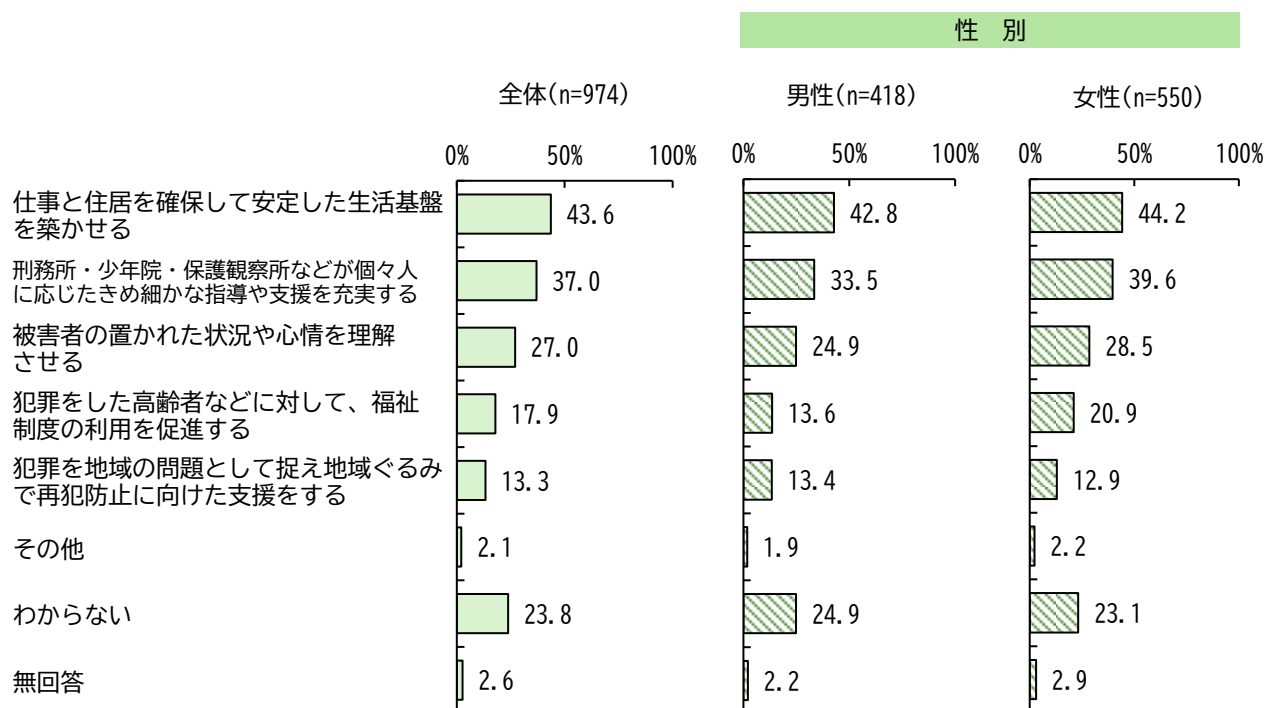


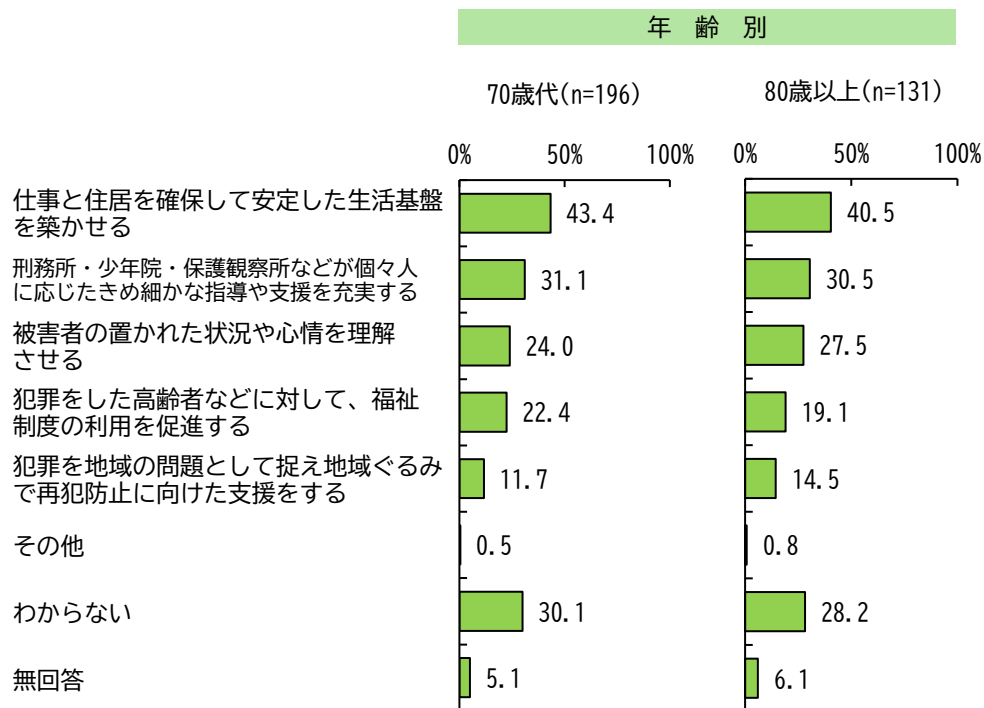
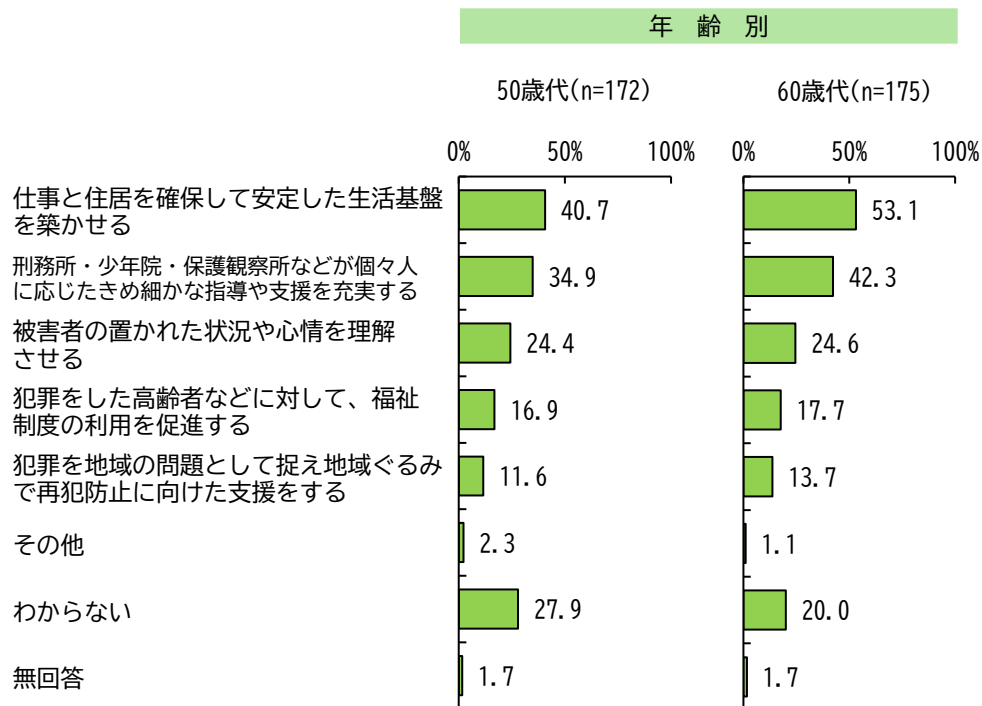
犯罪をした人の立ち直りへの協力をしたいと思うかでは、「思う」が3.8%、「どちらかといえば思う」が15.1%、「どちらかといえば思わない」が20.0%「思わない」が21.6%、「わからない」が38.2%となっています。

年齢別でみると、“30歳代”と“40歳代”は「思わない」が最も多くなっています。

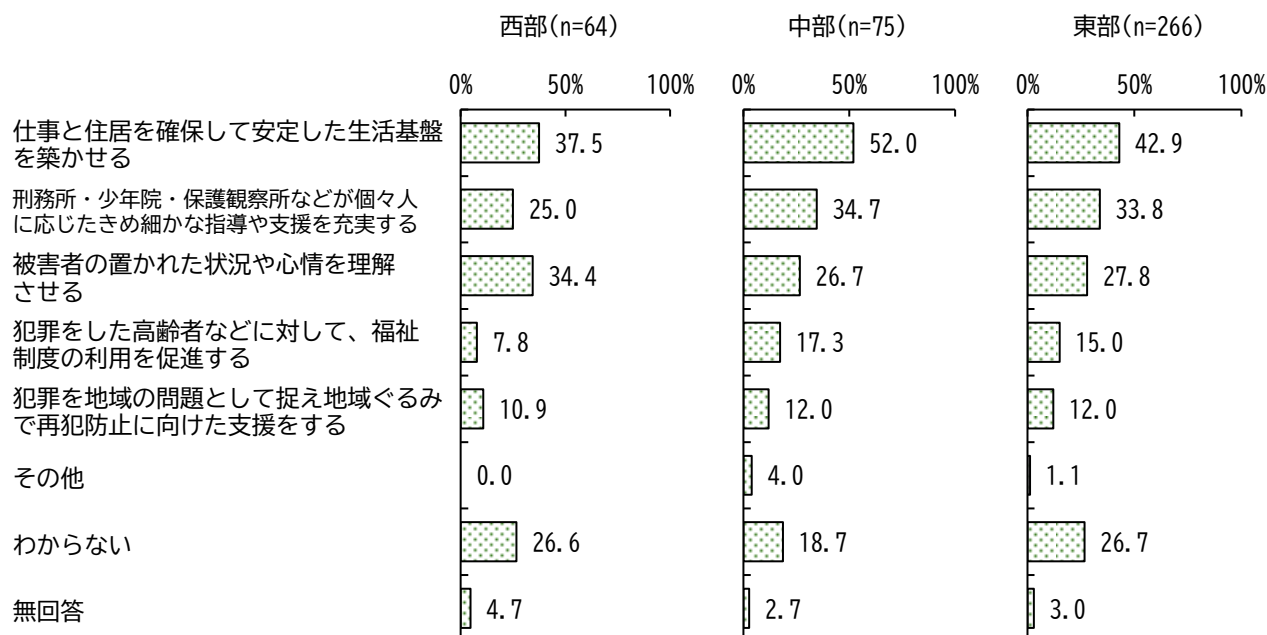
②再犯防止のために具体的に必要だと思うこと

問42 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)

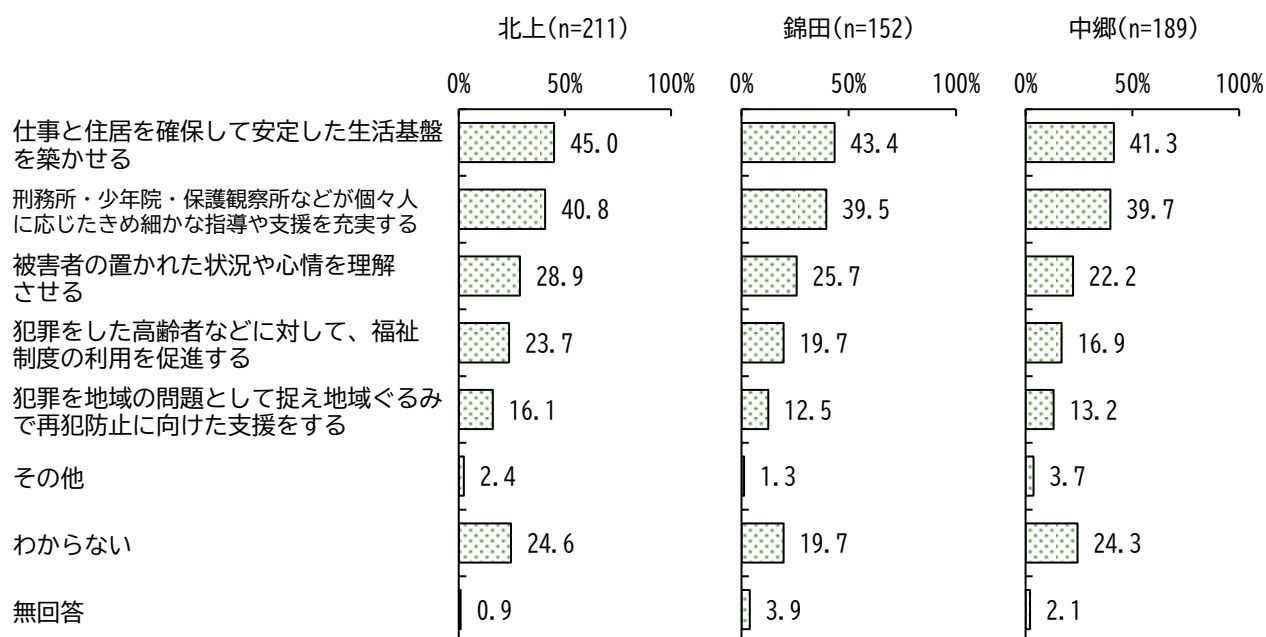




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



再犯防止のために具体的に必要だと思うことでは、「仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる」が43.6%と最も多く、次いで「刑務所・少年院・保護観察所などが個々人に応じたきめ細かな指導や支援を充実する」が37.0%、「被害者の置かれた状況や心情を理解させる」が27.0%などとなっています。

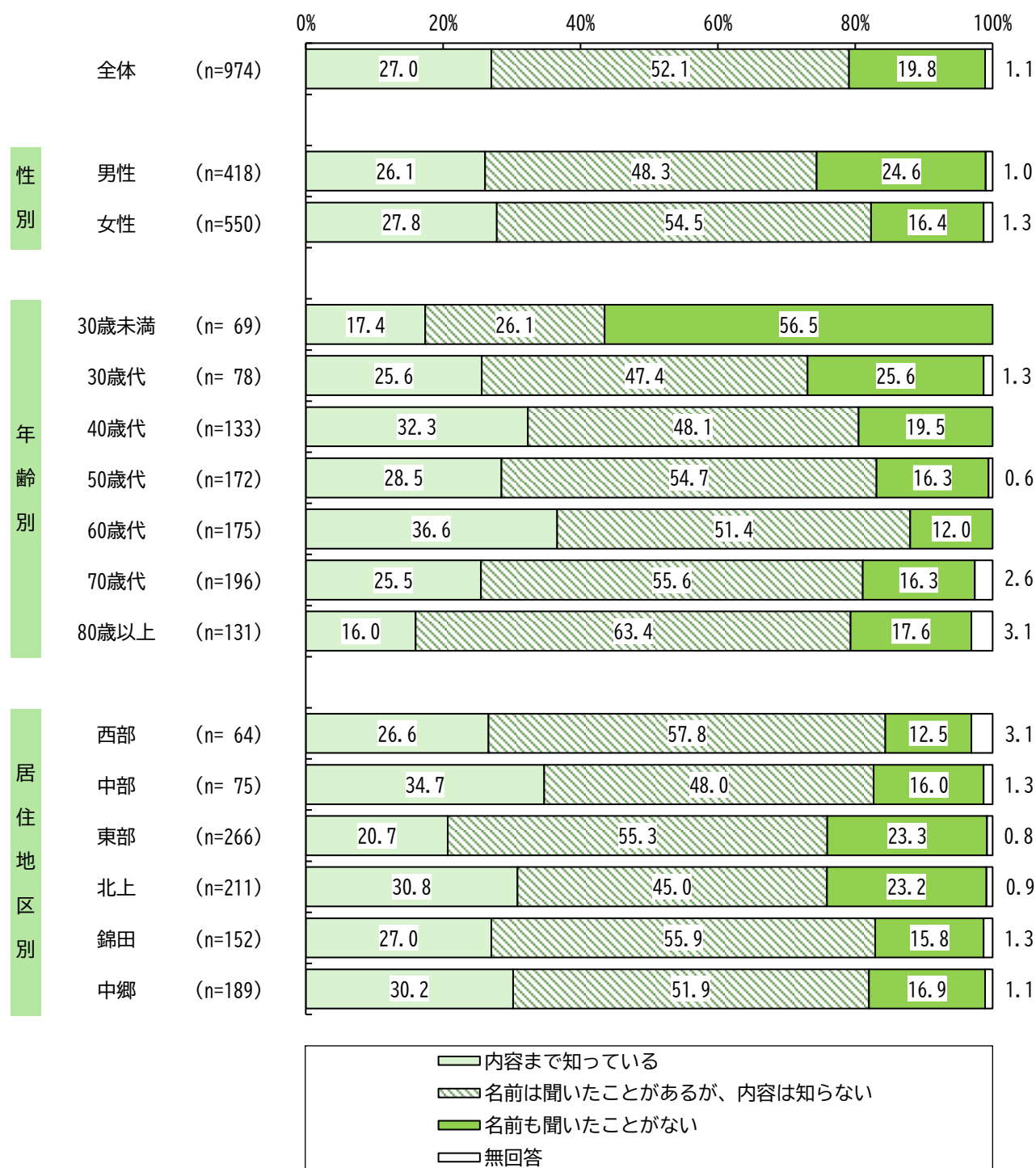
年齢別でみると、「30歳未満」と「30歳代」は「刑務所・少年院・保護観察所などが個々人に応じたきめ細かな指導や支援を充実する」が最も多くなっています。

10. 成年後見制度について

①成年後見制度の認知

問43 あなたは、成年後見制度を知っていますか。

(○は1つだけ)

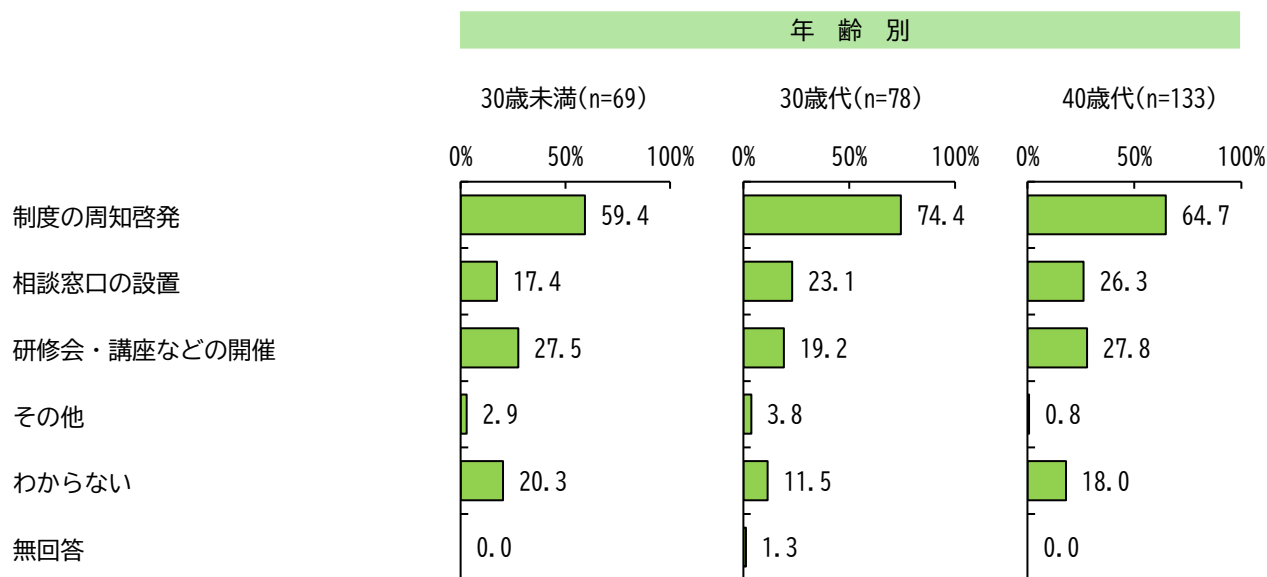
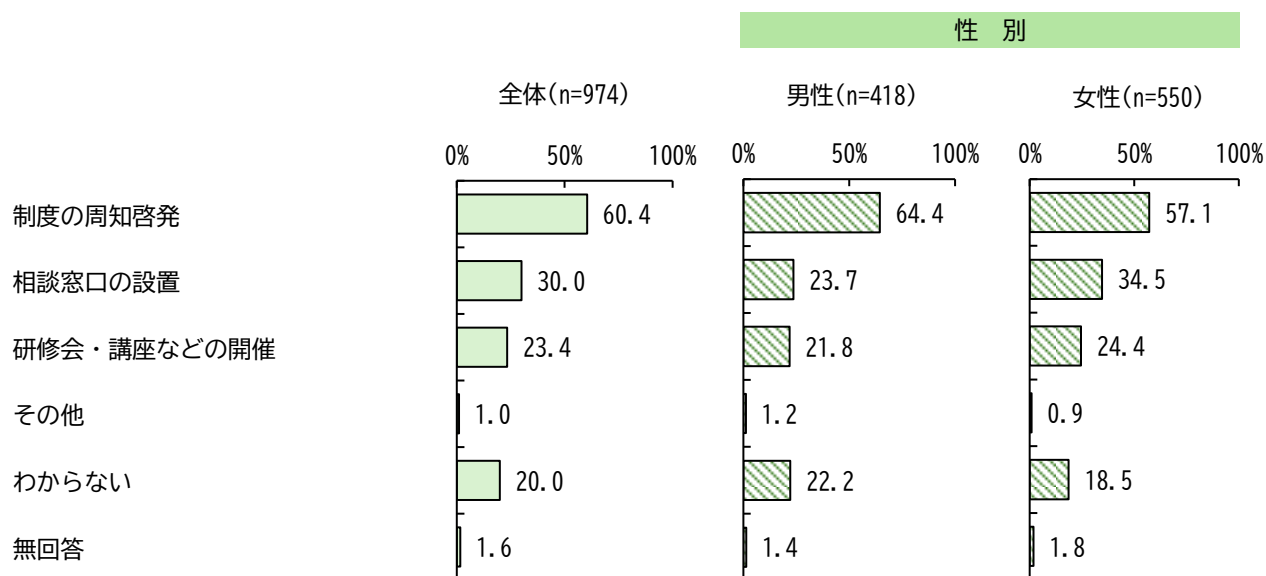


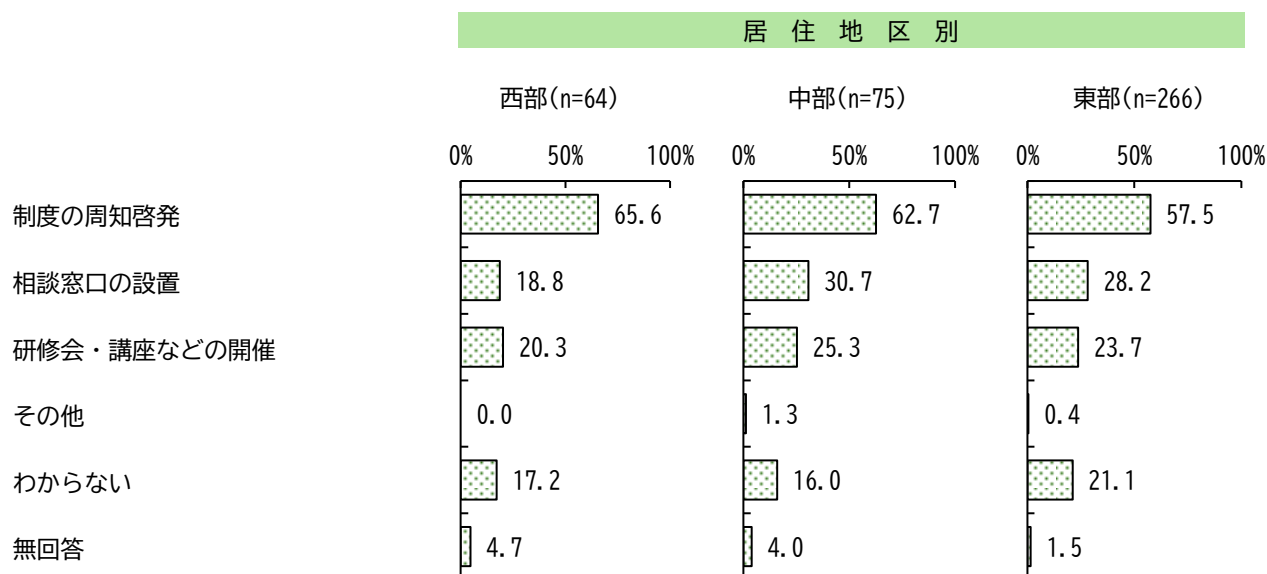
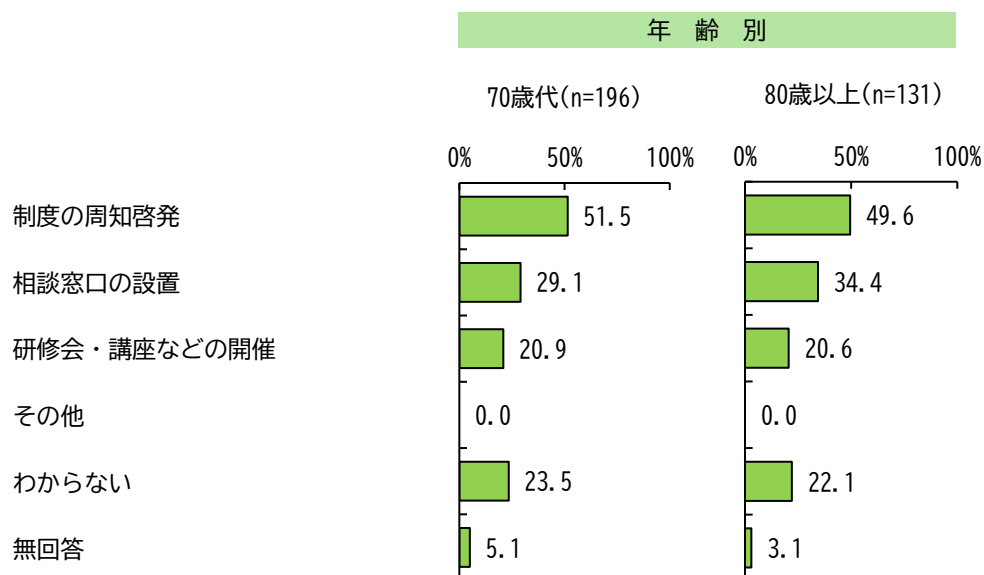
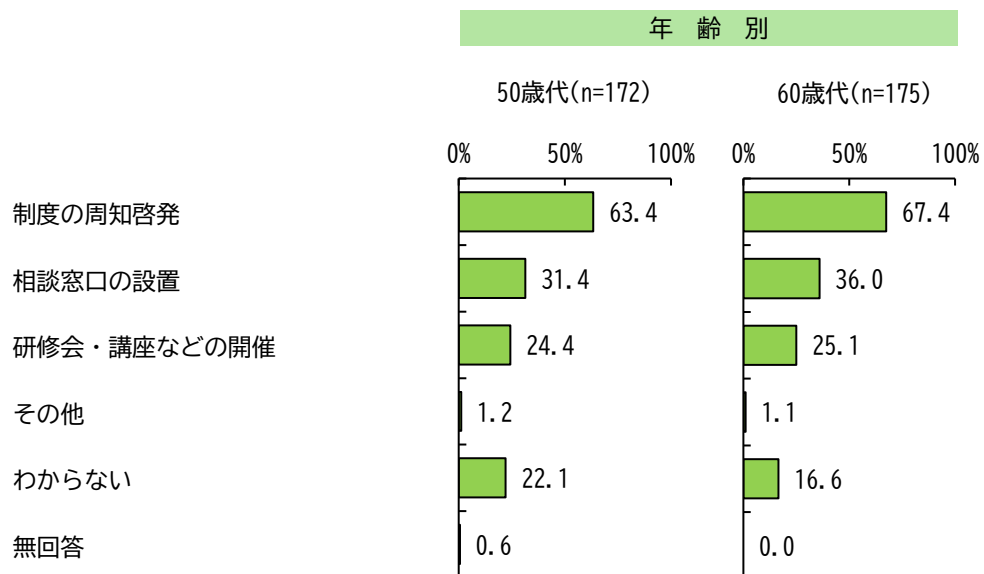
成年後見制度の認知では、「内容まで知っている」が27.0%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が52.1%、「名前も聞いたことがない」が19.8%となっています。

年齢別でみると、“30歳未満”は「名前も聞いたことがない」が56.5%と最も多くなっています。

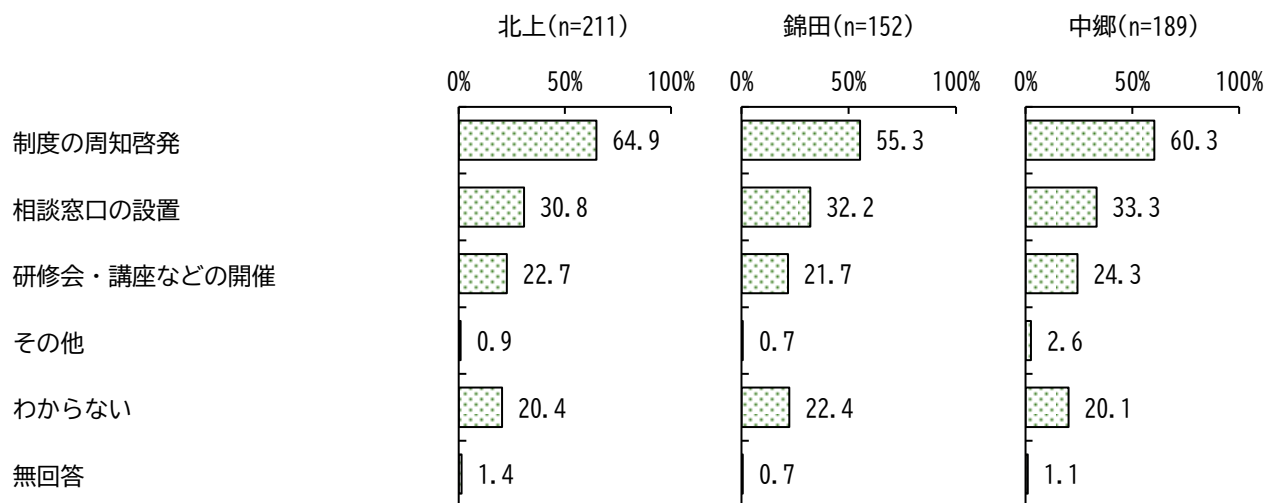
②成年後見制度をより広く知ってもらうために必要だと思うこと

問44 成年後見制度をより広く知ってもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。
(○はあてはまるものすべて)





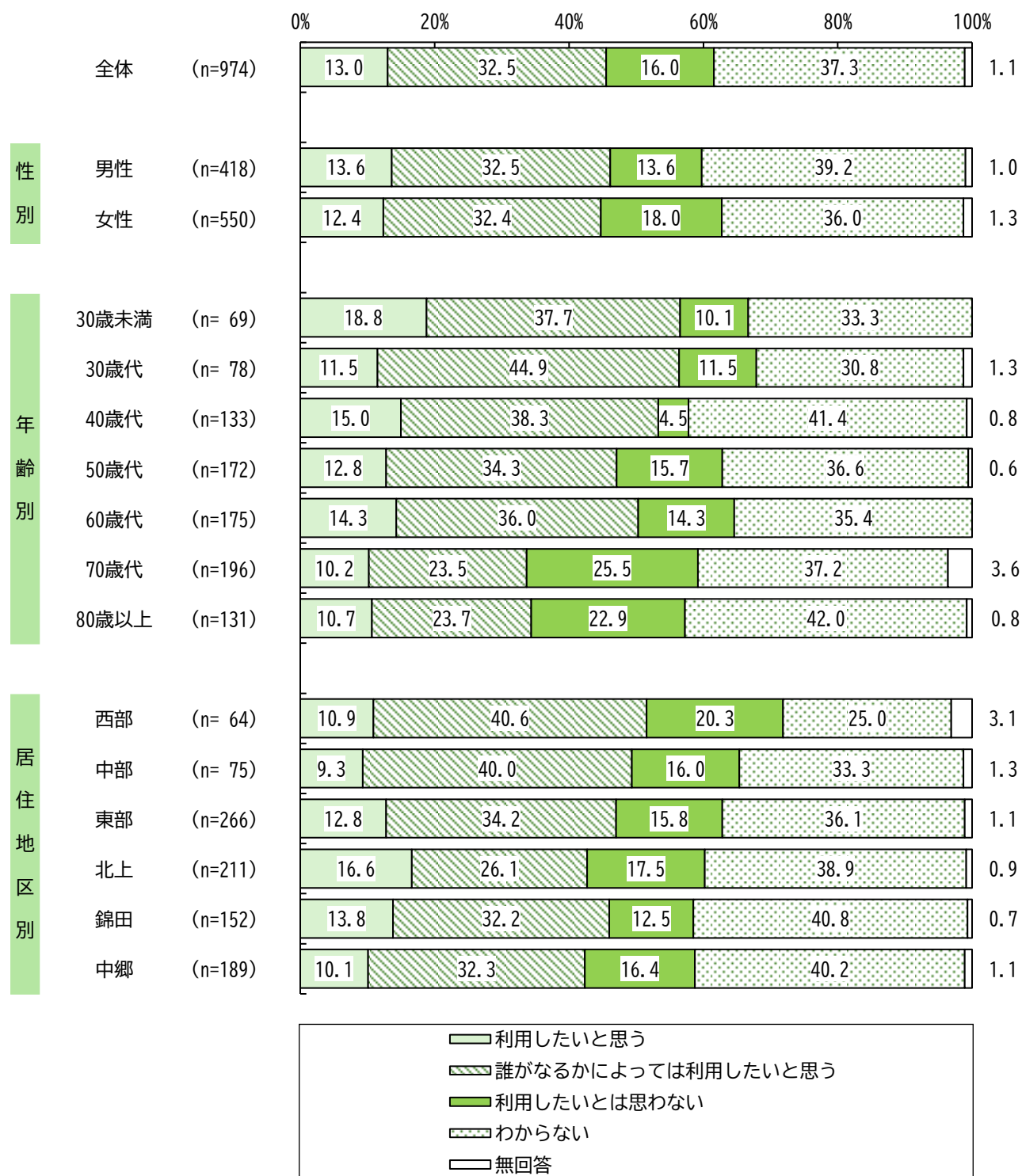
居 住 地 区 別



成年後見制度をより広く知ってもらうために必要だと思うことでは、「制度の周知啓発」が60.4%と最も多く、次いで「相談窓口の設置」が30.0%、「研修会・講座などの開催」が23.4%などとなっています。

③将来的な成年後見制度の利用

問45 将来的にご自身の判断が低下し、身の回りの契約行為や財産管理などができなくなった場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。(○は1つだけ)

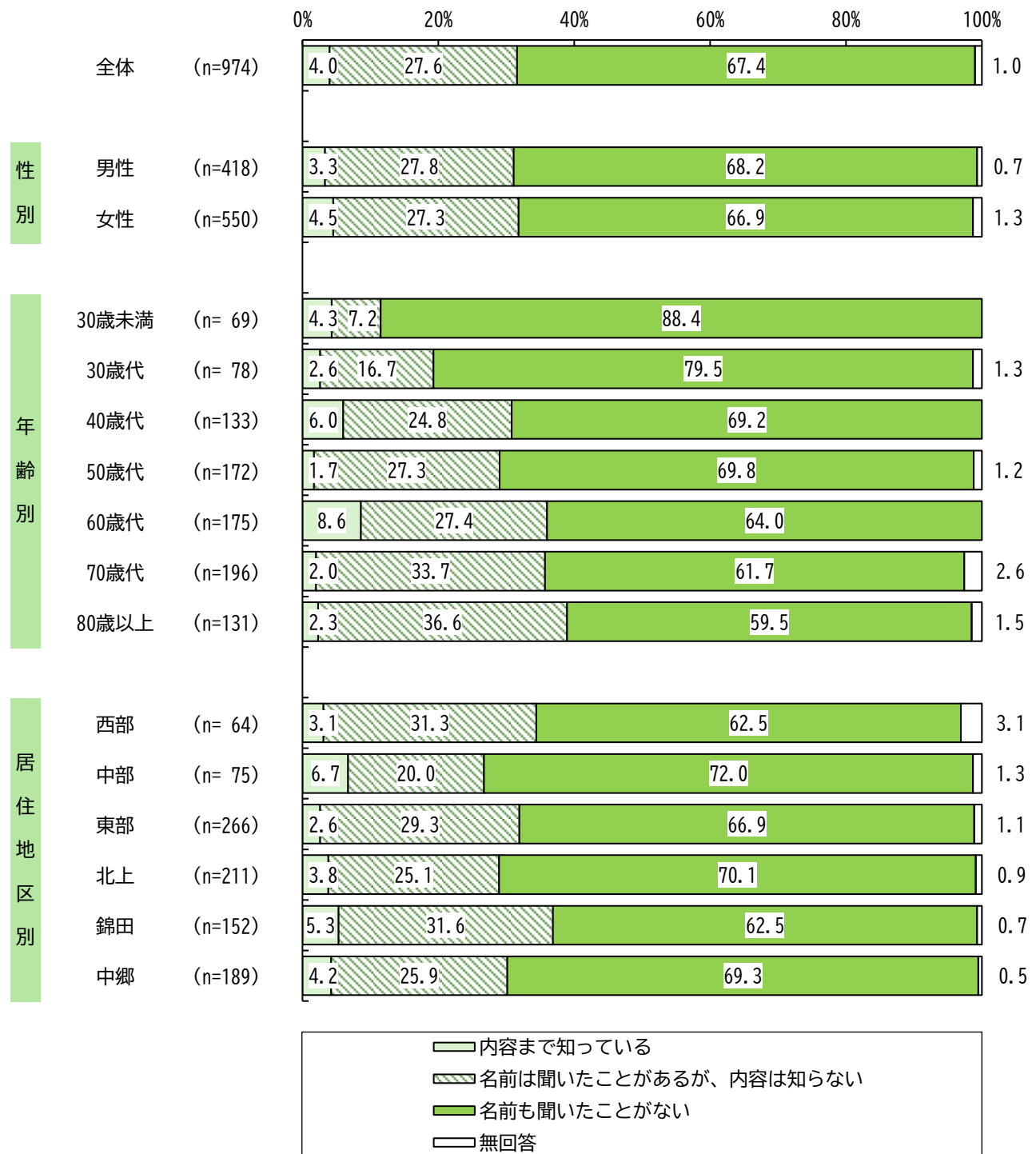


将来的な成年後見制度の利用では、「利用したいと思う」が13.0%、「誰になるかによっては利用したいと思う」が32.5%、「利用したいとは思わない」が16.0%、「わからない」が37.3%となっています。
 年齢別でみると、「30歳未満」、「30歳代」、「60歳代」は「誰になるかによっては利用したいと思う」が最も多くなっています。
 居住地区別でみると、「西部」と「中部」は「誰になるかによっては利用したいと思う」が最も多くなっています。

④市民後見人の認知

問46 あなたは、市民後見人を知っていますか。

(○は1つだけ)

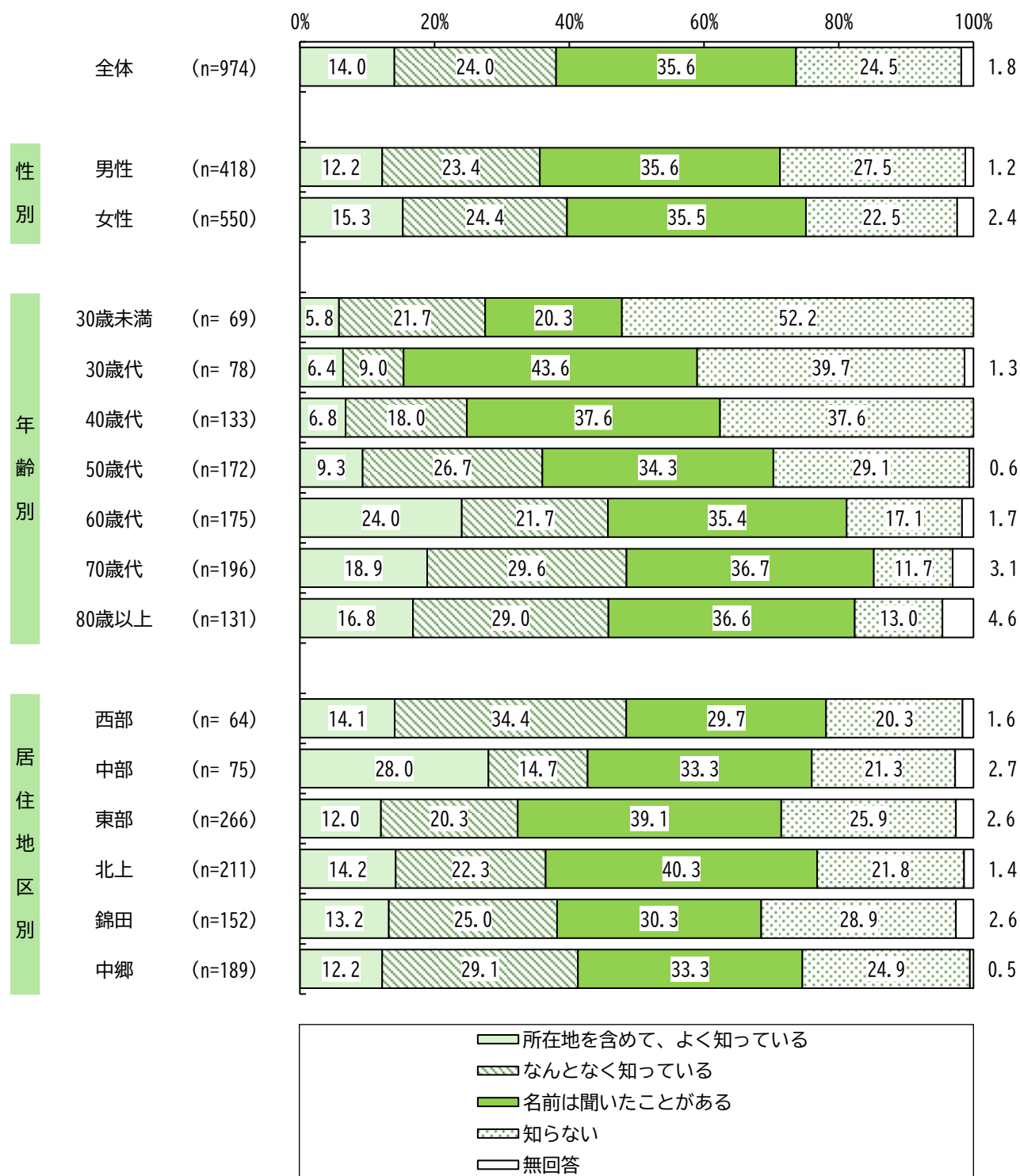


市民後見人の認知では、「内容まで知っている」が4.0%、「名前は聞いたことがあるが、内容は知らない」が27.6%、「名前も聞いたことがない」が67.4%となっています。

11. 三島市社会福祉協議会について

①三島市社会福祉協議会の認知

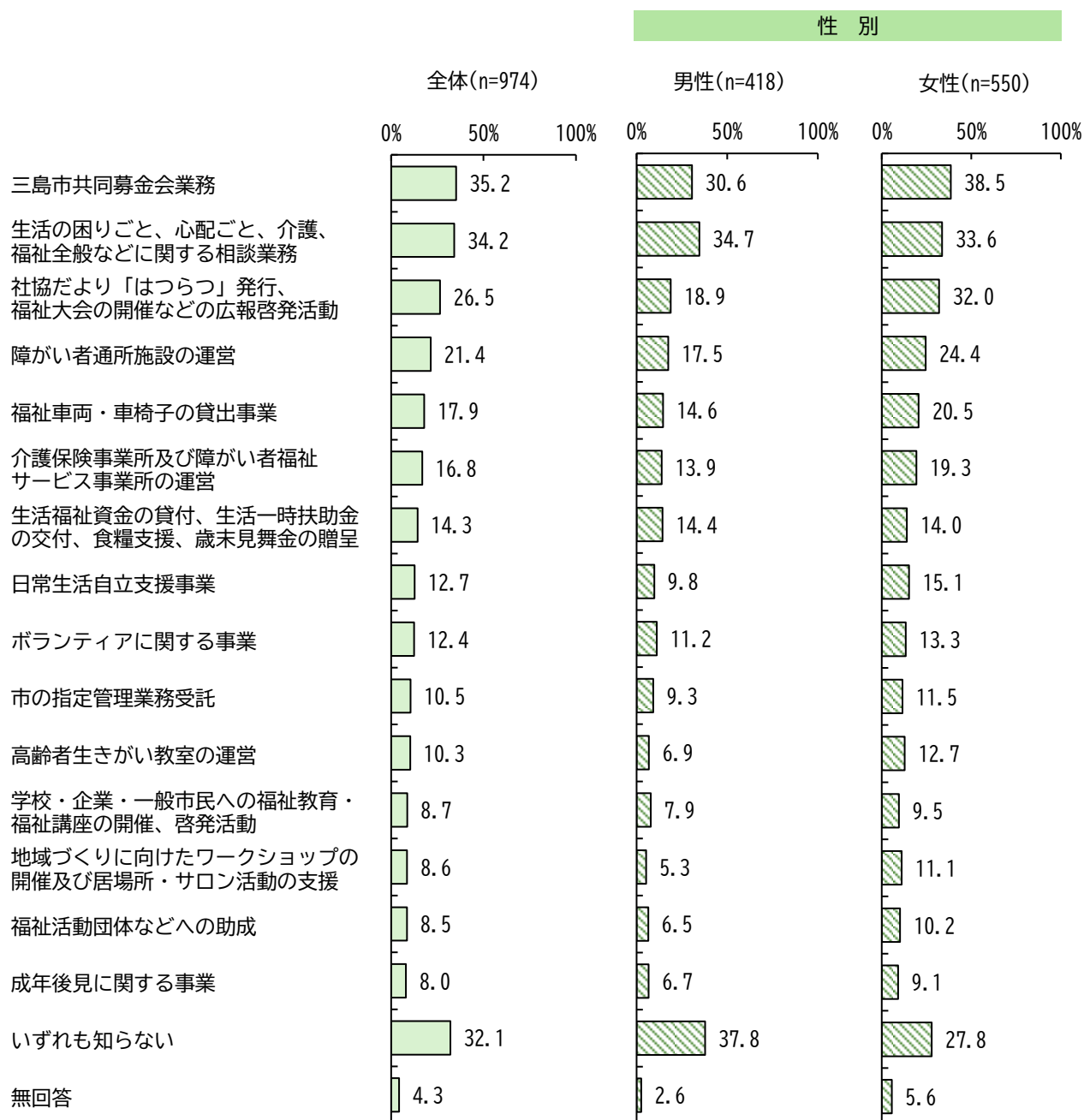
問47 三島市社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせるまち・三島市を目指し、地域の住民の方とともに地域福祉の推進を図る民間団体です。あなたは、三島市社会福祉協議会を知っていますか。（○は1つだけ）

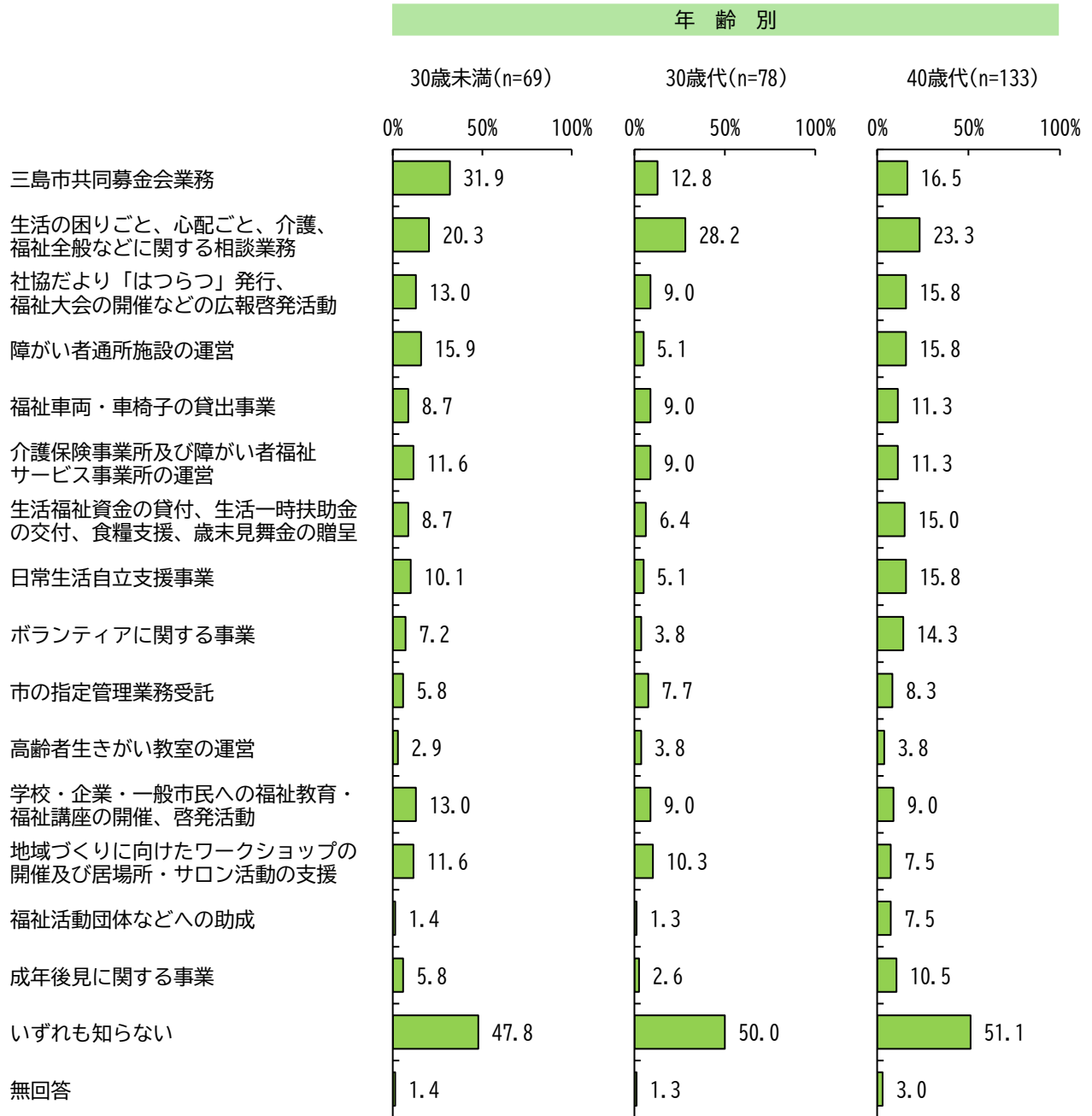


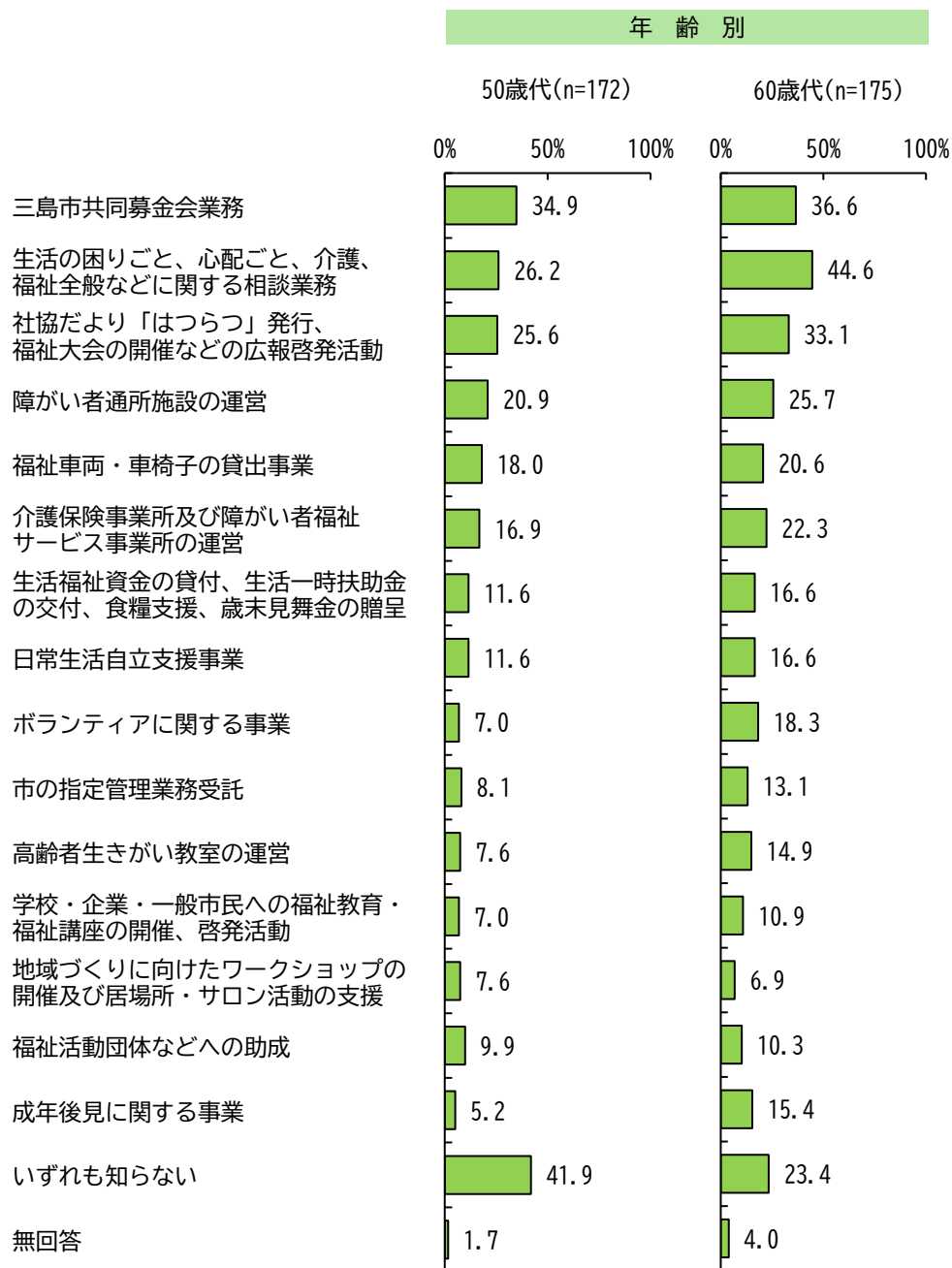
三島市社会福祉協議会の認知では、「所在地を含めて、よく知っている」が14.0%、「なんとなく知っている」が24.0%、「名前は聞いたことがある」が35.6%、「知らない」が24.5%となっています。年齢別でみると、「30歳未満」は「知らない」が52.2%と最も多くなっています。

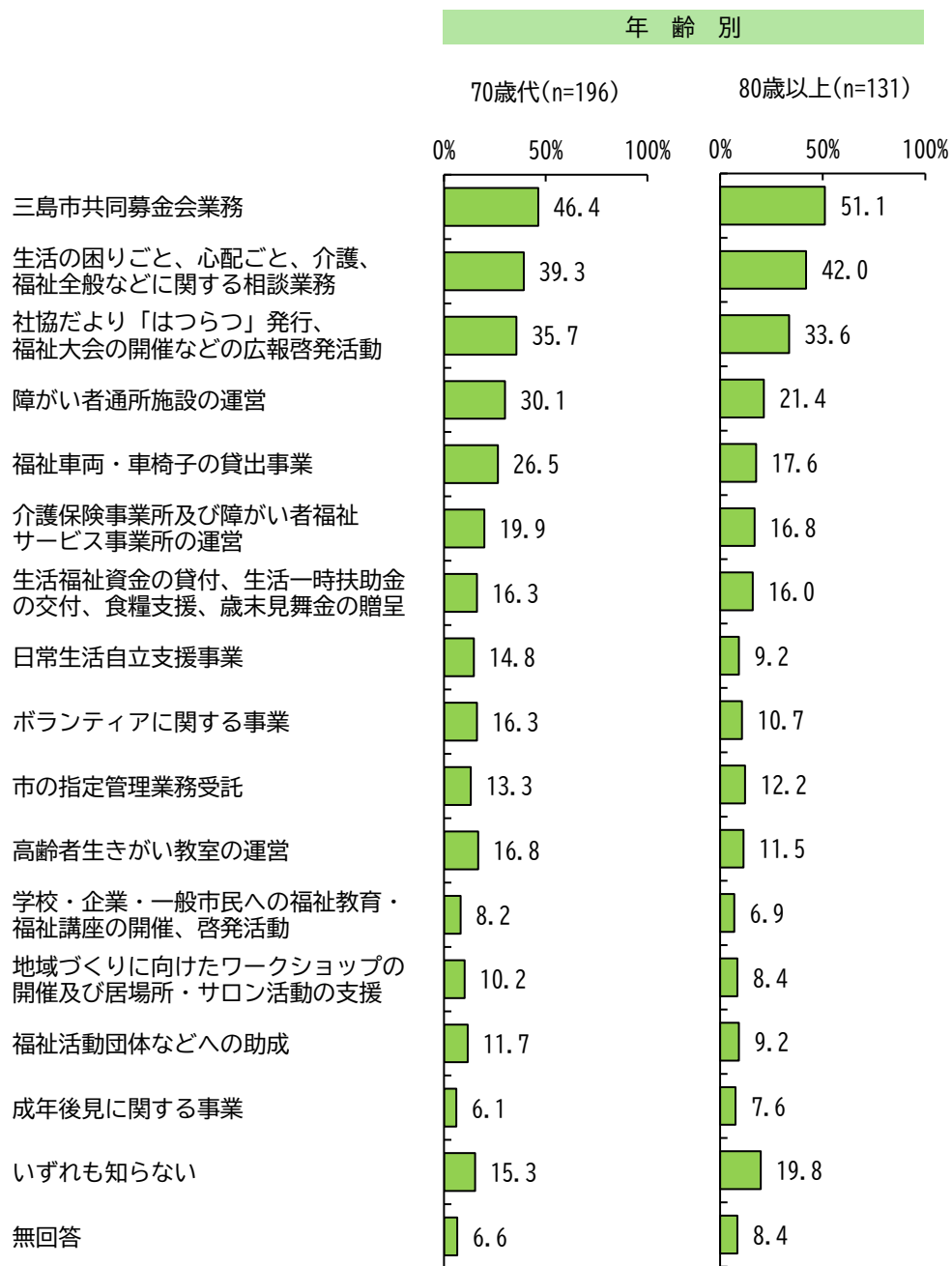
②三島市社協が実施している事業で知っているもの

問48 三島市社会福祉協議会が実施している以下の事業で知っているものはありますか。
(○はあてはまるものすべて)

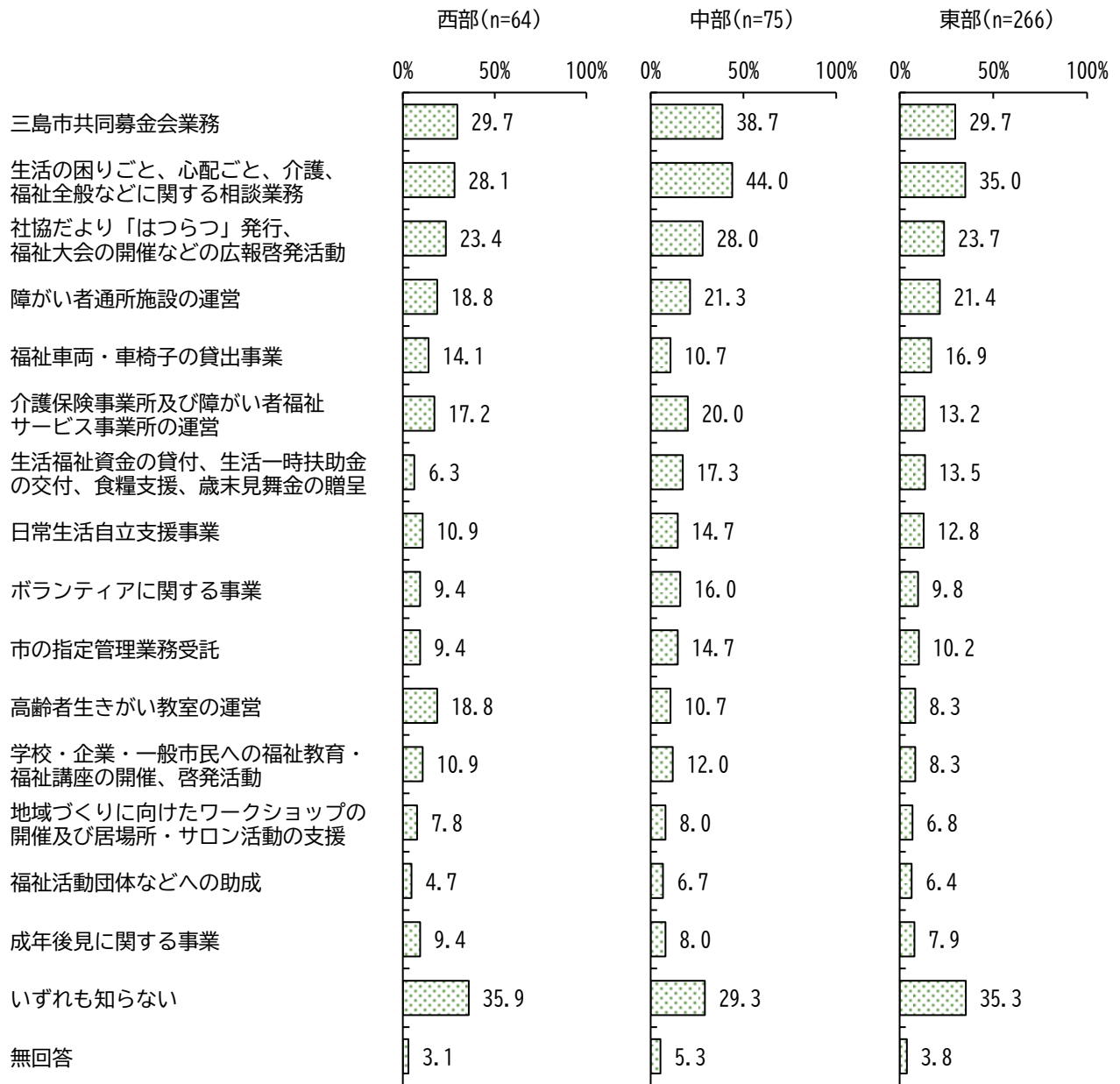




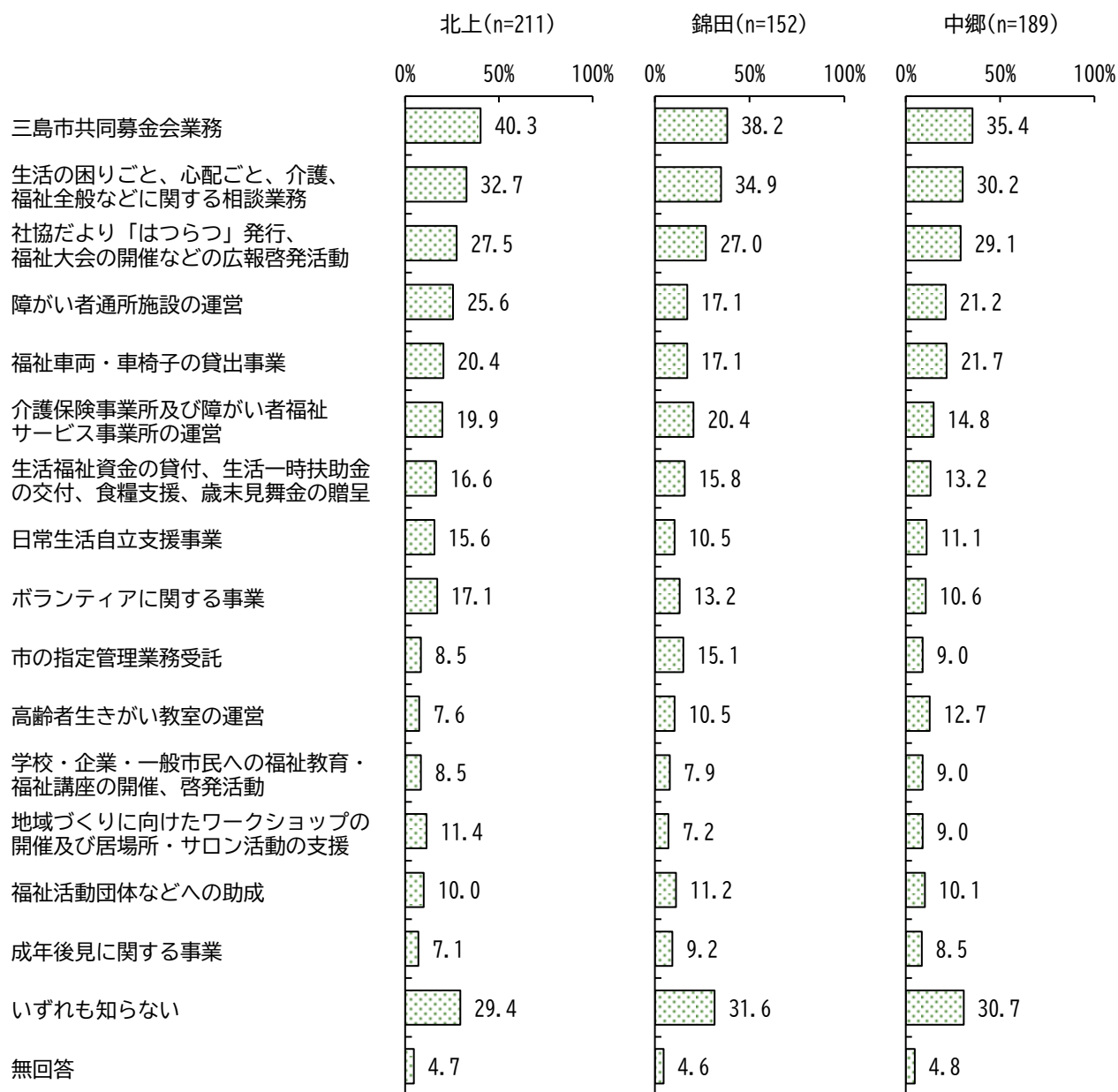




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



三島市社協が実施している事業で知っているものでは、「三島市共同募金会業務（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金）」が35.2%と最も多く、次いで「生活の困りごと、心配ごと、介護、福祉全般などに関する相談業務」が34.2%、「社協だより「はつらつ」発行、福祉大会の開催などの広報啓発活動」が26.5%などとなっています。また、「いずれも知らない」が32.1%となっています。

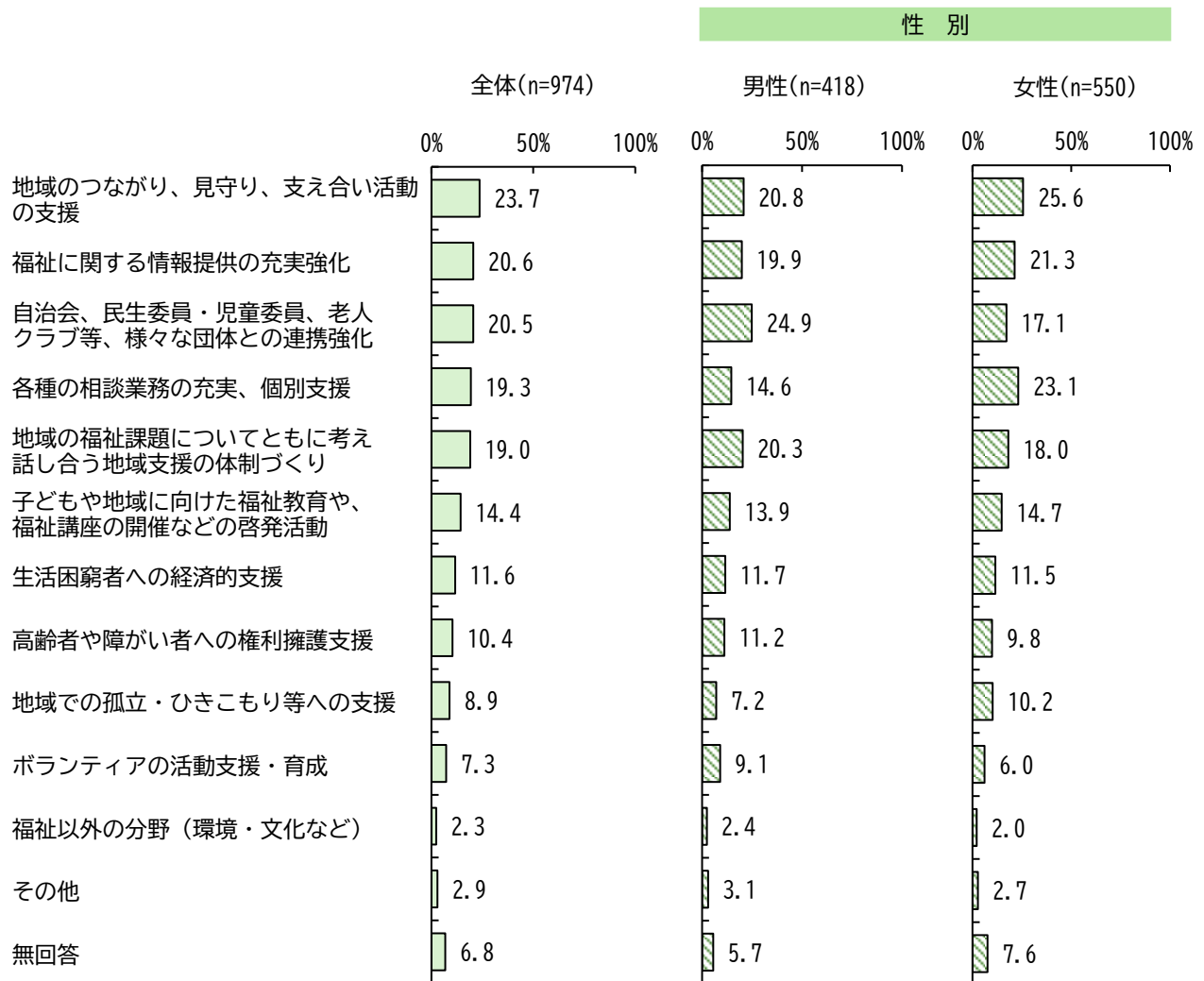
性別でみると、「男性」は「生活の困りごと、心配ごと、介護、福祉全般などに関する相談業務」が34.7%と最も多くなっています。

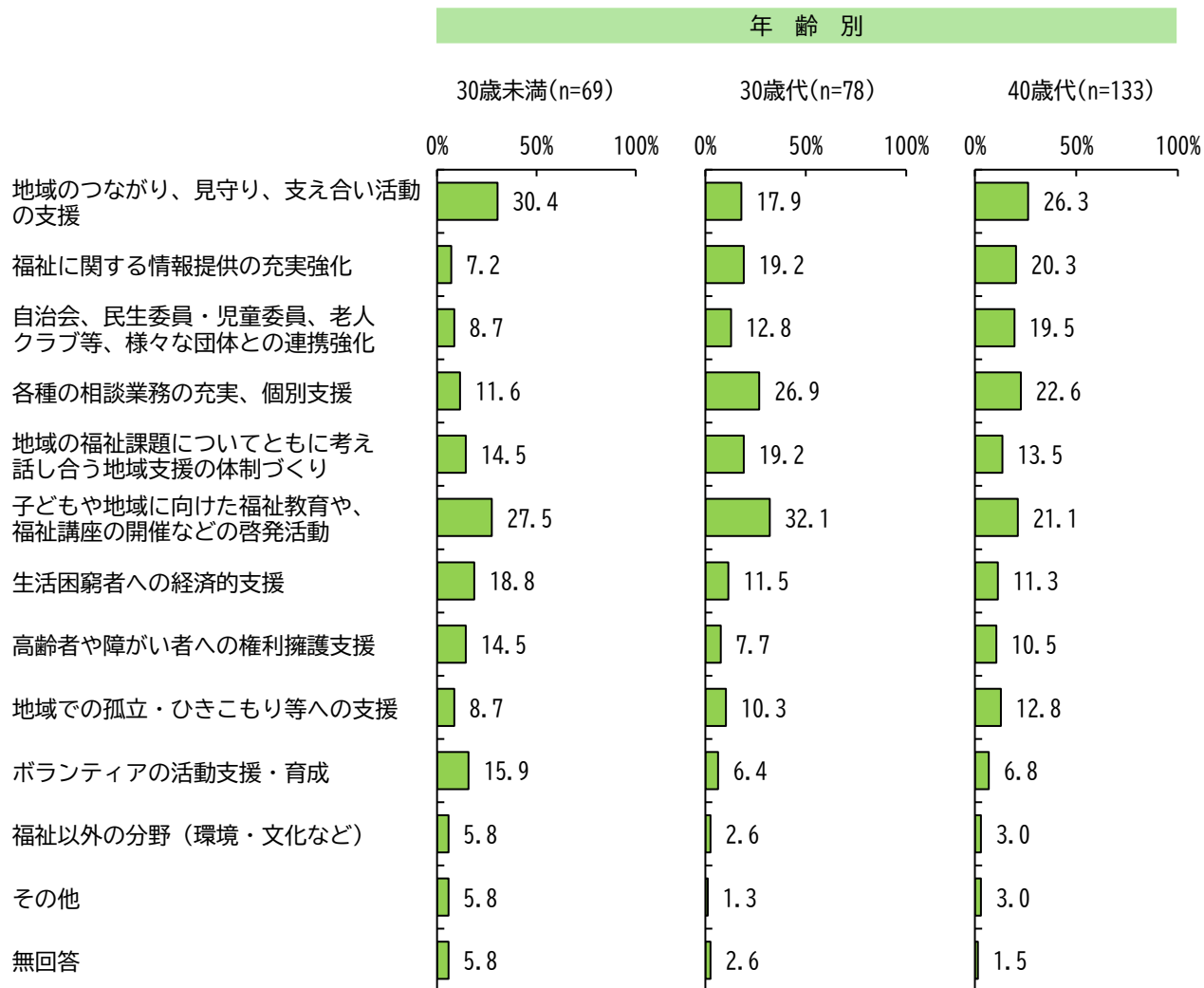
年齢別でみると、「30歳代」、「40歳代」、「60歳代」は「生活の困りごと、心配ごと、介護、福祉全般などに関する相談業務」が最も多くなっています。

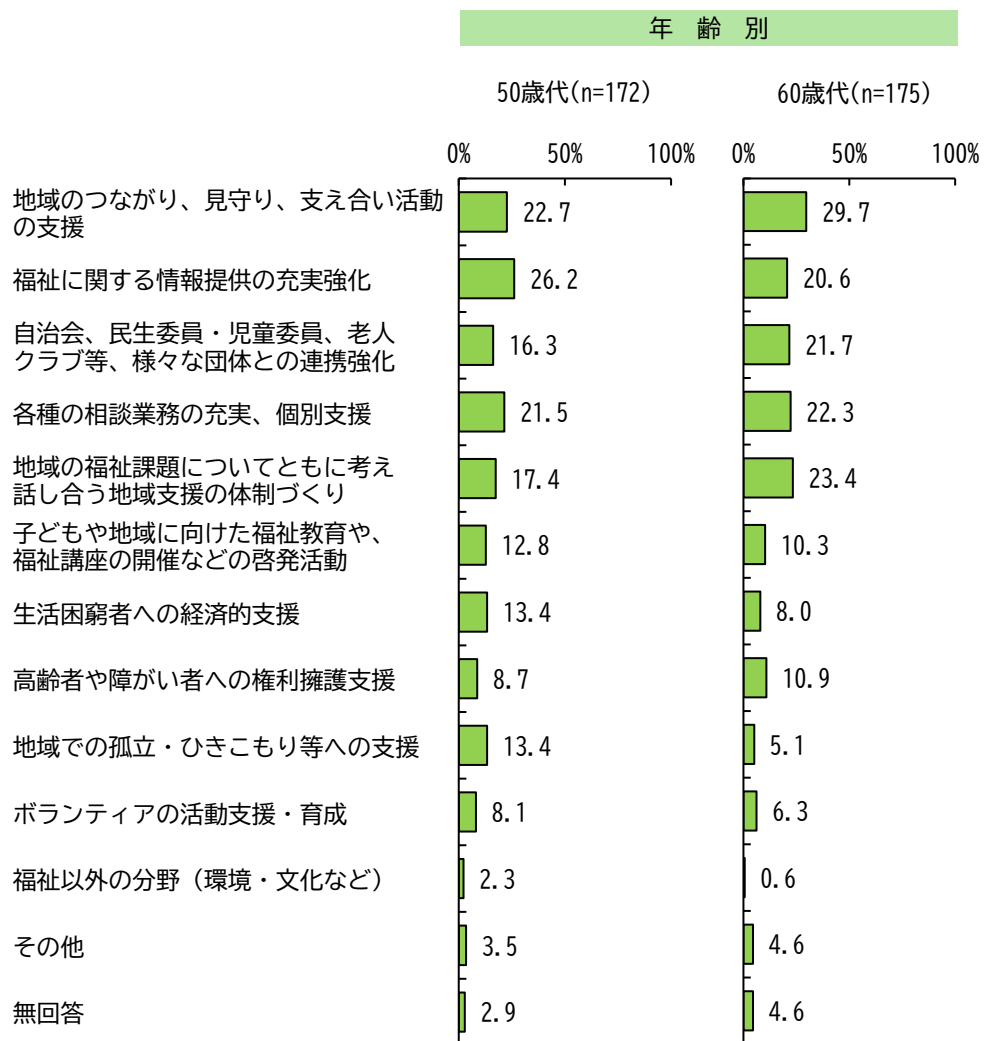
居住地区別でみると、「中部」と「東部」は「生活の困りごと、心配ごと、介護、福祉全般などに関する相談業務」が最も多くなっています。

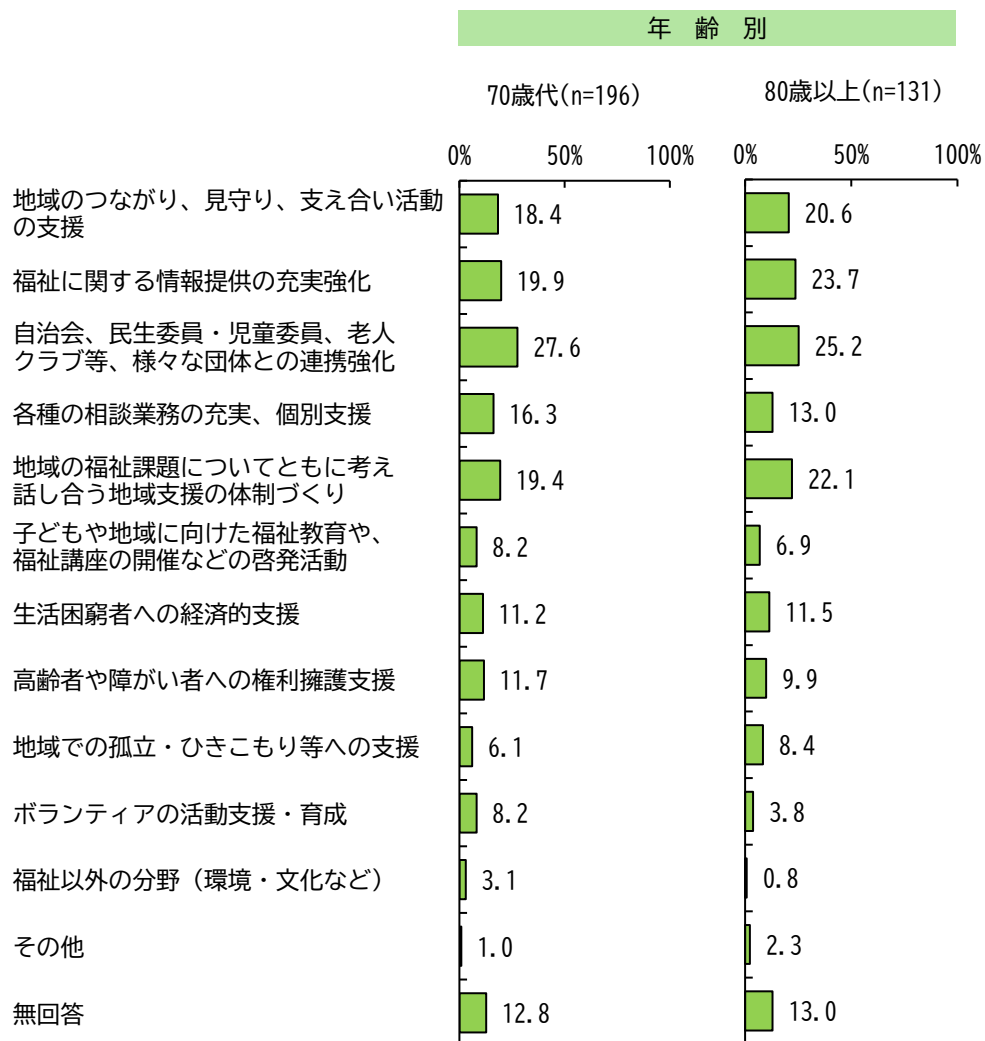
③三島市社協が地域福祉を推進していくために積極的に取り組むべき活動

問49 三島市社会福祉協議会が地域の住民の方とともに地域福祉を推進していくために、積極的に取り組むべき活動はどのようなことだと思いますか。 (〇は2つまで)





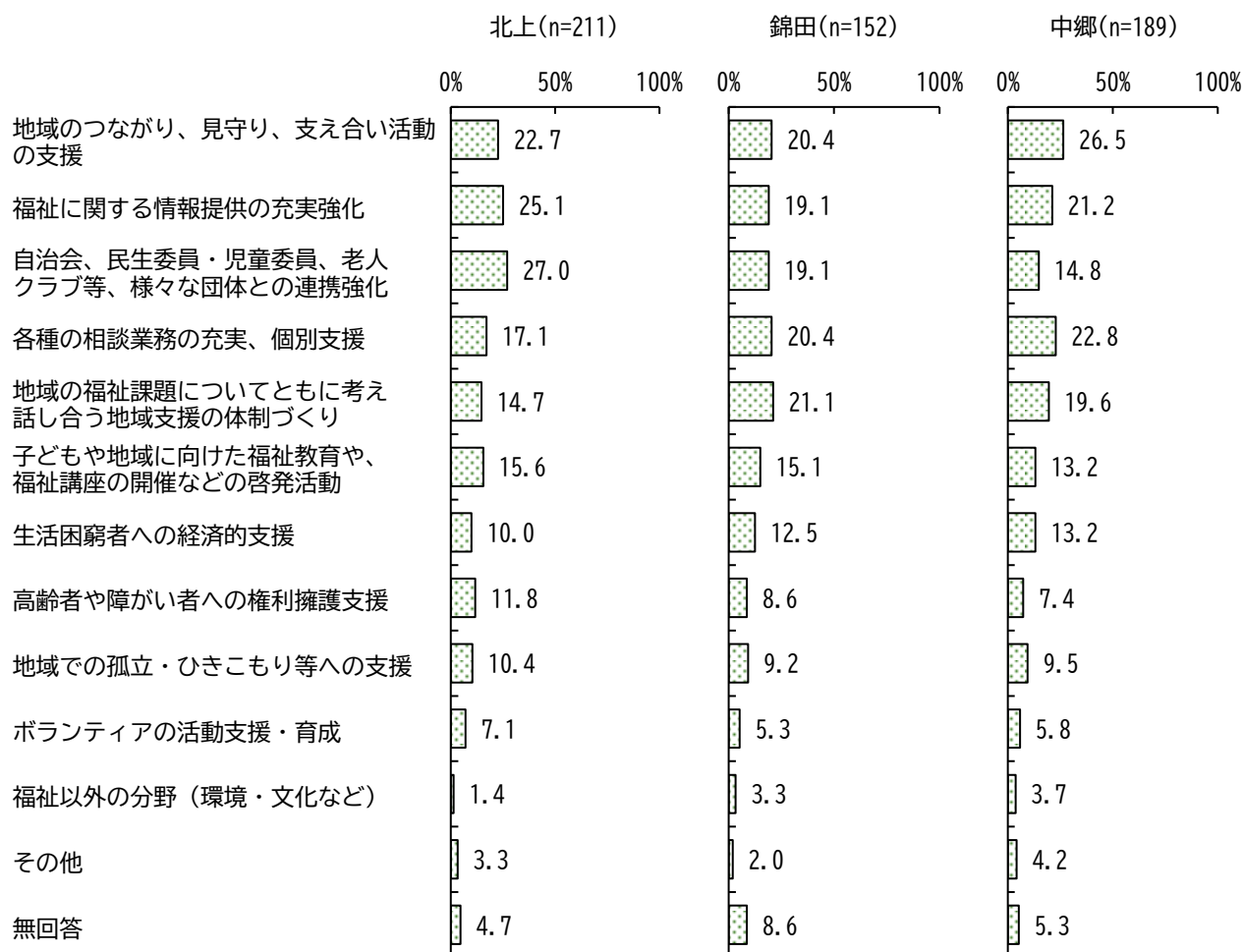




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



三島市社協が地域福祉を推進していくために積極的に取り組むべき活動では、「地域のつながり、見守り、支え合い活動の支援」が23.7%と最も多く、次いで「福祉に関する情報提供の充実強化」が20.6%、「自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等、様々な団体との連携強化」が20.5%などとなっています。

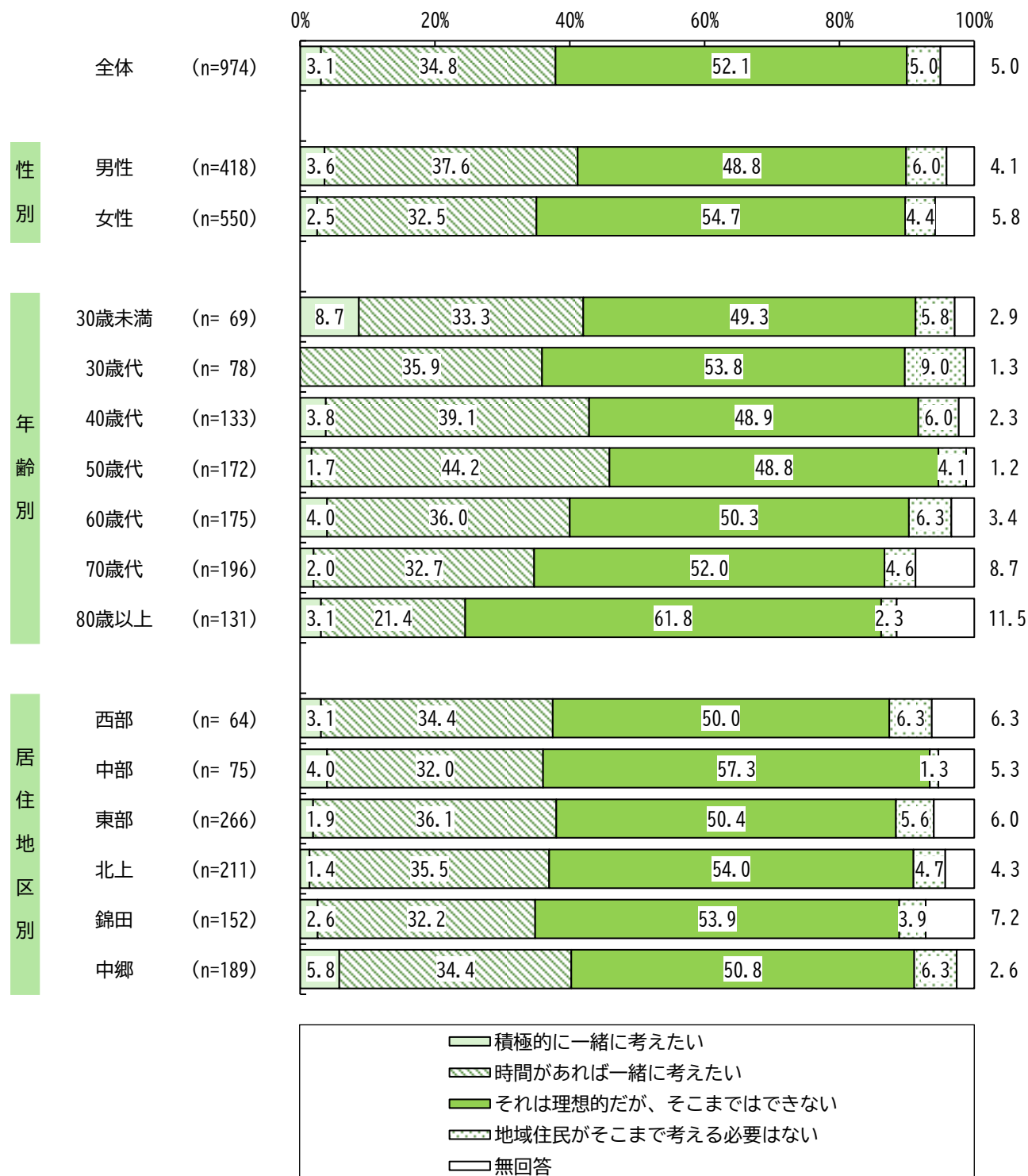
性別でみると、“男性”は「自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等、様々な団体との連携強化」が24.9%と最も多くなっています。

年齢別でみると、“30歳代”は「子どもや地域に向けた福祉教育（福祉の心を育む教育）や、福祉講座の開催などの啓発活動」が32.1%と最も多くなっています。“50歳代”は「福祉に関する情報提供の充実強化」が26.2%と最も多くなっています。“70歳代”と“80歳以上”は「自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等、様々な団体との連携強化」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、“西部”は「自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等、様々な団体との連携強化」と「地域の福祉課題についてともに考え話し合う地域支援の体制づくり」が最も多くなっています。“中部”と“北上”は「自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等、様々な団体との連携強化」が最も多くなっています。“錦田”は「地域の福祉課題についてともに考え話し合う地域支援の体制づくり」が21.1%と最も多くなっています。

④課題について考える場への参加を呼びかけられた場合の対応

問50 あなたのお住まいの地域で既存の制度では対応できない福祉課題が発見されたとき、社協職員とともに課題について考える場への参加を呼びかけられた場合、あなたはどのように対応しますか。(〇は1つだけ)



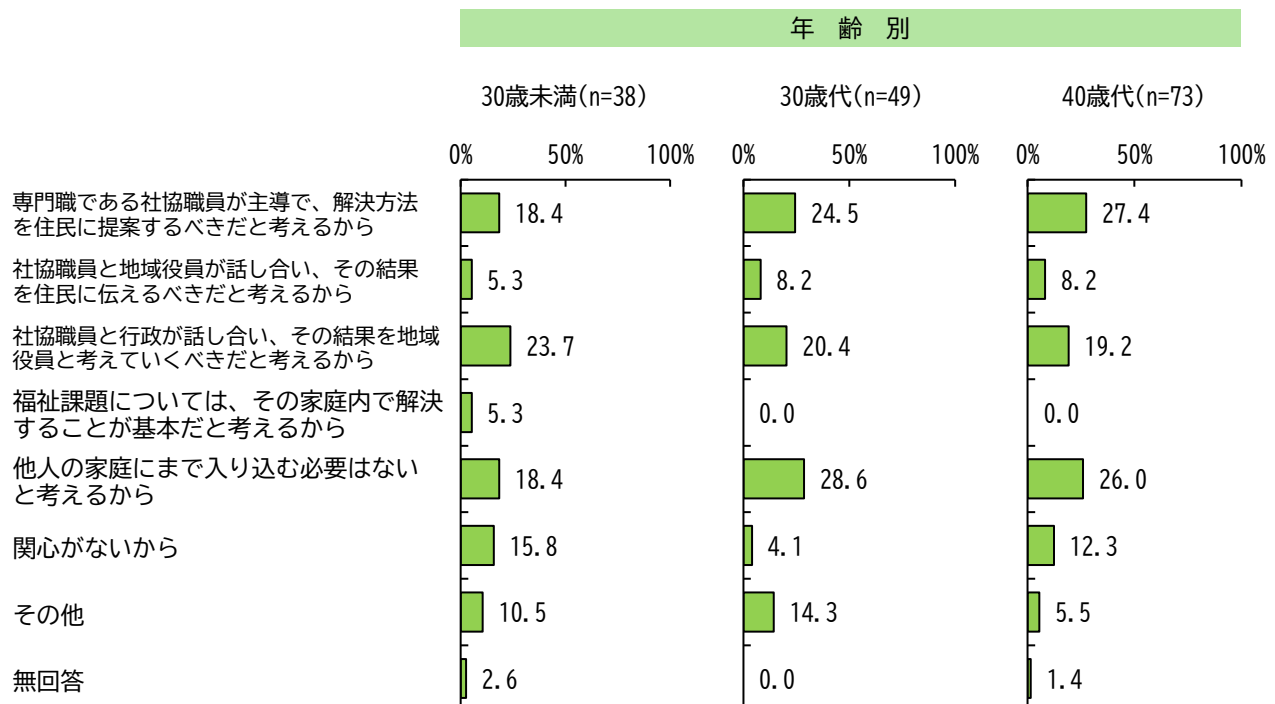
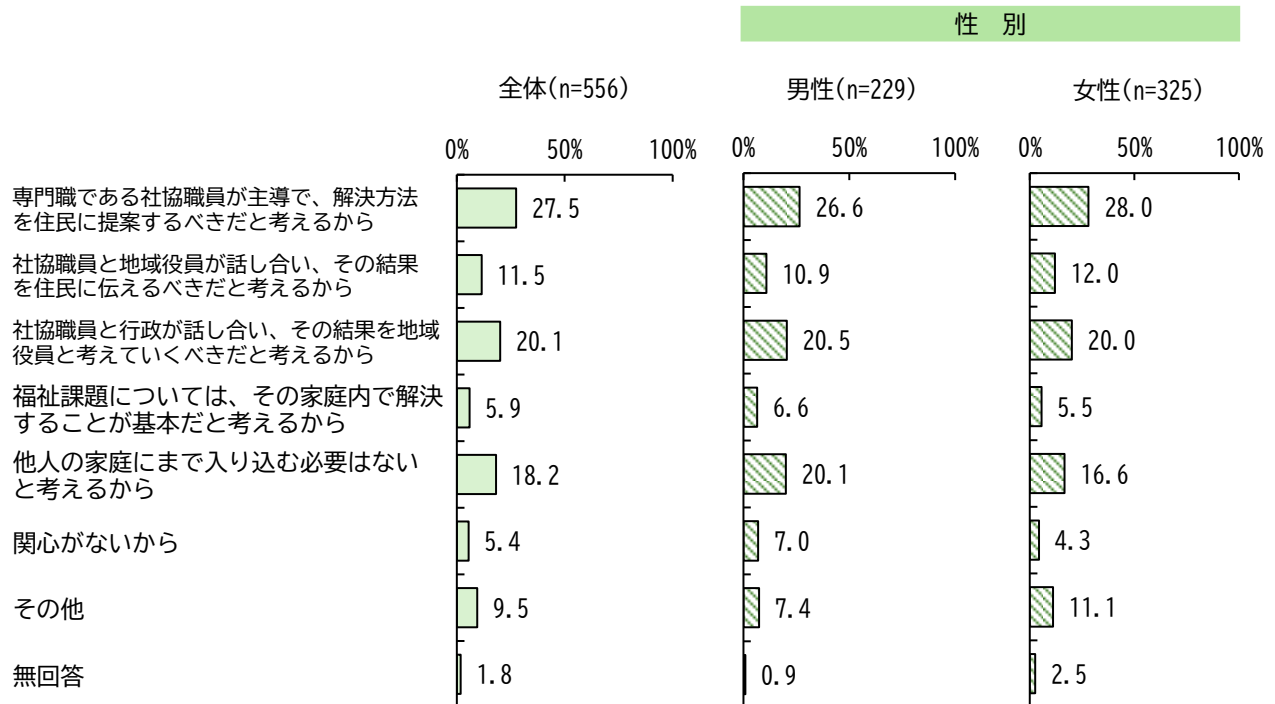
課題について考える場への参加を呼びかけられた場合の対応では、「積極的に一緒に考えたい」が3.1%、「時間があれば一緒に考えたい」が34.8%、「それは理想的だが、そこまではできない」が52.1%、「地域住民がそこまで考える必要はない」が5.0%となっています。

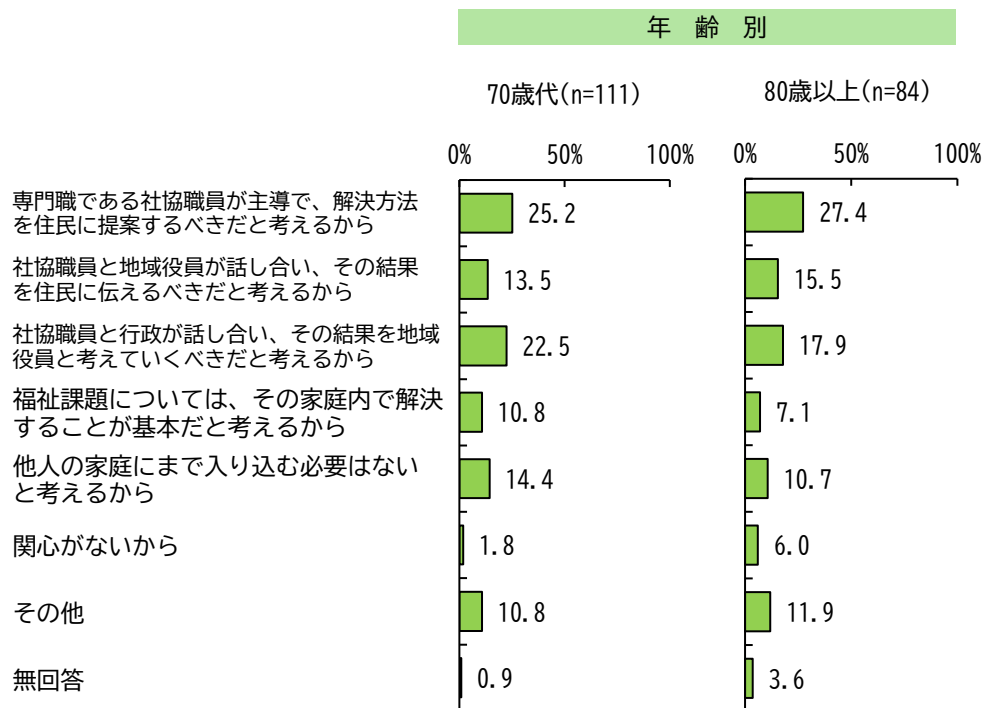
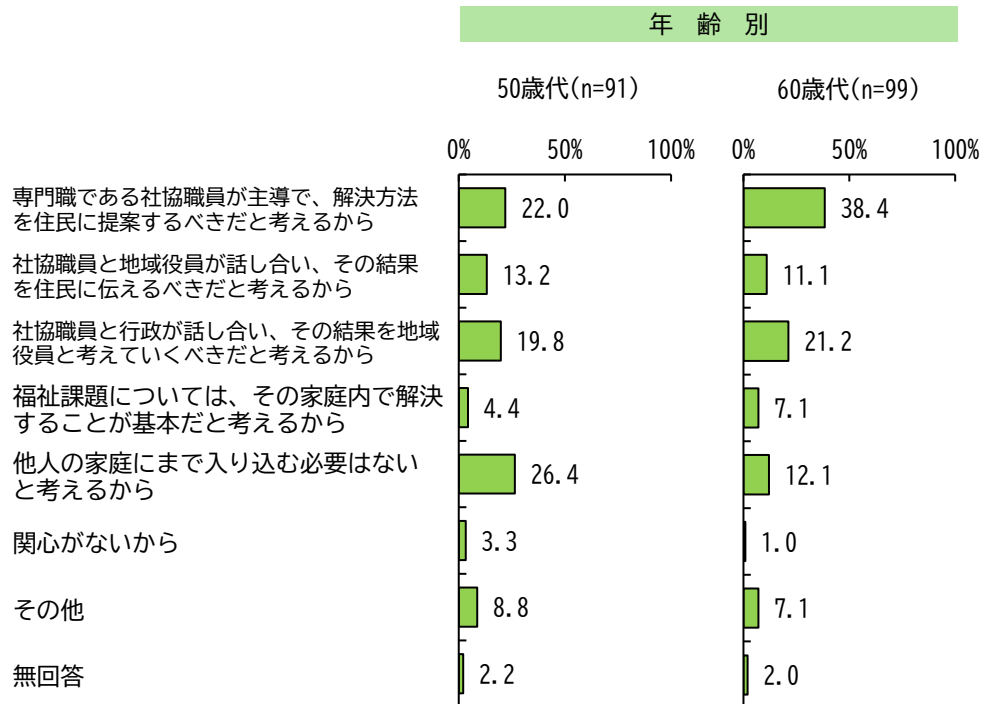
⑤そのように考える主な理由

問50で「3 それは理想的だが、そこまではできない」「4 地域住民がそこまで考える必要はない」と回答した方にお聞きします。

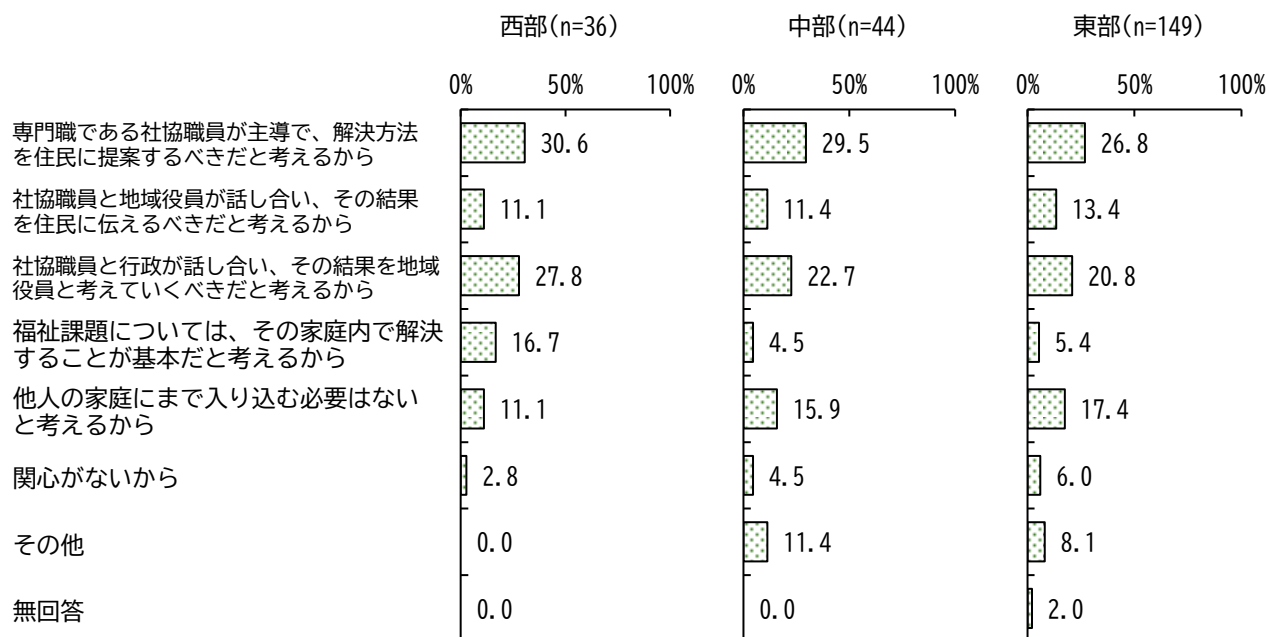
問50-1 上記のように考える主な理由を教えてください。

(○は1つだけ)

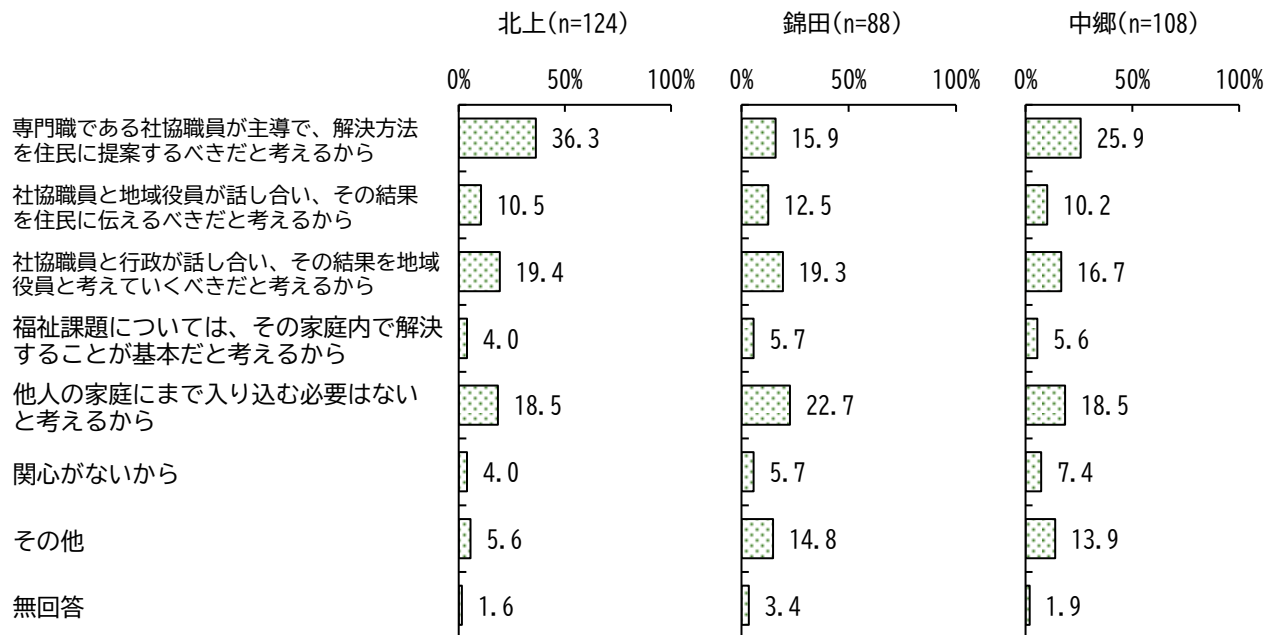




居 住 地 区 別



居 住 地 区 別



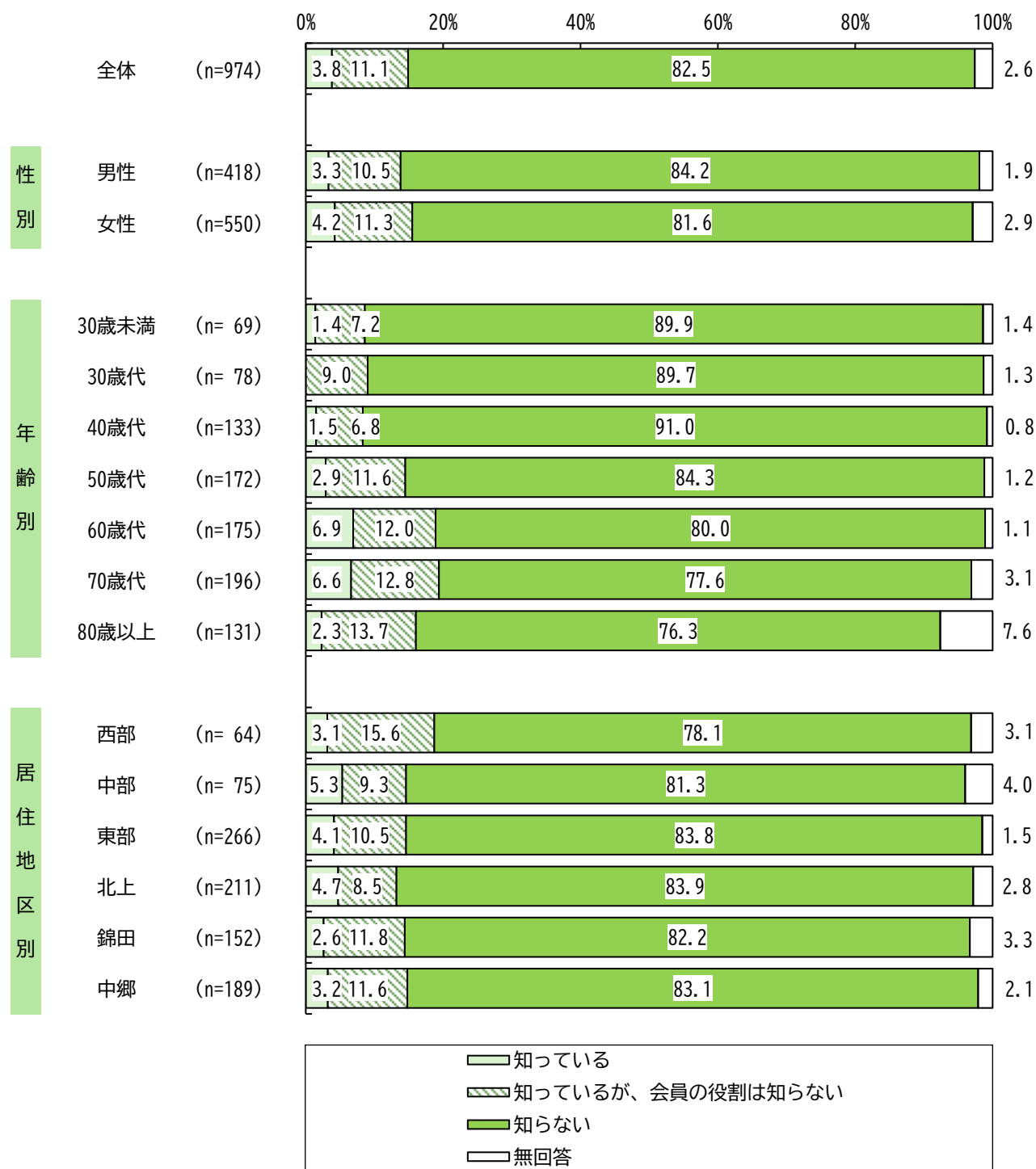
そのように考える主な理由では、「専門職である社協職員が主導で、解決方法を住民に提案するべきだと考えるから」が27.5%と最も多く、次いで「社協職員と行政が話し合い、その結果を地域役員と考えていくべきだと考えるから」が20.1%、「他人の家庭にまで入り込む必要はないと考えるから」が18.2%などとなっています。

年齢別でみると、“30歳未満”は「社協職員と行政が話し合い、その結果を地域役員と考えていくべきだと考えるから」が23.7%と最も多くなっています。“30歳代”と“50歳代”は「他人の家庭にまで入り込む必要はないと考えるから」が最も多くなっています。

居住地区別でみると、“錦田”は「他人の家庭にまで入り込む必要はないと考えるから」が22.7%と最も多くなっています。

⑥三島市社協の会員区分で市民が一般会員であることの認知

問51 三島市社会福祉協議会の会員区分には、「一般会員」と「賛助会員」があり、市民の皆様が「一般会員」であることはご存知ですか。 (○は1つだけ)



三島市社協の会員区分で市民が一般会員であることの認知では、「知っている」が3.8%、「知っているが、会員の役割は知らない」が11.1%、「知らない」が82.5%となっています。

Ⅲ 調査票

三島市 地域福祉計画策定のためのアンケート調査

■ アンケート調査のご協力をお願い ■

市民の皆様には日ごろから福祉行政にご理解・ご協力いただき、厚くお礼申し上げます。

市では令和3年3月に策定した「第4次三島市地域福祉計画」に基づき、“人と人、人と地域が福祉でつながり地域力の発展へとつなげていくまち”を目指して福祉行政を進めてまいりました。

令和7年度末で第4次計画期間が終了することから、このたび「第5次三島市地域福祉計画」及び「第5次三島市地域福祉活動計画」の策定を進めています。

計画の策定にあたり、市民の皆様には地域活動への参加状況や日常生活で感じていることなどのご意見などを広くお聞きするためアンケート調査を実施することとなりました。

このアンケート調査は、市内にお住まいの満15歳以上の方の中から無作為に選ばせていただいた2,000人を対象に実施するもので、プライバシーの保護には万全を期しております。

ご多用のところ大変恐縮ですが、調査の趣旨をご理解いただき、アンケートにご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和6年8月

三島市長

このアンケートはウェブからでも回答できます

以下の URL もしくは二次元コードにアクセスいただき、下記の ID とパスワードを入力の上、アンケートにご回答をお願いいたします。

ID:
PW:

URL
https://src3.webcas.net/form/pub/src1/mishima_chiiki



ID とパスワードはウェブ回答の重複回答を防ぐためのものであり、回答者個人が特定されたり、個々の回答内容が他にもれたりすることは一切ありません。

■ ご記入にあたってのお願い ■

- この調査票には、お名前・ご住所の記入は不要です。
- 記入は、ご本人にお願いします。ご本人の記入が困難な場合は、ご家族の方などがご本人の考えをお聞きのうえ、またはご意向をくみ取ったうえで、代理で記入をお願いします。
- お答えは、あてはまる回答の番号に○をつけてください。また、記入欄については、具体的にその内容を記入してください。
- なお、本調査の結果は統計的に処理しますので、お答えいただいた方に迷惑をおかけするようなことは一切ありません。思いのままをお答えいただくようお願いします。
- 記入いただいた調査票は、**9月6日(金)** までに、上記ウェブサイトから回答するか、同封の封筒に入れて(切手を貼らずに)投函してください。本調査へのご協力よろしく願い申し上げます。

【調査に関するお問い合わせ先】

三島市 福祉総務課 福祉総務係
TEL:055-983-2610(直通)

あなた自身について

問1 あなたの性別を教えてください。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|------|-------|
| 1 男性 | 2 女性 | 3 その他 |
|------|------|-------|

問2 あなたの年齢を教えてください。(数字で記入)

	歳
--	---

問3 三島市に何年ぐらいお住まいですか。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------------------|----------|--------|
| 1 15年以上(生まれてからずっと) | 3 10～14年 | 5 3～4年 |
| 2 15年以上(転入して以来) | 4 5～9年 | 6 2年以下 |

問4 お住まいの地区はどちらですか。(○は1つだけ)

- | | |
|------|---------|
| 1 西部 | 5 錦田 |
| 2 中部 | 6 中郷 |
| 3 東部 | 7 わからない |
| 4 北上 | (町名:) |

問5 あなたの現在の仕事についてうかがいます。(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------------|-----------|
| 1 会社員・公務員 | 4 専業主婦(夫) |
| 2 農林水産業・自営業・自由業(開業医、弁護士など) | 5 学生 |
| 3 パート・アルバイトなど | 6 無職 |

問6 あなたの家族(世帯)構成についてうかがいます。(○は1つだけ)

- | | | |
|--------|-----------------|------------------|
| 1 ひとり | 3 両親と子ども(2世代) | 5 祖父母と親と子ども(3世代) |
| 2 夫婦だけ | 4 ひとり親と子ども(2世代) | 6 その他() |

問7 あなた自身を含め同居家族の中に次のような方はいますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|-----------------|----------------|
| 1 乳児(1歳未満) | 5 65歳以上の方 |
| 2 幼児(1歳～就学前) | 6 障がいのある方 |
| 3 小学生・中学生 | 7 介助・介護を必要とする方 |
| 4 高校生・専門学校生・大学生 | 8 いずれもない |

福祉について

問8 あなたは福祉と関わりがありますか。 (○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------|------------------|
| 1 福祉の仕事をしている | 4 福祉のサービスを利用している |
| 2 ボランティアをしている | 5 その他 () |
| 3 NPO 活動をしている | 6 特に関わりはない |

問9 あなたは「福祉」に関心がありますか。 (○は1つだけ)

- | | | |
|-------------|------------|---------|
| 1 とても関心がある | 3 あまり関心がない | 5 わからない |
| 2 ある程度関心がある | 4 全く関心がない | |

問10 あなたは、福祉についての情報や知識を主にどのように得ていますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-----------------|
| 1 知り合いの人から聞く | 5 新聞・雑誌 |
| 2 市・社協の広報 | 6 インターネットや SNS |
| 3 市役所の窓口 | 7 福祉に携わる専門職から聞く |
| 4 テレビ・ラジオ | 8 その他 () |

問11 あなたは、福祉に対してどのような情報・知識を得たいと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------------------|-----------------------|
| 1 在宅福祉サービスの種類や内容 | 7 福祉に関する書籍の紹介 |
| 2 社会福祉施設の種類や内容 | 8 福祉に関する資格の種類や内容 |
| 3 介護保険の内容 | 9 住宅改造、福祉機器の種類 |
| 4 相談機関の種類や場所 | 10 福祉だけでなく医療・保健に関する情報 |
| 5 ボランティア活動についての情報 | 11 その他 |
| 6 身近な相談者（民生委員・児童委員等）の
名前・連絡先 | () |
| | 12 特に得たいと思わない |

問12 あなたは「福祉」について理解を深めるために、どのような機会が必要だと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 福祉の制度やサービス、理念や考え方について学ぶ機会 |
| 2 介護を必要とする人やその家族などの話を聞いたり、交流したりする機会 |
| 3 手話や点字、介護・介助方法などを習得する機会 |
| 4 住民が地域の福祉についての課題を気軽に話し合う機会 |
| 5 ふだんから身近に感じられるよう、子どもの頃から福祉について学ぶ機会 |
| 6 お祭りや地域のイベントなど、地域住民が集まる場での啓発の機会 |
| 7 その他 () |
| 8 特に必要なことはない |

地域生活に関することについて

問13 あなたが「地域」と考える範囲はどれですか。

(○は1つだけ)

- | | | |
|-------|---------|-------|
| 1 隣近所 | 4 小学校区 | 7 その他 |
| 2 隣組 | 5 中学校区 | () |
| 3 自治会 | 6 三島市全体 | |

問14 あなたは、地域の人々のつながりに満足していますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|--------------|--------------|
| 1 とても満足している | 3 あまり満足していない |
| 2 ある程度満足している | 4 全く満足していない |

問15 あなたが求める地域のつながりはどの程度のものですか。

(○は1つだけ)

A: つながりはなくても構わない

B: 生活を助けあうほどのつながり

Aに近い どちらかといえばA どちらかといえばB Bに近い

1-----2-----3-----4

問16 あなたは、普段ご近所の方と、どの程度のお付き合いをしていますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 ほとんど顔も知らない | 5 困ったときに助け合うことができる |
| 2 顔は知っているが声をかけたことはない | 6 家族ぐるみで親交を持ち、時々家を行き来する |
| 3 顔を合わせれば、あいさつする | 7 その他 () |
| 4 留守の時に荷物を預かったりする | |

問17 あなたの近所付き合いの考え方は、次のどれに近いですか。（○は1つだけ）

- | |
|---------------------------------------|
| 1 近所に住むもの同士が、親しく相談したり、助け合ったりするのは当然である |
| 2 近所付き合いはわずらわしいが、日常生活に便利なが多いので必要である |
| 3 近所付き合いはわずらわしいことが多いのであまりしたくない |
| 4 近所付き合いはなくても困らないので、必要がない |
| 5 わからない |

問18 あなたは現在、地域内の行事や自治会活動に参加・協力していますか。（○は1つだけ）

- | | |
|------------|-------------|
| 1 よくしている | 3 ほとんどしていない |
| 2 ある程度している | 4 全くしていない |

問18で「3 ほとんどしていない」「4 全くしていない」と回答した方にお聞きます。

問18-1 その理由をお聞かせください。（○は1つだけ）

- | | | |
|-------------|--------------|-------|
| 1 忙しくて時間がない | 4 声がかからない | 7 その他 |
| 2 めんどくさい | 5 役員業務が負担になる | () |
| 3 関心がない | 6 地域と関わりたくない | |

問19 あなたは地域社会の役割についてどのようなことを期待しますか。（○は2つまで）

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 1 災害や緊急事態が起きた時の対応 | 7 一人暮らし高齢者の見守り等の地域福祉活動 |
| 2 防災・防犯などの日常協力体制 | 8 お祭りなど住民間の交流の場の確保 |
| 3 リサイクル活動や自然保護の活動 | 9 日常的なコミュニケーションの場の確保 |
| 4 景観保護などの環境づくり | 10 暮らしの情報提供活動 |
| 5 騒音問題等の発生時のトラブルの解決 | 11 その他 () |
| 6 子どもや高齢者のお世話等の相互扶助 | |

問20 現在、あなたの住んでいる地域の中での問題点だと思うものは何ですか。

（○はあてはまるものすべて）

- | | |
|------------------|-----------------------|
| 1 あいさつをしない人が多い | 6 地域から孤立している人がいる |
| 2 隣近所との交流が少ない | 7 生活に困っている人がいる |
| 3 世代間の交流が少ない | 8 福祉サービスに結びついていない人がいる |
| 4 気軽に集まれる場が少ない | 9 その他 () |
| 5 自治会など地域の活動が少ない | 10 特になし |

問21 あなたやご家族が日々の生活で困っていること、悩みや不安を感じていることはありますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------|--------------------|
| 1 自分や家族の健康のこと | 9 職場での人間関係のこと |
| 2 自分や家族の老後のこと | 10 住宅のこと |
| 3 子どもの教育や将来のこと | 11 地域の治安のこと |
| 4 乳幼児の育児に関すること | 12 地震や火事、水害等の災害のこと |
| 5 介護に関すること | 13 仕事のこと（就職・失業など） |
| 6 収入など経済的なこと | 14 その他（ ） |
| 7 地域での人間関係のこと | 15 特にない |
| 8 家族の人間関係のこと | |

問22 あなたが、地域生活の中での悩みや困りごとを相談できる先は誰(どこ)ですか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|--------------|-----------------------|
| 1 配偶者や親などの親族 | 9 社会福祉施設や子育て支援施設 |
| 2 友人・知人 | 10 幼稚園・保育園、学校などの先生 |
| 3 近所の人 | 11 NPO などの民間団体 |
| 4 市役所の関連窓口 | 12 民間事業者 |
| 5 民生委員・児童委員 | 13 その他（ ） |
| 6 社会福祉協議会 | 14 相談する人（場所）がない |
| 7 自治会 | 15 相談したいと思わない |
| 8 地域包括支援センター | 16 悩んだり、困ったりしていることはない |

問 22 で「15 相談したいと思わない」と回答した方にお聞きます。

問22-1 相談したいと思わない理由は何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

- | |
|-----------------------------|
| 1 相談しても解決できないと思うから |
| 2 自分ひとりで解決するべきだと思うから |
| 3 誰にも知られたくないことだから |
| 4 自分が変な人に思われるのではないかと不安だから |
| 5 自分の欠点や失敗を悪く言われそうだから |
| 6 相手がどんな人かわからないから |
| 7 何を聞かれるか不安に思うから |
| 8 嫌なこと、できないことをするように言われそうだから |
| 9 相手にうまく伝えられないから |
| 10 裏切られたり、失望するのが嫌だから |
| 11 お金がかかると思うから |
| 12 その他（ ） |
| 13 特に理由はない、わからない |

地域での助け合いや支え合いについて

問23 近所に困っている人がいるとき、あなたがしてあげられることは何ですか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 通院や散歩などの外出支援 |
| 2 趣味などの話し相手 | 9 子どもの短時間の預かり |
| 3 電球の取り換えなどの簡単な作業 | 10 介護を必要とする人の短時間の預かり |
| 4 ちょっとした買い物 | 11 災害時の避難の手助け |
| 5 ゴミ出し | 12 生活についての相談 |
| 6 掃除や洗濯、料理などの家事の手伝い | 13 その他 () |
| 7 急病になったときの看病や世話 | 14 特にできることはない |

問24 あなたや家族に助けが必要になったとき、地域にどのような支援をしてほしいと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------------|----------------------|
| 1 安否確認の声かけ | 8 通院や散歩などの外出支援 |
| 2 趣味などの話し相手 | 9 子どもの短時間の預かり |
| 3 電球の取り換えなどの簡単な作業 | 10 介護を必要とする人の短時間の預かり |
| 4 ちょっとした買い物 | 11 災害時の避難の手助け |
| 5 ゴミ出し | 12 生活についての相談 |
| 6 掃除や洗濯、料理などの家事の手伝い | 13 その他 () |
| 7 急病になったときの看病や世話 | 14 特にしてほしいことはない |

問25 あなたが日常の手助けが必要になった場合、隣近所の人に支援を頼むことに抵抗がありますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|-----------|------------|
| 1 抵抗がある | 3 あまり抵抗はない |
| 2 少し抵抗がある | 4 抵抗はない |

問 25 で「1 抵抗がある」「2 少し抵抗がある」と回答した方にお聞きます。

問25-1 支援を頼むことに抵抗がある理由を教えてください。

(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1 普段からの付き合いがないから | 4 無償ではお願いしたくないから |
| 2 自分や家族でなんとかしたいから | 5 その他 |
| 3 家まで立ち入られたくないから | () |

問26 あなたの地域は、高齢者、障がい者、子育てなど支援を必要とする人の暮らしに不便があると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|------|--------|---------|
| 1 思う | 2 思わない | 3 わからない |
|------|--------|---------|

問26で「1 思う」と回答した方にお聞きます。

問26-1 住民のちょっとした支え合いで不便が解消される点があると思いますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|--------|------|
| 1 多分にある | 2 少しある | 3 ない |
|---------|--------|------|

問27 あなたは、災害時や緊急時の連絡のとり方や避難の方法などについて、誰と話し合っていますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|----------------------|-------------------------|
| 1 家族やいっしょに住んでいる人と | 5 職場や普段活動している施設のスタッフなどと |
| 2 比較的近くに住む家族や親族と | 6 その他 () |
| 3 隣近所の人と | 7 特に誰とも話し合っていない |
| 4 自治会や自主防災組織など地域の組織と | |

問28 あなたの住む地域における災害時の備えとして、どのようなことが重要だと思いますか。(○は3つまで)

- | | |
|----------------------|---------------------|
| 1 日頃からのあいさつ、声かけや付き合い | 5 地域の要支援者の把握 |
| 2 災害対策の研修会 | 6 要支援者に対する避難支援体制の整備 |
| 3 地域での避難訓練 | 7 地域行事への参加 |
| 4 地域における援助体制づくり | 8 その他 () |

問29 地域の支え合いを進める上で必要となる個人情報の取り扱いに関して、あなたの考えに最も近いものはどれですか。(○は1つだけ)

- | |
|-------------------------------------|
| 1 個人情報、いかなる理由があっても保護されなければならない |
| 2 隣近所の付き合いに必要な程度の情報は、知られていてもかまわない |
| 3 災害への対処に必要であり、自治会には住民の情報を持て役立ててほしい |
| 4 福祉の支援に必要な情報は、地域で共有するべきである |
| 5 その他 () |

問30 生活上の様々な問題を抱えているが必要な支援を受けることができず、地域からも孤立している人たちがあなたの住む地域にいるか知っていますか。(○は1つだけ)

- | | | |
|---------|------------|--------|
| 1 知っている | 2 聞いたことがある | 3 知らない |
|---------|------------|--------|

問31 生活上の様々な問題を抱えている人たちから助けを求められたとき、あなた自身は
どのように対応したいと思いますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|--------------|------------|
| 1 積極的に対応したい | 3 できれば避けたい |
| 2 できるだけ対応したい | 4 関わりたくない |

問32 日常生活をする上で困っている人、高齢者、障がい者、子育てなどに対する地域での
支え合いに参加したいと思いますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 参加したい | 3 参加したくない |
| 2 できれば参加したい | 4 わからない |

ボランティア活動などに関することについて

問33 あなたは、ボランティア活動に参加したことがありますか。 (○は1つだけ)

- | | |
|------|------|
| 1 ある | 2 ない |
|------|------|

問 33 で「1 ある」と回答した方にお聞きます。

問33-1 ボランティア活動をはじめた主なきっかけは何ですか。 (○は1つだけ)

- | | |
|--------------------|------------------------|
| 1 自治会や PTA など | 7 時間ができたので |
| 2 友人・知人 | 8 学校や職場の勧めで |
| 3 本、マスコミ、インターネット | 9 学校などのサークル活動 |
| 4 市の広報など行政の発行する情報誌 | 10 活動している人たちをみたり、話を聞いて |
| 5 ボランティア団体などの広報紙 | 11 その他 |
| 6 生きがいを求めて | () |

問 33 で「2 ない」と回答した方にお聞きます。

問33-2 その主な理由を次の中から選んでください。 (○は1つだけ)

- | | |
|--------------|-------------------|
| 1 趣味や関心がないから | 4 気恥ずかしいから |
| 2 機会がないから | 5 活動内容や方法が分からないから |
| 3 時間がないから | 6 その他 () |

問 33 で「2 ない」と回答した方にお聞きます。

問33-3 どのような条件が整えば参加できますか。 (○はあてはまるものすべて)

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| 1 自分に合った時間と内容 | 6 友人・家族と一緒に |
| 2 自分の仕事や特技を活かせること | 7 学校や職場でのボランティア活動があること |
| 3 交通費や経費を補償してくれること | 8 ボランティアグループに入れること |
| 4 最初にボランティア入門講座等が
受けられること | 9 その他 () |
| 5 職場にボランティア休暇制度があること | 10 やはり参加しない |
| | 11 わからない |

問34 あなたは今後、ボランティア活動に参加したいと思いますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|-----------|
| 1 参加したい | 3 参加したくない |
| 2 できれば参加したい | 4 わからない |

問 34 で「1 参加したい」「2 できれば参加したい」と回答した方にお聞きます。

問34-1 どのくらいの時間なら活動に参加できますか。(○は1つだけ)

- | | |
|-------------|------------|
| 1 年に数回 | 5 週に1日程度 |
| 2 月に1～2日程度 | 6 週に2～3日程度 |
| 3 週に1～2時間程度 | 7 週に4日以上 |
| 4 週に半日程度 | 8 その他 () |

問 34 で「1 参加したい」「2 できれば参加したい」と回答した方にお聞きます。

問34-2 どのような活動に参加したいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|--------------------|------------------|
| 1 社会福祉に関すること | 5 国際交流(協力)に関すること |
| 2 自然・環境保護に関すること | 6 青少年健全育成に関すること |
| 3 体育・スポーツ・文化に関すること | 7 学校ボランティア |
| 4 災害救助活動 | 8 その他 () |

問 34-2 で「1 社会福祉に関すること」と回答した方にお聞きます。

問34-3 どのような社会福祉活動に参加したいと思いますか。(○はあてはまるものすべて)

- | |
|---|
| 1 一人暮らしのお年寄りなどに対する買い物や散歩の付き添い、話し相手などの活動 |
| 2 隣近所の子どもの世話など近隣助け合い |
| 3 障がい者への地域での活動(訪問、相談、手話通訳、送迎など) |
| 4 老人ホームや障がい者施設など福祉施設での活動 |
| 5 子育てに関する活動 |
| 6 福祉イベントに関する活動 |
| 7 その他 () |

問35 今後、三島市でボランティア活動を活発にするためにはどのようなことが必要だと思いますか。

(○は2つまで)

- 1 みんなが気楽に参加できるような活動内容の充実
- 2 学区・地区ごとにボランティアの活動拠点をつくる
- 3 ボランティア活動に関して広く学習できる機会をつくる
- 4 ボランティア活動に関する情報提供や活動の場を紹介する
- 5 ボランティア活動に要する交通費や経費を援助する
- 6 活動上の悩みや問題に関する相談体制の充実
- 7 ボランティア活動に関する窓口を休日や夜間（夕方 5 時以降）も開設
- 8 その他（ ）
- 9 わからない

福祉施策に関することについて

問36 あなたは、今後地域がより住みやすくなるためには、次のうち、どのような活動を行う必要があると思いますか。 (〇は2つまで)

(○は2つまで)

- 1 地域で高齢者、子どもや障がい者など支援が必要な人を見守り、支援する体制をつくる
- 2 参加しやすい活動やイベントを行い、地域に住む人の交流促進を行う
- 3 高齢者や障がい者が自由に外出できる移動手段のサービスを整備する
- 4 ユニバーサルデザインを基調としたまちづくりを行う
- 5 高齢者や障がい者の社会参加、生きがいづくりを支援する
- 6 健康づくり、介護予防に対する取り組みを行う
- 7 地域で行われている活動を知ってもらうための PR 活動を行う
- 8 地域に住む人や活動する人が集まり、地域について定期的に話し合う場を設ける
- 9 幅広く相談できる相談窓口を充実させる
- 10 地域活動やボランティア活動を担う人材を育成する
- 11 その他（ ）
- 12 特になし

問37 三島市では、地域福祉を進めるための計画として「三島市地域福祉計画」という計画を作っています。この計画についてご存知でしたか。 (○は1つだけ)

(○は1つだけ)

- 1 内容まで知っている 3 名前も聞いたことがない
2 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない

日常や交友関係について

問38 次の項目にあてはまると思うことはありますか。 (○はあてはまるものすべて)

- 1 自分には人とのつきあいがないとすることがある
- 2 自分は取り残されているとすることがある
- 3 自分は他の人たちから孤立しているとすることがある
- 4 どれにもあてはまらない

問39 親友といえる友人がいますか。 (○は1つだけ)

- 1 はい
- 2 いいえ

居場所について

問40 次の場所は、今のあなたにとって居場所(ほっとできる場所、居心地のいい場所など)になっていますか。 (○はあてはまるものすべて)

- 1 自分の部屋
- 2 家庭 (実家や親族の家を含む)
- 3 学校 (卒業した学校を含む)
- 4 職場 (過去の職場を含む)
- 5 地域 (自治会館や公民館や図書館や公園など、誰でも利用できる建物など)
具体的に ()
- 6 インターネット空間 (SNS, YouTubeやオンラインゲームなど)
- 7 その他 ()

再犯防止について

問41 あなたは、犯罪をした人の立ち直りに協力したいと思いますか。 (○は1つだけ)

- 1 思う
- 2 どちらかといえば思う
- 3 どちらかといえば思わない
- 4 思わない
- 5 わからない

問42 あなたは、再犯防止のためには、具体的にどのようなことが必要だと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|--|--|
| 1 刑務所・少年院・保護観察所などが個々人に応じたきめ細かな指導や支援を充実する | |
| 2 仕事と住居を確保して安定した生活基盤を築かせる | |
| 3 犯罪をした高齢者などに対して、福祉制度の利用を促進する | |
| 4 被害者の置かれた状況や心情を理解させる | |
| 5 犯罪を地域の問題として捉え地域ぐるみで再犯防止に向けた支援をする | |
| 6 その他 () | |
| 7 わからない | |

成年後見制度について

問43 あなたは、成年後見制度を知っていますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 内容まで知っている | 3 名前も聞いたことがない |
| 2 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない | |

問44 成年後見制度をより広く知ってもらうためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(○はあてはまるものすべて)

- | | |
|---------------|-----------|
| 1 制度の周知啓発 | 4 その他 () |
| 2 相談窓口の設置 | 5 わからない |
| 3 研修会・講座などの開催 | |

問45 将来的にご自身の判断が低下し、身の回りの契約行為や財産管理などができなくなった場合に、成年後見制度を利用したいと思いますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|----------------------|---------------|
| 1 利用したいと思う | 3 利用したいとは思わない |
| 2 誰になるかによっては利用したいと思う | 4 わからない |

問46 あなたは、市民後見人を知っていますか。

(○は1つだけ)

- | | |
|------------------------|---------------|
| 1 内容まで知っている | 3 名前も聞いたことがない |
| 2 名前は聞いたことがあるが、内容は知らない | |

三島市社会福祉協議会について

問47 三島市社会福祉協議会は、誰もが安心して暮らせるまち・三島市を目指し、地域の住民の方とともに地域福祉の推進を図る民間団体です。あなたは、三島市社会福祉協議会を知っていますか。
(○は1つだけ)

- | | |
|-------------------|---------------|
| 1 所在地を含めて、よく知っている | 3 名前は聞いたことがある |
| 2 なんとなく知っている | 4 知らない |

問48 三島市社会福祉協議会が実施している以下の事業で知っているものはありますか。
(○はあてはまるものすべて)

- | |
|--|
| 1 生活の困りごと、心配ごと、介護、福祉全般などに関する相談業務 |
| 2 生活福祉資金の貸付、生活一時扶助金の交付、食糧支援、歳末見舞金の贈呈 |
| 3 成年後見に関する事業（法人後見、市民後見人育成、成年後見支援センター運営） |
| 4 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助、金銭管理等） |
| 5 学校・企業・一般市民への福祉教育・福祉講座の開催、啓発活動 |
| 6 ボランティアに関する事業（担い手育成、活動先の調整、災害ボランティア活動） |
| 7 地域づくりに向けたワークショップの開催及び居場所・サロン活動の支援 |
| 8 社協だより「はつらつ」発行、福祉大会の開催などの広報啓発活動 |
| 9 福祉活動団体などへの助成 |
| 10 福祉車両・車椅子の貸出事業 |
| 11 三島市共同募金会業務（赤い羽根共同募金、歳末たすけあい募金） |
| 12 障がい者通所施設の運営（えがお・おんすいち・さわじ作業所） |
| 13 介護保険事業所及び障がい者福祉サービス事業所の運営（ケアマネ、ヘルパー派遣等） |
| 14 市の指定管理業務受託（社会福祉会館・老人福祉センター） |
| 15 高齢者生きがい教室の運営（東小・西小・南小） |
| 16 いずれも知らない |

問49 三島市社会福祉協議会が地域の住民の方とともに地域福祉を推進していくために、積極的に取り組むべき活動はどのようなことだと思いますか。 (〇は2つまで)

- 1 地域の福祉課題についてともに考え話し合う地域支援の体制づくり
- 2 地域のつながり、見守り、支え合い活動の支援
- 3 自治会、民生委員・児童委員、老人クラブ等、様々な団体との連携強化
- 4 各種の相談業務の充実、個別支援
- 5 高齢者や障がい者への権利擁護支援
- 6 生活困窮者への経済的支援
- 7 ボランティアの活動支援・育成
- 8 子どもや地域に向けた福祉教育（福祉の心を育む教育）や、福祉講座の開催などの啓発活動
- 9 福祉に関する情報提供の充実強化
- 10 福祉以外の分野（環境・文化など）
- 11 地域での孤立・ひきこもり等への支援
- 12 その他（

問50 あなたのお住まいの地域で既存の制度では対応できない福祉課題が発見されたとき、社協職員とともに課題について考える場への参加を呼びかけられた場合、あなたはどのように対応しますか。 (〇は1つだけ)

- | | |
|-----------------|---------------------|
| 1 積極的に一緒に考えたい | 3 それは理想的だが、そこまでできない |
| 2 時間があれば一緒に考えたい | 4 地域住民がそこまで考える必要はない |

問 50 で「3 それは理想的だが、そこまではできない」「4 地域住民がそこまで考える必要はない」と回答した方にお聞きます。

問50-1 上記のように考える主な理由を教えてください。(○は1つだけ)

- 1 専門職である社協職員が主導で、解決方法を住民に提案するべきだと考えるから
- 2 社協職員と地域役員が話し合い、その結果を住民に伝えるべきだと考えるから
- 3 社協職員と行政が話し合い、その結果を地域役員と考えていくべきだと考えるから
- 4 福祉課題については、その家庭内で解決することが基本だと考えるから
- 5 他人の家庭にまで入り込む必要はないと考えるから
- 6 関心がないから
- 7 その他（ ）

問51 三島市社会福祉協議会の会員区分には、「一般会員」と「賛助会員」があり、市民の皆様が「一般会員」であることはご存知ですか。 (〇は1つだけ)

- 1 知っている 3 知らない
2 知っているが、会員の役割は知らない

問52 地域の福祉に関するご意見ご要望などがありましたらご記入ください。

[illegible]

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

調査票を返信用封筒に入れて、切手は貼らずに

令和6年9月6日(金)までにポストへ投函してください。

ご返送をお待ちしております。

令和6年度
三島市
地域福祉計画策定のためのアンケート調査
【報告書】
令和6年10月

三島市 福祉総務課 福祉総務係
〒411-8666 三島市北田町4-47
TEL：055-983-2610（直通）